

【日記翻刻】 奥田八二日記（連用）（1992～94年）

明石，紗弥
九州大学理学部

井上，美椰乃
九州大学法学部

中本，沙希
九州大学文学部

西山，慎之助
九州大学工学部

他

<https://doi.org/10.15017/7171757>

出版情報：奥田八二日記研究会会報. 12, pp.1-295, 2024-03-31. 奥田八二日記研究会(九州大学大学文
書館内)

バージョン：

権利関係：

【日記翻刻】

奥田八二日記 (連用) (1992～94 年)

翻刻 明石紗弥 井上美椰乃 中本沙希 西山慎之助 森山英明
山下慎太郎 山副冨之介 脇悠泰
校訂 藤岡健太郎

凡 例

1. 本翻刻は 1992 年から 1994 年までの三年連用当用日記を年ごとに翻刻したものである。
2. 原文は一部を除き縦書きであるが、横書きに直した。
3. 漢字の旧字体および異体字は固有名詞等を除き、常用漢字体または印刷標準字体に直した。また原文に「𠄎」と記されたものはすべて「経」とした。
4. 明らかな誤字・脱字については適宜修正した。疑問のあるものについては「ママ」を付した。判読できなかつたものは「^(不明)□」とした。
5. 踊り字のうち「くの字点」は文字に直して表記した。
6. 原文の振り仮名はそのままとした。
7. 原文では句点と読点が明確に判別できない書き方がなされているため、本翻刻においては文脈等から適宜句点・読点を判断した。また、句読点が打たれていない場合も多いが、その場合についても文脈等から判断して適宜句読点を追加した。
8. [] で記されたものは原文の記述である。
9. 日記本文記入欄以外に記入されたものは【欄外記入】とし、原則として各日の末尾に掲載した。
10. 原文中に差別用語等がみられるが、歴史資料としての意義に鑑み、すべて原文のとおりとした。
11. 日記に貼付または挟み込まれている新聞記事等については、その記事名・掲載紙の情報等を【 】で記し、文面については掲載しないこととした。
12. 翻刻は原則として日記全文を対象としたが、研究会の判断により省略または「○○」とした部分がある。
13. 【 】内は研究会による註記である。

1992年

年頭の所感

昔なら新しく一つ年取るのだが、今は年改まるで足りる。今年は元日に皇居に特別参賀ということで、そのついでに、横須賀の一彦のうちにいき、啓二一家も来参、直美を除く全家族が新年を祝うことになった。年末の清掃や年用意もおっくうになってきたので、今年のこの形が新しいあり方になるかも知れない。久美は大学受験、サリは小学校入学と、孫たち、それぞれに新たな人生を切り開いていく。それにひきくらべ私自身大変老化したと自覚せざるをえない。今年は72歳を迎え、サル年年男である。エトのことは誰もそう気にしないが、6回目のサル年となると、やはりトシを感じる。持病のことはいうまでもないが、体力が急に衰えたように思う。こんなに早くくるものかと思うが膝ががたがたになって何をしても次への動きに際して膝頭が痛むのがわかる。近頃はとくに体力を使うことをしないが、以前と同じように思っただけで体力を使うとすぐ疲れを感じずに違いない。たとえ健康であっても今年の夏は藤棚にのぼって延びた蔓を切るというような仕事はできないであろう。長道を歩いたり、坂を登るようなこともできないかも知れない。牧坂氏が杖をもっているが今の私にはそこまでは必要ではないが、年末の各省庁陳情まわりは少々つらい実感をもった。体力とは別だが執念のようなものはある。身の廻りのことは洋服吊りをはじめ何でも自分でする、日記もつける、そしてできるだけ筆を使う。手紙などは当然だが、近頃は俳句が面白く、江口竹亭氏から送ってくれる「万燈」（句誌）の中からわかり易い句を選んで短冊型の紙にどんどん書いていく。揮毫のときできる復古の端を利用すると用紙にこと欠かないから句を書くのが一種の執念になっているこの頃である。上手下手のできばえよりも何句書いたかに気が向く。その中から何枚か気に入ったのがあれば満足である。ある意味では筆で書くことに自己満足を覚えるのである。もちろんこの執念がいつまで続くかは甚だところもとない。だが続けようと思う。句誌をポケットに入れ随時チェックするのだ。

1月予記

昨年十二月天皇誕生日、今年一月一日、一月十四日の歌会始と、二十日間ほどのうちに三回も宮中にゆくというきわめて珍しい日程が生じ、これを消化できた。例年の年末姫路での餅搗きはしなかった。元旦の迎え方も型破りになり、三日に近しい人々の賀詞受けを山ノ上ホテルで催しあわただしい中で新年が始まった。忙しいばかりの一月だが、中で、東京だソウルだと駆けまわることになった。例年以上に健康に心配が募っている。どうしたらいいかわからないが、とにかく用心するほかはない。両膝が痛むのが新規症状、坐っても掛けても次への動作にひびく。

1 月 1 日 (水) 晴

宿所ダイヤモンドホテルにはまぶしく祝賀の陽光がさし込んだ。しばらく句誌に目をやった。十一時に東京事務所を出発、皇居に正門から入って十一時半から両陛下をはじめとする皇室で陛下から祝詞をいただき、正殿から豊明殿に移り祝杯を順序なく頂いて退散。その間二〇分程度。そのまま公用車を走らせて一彦宅に行った。二時頃から暫時随同行の西田所長、運転手らと祝杯を傾け中食を共にした。啓二らも来て、直美を除く息孫ら全員による年賀の夕食会となった。孫娘三人すくすく育っていて満足できた。久美は受験勉強で緊張していた。

1 月 2 日 (木) 晴、福岡曇、小雨

通常のテンポで一彦宅での朝食、中食。近くの鷹取山公園に案内してもらい、一時半すぎ出発羽田へ。一彦、美可が車で送ってくれたが、渋滞で心配になり、高速から降り、洋光台から JR・モノレールに代えたので、やっと間に合い、四時の福岡ゆきに乗れた。帰りも西田所長と川上の二人が随行してくれた。福岡の正月の天気はよくなかったという。雨で郵便物、新聞などぬれるという留守状況であった。六時半に帰宅したのだが、することが一ぱいで賀状に目を通す時間もなかった。日記のたぐい記録せねばならぬことが多すぎるからである。新年早々休みなしの日々がつづきそうだ。人間なぜこうも忙しくせねばならないのであろう。でもやはり頑張るしかない。書初めも一寸だけ。

1 月 3 日 (金) 晴

朝風呂に入ってゆったりと過ごした午前中だった。十二時半川上氏が迎えに来てわれわれ夫妻は服装をととのえ、予定の山ノ上ホテルに行った。一日で一箇に決めて賀詞を受けるべきだとのことで、秘書室が企画してくれた。昨年の選挙でお世話になった人や以前の友人達。島津氏が要請し世話連絡にあたってくれたものだ。一時から五時まで五〇人ほどの人々が思い思いの時間に寄ってくれた。賀酒と若干のつまみ程度で思い思いのグループを作り歓談する賀詞交換会であった。終って篠原母息が来宅し、夜おそくまでマージャンを楽しんだ。秘書室グループも OB として山ノ上に来てくれた。

1 月 4 日 (土) 晴

八時半に出発し、九時半から庁議、記者会見と行事が進んだが、その間たくさんのグループが年賀に来室した。十一時半から養護施設卒園者一四人への新春激励会があった。その前に今日の最大行事は例年と同じく幹部職員への年頭知事挨拶で、十一時から二五分間の長口説になってしまった。でも内容はよかったですよといってもらえた。十二時すぎから秘書室職員全員が特別会議室に集まり年頭祝宴が行われた。二時まで歓談がつづいた。帰宅は二時半。書斎の整理や残された記録の仕事があった。

1月5日（日）曇・小雨

休務。昨夜のマージャンで今朝はゆっくり。食事のあと以前から気になり昨夜も話題になった刃物磨ぎをした。何年ぶりか久し振りだし今年こんなことをする人は稀だろう。揮毫に押印の時、やりそこねて意地から又墨をすって書き直し押印しているうちに時間は流れた。夜になって句誌にマークしたものを短冊にどんどん書いて余技のたのしみとした。昨日からしっかり冷え込んでいる。賀状への対応が気になるがのんびりと構えよう。精神的にもどうにもならぬ。手伝う人もいないし。

1月6日（月）小雨・曇

いよいよ新年の行事が動き出したとの感あり。九時半からの消防出初式は冷雨の中、カゼをひく心配。十一時に前に登庁して平服に着替え、十二時から福岡商工会議所の新年会、問研に連絡してホテル・リユーで中食会、三時から県庁裏の労金支店で県評センターの旗開き。その間知事室に来る新年挨拶にある限りでの対応。午後四時からは九経連、協会、NHKと当方からの挨拶まわり。最後はグランドホテルでの西鉄の賀詞交換会。雨はひる頃までだった。新年の諸行事はこれから始まる。語り合いの中でいろいろ要請あり、決意表明ありで相手の新年の構えを知るのである。

1月7日（火）曇後晴

庁議につづく記者会見、景気の降りにつき報告があった。遺族会、傷痕軍人会つづいて代表の年始、午後はJR九州社長。決裁もあったが割合自分の時間もあって読書も。五時半ニューオータニで県建設業協会、六時弥生で解同幹部との懇談会（夕食）。決裁のあと三役会議で空港につき報告をうける。新北九州空港の漁業補償、板付の西側展開を含む県の出資%の問題、そして二四時間空港構想の問題であった。昨日九経連に挨拶に行った時私が新空港について発言したことが早速チェックの意味で県空港対策室に電話連絡があったという。

1月8日（水）晴—曇—小雨

登庁することなく一日中福岡市内を車で新年挨拶まわり、報道各社、歯科医師会等々。十一時から一寸解同の旗びらき（グランドホテル）に出る。少し時間のゆとりを見て西及び東の県総合庁舎、国レベル通産局、運輸局、基準局をまわる。近代ビルの中小企業団体では新年のあいさつを職員向けに一言述べさせられた。午後六時から三光園で奥田県政推進対策会議の皆さんとの新年会。これは社会党や県評センターの幹部、秘書室の諸氏らで、県側の招待の形をとっている。車の中で句誌万燈の江口竹亭氏を訪問する意思表示を電話で伝える。夜、OKへのお礼の手紙も書いた。

1 月 9 日 (木) 曇

はっきりしない冬型天気、小雨も。——昨日同様新年挨拶まわり、農協や政党にも。十時から甘木朝倉広域市町村圏の陳情受けが唯一の庁内仕事。大きな行事はライオンズクラブの賀詞交換会 (十二時から国際ホール) と共産党の旗開き (三鷹ホール午後六時から) であった。来日中のアメリカ大統領ブッシュ氏がディナーの折に倒れた事件、カゼが原因、過労が引き金のように、日米貿易不均衡についてのアメリカの要望をうまくうけ入れた東京宣言の採択には差しつかえがないよう事が進められたとか。自動車部品の買付け約束が大きな話題。コメはガット交渉に譲られている。

1 月 10 日 (金) 曇

十時に県環境保全公社事務局職員の辞令交付式。これで産廃処理の公的関与に新一步を踏み出したことになる。十一時から東急ホテルで例年どおり県漁連の新年懇談会があった。三時半、ライオンズホテルで自治労県本の旗開きがあり、四時すぎから検診をうけた。二週間ぶりで血糖二〇三、尿糖マイナス。まずまずといえる。皮膚科の先生にもみてもらって新たに薬を投与された。六時半から老松で福銀の招待で当方三役、銀行側もそれに見合うメンバーで九時近くまで歓談した。新年挨拶まわりは JR 九州、自民、社会、民社、井上議長その他今日もかなりの数にのぼった。エビス祭りで県庁近くは大にぎわい。幸いに雨降らずだ。

1 月 11 日 (土) 晴

久しぶりの晴、小春日和。九時五〇分出発で、飯塚市制六〇周年式がコスモス・コモンのオープンと重なって新会場で行われ、中退して鯉田の江口竹亭氏卒寿祝いをかねて訪問した。福岡の小島隆保氏夫妻が同時訪問してくれた。九十二歳で少々耳が遠いほかまだまだ句の指導現役の江口氏に会えてよかった。小島氏もよろこんでくれた。このあと、山本義隆、松尾正信、住吉徳光、上岡亀弘各氏宅へ新年挨拶まわりをし、五時半頃帰宅できた。それぞれに色紙を書いていてさし上げることができた。江口、上岡の両氏には小さなコモ酒を贈呈した。今日で今年の新年挨拶はほぼ終了。江口氏にあえて肩の荷が降りた感じである。作句の世界に興味がわく。

1 月 12 日 (日) 晴

午前中小柳氏あての条幅揮毫に時間をかけ午後からマージャンに誘った是松氏に表装を頼んだ。俳句の墨書もしたが、篠原母息も来て麻雀をすることになった。明日からの旅行が気がかりで染髪その他準備をせねばならぬ夜だった。ひるま、晴天のもと、大きくみのったキンカンの実を十数箇ザルに採った。今年のは粒が美しい。甘夏もかなりの数、重々しく色鮮かにぶらさがっている。近頃は屋外作業をしなくなって、気になる事が多いのに、他面で諦め心も高まっている。年賀状を書かない、来た賀状もじっくり見ないというあわたしい年

末年始だ。

1月13日（月）曇

九時すぎから検診。十一時からグラフふくおか取材のため、知事室で栗原小巻さんと福祉問題を材題として一時間の対談をし、映画「未来への提言」につきお話をうかがった。午後小雨も降った。ベルプラザでの連合福岡、福岡地協の年始会に出て挨拶。一七時四〇分のJALで上京。西田所長も同行。一九時に着き、そのままふくおか会館へ。今回の旅行は秋山秘書が随行。宿から一彦宅に電話。久美が大学入試全国共通試験をうけたので、きいてみたら自信なさそうな返答。でも希望はつないで然るべきだ。時間があれば句誌に目を通すこの頃である。

1月14日（火）晴

八時半に朝食。十時からの皇居正殿での歌会始に傍聴出席させてもらった。初体験だ。テーマは「風」だった。現場では、よく内容がききとれなかったが、夕刊をみて納得できた。ひる前に終り祝酒をいただいて退出。傍聴出席は八〇人ほど。ふくおか会館で中食、一時半頃公用車で成田空港へ。時間のあきをみて成田山に参拝、お守りをもらいゆっくり見物。空港VIPルームでのんびり休養。六時十分発JALでソウルへ。二時間半近い空の旅。目的の新羅ホテルに入ったのは夜の九時半だった。身辺をととのえ就寝したのは十二時近かった。豪華な部屋、盛花や果物のさし入れが関係団体から行われており、おそれ入った次第である。

1月15日（水）晴

ソウルの朝、深い霧。七時すぎ起床なので少々眠い。朝食後、冷い空気の中、韓日経済協会を訪問、ジェトロ派遣県職員を紹介。十一時半日本大使館訪問。十二時半スイス・グランドホテルでの中食会を経て三時から調印式立会。これは九州歯科大と延世大学校歯科大学との交流協定調印式をめぐる行事の流れの中、県からは私学々術局、歯大学長、病院長らの出席があった。終って大学博物館を見学。一たんホテルに帰り六時半から新羅迎賓館で県とジェトロ主催で福岡県職員派遣職員紹介の披露パーティが行われた。川口氏の紹介披露である。一五〇人ほど出席してもらった。県漁連の柴田氏も出席。二時間ほど。あとで県の者別室で夕食会。流れ解散方式でよかった。

1月16日（木）ソウルは初雪

新羅ホテルで雪を見ながら朝食。小休後十時四〇分出発して在ソウル日本ジェトロへ表敬訪問。県から派遣の職員川口氏をよろしくということ。雪がどんどん降った。ロッテ内にある「弁慶」で和式の中食。商工部通観課が随行の日程。一時半観光公社、三時貿易振興公社（コトラ）を訪問表敬挨拶。雪はようやく止んでいた。金浦空港に直行、着いたのは五時。

出国手続きなど時間を要するわけ、大変なこみようだ。コトラは今年十月に韓国物産展を小倉で開催するとのこと。午後八時頃福岡空港に着く。白石、川上ら秘書室女性らも出迎えてくれた。九州歯大グループも同じ便で福岡に着く。慎さんも同行だった。

【挿入文書「天皇皇后両陛下歌 八女文化連盟短歌部」あり、内容は本年「補遺」に掲載のものと同じ】

1 月 17 日 (金) 曇・小雨・風

休務で身辺整理したり、句誌から好きなものを選んで季節を心で味わったり好きなようにできてよかった。外気は冷く、時に小雨も降り、風強く荒天といえる日であった。気になるのが賀状への対応であるが、今の所、いかんともし難いので諦める。先日訪ねた鯉田の江口竹亭先生からはていねいな筆書の礼状が来ていた。五時頃から篠原母息を相手に麻雀をすることになり、楽しかったが、遊びは深夜に及んだ。近頃膝の痛み(とくに左)を感じず。同じ姿勢でいて次の行動に移るときの不自由さである。簡単になおるまい。

1 月 18 日 (土) 曇時に晴

八時四〇分に迎えの車が来て検診。糖は一九五とマイナスでまずまずの数値。脈でなく、圧の方は一二四と八〇。このあと空港へ。県内視察の田名部^{マサミ}省農水大臣を出迎え。視察随行は林副知事にまかせ、私は登庁。西日本新聞の県政展望についての取材に対応した。雑用も消化し、二時前帰宅して中食小休した。五時前に再出発し、ニューオータニで県レベル農林漁業関係の代表による農相への陳情の会があり、そのあと三光園で農相を囲む懇談会(夕食)があった。九時に帰宅することができた。農相が米の自由化につき明確に意見をきかせてくれ、同感。

1 月 19 日 (日) 晴

九時四五分から県庁跡地国際会館の建設に関する契約調印式、十一時から現場での起工式、つづいてなおらいがあった。契約は第一生命、三井建設が相手であり、施工は竹中、清水など大手五社が中心となる。地下四階、地上一五階、ステップガーデンが特徴。一万三千六百平米を敷地とする。県庁移転後十年ぶりに着工までこぎつけえた。三年間の工事である。建物の四割を二五〇億円で県が買い取り、ホールや国際会議場などに供用される。西日本最高の地価の箇所にも最大規模の施設ができ、福岡の顔といえるものになる。工費は約五一〇億円程度。施工側は資金策に苦慮する昨今の金融状況だ。起工式のあと、早目に帰宅し書齋にこもって色紙かきその他墨筆を友とする時間にあてたが、風邪気味。早目に就床する。

1 月 20 日 (月) 晴

ゆうべ八時から今朝は十時まで床に就いて風邪のこじれを抑えた。一時に出発。今日は次に

向けてのレク（勉強会）がつづいた。一時四〇分に元県議の上島氏の紹介でペシャワール会の代表が来訪した。アジア大陸の各地にある医療衛生問題と取り組んでいる一部の人だが、何が「国際貢献」かを政府に問いたくなる。後発地域のことが考えさせられる。午後三時半住宅建設関係の諸団体からの陳情があった。県営住宅についても要望があった。景気下降の中気になることだ。労賃アップも問題である。六時から天神で県地方課会が開かれ挨拶のあと早目にひきあげた。風邪気味なので用心しなければならない。いそがしいばかりなのでゆとりがない。西日本新聞の取材態度や記事に対し近頃頗るいやな感じがつづいている。

1月21日（火）晴

庁議、記者会見、決裁と平凡にすぎて、一二時二五分発のANAで上京。一六時から東京会館で開かれる県企業立地推進委員会東京部会に出席した。これまでのようなお願い一本の会というよりは、福岡のよさを一層宣伝し企業立地が盛んである事を知ってもらう会になった思いである。新しく作成したビデオは宣伝過剰と思われるがよくできていた。アジアを視野においている点と教育にも力を入れようという点を加えるべきだとの批判も出た。県人会長の斎藤武幸（住友建設会長）さんは今年米寿になるという。花村仁八郎氏は八十三才、どちらも元気で活躍中、筑豊出身である二人だ。

1月22日（水）曇

寒さ強まる。八時五五分発のJALで帰福、そのまま天神へ。グランドホテルでの福岡都市圏広域行政推進協議会と知事との懇談会。水、道路、産業廃棄物処理の三大課題がまずは議題となった。中食後登庁。二時から芦屋町鈴木市長らと例のタウンリゾートについて意見交換した。第三セクターで開発の予定だったレクリゾート案を海岸埋立反対で振出しに戻そうとする町長と推進の側で対応してきた県との立場が両立しない点が焦点。業者や国との関係経緯についても考えてほしいと指摘したが町長の態度は、選挙公約もあってか、固辞していた。六時帰宅。

1月23日（木）晴

風邪気味なので寒中の行動すべてに用心が先んずる。九時五〇分からの検診も結果かんばしくなかった。グランドホテルに行き中小企業団体と知事の懇談。資金集めの力がない人達なので何かといえば助成金、中小企業会館^{（仮）}建成にも県がというふうに依存の願望ばかりである。こうした団体への会費納入者が少ないのだ。農協系と違う点である。三時から聾啞者^{（仮）}代者との対話。ここでは手話通訳、雇用の問題が出され課題の重みを感じた。夜リーセントホテルで本庁支部新役員との夕食懇親会があった。組合は県政をよく理解してくれているが、まだまだ人事、超勤、福祉活動など多方面にわたって古いしきたりに固執している面が強いという話が出て懇談はつきなかった。八時半帰宅。

1月24日(金)晴

天皇誕生日のご下賜金、朝銀信金の寄付金の二種類の伝達式。午後は職員特別研修でふるさと財団の首藤堯氏を呼んだ。私はその前座を四〇分つとめた。朝の放送の録音、これは幸い一発できた。あと決裁やレクなど平素の在庁時とかわらぬ行事があれこれ入っていた。老人めいて両脚の伸びがもつれる感じがしてならない。首藤氏が福岡県出身で副知事をした経歴があることを重くみて私、副知事、総務部長、財政、地方両課長ら集って夜三光園で夕食懇親会を開いた。ダルマストーブに書類を燃やして使った話、タイガー計算機の話、複写の話など、昔語りも多かった。

1月25日(土)晴

めったにない連休となった。朝から墨を磨り宿題になっていた扁額を目ざし句誌からの短冊書写をしてすごしたが、午後早目に篠原母息が来て徹マンになってしまった。賀状に若干返信を書いたのがせめてもの償いとの思い。只、これから議会めがけての執行部、ますます忙しくなるから、せめてものくつろぎと考えるしかない。句書については、事更に読みづらい文字が出てくるので、字書をくる。なぜこんな文字を使うのかと思うが作句者の気持はそれでこそという思いがあるらしい。私には好ましくない。

1月26日(日)晴

もう昼近いと思って起き出た。昨日からうららかな暖冬。小春びよりといえる。昨日につづいて句書きをつづける。外に出てアロエを眺め、ついでに水をやっておいた。水仙が高く伸びて美しく咲いている。甘夏が重々しくぶら下がっている。寒中とはいえ、自然は春の用意を着々進めているのだ。二種ある紅梅だが南のは満開、西のはこれからというところ。梅は目立ちにくい。寒い時にひっそり咲く感じでもある。白と赤の万両も立派だ。が庭にあまり出ないので目立たないのが惜しい。筆のついでに竹田津氏の俳句短冊を書いた。彼に送る。

1月27日(月)晴

暖かすぎるといわれた今日、まず検診。血糖値二九〇で高い。十一時半から県環境保全公社の理事会と設立記念祝賀会(リーセントホテルに於て)厚生省からも来賓があり西日本での新挑戦だといってくれた。帰庁して中食。二時中西和久(ひとり芝居文化庁受賞者)来庁あいさつ。あと消費者協会陳情。三時半からの三役会議では篠栗線電化複線化、ユニバーシアード大会助成、中国修好二十周年姉妹対象地などにつき論議が交わされた。来年度予算編成がらみでもある。県費計上をどうするかが焦点。七時前に尚文堂に行き書初会。(今年は私は出品しなかった)そのあと九時まで「くいだおれ」で玄羊会尚文堂支部の新年会。終って例のように、牧坂、青木の二人が送って来てくれた。

1月28日（火）晴

庁議につづき台風災害対策本部会議。ここで三月の休日を利用しての公有地植樹ボランティア活動提案。記者会見、ビジュアル歳時記日本の暦贈呈式。終って北九州市国際会議場へ。青少年環境フォーラム。あいさつと二〇分講演。シンナー禍が課題の集会であった。物の豊かさの中で人と人との関係がかわっていくことに焦点をあてて問題提起した。帰庁して決裁やレクがつづけられた。五時半からニューオータニで九電九経連の川合辰雄氏の秋の叙勲祝賀会、又六時半から稚加栄で中国総領事館幹部との懇談会。帰宅してから句の短冊書き、四〇枚ほど。これをすると気持ちが落付くように感ずるこの頃である。十一時就寝。

1月29日（水）福岡曇、東京晴

十時のANAに乗るはずが八〇分も遅れ、一時から東京パレスホテルでの県央地域振興企業立地セミナーに三〇分ほど遅参することになった。だがやりくりしてもらって行事に差支えなく、挨拶をすませ、小休ののち、懇親会にも出席できた。セミナーには一〇〇人ほど参加で盛会。飯塚市長や他の町長たちも喜んでくれた。四時一たん事務所に戻り、六時半から赤坂の菊亭で用意された古賀誠県連会長（自民）との懇親会に出席した。太田誠一氏は欠席となり、松本龍氏が出席してくれた。当方は家永室長と西田所長。八時すぎまで歓談した。古賀氏は私を改めて評価する、と。

1月30日（木）曇

はじめゆったりの日程が午後は重いものになった。自治省をほとんど挨拶まわりしたあと、総務庁、それから都道府県会館のふるさと財団（首藤理事長）にも行った。あと、新しくできた東京都庁舎を訪ねた。鈴木知事が十数分対応してくれた。予め連絡してあったのでうまくいった。議会棟にも案内してもらった。職員食堂で卵ラーメン中食をまずとった。ともかく新都庁の巨大なにはびっくりした。防災システム、広報システムも先端技術を駆使してすばらしいものだった。都の資産で建設し借りは残らず千五百億円ほどでできたという。都民サービスもいいし、展望室はじめ二百万人の見物客があっているという。見物だけで一日はかかる。六時頃帰福の途につく。疲れた。

1月31日（金）曇・小雨

一日べったり、来年度当初予算編成素案について財政課から説明をきいた。総務部長の内示がきまる。一般会計で大約一兆三千億円、私が知事になった九年前は八千二百億円だった。中食休憩時に※産炭市町長代表（山本、滝井、田中、塩塚）の四人からの陳情をうけ、産炭地域振興計画の実効ある展開を共に図っていこうと答えた。四時頃予算原案の説明は終わったが、あと決裁その他があつて帰路についたのは六時だった。夜、小雨と風、つづいていたポカポカびよりは吹き飛んだ。いよいよ冬か、との感じ。問研の三〇周年に関する原稿が気

になりながら、とうとう書けなくてメ切りを迎えた。一寸した荷物である。三〇年前を思いおこすために「大いなる人間模様」を繰ってみた一夜であった。

【欄外記入】※鉾業市町村連盟陳情

2月予記

二月は当初予算提案の準備に入るので、県政懇に対応するだけでも大変である。姫高陸上部の選監だった山根治氏の死亡につづいて県議の前田憲義が死亡。何となく周辺不安となる。問研が三〇周年記念式を行うが、残念ながら「月報」の発刊能力がなくなって処置なしという状況のようだ。労働組合依存体質が抜けないのに、連合福岡の発足で支持組合が遠ざかっている点にも原因がある。組合そのものも無用論が強まり、組織率は二二%。保守化ではないが、生活が恵まれすぎる今日だから、問研も道を塞がれている。

2月1日(土)氷雨

十時から山ノ上ホテルで与党懇。昨日きめた次年度骨格予算を説明すると共に知事保留など未決定の項目についての意見をきいた。参考になる意見をきかせてもらった。一時頃別室で中食、あとすぐ箱崎教育会館へ。二時から県職労の参院選向け総決起集会である。地方区組織内の渡辺四郎、比例代表の淵上貞雄、九州ブロック代表の朝日氏。組合としては弛緩しがちの綱をここでしめ直そうということである。私は挨拶して退席したが帰宅は三時すぎ。寒いのでストーブを入れて身辺整理の雑用に時間をかけた。年賀状も見直しておく必要がある。

2月2日(日)晴れ

きわめて平凡な一日だった。自由に使える一日だったが、寒さが行動を左右した。外に出る気にならないから、どこにいても居室にストーブが必要だった。仕上げようと思った色紙書きで悔いなき一日をたっぷり使った。六〇枚は書きたらう。年度末なので記念にというのが、いつになく多かった。定年退職者、研修終了者からの求めが多く歯をくいしばって頼まれたのを全部書いて押印した。句誌も少し読んだし、手紙も四通書いた。平素とどこおっていた宿題を果たしたわけだ。この一日でススハライができた。書斎はいつまでも汚い、寒いので居たくないし。

2月3日(月)小雨

一日中冷雨が降っていた。十一時すぎから検診。病院まで嶋津氏に来てもらい問研三〇周年の原稿と祝儀金を手渡した。十時三〇分から特一会議室での日立金属の荻田二号地への立地調印式に立会した。自動車関連産業である。帰庁し一時半頃元参議の小柳勇氏の来室。午前中に仕上げてもって来てもらった是松氏表装の扁額を贈呈した。閑裏有深趣と書いたも

の。立派に表装されていてよかった。自治研センターを訪ねて来た中国の国際交流センター代表が表敬。四時から五時まで環日本海フォーラムについてのレク、九大西村教授も同席してくれた。五時二〇分から朝日新聞社の、そして六時から県医師会の新春パーティに出席、ニューオータニと都ホテルと。後者では知事挨拶。昨夜ねむりそこねて今日は頭がいたかった。夜雨止む。

【欄外記入（「一日中～自動車関連産業である」に関し）】時間の順序が逆である。

2月4日（火）曇後晴

庁議、記者会見。十時半から特一会議室で四年度当初予算知事保留分につき各部から復活要求説明が終日おこなわれた。中食は庁議室で記者クラブメンバーと吉塚うなぎ弁当でひと休みになった。復活要求の説明が延々とつづくので少々うんざりした。仕方のないコースだが、くたびれる。午後六時半頃終わったところ、北九州の県職員（労働福祉事務所づとめ）が同和差別のビラくばりをしたとの新聞報道がでているのにどう対応するか庁議室で三役会議にかけられるという付録までついた。平素から一風かわった職員だったという。今後の対応次第では問題は大きくなりそうだ。予算案はスムーズに流れていき、明後日出来上がるだろう。夜の時間が殆んど使えないので自己不満がつる。

2月5日（水）曇時々晴

九時十分出発。野村証券支店長挨拶うけ、十時から当初予算査定（特一会議室）項目ごとに三役中心に財政の方からさらにくわしく説明をきくのが今日の仕事。ひるまホテル・リューに行って鳴津・東定らと中食しながら問研の将来にどう対応するか近いうち主たる関心者集って話合ってみようということになった。三〇年たって閉鎖の危機が来ている。一時半から予算査定の仕事にかえる。五時まで。立つときやはり膝が痛かった。足の調子がよくないのだ。五時半からやま祢で西日本新聞社主催の恒例の新春会があった。知らぬうちに時間がたち八時すぎて散会。寒い中なので夜は別段仕事をする気にならず、湯に入り、早目に就寝した。

2月6日（木）晴

寒い日がつづいている。十時から当初予算の調整（昨日の残り部分）を行い、一時半から公害審査委辞令交付、二時から知事査定の申渡し。これは一時間ほどで終わったが、予算案の体系化その他で時間がかかり、六時半から山ノ上ホテルで開かれる睦会によくまに合った。睦会は私の知事就任以来の秘書室関係者の会、OBも含まれるが七〇人をこすという。今日の出席者は五三人とか。代々の秘書室長が出席し、初代の近藤栄次郎氏が会の代表。社会党の団長林武彦氏も列席してくれた。思い出の数々が交錯。ホテルのコックさんが作ってくれた祝いのケーキカットのセレモニーも、さらには明日に控えたみゆき誕生日祝賀の花

東贈呈もあり賑わった。あと帰宅し、麻雀卓を囲んで、うちで夜おそくまでさわいだ。

2月7日(金)晴

九時四〇分に桑原市長が来庁、三年後に予定されるユニバシアードへの協力要請があった。十時から三役会議。ここでは北九労働福祉事務所での職員による差別ピラマキ事件にどう対応するかを審議、これについては三時半から記者会見することになった。会見は約一時間、二時からの対話のつどいを挿んでの大忙しであった。四時半から県職労女性部代表との懇談会、六時から連合福岡の前会長坂本氏の「たたえる会」(ベルプラザ)に出席した。三年前県評議長をしていて、その中で連合福岡への転身、労働戦線の変革に身をささげ、連合福岡の初代会長として昨年十二月まで二年間基礎づくりに献身してきた人。機械金属労組出身だ。

2月8日(土)晴

十一時から飯塚九工大前での開発研究センターの起工式に出席。神事、私は施工者として刈初の儀と玉串奏奠に出た。又あとの直会では祝辞あいさつ。程なく退出して和自「すかいらく、で牧坂氏と待ち合わせ、中食を共にしながら、夏に予定している姫高同期生の会につき、準備作業の進め方を話合う。今日のところ四六人の出席が見込まれている。博多湾クルージング志賀島見物などを予想。別れて和自の看護専門学校での「実践訪問看護シンポジウム92」に出席、三時から。三〇〇人近い女性が結集、門司の松永県議が仲介者。小文字、和自病院がバックにあって、挨拶後病院の救急施設など見学させてもらった。和代から昨日は野菜などを送ってくれていたもので、朝、電話で礼をいう。

2月9日(日)晴

休務で在宅。一日中筆とつき合う。宿題に色紙一〇枚ほどと条幅もの五枚があって仕上げ、あとは句誌から好きなのを拾い例のように短冊風の紙に書きつづけた。一〇〇枚はこえるだろう。外の庭に出てみたが空気は依然冷い。東隣の梅畑の白梅は満開、うちの西庭の紅梅も満開である。誰も見てくれない、惜しいことだ。静かに黙って咲いている。坐ってばかりいるといけないと思うが他にすることもない。読書の根気も薄れたように思う。筆をもつのが残された能なのか。書斎は寒々とした感じ、いたくない。

2月10日(月)晴

決算特別委員会があるので知事保留が玄海レクリゾート構想と地域福祉振興基金についての二件につき、九時半から三役中心の答弁要旨研究会を行い、今日は結局一日それで暮れた。午後三時半に始った質問、自民党の佐伯氏と古川氏。後者の両問題について一問一答の様式に延々一時間半ほど踏張った。レクリゾートは芦屋の困惑した現状が念頭にあり、知事

は行詰りを指揮せよというのが質問の趣旨。後者は古川一人でやったのだが、ボランティアの行政とのほき違えの質問。相手がわかってないのに執拗なので、なかなか理解点に達せずもの分れのようだった。基金からのつき上げが困だろう。

2月11日（火）晴

休務というので昨夜から川上、是松の二人の来客により徹夜マージャンになった。四人共かなり疲れたようだ。朝の七時まで十二時間もやったのだから大変無理をしたわけ。三時頃起き出して快晴の中、やはり寒いので机に向って筆をとるということで時間を過ごすしか方途はなかった。いつまいていいかわからなかったがオネスティの種を十箇程に蒔いておいた。判断がつかないが春先がよくないのかと思っただけ。句誌をみながらの筆の運びはいつも楽しい。物いわぬ対象が私にとっていつも一番いい相手。自分の心が対象だ。

2月12日（水）曇

早目に起きてしまったので、ストーブをいれて資料読みに時間を使った。読まねばならぬものが身辺に多く、時間がかかる。十時半に出発、ホテルタカクラで全国植樹祭の実行委員会が開かれ、当日の日程と招待先について審議決定した。出された弁当で中食とし、後登庁。ひるからは日程にかかわるレクが次々とあり、決裁もした。午後六時からソラリアで、どんたく（福岡市民の祭り）振興会の創立三〇周年祝賀式典があり、どんたく振興に力を注いで来た人達の表彰が行われた。私も来賓代表として挨拶したし、どんたく衣裳に着替しての参加となった。重松さんが着替えを手伝ってくれた。祝宴にも途中までつき合い帰宅は七時半だった。外気はまだ冷い。

2月13日（木）雨

しとしとと降りつづいた。十時から黒田荘で、問研閉鎖意見について検討した。衣笠、嶋津、馬原、大塚の四者が来合、もう一寸努力してみることにした。中食して後登庁、一時半から社会党県政懇、三時十五分から交通死亡事故多発警戒宣言発令につき臨時の記者会見。そのあと職員会館（黒田荘代替）の用地を西部ガス跡地に求めることをめぐって三役会議で討議した。用地費だけで四〇余億円だから容易に決断できない。いずれ県庁近くに求めるのがベストとわかっていて政治的に上程しにくいとのことであった。早目に帰宅できたので筆を執る。明日に備えて資料読みもせねばならぬ。

2月14日（金）曇

十時からサンヒルズで暴力追放県民会議（財）設立発起人会が開かれ冒頭挨拶をしてすぐ北九州国際会議場へ。パスポートセンターを視察し環日本海地域国際交流シンポジウム関係来賓らと中食会に臨み、一時からシンポジウムが始まり、それが五時まで。三時半からのパ

ネラーとして私も発言席に、他は傍聴席にイヤホーンをつけて着席。五時半から小倉飯店で中国式の夕食会。国土庁も関与してくれた珍しい会合だったので、環日本海五ヵ国の新しい交流を目ざした各方面からの問題提起をきくことができた。県政にも参考になる。七時半帰宅。早目に就寝。

2月15日(土)曇

重なるしく曇り時に小雨さえ。休務だが外は寒々としていたので一日すっかり筆を握ってすごした。句を書いたり墨場必携を細字で書いたり特別の用立ての中味あるものではない。外は春近い声を伝える小鳥のさえずりがさかんである。侘助も終りかけているが西の崖の椿がよく咲いている。紅梅は盛り過ぎといえよう。バレンタインデーにちなんで四・五件贈りものがあつた。うち郵便二件。甘いものなので手が出ないのが残念だ。

2月16日(日)曇時に晴

県の青少年育成県民会議主催で大濠マラソンが十時から行われ、私は挨拶と最初のグループ三年生のスターターの役まわりであつた。雨が心配されたがマラソン日和ともいえるが空気が冷たすぎた。文字どおり子供は風の子。参加者は年々ふえており今回は一五回目だが三〇〇〇人以上は無理なので整理させてもらったといつていた。親たちも伴つていて公園出発点あたりは動けない程の人。私は走る能力もなく役を終えて帰宅、十一時だつた。今日は一日中ストーブを入れて又々筆を執つた。膝が不自由なので少しずつ形をかえて坐つたが夜は七時すぎから休むことにした。閑かな夜だつた。

2月17日(月)曇

九時四〇分から検診、数値はあまりよくない。十一時から教育庁スポーツ課から、平尾の森に計画中のスポーツセンターについて概要をきいた。スポーツ指導者養成や高令者対策もふくまれている。午後は県政懇。共産党、公明党、農政連の順。当初予算だから説明が長くなつた。夜は魚新で農政連県議相手の懇親会。六時から八時少し前まで。外はひどく寒い。明日の日程がきびしいので無理はできない。睡眠は十分にとつていたつもりなのに日中頭が重い。どこか体調に異常があるようだ。近頃何かにつけ意欲が湧かないのが我ながら不思議。自重が更に求められているようだ。

2月18日(火)晴

庁議のあと長寿社会対策推進本部会議を開いた。予想上まわる高き速さの長寿化が進んでいるとの資料が出された。記者会見では二月議会提案の条令、予算概要知事コメントを行つた。十一時から代表者会議、午後は県政懇。二時県民クラブ、四時から自民党対象のが最後になつたが、これはホテル日航で行いあと夕食懇談会。議員も多忙らしく、こうした会議に

十分時間のさけない人が少くない。夕食会も早目にすぎ帰宅は六時頃、まだ西に陽は落ちてなかった。時間をえたが、今日は書齋で筆墨を持った。久保研介氏の例の細字手紙が来て、ブラジルで遭難したという事だったのでお見舞の返信を書いた。東区の前田県議の急逝の報があった。

2月19日（水）晴

午前中叙位叙勲の伝達式を行った。学校長レベルの死亡叙勲である。一時半から「女性の翼」、参加者相手の「対話のつどい」一時間、昨秋西欧を旅行した人達である。三時半からグラフふくおか取材の対談。田川の県立大学開校を材料に安藤延男学長が相手。社会保育短大が四年制へと変容する。これで田川地区がぐっと明るさを増すと思われる。三月中旬に入試があり、四月から新開されるユニークな大学になることが期待される。五時半東区香椎某葬儀場に前田憲義県議の通夜おくやみに行く。急逝だった。六時すぎ帰宅。夜は筆墨の手なぐさみにあてた。まだまだ寒い。

2月20日（木）晴

十時二〇分に出発。十一時一五分から防災功労知事表彰。災害の多い一年であった。対象は消防団、消防職員、自衛隊である。午後、公害対策審挨拶。二時頃春の甲子園選抜出場の二チーム代表（福工大付属、常盤）が挨拶来室。そのほか今日は二月議会前の案件決裁が延々とつづいた。上川端商店街会長の澤木店長を表敬訪問のあと検診。血圧がすごく高い（一六〇と八〇）どうかしたのだろうか。糖の値も高い。腔内つばのねばりをひどく感じるのわかる。五時半頃帰宅。夜はこれ亦なすすべもないが例により墨と筆の時間とする。これが何よりの楽しみである。書きだめがたまる。

2月21日（金）晴

雲の多いまず晴というべき天気。午前中家にいて又筆墨。一時一〇分海外研修生十三人修了式、あと知事室で工業技術振興会議委員辞令交付式。工業試験場の早期脱皮を目ざしているので活躍してほしい。二時から二月補正予算についての説明。まずまず順当に残りも出た。決裁のあと、芦屋町のマリーナタウン計画について関係の職員に来てもらって勉強会。二月議会では必ずしもめするだろうが、町の方で議会、執行部、住民がもめているし、第三セクターが及び腰になっているので漁協など関係期待方面との意思統一をしてるのが先決の事案。夜六時半から山ノ上ホテルで北九末吉市長とこんだん。

2月22日（土）晴

休務。ぼかぼかと照る春日和の見本のような天気だった。でも部屋にいとストーブが欲しい。朝から寝るまで筆と墨を友とした。宿題になっていた色紙五〇枚近くを書かねばと心に

決めていたので動きたくなかった。端切れ用紙に墨場必携の中から好きなように書いて貯えもした。単純作業ながら何か意地のようなものが作用しているのも確か。午後裏庭の藤棚にのぼって延びて落葉した蔓を剪定した。体力を使うので一時間余りの作業ながら疲れを覚えた。年に三回は剪らねばならぬ藤棚なのである。

2月23日(日)晴・夜小雨

連休。筆墨の仕事は昼過ぎに終わったが、印のつき方を間違ったり、いら立たしく時間をかけねばならなかった。春陽の光をあてるために蘭の鉢を外に出してやった。よろこんでいるように思える。坐っていて立つときに膝がいたいには弱った。二時すぎに篠原さん二人組が来てマージャンの午後になった。どんどん仕事していたので遊んでも悔はない。八時半までやった。明日もって行く揮毫が終っていたので楽しい日曜であった。国際的貢献という言葉がやたらと出てくるし、アメリカが他国に介入しすぎる近頃の国際関係は何とかならないだろうか。

2月24日(月)晴

今日も冷い一日だった。八時四五分から天神で交通死亡事故多発警戒宣言につき街頭キャンペーンをした。寒さのためもあるが関心は薄いように感じた。このあと検診と散髪で午前中終る。午後は幹部研修の知事講話。今の話題「差別チラシ」問題研修である。三時から朝の放送録音、RKB ニュースワイド五〇〇回に関する取材(録画)を受けた。昭和五〇年からやっている番組だという。このあと、三月に行う県職員ボランティア植樹行事について計画をきいた。県下二カ所で行う予定のもの。あと今日も決裁がつづく。姫路の兄の法事についての予定を決定、三月中旬二回姫路に行くことになった。県議会中、大変なスケジュールである。

2月25日(火)晴

九時半に出発し、まだ残っている当面の決裁をすませ、いよいよ二月議会当初予算など「提案理由説明」で演壇に立つこと約一時間、八〇ページに亘るものを緊張して読む。降壇のとき膝が痛いのを覚えた。声が小さかったとあとで評された。二時二五分発のANAで上京、明日衆院議長公邸で五月の全国植樹祭計画を決める実行委員会に出席のためである。四時すぎに東京事務所につき、若干ゆとり時間があった。六時半から新宿で自治労に出ている矢野さんからご馳走になった。県秘書室の家永、白石も陪席した。特定の目的をもたぬ骨休めの時間になった。ふくおか会館に帰投し就床したのはもう十二時になってしまっていた。

2月26日(水)晴

ふくおか会館で八時半食事したあと、午前中事務所で句誌を読むなどして時間を使い、中食

も植樹祭関係で上京した職員と会館和食室で共にし、午後一時すぎ衆院議長公邸に行った。議長が国土緑化推進機構の会長で一時半から植樹祭特別委員会が公邸で開かれた。林野庁長官も出席である。県の水産林務部長が植樹祭実施計画概要を説明し、方針が決定された。一たん事務所に戻り、再出発して四時から宮内庁長官に「お執り成し」を依頼した。澄田緑化推進機構副会長と共にである。行事はこれで終了。予定より一時間早目のANAを使用し、帰福することができ、大濠の平和楼で夕食し、帰宅したらもう九時半近かった。今日は睡眠不足の感じ。

2月27日（木）晴

朝食ぬきで済生会病院へ。人間ドック。毎年この時期にドック入りしていると思う。今年は膝をみてもらうことを一つの目じるしとしている。エコー、心電図、CT、時間をきめての採血などあわただしく時は流れた。秘書室の方からもあれこれ連絡者が出入し、公務が尾をひいていることをさけるわけにはいかない。小川院長が判明した分だけ資料により病状を説明して下さったが、平素からの糖、肝以外はどうということはないようだ。老化のせいだろうが動脈硬化の兆しが出ているようだ。血管に石灰質がというような話。夜が長いというのが入院での共通の感じ。でも元気だからそういえるのではないかと思うとこれも有難い。午後九時にはもう就眠だ。

2月28日（金）曇

昨日からのベッド上の生活は暖房なしでよかった。外気もずい分高温らしい。嫌な胃の透視、食事抜きで九時から。整形外科の先生もみてくれて膝の痛みは運動不足からということ。室内での足の屈伸につとめるよう指示された。昨日の眼科では白内障が悪化してはいないが目薬をもっとひんぱんにさすよう指示された。正午までで予定の検査科目は終了、小川先生からフィルムで透視所見をきかせてもらった。とりわけ注意すべき新しい症状はないので従来どおり、糖と肝について今後とも注意して生活していくほかないということである。病院で中食、そして帰宅。腸の調子、何となくむずむず。胃の透視のせいで、午後は半病人。

2月29日（土）曇後雨

ドックのあとの体調あわせの休務で朝から筆をもっていた。三時に迎えが来て夜の行事。一つは四時からの社会問題研究所の三〇周年記念行事。九大斎藤教授の講演と記念パーティ。私は後者のみに出席。具島、嶋崎、松本（大阪）の顔もみえ、多くの人が今後の間研活動を期待してくれたが、病期勝ちの衣笠氏の後継者がいないのが致命傷なのである。問題は運営継続の資金が一番のネック。みんな年老いて、こう変わっていく社会で、やってみようという人物がいないのだ。午後七時からニューオータニで「ひとり芝居」で芸術祭賞をうけた中

西和久氏の受賞祝賀パーティがあった。「しのだづま考」が受賞対象という。八時すぎ帰宅。

3月予記

二十五日まで二月議会がつづく。代表質問も一般質問も、「ゆくえ知らず」の議会である。それに、姫路ゆきが二回。八日に英賀保裕一宅で兄七二の七回忌法事、十四日に姫路駅近いホテルでの横田健の結婚式で両方とも出席しなければならない。みゆきが負傷して結婚式に行けなくて、十日から済生会病院に三泊の入院となる思いがけぬ故障がおこり、十五日から十日間和代が手伝いに来てくれた。月末には年度がわりで県幹部職員の人事異動が問題になってくる。大変な一ヵ月だったといえる。夢のように繁忙な日々が去っていく。

3月1日(日)曇

今にも降らんばかりの曇天ところによって県内でも降っていよう。昨日は夕食時前後降りにも降った、吹いた。夕刊は春一番と報じていた。正午から天神で緑の月間植樹の募金運動に参加した。四月下旬の気温というので街に出て来た人は浮かれてみえる。自分の時間を楽しんでいる。一時頃帰宅して中食したが余の時間は一昨日から受けていた宿題の揮毫、道路開通碑文書きに骨折る結果となった。三時すぎ例の篠原さん二人が来宅、マージャンの午後になった。十時頃から、明日の県議会代表質問初日の答弁原案を下読みした。昨日、今日も、暖かい日であった。

3月2日(月)曇夕方一時雨

各派代表質問はテレビ実況放送があるため、午後一時すぎから始まる。九時半から答弁案の検討会。代表質問のトップは新宮松比古(自)、次いで白石巍(社)四時十分を終る予定が三〇分超過、終ってから連合福岡の要請うけの会となった。最賃、時短、学校週五日制への対応が要請の柱であった。決裁をして後、六時から議会レストランキングで防衛議員連の懇談会があり出席挨拶した。陸空自衛隊の幹部その他、関係団体代表が列席していた。この議員連には社共以外の六〇余人がはいっている。乾杯のあと帰宅。この前後雨が降った。春の人事が話題。

3月3日(火)晴

新暦の雛祭りの日。関連イベントがあれこれあったようだ。今日もひるまで二時間半、代表質問の答弁検討。一時十分から四時半まで倉重(農)、豊沢(民ク)の二人。後者は意識的な知事への悪口雑言。得意がっているさまは、かえってあわれに感ずる。県政の振興に一寸も寄与しない。終ってから社党控室にゆき、団長に弘漁協のことで挨拶。あとレクと決裁。消費者行政につき、訴訟問題につき決裁保留のものにつき課長から特別再説明をうけたが、消費者を甘えさせる行政姿勢につき、知事になってはじめて賛成できないままでの決裁サ

インとなった。行政への甘えは他にもいたるところに見られる。困ったものだ。六時四〇分に帰宅。冷えが戻った感じ。

3月4日（水）曇後小雨

答弁資料勉強会のあと筑豊ウエルネスパーク整備促進につき、庄内、颯田両町長らの陳情、炭鉱労働組合の要請があった。代表者会議が十一時から（二月補正について提案）、一時から本会議。最初追加提案知事説明、次に最後の代表質問一人、公明党の岩佐光徳氏。三時前に終って、少々多目の決裁。四時すぎから検診。血糖値が三四〇をこえている。県議会で緊張のせいかも知れないがやはり要注意一段と（ひどくダエキが粘るので自分でわかっている）五時半に帰宅でき、俳句の小島氏と姫路の小島和代に電話連絡した。県の文化功労知事賞制をつくる方向がほぼ見とおしがついた。

3月5日（木）雨

答弁勉強会を早目に切り上げ十時四五分から先日死去した県議前田憲義氏叙勲伝達。十一時から一般質問六人、午前中二人、午後四人。高山日出徳、藤崎充子、塩塚茂嘉、吉安蓉子、松尾剛健、竹田信一の各氏。快い発言ばかりであった。そして積極的な内容だった。終って四時から在日朝鮮人総連からの要請を受けた。指紋問題はなくなったが、証明書常時所持義務、罰則は残るし、ほかに職業など差別は依然残っている。国民保険などふくめてなかなか日本人との差別はなくならないので要請行動になったようだ。早目に帰宅することができた。五時すぎゆとり時間は又筆を執った。手なぐさみに過ぎない。寒さが戻った。コタツもストーブも必要だ。

3月6日（金）曇小雨

八時半からの答弁案検討会、一般質問二日目の五人分。十一時一五分から午後三時半まで西原、林裕二、広田誠一、橋詰、村瀬の五人。一般質問は次の月、火の二日分残るが、この分が嫌な内容らしい。議会に没入しているここ数日がかえって心おだやかである。あれこれ忙殺されて肉体を使っているからこそ健康が保たれているのかも知れない。五時半に東区若宮に前田憲義告別式に行けないために霊前おまいりのため訪問した。無理ないいい方だが、急逝ということは本人にとって幸せだったかも知れない。苦しみが少いからである。そんなことを考える自分を笑いたくなる。六時半帰宅。雨は小粒、降るともなく止むともなしに……。

3月7日（土）晴

快晴。休業なので外に出て鉢物の置きかえなど、なぐさみごともできた。午後二時二〇分川上氏の迎えで博多駅へ。新幹線で姫路へ。七二兄の七回忌法事に二人で参加する。六時少し

前定刻どおり着き和代夫妻が出迎えてくれ、網干の小嶋家に泊めてもらうことにしていた。もう年だから一夜歓談することになっていたが、九一夫妻が来たのは予定のすき焼き夕食会がすんだ九時すぎだった。マチが引越すので引越仕事手伝いに時間がかかったとのことで、それでも十一時半頃まで筋書きのない話に使って果てた。朝のうち条幅書きができた（二枚）のが、成果でもあった。和代の長男一家五人とも夕食ができて楽しい夜でもあった。

3月8日（日）薄曇

外はまだ寒い。八時頃起床。身をととのえて和代夫妻と台所で朝食をいただき、芳男氏の車で裕一宅へ。十時から兄の法事、十二時すぎまで。あと法事の中食。裕一の弟、甥晴久、雅明も来た。裕一は家を新築したばかりだった。今様の十分な広さの家だ。坪当り六〇万余かかるという。金策は何とかできるようだ。若い人たちの勇氣ある発想におどろく。兄七二が新築した家を二五年ほどでこわして改新築したのだから大胆だし能力もあるといえる。三時八分の新幹線で博多へ。川上氏が駅で待ち合わせ。芳男氏を送ってくれた。六時半に帰宅することができた。身辺整理。

3月9日（月）曇・小雨

朝八時に出発、夜八時半帰宅しての夕食というきびしい一日になった。午後小雨まじり。今日は県議会一般質問、重野正敏、井上幸春、古川忠とすすんだが、ここでストップ、約三時間の「空転」になった。古川氏の再々質に答弁が出ず、議長（松山氏）の私への発言指名に私が立たなかったことで審議が止った。議運、自民党への陳謝など含め、再開本会議で陳謝させられ、議長が日程終了を宣したのは午後六時四五分であった。このあと、県職労の井田委員長との意見交換や明日の答弁下打合わせなどに時間を要し、帰宅がおそくなってしまった。横須賀の久美は慶応大学に行くことに決めたとのこと。まずはよろこばしいことだ。希望をもって頑張ってもらいたい。

3月10日（火）晴

昨日と同じく答弁勉強会、ついで一般質問最終日。冒頭、林県議（社）が前田憲義氏追悼演説、つづいて田中久也、井本宗司、藤田一枝、森田俊介、藤田陽三と質問者がつづいた。予定どおり進んであとは常任委員会付託などの議事。終了後、レク、決裁。四時すぎから検診。近頃血糖値が高く、今日は三六〇と尿はプラス四、議会中とはいえ高すぎる。自覚としては口腔内ねばりがひどいということだ。五時すぎ帰ってびっくりした。みゆきが二階の階段から落ち顔面いたるところ打撲傷をうけていて、口腔にも歯にも負傷している。すぐ横にならせ、私はひとりで夕食彼女は寝込んだ。食べられないし熱もある。物を運んでいて階段足を誤ったという。

3月11日（水）晴

RKBの録画「西日本宝くじについて」収録、九時半から。十時半に助信後援会の庁舎見学団と知事室で写真うつす。あと延々午後八時すぎまで、議会の委員会審議のなりゆき見守りの時間。土木と農林の二つが問題を抱えた委員会。このあいまに三役会、人事課長から四月人事異動の素案につき説明をうけた。課長級以上について骨子は了解。大濠で中華式夕食をすませ、帰宅おちついたら十時半になっていた。朝出発のとき同じ車で、幸が済生会病院へ。昨日の階段落ち打撲傷診察入院。とくに骨折などはなかったとのこと。一日泊。又県警本部から、植樹祭がらみでセンサー取付け工事。川上氏が対応してくれた。

3月12日（木）晴

九時半家を出て、あと県議会の成りゆき待ちがつづいた。土木、農林の二つの委員会で時間がかかっている。その間句誌を開いて読んでいった。本会議が開かれるようになったのは四時。“二月補正、など早期議決を要するものがあり、本会議は事なく通過した。議会は六時頃まで二時間近く。そのあと部長会で明日の予算特別委の進め方につき、社会党の林、松永両氏をまじえ、腹ぎめをおこなった。林氏は予特委の副委員長、松永氏は議運の副である。今日は朝登庁前、夕方帰宅前の二回、済生会病院に立寄って、見舞かたがた次の姫路ゆきについて、みゆきと打合わせをした。結婚式は欠席ということになったので、明朝までの間に準備すべき打合わせが少なかった。七時半帰宅後、夕食ほか諸準備にてんてこ舞いだっただ。カネ、服装のことなど。

3月13日（金）晴薄曇

九時から検診。レクなどあり、午後二時からサガ・テレビの国際空港についての取材に対応。決裁ののち五時三六分博多発新幹線で相生へ。川上氏同行。章と倭の二人が迎えてくれ、佐方に着いたら九時すぎであった。スシの出前を囲み夕食。春雄ばあさんは腰を痛めているものの健康という。章がひとり台所もきりまわしている。倭、和子も来て明日のことなど打合わせ、おそくならないように気遣いして別れた。健の結婚式がサンガーデンホテルで、ひる頃から行われる。近頃は何かもこうしたホテルなど受け皿となってくれるから昔のような家庭の騒ぎはせずすむ。服装を整え行きさえすればよい。みゆきは怪我で急遽欠席である。

3月14日（土）曇

佐方八時起床。九時半に茂の車で姫路へ（章も）。新幹線口のホテルサンガーデンで横田健の結婚式披露宴、神式。相手は前田美恵。式は親戚筋だけ、宴は双方の職場、友人等も加えて総計七〇人余、最少限のようだ。一彦も従兄代表で来参。宴が終ったのは午後四時であった。十一時半からの式だから四時間半。健は更にこのホテルで打上げ会を友達と共にし、こ

ここに泊、明日から南ヨーロッパ新婚旅行という。私は宴後の余った時間を一彦と共にし、久しぶりに白鷺城など散歩し、午後七時五分発で福岡へ。一彦が二〇分あとの列車。川上氏が同じ列車で同行してくれ、十時すぎ帰宅。みゆきは午後退院したという。

3 月 15 日 (日) 雨後曇

昨夜十時ごろの帰宅時の秘書室からの連絡で今日の植樹祭りハーサルはとりやめとなったが、予測どおり早朝からかなりな雨となった。みゆきは昨日午後退院したが未だ健全回復とはいえず元気がなく私がかかり家事に関与した。ひるすぎ雨は止んだ。四時頃和代が姫路から手伝いに来てくれた。夕食づくりから早速お世話になる。一雨ごとにというが、土に雨がしみこみ、木々の芽がふくらんで、もうすっかり春になったといえる。別段なすべきこともないので書齋で手紙をかいたり、習字をしたりで今日の休務は過ぎていった。昨日、岡茂男氏から関税についての著作集二冊を送って来た。奮発している。

3 月 16 日 (月) 雨

八時四〇分に出発し、九時から検診。先日来のみゆきへの配慮に謝意をあらわしておいた。十時半、被団協の陳情があり、一時半福銀本店講堂で「少年を暴力団から守る大会」があり出席挨拶。あと産業研に嶋津氏を訪い、徳本大屋慰労会につき打合わせをした。一日中小雨が降りつづき春が十分わかるほど土をしめらせた。夕刻決裁と委員会（議会）の知事保留に対する説明をうけたが、他の時間は待機で、句誌を読みつづけていた。六時半すぎに帰宅できたが、自由時間は限られてしまった感じ。開会中の日程だから仕方がない。気分はゆったりしている。桜の蕾大きくなる。

3 月 17 日 (火) 晴後小雨

九時半に出発して議会の動きに対して待機しつづけた。途中、山西省の視察団に対応、これは大牟田と姉妹提携している大同をふくむ省からの農業技術視察団で長谷川県議の案内による。議会の予算特別委員会は今日終了。知事保留が又ふえたそう。明日これに対する答弁の勉強会をすることになった。嶋津氏の主張している知事主催の学文の会懇談会は二十七日ということで川上氏があれこれ連絡をとってくれている。二〇人近く集るだろうという。夜になって小雨が降り出したがもう大地は十分にしめりができている。少々寒さが戻ったようだ。西の路地に淡いピンクの椿花が二つ咲いた。北側の八重とあわせ四種類の椿が咲いているわけだ。ミツバも新しい葉をたくさん準備した。

3 月 18 日 (水) 小雨後晴

午後に宝くじ幸運の女神訪問とブラジルなどからの県費留学生証書授与式が公式行事。あとはすべて議会対応の会議や待機。九時発、九時半からそうした時間が流れた。九月からの

学校週五日制への対応が問題になっていて、夕刊では長崎県議会が「時期尚早」の議決をしたと報ぜられるなど、反対の住民が多いことを反映し、自民党が踏んばっているわけだ。教組や社共は五日制に反対でないが、長崎では自民、民社が反対だったようだ。文部省は九月から月一回土曜休業を打出したが、ここに至るまで五～六年かかっている。国際的な流れにむしろ遅いといわれているのに、長崎で一寸待てといっていて、これがわが県にも…。

3月19日（木）曇

九時すぎから検診。血糖二五一、尿糖土。相かわらず高い。十時半から県卸売市場審議会の答申。あと、レクが三件と決裁があったほか、午後六時半まで常任委員会の成りゆきで待機。全常任委が済みそうだ。二つが二三日にもち越した。残余の時は読書して部屋でポツネンと一人で過ごした。昨日林団長に伝えた希望が大きく伝わり、二十三日に和代たちを広川の苺園に案内する話になってきた。まずは彼女へのお礼サービスだが町園芸連に迷惑をかけるので、どうお礼すべきかに迷うことになるわけだ。明日の星野村へのボランティア植樹につき森山氏がレクに来た際、中国の春秋戦国に関する本を置いていったので、当分これを読むことにしたい。

3月20日（金）雨

朝八時十五分発で夜九時半帰宅。星野村村有林ボランティア植樹、星の文化館（天文台、八女伝統工芸館）。北へ走って小倉ステーションホテル陣矢県議藍綬褒章受賞祝賀会出席挨拶。その間雨が降りっぱなし。植樹は昨年九月台風十九号での村有林倒木あと、県職員二五〇人若干の家族参加。雨がかなり降り出して大変だった。二千本の欅植樹。県ではもう一箇所香春町で檜苗、同様規模の行事があった。林業家の意気銷沈に励みをつけばとの意味で職員ボランティア（交通、弁当自前）をやってみたのである。三五年ものの杉が無惨に折られ何十町という被害があり、私有林では手がつかず二%しか復旧していないという。

【欄外記入】

八女伝統工芸館 日本一大型物壇完成記念式

星の山温泉池の山荘 星のふるさと公園（天文館と宿所）

3月21日（土）一時晴

十一時五〇分迎えが来てメルパークへ。「トークインフクオカー女と男」というテーマでの県女性対策課の行事があり、パネラーなどの中食と開会冒頭の挨拶。一時ごろ帰宅。前の家で秘書室関係者九人の出席を得て、雛壇を前に宴会。夜の七時頃に散会。和代も手伝ってくれてわが家の方で、食事を準備した。みゆき負傷への見舞に対する礼の気持を併せてのこと。彼岸の中日は昨日だったが、あれこれ含意していた。橋本、高木、葉玉、斎藤、原口、山口、重松、久米井などみんな軽快に食べ語り、マイクを握った。余の時間は又又筆を握っ

て写句することになった。病みつきになったように、句を書いているこの頃。

3 月 22 日 (日) 晴

すばらしい天気。植樹祭のリハーサルに向けての予習のため八時半に出発して夜須高原の現地へ。四月十二日が総合リハーサル。こまかい行動は頭になかなかはいらない。標高四〇〇メートルという。高いから空気は冷い。快晴だからよかった。午後一時半に帰宅。中食のあと、気になっていたサボテンなど鉢ものの土壌を入れかえ作業をした。暖くてよかったものの、近頃は一寸した作業でも疲れを感じず。表の庭の八重樺のアカ色が西陽に映えて美しい。夕方以降又筆をもって句を墨書。最近はこれが執念のようにになっている。全く春になった。庭のどの木も芽を伸ばしている。

3 月 23 日 (月) 小雨

菜種梅雨というのであろう、昨日の快晴はどこへやら、今日一日中小雨。県議会は知事保留質問の日。常任委では質問なしとなり、予算特別委のみとなった。それも四人にしぼりこまれ、学校五日制への対応のことで一たん休憩して議論。議事運営の整理が行われ、一時からの保留質問も午後四時には打上げとなった。浜中、林の老練正副委員長のさばきで混乱しないように五日制問題を今後にもち越すことで決着づけてもらった。五時すぎ帰宅の途次、五月の植樹祭へ案内している小島隆保氏宅（地行西町）に立寄って更に詳しく案内した。帰宅したら朝から広川町へイチゴ狩りに出ている和代と幸も帰ったばかりだった。夜はイチゴ狩り関係礼状書きだった。

3 月 24 日 (火) 小雨

一日中小雨がつづく。九時半に出発。検診のあと登庁。レクがどンドンつづく。年度末で行事が多く県議会あけ数珠つなぎである。三時頃月はじめ、年度はじめの知事放送録音。決裁もかなりな件数だった。のんびり構えていたら六時を過ぎてしまった。帰宅途次大濠舞鶴公園の桜花はもう二分咲きになっているのを見て驚いた。今日の録音で桜満開といったのが気になる。和代が姫路に帰る。一週間居てくれたのだろう。家事手伝いだがまさに人手不足の時代である。林団長からの電話で、以後女性副知事問題に着手すること。

3 月 25 日 (木) 晴後小雨

九時半から三役会議（歯大改築、中国姉妹締結、国際空港）当面の課題につき話合う。十一時代表者会議（人事議案提案の件）午後一時から本会議。全案可決で終了後の挨拶まわりと部長会、あと決裁がつづく。午後四時からニューオータニで済生会支部理事会、評議会、セクションごとの年度決算と予算、そして懇親会。六時からシルクロードをめぐる国際シンポジウムのレセプション、挨拶。今日の日程は終えたが明日もつづくシンポジウムである。世

界の歴史の重要ポイントを相互に探求し合っている各界有名人の集いである。

3月26日（木）曇・小雨

今日は休務。昨夜は済生会関係者と麻雀をしたので八時半起床。一日中小筆をもって俳句を書いて果てた。春の気分を句を通じて味わっている。桜はもう四分咲きだろう。まだストーブが必要。フィンランドからライヤの母が四月はじめに来るということに関し、当方の予定につき電話連絡しておいた。忘れっぽくなって花の名が出てこないで、蔵書の中から「四季花ごよみ」（春）を引き出し、参考に見、思い出しに利用手助けすることにした。夜はゆっくり時間を過ごし、早目に就床することができた。まだ電気毛布を使っている。

3月27日（金）曇後晴

十時から青少年健全育成対策本部会議、シンナー禍が問題。十一時から企業立地推進委員（花村、斎藤、江崎その他）との懇談。あと中食すませ林副知事が飯塚、宮田を案内した。一時半からレディス・トーク委員十人相手の「対話のつどい」。ゴミ問題が中心になった。家庭女性がゴミ問題に強い関心をもっていること、市町村で対応が違うこと、県の広報を強調されたことなど印象的であった。六時からニューオータニで企業立地推進委と夕食会。そして七時からリーセントホテルで学文の集い（夕食懇談会）大屋、荒牧、徳本の三人の職転、送る夕べを開いた。具島、内田、岩崎ら知事選バックの先生方が十人ばかり集ってくれた。九時に散会。次期知事選は濃霧の中。

3月28日（土）小雨

二日連休になった。宿題の揮毫にまず着手した。二〇枚ほどの色紙を書いて後、午後なかばからマージャン会になった。是松氏と篠原夫人が呼び出され、スシを取って夜おそくまで遊んだ。“花ごよみ、春の巻を取り出して気づいたのだが、草木の名によみにくい文字がほとんど使っており、俳句をする人がそうしている理由がここにつながっているように思えた。

遠目にも白こそ風の辛夷なれ 野見山朱鳥

二ページを使って写真あり。檜山の中にこぶしが点々と枝を茂らせている。

一山に一樹のみある夕辛夷 能村登四郎

3月29日（日）小雨

昨日の墨は使えないので又擦りなおし、今日は条幅四枚の区切りに達し、押印もすべて終えることができた。裏庭に出たいのに、小雨が止まない。書斎から見えるマンション端の桜花はもう満開ではなかろうか。仕事しながら居ながらにして花見ができる。すぐ下東南山際の山桜も満開のようだ。うちの連翹は花が落ち新芽が快く吹き出している。柑柑を取って食べつつある。かなり多くの実が楽しませてくれる。木蓮はまだ蕾が小さい。化儉草（えびね）

はこれからだ。

3 月 30 日 (月) 晴

久しぶりに太陽を見る。桜花満開だ。年度末、人事内示その他あわただしい。中国からの表敬朝のうち二件。武漢政府経済委と江蘇省交流公司視察団、それぞれ交流促進が目的。十一時から女子大学館及びサークル棟落成式。二時からリーセントで青少年問題協議会。シンナー乱用につき対応答申案審議。週学校五日制の経過報告も。四時四〇分九州大学の訪問。九大が大学院中心（教養部廃止）と西区元岡への移転の案がほぼ固まったと、県への協力要請を兼ねてである。このあとレク決裁。年度末人事内示としては秘書室長は佐々木になる。家永は民生部長に、川上は残留昇進とのこと。

3 月 31 日 (火) 曇後小雨

暖かさは十分。午後又小雨になった。春野菜が日照不足でできないという。九時から辞令交付、庁議・記者会見、松山工業用地売却調印式（六社）。一時半から墓参帰国者・県費留学生などブラジル・ペルー系の人達の表敬訪問。年度末三〇五人の退職者辞令交付式が十時半から講堂で行われたのが今日の大行事。明日はその穴埋め人事異動になるが、一人強く抗議の拒否を表明する者がいてその説得につきバタバタがあった。六時から博多駅近くの八仙閣で武漢市経済委員訪日団社会党歓迎レセプションがあった。李梅芳さんによろしくということができた。武漢に来てくれといわれたが、チャンスがつかめない。

4 月予記

新年度が始まる。人事がうまくいったかどうかためされる。植樹祭の準備で大変だが、とくに精神的ストレスが大きい。フィンランドからライヤの母が東京に来るので、当方もそれなりの対応をしなければならない。この機会に一彦、啓二両家族が合流できるプランも必要である。上旬にサリが小学新一年生になるのでフィンランドの祖母は実際にその目で確かめたいので来日したといえる。国会、皇居、浅草というふうに計画を立て十五日に桜を見る会があつて上京せねばならぬので、その前後三日を日程に組みこんだ。大連—福岡 ANA 便開航を記念して一泊というあわただしさで大連に行く。建設が進まぬ中国事情が気になる。

4 月 1 日 (水) 小雨後曇

八時五五分出発。個人的辞令交付、あと十時から課長級以上三一三人の幹部辞令交付、挨拶。つづいて十一時半から六〇分間、大野城の職員研修所で新採者研修の知事講話。三時から又辞令交付。あわただしい新年度はじまり。今日から秘書室長は佐々木、前室長家永は民生部長に。三時半に土木部に東九州自動車道対策室の開設かんばん掛けと挨拶。あと決裁がつづき、四時から検診。両数値はいぜん高かった。帰りが早かったので是松氏を誘い込み川上氏

もメンバーになって夜はマージャンに充てた。年度はじめの多忙さは平年と違うように感じられる。降雨が異常に多いので心配である。

4月2日（木）晴

久しぶりの晴天。桜花満開。暇をみつけ、西公園に行って（川上、広末と）ホカホカ弁当で花見のひとつき。誰しも同じ、花見客はどんどんつめかけていた。九時半から今日も庁議・記者会見、公共事業前倒し発注の件である。十一時から東急ホテルでYASソマリ안의オープン式。矢部村、杣の里の共同事業福岡でのアンテナショップだ。三時半から武野要子先生と「県女性史」を素材にグラフふくおか取材の対談。三時五〇分からツインドーム・シテイ会社々長の表敬（ダイエー中内正氏）。六時から西中洲春駒で太田、二子石ら退職部長四人の送別部長会。九時近くまで。

4月3日（金）曇

午前中は在宅。俳句の吟味で楽しく送った。十二時四〇分発大野城市の新築商工会館で県内市長会総会があつて挨拶。あと帰庁してこまごま。四時から三役会が開かれ、筑後地域の広域県立都市公園の位置について審査報告を中心に説明があり、報告書の通り筑後・瀬高にまたがる船小屋温泉中心のゾーンを候補として決定し、今後構想にとりかかることにした。あと一件、昨年の台風禍倒木による二次災害発生予防のための作業に自衛隊の応援を求める件、大分・熊本両県、中央との関連をきく。夜アメリカから直美が帰宅した。雛を見て……。

4月4日（土）雨

今日明日二日つづけての休みとなった。週休二日制とは関係ない。退屈する人もありえようが私の場合時間さえあれば筆をもつことにしているから、今日は小筆をもって、どんどん俳句を短冊に書いていった。雨が小やみなく降りつづいた。桜見の客をあてにしている花店はあてはずれでがっかりしているだろう。四月はじめフィンランドからサリの祖母が東京に来ているが私どもが会う予定は十四日になる。退屈しないように相手をせねばならぬ啓二宅は大変だろう。サリは六日から新一年生、直筆の手紙を今日くれた。

4月5日（日）晴

朝のうち曇っていたが、午後快晴。犬、猫、子どもたち、小鳥も、にわかにも目立つようになった。汗ばむ暖かさである。昨日から考えていた通り、朝から墨をすって一日中揮毫。色紙五〇枚と条幅五枚、精こめて仕上げた。押印して片付け終わったら午後七時になっていた。外に出て春光を浴びながら雑草取りもした。秘書室の重松女史が明日から異動するからといって母親を伴って挨拶に来宅した。赤飯やスシも手づくり弁当の形でおみやげにいただいた。スズランの芽が出ているのでよくみると蕾を一ぱいつけている。

4 月 6 日 (月) 曇

桜花はまだまだいけるが、晴れない。九時二〇分から辞令交付。役付職員六百人を二度に分けて講堂でやらされると、名をよみ上げる間立っているのが辛い。一時半から「ふくおか見聞録」という広報の RKB 録画、まずは OK となり安堵。三時二〇分、日航から表敬。新たに函館便を開設するのでオープン式に出てくれという。ローカル線で各社激戦のようだ。四時から明日の記者会見レクが次々テーマをかえながら続いたが、嫌なことがありそうだ。当って砕けるしかない。六時すぎ帰宅したが、フィンランドからの客の接遇につき上京もするので、一彦、啓二の両者に来る十四～十六日の計画概要を電話。

4 月 7 日 (火) 晴

九時から庁議、記者会見。江沢民中国総書記の来福の日程で右翼が問題化しているという。飯塚の幸袋に福岡ソフトウェアセンターができるオープン式。第三セクターでシステムエンジニアリング人材養成機関、全国で十二番目のこの種人材養成所ができ産学官協力体制ができる。一三時半から十五時四〇分まで九州寿会館で関係会議レセプション。帰りは八木山峠を通り車内から桜見を楽しんだ。帰庁して宝くじ幸運の女神が六人で表敬。レクもあり六時から和田伴で県警本部の幹部と林県議、副知事、知事、秘書室長が招待され当面の植樹祭のごくろうなどねぎらって雑談しながら夕食会、八時まで。

4 月 8 日 (水) 晴

江沢民総書記の福岡入りについてのレクが十時半から。国博誘致、稲作などの展示を文明交流展としてやりたいことを西日本新聞社から要請してくれということである。植樹祭につき又少し打ちあわせをしたが、何回やってもあたまにとどまらぬので困る。右翼左翼も天皇をめぐって動くだろうし、私の行動作法もこまごまむずかしい。一時半から市民会館で暴力追放福岡県民会議を法に基いて法人として(第三セクター)再発足するための設立総会である。三時までには終り、あと山ノ上ホテルで、永田氏の誘いで水田院長、福銀支店長の組合わせで麻雀遊び。

4 月 9 日 (木) 曇・小雨

十時から平尾の警察学校入校式に出席祝辞。あと登庁して時間があつたので、例により句誌を読む。今日は夏のようにむし暑く、へきえきした。午後、特別会議室に農政連が大挙して農改普及所再編反対の意見開陳をし対応した。決裁など消化し、検診。博多駅へ、中国の江沢民総書記、銭其琛外交部長、温家宝弁公庁主任ら一行八人の訪問客の出迎え、ホテル日航での県市など共催の歓迎晩餐会、それら行事のホスト役をつとめた。博多駅には六時、宴には七時から九時頃まで神経を使うことが多かった。不透明な世界情勢の中で、日中間は明るくせねばならない。そのあかしの如し。

4月10日（金）曇

九時五〇分空港着。十時一〇分から全日空大連便就航記念セレモニーに出席、祝辞テープカット。十一時発の初便で大連へ。北九末吉市長と同席。時差一時間（あと現地時刻）午後一時大連空港のANA初便出発セレモニーに立会。あと市内、経済技術開発委員会へ。開発事情説明をうけ、日本の進出企業マブチモーター（萬宝至馬達）工場見学。三時に出発して市街地に戻り旧大連図書館、アカシヤ並木をへて北大橋を見て泊所フラマホテル（富麗華大酒家）に入りチェックイン。六時から全日空側の就航記念宴に出席。八時から同ホテル内「富士」で直会夕食会。畢書記（中央）、魏富海市長、日本側は杉浦全日空会長、末吉市長ら。九時まで。あと休息。

4月11日（土）晴 曇

七時半起床。八時から北九州、大連両市長とホテルで食事。一時間余り友好事業のあり方をめぐり具体的な話し合いの場となった。末吉市長の仕組みのようで次々と話題を出したのも彼だった。九時半にホテルを出発空港へ。大連市長は最後まで見送ってくれた。福岡ゆき民航便十一時三〇分発。偶然だが、九大経済にいた深町氏と同機だった。福岡時間で一時五〇分着。空港は雨後の模様。秘書室の三人が出迎え、日程につき車中報告の形で説明をうけ二時半には帰宅。晴れで新緑さわやかであった。裏庭を一巡、筆をもって時間を消化した。別段疲れなし。

4月12日（日）晴・強風

九時すぎに出発し、夜須高原へ。五月の全国植樹祭の総合リハーサルが十一時から行われ、本番同様の時間割りでされた。風強くみんな寒くふるえ上った。儀式だし、知事の出番は少なかった。一時頃終り、二日市温泉大丸別荘で中食会。副知事ら実施本部後藤氏も、緑化推進機構からも。帰宅したら四時を過ぎていた。豊前の後藤元県議長逝去の報が入っており、明日の日程が更に重く重くして来た。緑豊かになり行く裏庭は楽しい。藤の房がまさに開かんとしてぐんぐん伸びてきた。余った時間又筆を執る。

4月13日（月）晴

八時半にわが家出発、三泊四日の旅立ちである。十時から田川での県立大学の入学式。十二時には豊前市の後藤保元県議の密葬に出席。あと国道一〇号線を南下、大分へ。三時四〇分事務打合わせ、四時平松知事と面談。大山ダムの件につき御礼や当方の事情陳述。あと大分空港へ。広末運転手とわかれ、六時四〇分発空路東京へ。フィンランドからの祖母にと思ってメロン大箱を空港で買った。羽田では元村所長（新）が出迎えてくれ、八時半からふくおか会館で夕食しつつ、明、明後日につき打合わせをした。十時会館泊部屋に入り、みゆき、一彦、啓二に明日からの顔合わせ打合わせの電話連絡をとる。

4 月 14 日 (火) 晴

食堂で朝食。九時半、事務所に出勤し在室の職員に新年度挨拶。あと部屋に戻って俳句書を読む。一時に啓二、サリ、フィンランドの祖母が来所、応接室で弁当での中食。二時から皇居、国会議事堂を案内した。前者は事務所の課長、後者は社党の県選出議員秘書の世話でうまく案内することができた。通訳なしなのでどこまで祖母にわかってもらえたか疑問。四時半ライヤが事務所に来てくれ、小休憩ののち、ダイヤモンドホテル地階の中華料理店へ。美可、久美も加わり、六時から。少しおくれて一彦も参加。麗衣を除いて私ら一族揃っての夕食会。久美とサリの入学祝いも兼ねた。八時散会。

4 月 15 日 (水) 曇

心配していた雨は幸い降らず、朝のうち新宿御苑で総理招集の花を見る会があった。苑内を見てまわったが、八重桜を筆頭にすばらしい春光を味わうことができた。外国人、芸能人、地域功労者など何千人かの花見招待である。ひる前一たん東京事務所に戻り、小休息し、二時すぎから、啓二一家、直美らと共に、浅草寺、隅田川観光船バスの見物を行い、四時半頃、上陸日の出棧橋から JR 浜松町駅で (迎えの車あり) 啓二一家とお別れした。昨日は官庁街、今日は下町と案内でき、フィンランドの祖母に東京の対照的な姿を紹介できた。五時半事務所長 (元村) の案内で麻雀に行った。六本木だ。

4 月 16 日 (木) 東京曇、福岡晴

朝のうちふくおか会館の泊部屋で読書してすごし、十一時半、事務所で打合わせをして後、建設省へ。まず河川局長、十二時すぎに建設大臣 (山崎拓氏) に挨拶した。大山ダムと小石原川ダムについて前進した処理があつてその御礼である。そのまま羽田へ。ANA 福岡ゆき二時五分発にまに合った。時間のあきを利用して空港レストランで所長、運転手、みゆき、川上の五人。四時につき、四時半には帰宅できた。藤の花が房を伸ばしている。ツワブキを少々刈り取って夕食の菜に供した。春がどこにも顔をほころばせている。リラも咲きはじめた。かわいい筈の草が、雑草にまで成長してきた。疲れはそれほどでない。

4 月 17 日 (金) 晴

眠った心地のない一夜で体調悪し。九時に出発して飯塚研究開発機構設立発起人会が「のがみプレジデントホテル」で開かれた。県下四ブロックに設立しているテクノ拠点の一つで九工大情報工学部の正門前に施設建設の予定のもの。飯塚市の明るさが一段とます。中食後、帰宅し、二時半メキシコ二世県人会々長の表敬あり、メキシコの事情を少しきく。レクと決裁がつづき四時すぎから検診して帰宅。済生会病院では上杉佐一郎氏腸の一部切除の病氣見舞をした。街頭にみるヨドガワはまもなく満開だろう。新緑の季節に入ったといえる。春寒。

4月18日（土）晴

今日は登庁せず、八時五〇分に発つ。みゆき同乗で、久留米花卉園芸農協の「ちくご花の祭典花トピア'92」のオープンセレモニー（一〇時）に出席した。春の作り花何でもというほどに、花市場は埋まっており、いろいろ工夫してあり、楽しみつつ場内を一周し、市長も来ていたので開会中の百年記念公園での「つつじフェスタ」にもまわってみた。時間があれば西公園と思っていたが発想を変え、五号線に沿い、大興善寺のつつじ園へ向った。まだ早かった。途中基山の「花やしき」で中食、三時すぎ帰宅。藤本広子氏挨拶来宅。他の時間は身辺筆の仕事に。

4月19日（日）晴

休務。ぽかぽか照って一日中書斎にこもっての仕事はとても無理。どうしても外に出たくなる。鉢替えや雑草取りに二～三時間とった。紅カナメ、ヨドガワの赤がまぶしいよう。藤房もかなり下って来た。週末に寄せられた書の仕事のうち、表札など、色紙以外の数種は、実に気乗りがせぬ。色紙二〇枚余、それから条幅二枚は下書きも終って心残りはない。俳句を短冊に書き進めているので、その分がどんどん積っていく。でもそのことが、目標もないけれど執念みたいになり、吾が近況の主だ。

4月20日（月）晴

十時二〇分ブラジル技術研修生の表敬。十一時から死亡者叙勲伝達。ひるは行幸啓担当職員と中食懇談。一時から県政モニター委嘱状交付式。二時半から葉祥栄氏（設計家）とグラフふくおか取材の対談。このあと、明日の記者会見につき、予想質問事項が多く延々とつづいたし、明後日衆議院で参考人として陳述する件につき、財政課のレクもまた延々とつづいた。その間、四件のレクが他にあって、例をみぬほどあわただしい一日になった。財政課の交付税レクが終わったら午後七時になった。煩多といえる一日だった。記者会見レクはうらめしい。

4月21日（火）晴

庁議につづく記者会見、そして児童福祉審議会委員辞令交付式、さらに国連人権担当のイギリスのひとクボタ女史（同対系随員）の表敬。午後は講堂で「くらしのアドバイザー」四〇〇人ばかりへの委嘱状交付式、つづいてアフリカ諸国の視察団（ナイジェリア大使等）の表敬をうける。四時四〇分発 ANA で上京。羽田には日高課長の出迎えがあり、ふくおか会館で夕食会（四人で）を、そして午後九時宿所に入り、明日の参考人意見陳述の予習に時間をかけた。啓二に電話したら、フィンランドの祖母は予定どおり明日帰国することになっているという。日本で別段うるところはなかったろうが、娘、孫娘と共にいた三週間が楽しかったらう。十一時半就床。

【「海峡超え交流推進」「黄海圏交流の先駆けに」(『西日本新聞』1992 年 8 月 26 日) のコピー挿入】

4 月 22 日 (水) 一時雨、晴

七時半に起床。朝食ののち八時半から一時間、財政課長と共に交付税問題で勉強会。十時から衆議院地方行政委員会に参考人として出席、十二時二五分まで(第十四委員室)。委員長中島衛氏、私のほか参考人は田尻熊本市長、喜多明治大学教授の三人。地方交付税法改正案について、とくに国が地方交付税から八、五〇〇億円借上げをめぐり是非が論点にしばられていた。「やむをえない」との意見が大勢を占めていた。終って隣室で弁当中食をいただいて後羽田空港へ。一便はやく帰れた(二時五分 ANA)ので、帰福後は検診。数値が高すぎて驚いた。六時から福岡市博物館で久保田博二氏の写真展遙かなる大地—中国—のオープン式に出席。七時すぎ帰宅。

4 月 23 日 (木) 晴

離島振興法改正についてレクの後、サンヒルズで玄海レクリゾート地振推進協議会が行われ(十四市町長)中食の後一時半発の JAL で上京。ふくおか会館で小休後、十八時から築地河庄双園で新幹線鹿児島ルートに関係者による宴会。国会議員、運輸省鉄道局、知事業ら二〇人ほど。進捗がおそいという不満をもちつつ表面は着工の御礼の宴であった。鹿児島県が主体となった会。博多—八代間も方針を決めねばならない。長崎ルートについても未だ方針も明確でない。新鳥栖の扱いやルートそのもの、佐世保をどう扱うだが、今日はこれは話に出なかった。七時半頃私は途中退席してふくおか会館に帰り、ゆっくり休んだ。

4 月 24 日 (金) 雨後晴

八時半朝食。十時すぎ文部省高等教育局長を訪ねたが、会えず、時間つぶしに NHK 放送博物館に寄り、羽田に行って中食。JAS 一時二〇分発で帰福。庁内ではいろいろ待っていた。レクや決裁、それに五月の「朝の知事挨拶」録音、福岡都市高速道路延進、芦屋タウンリゾート、筑後川矢部川レクリゾートなどが話題となった。全く若葉の期節になったし、東公園のツツジは満開である。六時から巳千代に行ってマージャン遊び。近藤、是松、森山がメンバーで古い時代を思い出す組み合わせであった。篠栗線電化複線につき通産省産炭部門の了解をえる問題が生じている。

4 月 25 日 (土) 晴

初夏。新緑が満喫できる一日だった。朝から墨をすって依頼ものの消化に努力したり、外に出て緑を点検したりだった。色紙は一〇枚半截の条幅ものは三枚、まずまずの仕上がりで気分もゆったり。カラーや鉄線が咲いて桜の頃とは一味違う春らしさである。藤花は満開だが

今年は例年より房数が少いようだ。マージャンをしようという事になって来てくれた是松氏が大きな鯛をもってきてくれた。直美の帰国を祝うという意味のようだ。篠原夫人をまじえて茶掛け書について私の用意している下書きを点検したりした。

4月26日（日）曇

薄曇、照ることもあった。昨日は再びツワブキを摘んで佃煮とし、昨日の鯛も加えて、気持ちのよい食卓となった。二時半からニューオータニで山崎拓建設大臣来福の機会ということでの陳情の会があり、知事と福岡都市圏代表との肩書で桑原市長が陳述した。道路問題に絞られ、中央から道路局長も来福していた。県からは東九州及び西九州両自動車道と関門道路橋の三件を強く要望した。道路局長は関門橋は建設するがアクセス道路も同時に、といていた。短冊整理をする。

4月27日（月）曇

降砂^{ツミ}のことが一寸話題に。走っている車によごれが目立つ。十時から筑後川矢部川流域レクリゾート推進協議会（リーセントH）。十一時半から福岡都市高速二号線起工式（西月隈）。天神に戻りソマリアン（杣の里）でカレーライス中食。矢部村でつくっている財団だが、はじめて入る。帰庁してフクニチ労組の再建の話、国鉄労組の地労委命令実行を訴える話をきく。四時から明日の記者会見レクを又延々と。六時帰宅。春はどんどん過ぎていく。惜春の譜というのがわかる。長期連休の前ぶれも匂う。

4月28日（火）晴

初夏といえる暖かさ。定例の庁議、つづく記者会見。昨年の台風十九号による倒木除去で二次災害のおそれある箇所^{ツミ}に自衛隊を導入する件、朝九時に中央でOKになった旨記者に伝えたら、その話題で、細目きかれた。まだ細目は決っていないのが実態。一時から大手門会館で総評（県評）センターの総会。参院選にらみで課題が重い県評センターだが、梶村理事長はここで退くことになるという。挨拶のあと林団長とロビーで女性副知事候補さがしその他の件につき話合い。あと検診、糖の数値依然高い。咽喉科でも診断をうけた。

4月29日（水）晴

みどりの日、休務。新緑のまっただ中。朝食もおそ目にゆったりの一日になった。例によって墨を摺り、先日たのまれていた篠原さん用茶掛け一〇枚を書き直して押印。また短冊書きを整理し、玄羊書展に出品するならと思って杜甫の詩を選んで下書きした。何回書いても癖はなおらないものだ。いい機会だと思ってみゆきにも手伝ってもらい裏庭の甘夏柑を全部取った。段ボール二箱になった。みずみずしくて今が食べ頃。夕餉の卓には裏庭のミツ葉が出るし、土の有難さを思った。

4 月 30 日 (木) 曇

十一時二〇分から施設へのヘルスギフトの贈呈式。薬店小売業界からの薬品購入券である。午後二時から九州航空宇宙開発推進協議会の設立総会、記念講演会、懇親会がつづいた。九経連、九州知事会それと学会がメンバーで国の九州ブロック機関は顧問、川合九経連会長が会長、各知事ら副会長、鹿児島県の知事も出席だった。産学官で研究開発、実業化に努力しようということ。国の機関も誘致しようというものである。懇親会途中で退席帰宅。昨夜来の雨、一日中曇雲低くたれ込み底冷えすら感じられた。

5 月予記

第 43 回全国植樹祭が連休明けの五月十日に、その前後とくべつの忙しさがある。月はじめは例年の連休、メーデーと憲法記念集会がくいこんでくる。休めるはずの五月が、依然多忙の連続である。それにあれこれ団体の年度総会に引き出される数も少ない。去年の台風一九号による風倒木処理 (二次災害予防) の課題は人手不足のため自衛隊出動要請にもつながってくる。森林被害は三五〇億円と見積られているが、倒木処理は収入につながらない難事業だが、雨期、台風シーズン前に処理しておかないと、山腹決壊や洪水水害の増幅につながる心配がある。住宅に近い所にしぼって自衛隊出動で処理してもらうことになった。大分、熊本両県も。

5 月 1 日 (金) 曇

例年のことだがメーデー集会は北九州と福岡の両会場で祝辞。とくに今年北九州は八幡製鉄内スペースワールドの隣で、時間を多く要した (ベイスクエアという広場)。分裂から統一への波は大牟田にも及んだ。連合型メーデーである。登庁し、二時から一時間植樹祭荒天会場想定のリハーサル。あと決裁、そして検診。午後六時半から秘書室関係職員有志がわが家に十数人、手持ちごちそうで夕食会。藤見の会とは名ばかりで庭の花を見ようとする者はなかったし、藤花も散ってしまっていた。わいわい語り食べ歌って九時半散会。女性たちが全部してくれた。

5 月 2 日 (土) 晴

今日から六日まで休務。どんたく前夜祭、パレードはどちらも今年は体調を理由におことわりした。一日在宅で細字を書くことに時間を費した。執念のようである。ポカポカ暖いので外に出て雑草を抜いたり物置を片付けたりもした。ジャーマンアイリスは黄の方が今盛りである。わが家の庭も緑一ぱいで、かわいかった草も雑草に変ってきた。クジャクサボテンがあちらにもこちらにも花芽を伸ばしている。温州ミカンも一ぱい花をつけている。隣との間のブロック塀を取払っているので庭は広々。

5月3日（日）晴

いつものように筆持つ机辺生活。憲法記念日四五周年。法律事務所が主体的に取組む一六回目の記念集会、大手門会館。前田弁護士が迎えに来てくれ一時から開会、挨拶。事務担当の江藤氏と受付で閑談し、河野氏が早目に出て来て連れ立って散歩しながら帰宅ということになり、大濠寄りの舞鶴公園日本庭園などうららかな中をゆっくり話しながら帰宅した。五時だった。どんたく花電灯バスも止っていた。濠近くの緑や水を楽しむ人が多かった。みんなゆったり、のんびり。子供もはしゃぎ、いい休みになった。

5月4日（月）晴

街はどんたくでにぎわっている。プロ野球も超満席のようだ。休務だが終日とじこもり、筆をもったり外仕事したり。藤の花房切り、前の家とトヒ修理、庭木植えかえなどして汗をかき、前後二度シャワーを使うことになった。一寸作業すれば疲れを感じ、就眠の時は平素と違う疲れを自覚させられた。実力をこえる運動をしたのであろう。朝刊に西南大前理事長古賀武夫氏の訃報があり、書の事で連絡に来た広報の高原氏に伝えていたら、明日西南チャペルでの葬儀には出席する、弔電、花輪は対処しておいたとのことであった。

5月5日（火）晴

うららかな一日だった。だが予期せぬことに時間が経った。四日の新聞でみたのだが、西南学長、理事長（91年まで）をしてこられた古賀武夫氏の学院バプティスト教会葬、一時から。88歳の長寿。川上氏が随行してくれた。三時前帰宅だが、五時半頃隣の深堀さんが見知らぬアメリカ人を連れて来宅。アンデーマスキ ANDREW MASKE 氏、西南大の交換留学生オックスフォード大学から。高取焼の研究をしていて、輝国二丁目十八番地に窯元があったということで現地が今どうなっているか実見に来たという。陶器序などみせて、上りこみ、カレーを夕食とし夜九時まで話し込んだ。県史に資料をのせ発刊したばかりだという。論文のためというが、全くの専門家。中西忍氏と連絡、陳寿官さんに会うということになった。

5月6日（水）曇

小粒雨も。長期連休も今日で終りというのに、何をしたかとりえがない連日だった。見物に出かける訳でなし、人が来てさわぐ訳でなし、机辺のものを少しずつ変化させたに止まる。高取焼窯跡ということでオックスフォード大のマスキ研究生があがり込んで話したのが一番大きい。家の庭をあれこれ手入れしてすがすがしくなった。散髪跡みたい。机辺には句の短冊が嵩を増していく。書斎に入ればそればかりをやっているからだ。植木鉢いじりもいい加減に飽きてくる。書斎を思い切って中味点検したいのだが、それも大変。することがあるだけでも有難いことだ。まだまだ筆を執るだろう。

5 月 7 日 (木) 曇・強風

大型連休が終わったとたん、九日からの植樹祭関連の詰め込まれた行事レクが待っており、午後七時すぎまでつづいた。午前中は、一日児童家庭課長辞令交付、四年度叙勲伝達式、マーシャル大統領来訪。午後レクつづき。植樹祭関係は頭が痛くなるほどにややこしい。天皇陛下を迎えての緊張の連続だからである。陛下との食事など一般職員は経験ない、知事は知っているだろうとのことだが、私も思い出せない。成り行きにまかすしかないということで私は済ませた。議論しても仕方がない部分がたくさんある。気楽にいこうということにしておいた。あと一日しかゆとりがないが、明日も日程は詰っている。気にしないで当たってみるしかない。

5 月 8 日 (金) 雨

十時すぎから検診して頂き、あと登庁。各種レク（企業局、環境保全課など）がつづき、午後二時に春日の第四師団長を訪ね、昨年の台風災害二次災害防止のための自衛隊派遣要請と協定を行った。倒木除去、砂防などの心配ある箇所（六町村）十一につき林業労働力不足で災害のまま放置されているので、自衛隊にやってほしいというもの。仕事をしても収入につながらないので一そう労働力不足になるのである。地権者が遠い町市にいるケースもあり、不明のままというのものもある。散髪、決裁、六時四〇分から駅近くのクリオコートで林業後継者大会役員知事招宴に出席した。八時半に帰宅。明日にそなえて、あれこれ気づかい事を若干整理してみた。全日雨、明日が心配。

5 月 9 日 (土) 晴

心配していた天気も午前中に晴れ上がって絶好の晴天となった。主な日程次のとおり。八時四〇分自宅発。九時半からもちパレスで全国林業後継者大会に出て挨拶。空港へ、両陛下特別機出迎。十二時半から県勢概要説明（知事室）。中食陪席（応接室）。二時に出発して三時から四時頃まで奈多ケア院と創生園ご視察随従。五時ニューオータニに着く。六時記者会見。六時半第 43 回全国植樹祭懇親会。七時半から改めの夕食会を九時まで。——このニューオータニでの二つの会には国会議員、関連知事、県会議員ら全国レベルの主たる人物が顔を並べた。前者は両陛下五〇分間おられた。今日の行事では沿道で旗を振り、手を振る歓迎の人達の行列がいたるところでみられた。奈多を除いて。みゆきも列に加わった。晴れてほんとうによかった。記者会見で嫌な質問は出ずに済んだ。

5 月 10 日 (日) 晴

八時に出発。みゆき直美も。快晴。夜須高原における第 43 回全国植樹祭も順調に予定どおり終わった。中食は国立青少年自然の家で、みゆき直美は二日市大丸別荘で。陛下に随従して、やすらぎ荘、甘木文化会館、原鶴温泉泰泉閣。ここでは七時に記者会見。町民の提灯行列と

重なってしまったが、文化会館、その他沿道いたるところ歓迎の列の中を行幸の車列が走ったので、こちらも同じく感嘆した。朝倉路の行幸は何百年ぶりとかいう。地元の人達も機をのがすまいと思ったのであろう。夕食は県議長、佐々木室長ほか宮内庁の関係者五人と懇談の形ですませた。七時半から九時すぎまで、甘木での「あさくら讃歌」合唱初演発表会、甘木絞り実演はすばらしかった。ともかく植樹祭は五月晴れのもと大成功であった。やすらぎ荘もよかった。

5月11日（月）晴

今日もすばらしい天気。暖か。九時すぎ泰泉閣を出て、高速道利用で八女伝統工芸館へ。久留米緋の織機作業も加え手すき和紙、提灯絵かきなど実演の場、仏壇細工も、両陛下でいねいにみてまわられた。中食は筑後市の勤労婦人センターで市長、議長も加わった。生花に興味をもたれた。午後は大川市へ。県工業技術センター、インテリア研究所を視察され、三時すぎ佐賀に向けて立たれ見送ってから福岡勢は緊張を解くことになった。四四二号線がひどく渋滞し帰りに時間を要し、帰宅は六時すぎ。やっと特別気にすることなくリラックスできる。新聞が何か問題にしようと狙っているようだ。今日の沿道住民歓迎も大規模だった。

5月12日（火）薄曇

八時すぎ出発。庁議、記者会見をすませて苅田へ。日産自動車九州工場が拡張、新しい労働環境や複数ラインを採用して年産六〇万台体制にはいっていくことになった。早退して中食は高速入口付近の食堂でとり、福岡市へ。済生会病院で検診。そして又登庁、レクや決裁をすます。六時半からホテル日航でローマクラブ福岡会議レセプション（福岡市の誘致）に出席して挨拶。地球規模の環境問題がとりあげられたという。高円宮御夫妻の出席をえていたし、外国からもたくさん参加があった。高橋前九大学長が実行委員長。日本では家族関係、地域関係も、つまり人間関係もあやしくなっているのが心配と話題を投げかけておいた。朝日新聞が全国植樹祭に非難を投げかけた記事をのせている。八時前帰宅して夕食。

5月13日（水）曇

出発おそくてよかった。十一時市民会館で全商工連第三九回総会があり挨拶に。レッドパージの被害者が商業界に再起の場を求めた昔が思いおこされる。登庁して柳川地区食品衛生協会の来訪をうけ、三時五分空港発の両陛下見送りに少し早目に出庁。佐賀県視察も無事終り、今日心配された天候もまずまずだった。午後四時には帰宅できたが、七時すぎ広報課から植樹祭ねぎらいの知事挨拶を明朝九時にするというので、五人が拙宅に録音するためにやって来た。わずらわしいと思ったが、植樹祭関係は以上でまず終了。

5 月 14 日 (木) 晴

すっかり緑に包まれたわが家だ。休務で在宅したが、陽の当たるところでないと部屋の中ならすべて薄暗い。朝から墨をすって夜八時半まで揮毫に関連しての時間が主であった。依頼されての色紙や条幅は仕上げた。色紙四〇枚余、半截三枚、シアトル県人会八五周年記念というのが三〇枚。けっこう時間を要した。外はもう蚊が出はじめた。いろんな虫が活動しはじめている。甘夏柑の若芽には早速アブラムシがつき、花の葉も蝕が入りだした。自然をどこまで保全したらいいのか、植樹祭との関連であれこれ考えてもみた。

5 月 15 日 (金) 曇と雨

九時一〇分に出発し、春の褒章の伝達式（県議の鬼木、山根の二人）と植樹祭事務局へのねぎらい訪問あと決裁。下関へとばし、関門橋の下にあたる海岸に位置する「満珠」で中食。一時から第四港湾建設局への陳情。新北空港建設につき予算編成に向けたもの。北九市苅田町からも列席。漁業補償と空域調整を乗り切る目途がたたないと、運輸省も予算をつける腹構えができないので、まず小月飛行場自衛隊教育訓練側に譲ってもらうのが先決である。帰福して三時から検診。五時少し前に帰宅。篠原さん達が来ていて久しぶり麻雀。

5 月 16 日 (土) 曇

午前中は在宅、机辺の整理。中食のあと迎えの車。大手門会館で二年目の看護の集い。「みまもる心」を強調。人手不足、三 K ということが背景にあるとみられる。高齢化、難病、心身不自由者などニーズに応じきれない手不足の時代を反映している。登庁してバルセロナオリンピックに出場の肥川葉子さんと対談。グラフふくおか取材。一七歳背泳ぎの代表選手。がっちりした体格、やさしそうで強そうだ。四時すぎから五時半まで教育会館で高教組新入組合員オリエンテーションで一時間余、私が講話。連合の出現でいよいよ組合ばなれが強まる世相。課題意識がそれ。

5 月 17 日 (日) 曇後小雨

天気が気づかわれたが、小雨は夕方から。直方での凧上げ大会が行われたが、風がなく式だけで引揚げ。要望していた高取焼窯跡視察など有意義な時間をすごすことができた。永満寺宅間や内ヶ磯など推定される跡を案内してもらった。このあと、明治屋産業を訪ね、芦屋砂鉄湯沸し釜のことをきき、つづいて^{ハヅギ}柞木とかいう会社職員クラブに招かれ、社長一會長以下十一人で大きな肉片の焼肉中心の中食をごちそうになった。大藪県民生活局長と同道だった。世話は全部野下県議が仲介してくれた。帰宅したら西浦漁協から大きな鯛（鮮魚）が届けられ、スシ屋に頼んで解体してもらって、これ又ごちそうの夕食となった。

5月18日（月）晴

八時半発。自衛隊災害派遣部隊激励のため浮羽・広川にゆく。浮羽は雨で地盤が悪いので、今日は部隊が動いてないという。町役場で概要説明を受け、小塩の現場をながめるような形で視察（十時すぎ）。久留米リサーチセンター内の食堂で中食。二時ごろ広川町役場へ。下馬場平と玉洗で活動の部隊現場を見、三時すぎに概略終った。隊員にねぎらいの挨拶をした。玉洗の作業現場は新しい機械も入れてあったが、厳しい状況だった。二次災害を予想し、民家に被害が及ばぬよう地点が決定された。十二日から梅雨入りまでの条件。県下では十一地点に出動依頼をしている。油断すると怪我人が出る危険性が常にある。五時頃帰宅。

5月19日（火）曇

庁議、記者会見の日。十一時から福岡商工会議所代表ら来訪、福岡の新国際空港建設促進に関する要望があった。これは当面県の重要課題である。このあとバルセロナオリンピック出場の柔道選手田村亮子さんが来訪。午後一時二〇分ギリシア、キプロス、イスラエルから大使ら八人が来訪、交流を深めたいとの要望がなされた。三時すぎから検診、血圧がかなり高かった。五時から決裁、六時からリーセントホテルで21県民の会の集まり。県評センター理事長だった福教組委員長梶村氏が四月末運動界から引退になったので慰労夕食会である。奥田県政への注文という部分もあった。具島氏が欠席、ほかおおよそ顔が揃った。県政への注文は依然多方面にわたる。不満がつもるのであろう。秋枝、中村、坂井の三女性も出席。

5月20日（水）晴

新日通社長浜中氏（県議の弟）の表敬、県政事務所長それぞれに知事報奨金の交付式、九州住宅地経営協会会長ら秋の大会出席要請で井上議長が伴い要請来訪、共産党県委員会、県議ら同和交渉問題につき申入れ（差別ビラ事件についての県幹部集団学習会反対）、これらが午前中。中食は林県議と共にし当面の諸問題で話合う。午後一時半から西日本銀行大会議室で福岡県青少年育成県民会議の総会があったが、今回は学校週五日制導入を前に対応をしっかりとせねばとの雰囲気が見えた。早目に帰宅することができた。ツリガネソウが咲いている。句書き短冊の整理と、県警本部長への急ぎの色紙にも対応。

5月21日（木）晴

午後のお勤。堀川新県警本部長来室挨拶。秋篠宮両殿下が北九州で開催されるアスパック出席のため来福されるので二時に福岡空港に出迎えに行く。五時から北九総合体育館でアスパック（アジア太平洋国際青年会議所北九州会議）の開会式。小休して七時二〇分から千草ホテルで同会議のレセプションがあった。一万数千人の集客イベントである。レセプションは英語でのみ進行という。青年会議所のホスト側は大変だったろう。総合体育館もこの種イベント消化にはよく工夫されていたと思う。経費は億円レベル。宿泊は福岡・下関もホテル

がひろがって利用された。八時四〇分に初日の行事は終り、帰宅は十時近かった。睡眠が十分とれず調子が全体としてよくない……自覚。

5月22日(金)晴

午後一時四五分出発。まず検診、血糖が三二〇もあってびっくりした。あと空港へ。秋篠宮両殿下の見送り。帰庁して決裁やレクを何件か消化した後ニューオータニへ。茶道表千家淡交会の博多・福岡支部設立五〇周年祝賀会。知事挨拶の場面もあったが、会員が多いのには驚いた。家元夫妻と会うのも久しぶりであった。夕食をここで済ませ、早目に退出し、来福の東家国土庁長官に三光園でお礼のあいさつを行った。明日、風倒木処理作業中の自衛隊激励のためだが、大分県にも寄られると聞く。熊本県選出の大臣である。九時少し前帰宅。和代から豆類をたくさん送ってきてくれた。

5月23日(土)曇 一時雨

九時に出発して田川。四月からオープンの県立大学の開学式、祝賀会。社会福祉短期大学の四年制への昇格でもある。受付の女性にきいたら、新入学生の評判は田川が田舎だと期待はずれのようなだった。これから歴史伝統を作り町づくりもやっていくということが強調されるけれども今各主体者にこれを求めることは無理なので、外部からあたたかく見守り応援してやらねばならぬだろう。保守系の人達は記念式典にまずは関心が薄いとの感じを受けた。一時豪雨、所により雹も。二時すぎからは松、川上と四人で夜半までマージャンを楽しんだ。

5月24日(日)晴

書齋でこの休業日を一日すごすには勿体なすぎた。五時半頃になって外に出たら木犀、梅、藤など枝がはびこり過ぎているのが目立つので、梯子をもって来て剪定しはじめると次から次へと仕事湧いてきたようで七時半はすぎただろう。物が見えなくなるまで、鋏と鋸を使った。ツツジも一本剪定したが、これは腕に影響が大きく、例年ながら、そのあとはペンや筆を握れない。書齋は身辺まわりばかり。平素何でも投げ込んでいるからだ。郵便物も五通書き明日の投函とする。和代からの大そらまめは美味、グリーンピース味飯も。

5月25日(月)曇

十時から日産自動車苅田(九州工場)拡張工場生産の第一号車の県への贈呈式があった。県はそれを社会福祉協議会に渡した。山形取締役、松田九州支社長→永井会長へ。記念撮影も。今日は県議会の正副議長改選の臨時会、十一時から四時半ごろまで。他の議案もふくめ、又他の関連役員人事もふくめ、かなり時間を要した。途中思いついて牧坂に連絡し、土井仙吉氏も加わって、六時半からくいだおれでのみながら夏の旧姫高同期会をめぐっての雑談会

をすることになった。習字の日だったので、尚文堂にまず集った。八月二十二日予定の同期会は約四五人集う予定なので、どのコースで案内をどうするかなど接待側の打合わせであれこれ再確認や追加提案もあった。九時まで楽しい時間をすごした。

5月26日（火）晴

定例の庁議、そして記者会見、レクがつづき、十一時半台風十九号災害復旧に関し、日田など諸団体（フォーラムひた 21）の陳情をうけた。二時広報課の「朝の放送」録音に応じ、四時から都ホテルで国際交流センターの理事会があり、今年の運営方針を審議した。六時から山ノ上ホテルで新人事があったということで教育委員会側の主要メンバーと当方三役の懇親会が開かれた。終って八時五〇分発 JAL 最終便で、明日予定の陳情のため上京。ふくおか会館泊りだが、就寝は十一時をすぎることになった。多忙そのもの。教育長が地ごろからという変り目を迎えたわけ。教育行政がかわるかな？

5月27日（水）曇 時に雨

八時朝食。九時すぎから応接室で打合わせののち、植樹祭及び風倒木自衛隊処理出動に関し役所お礼まいり。十二時まで桜内衆院議長、渡辺環境事務次官、鳩山文相（不在）、渡辺郵政大臣、午後は陣内農水政務次官、小沢林野庁長官、田名部農水大臣、藤本宮内庁長官、宮尾同次官、笠井皇宮警察本部長、鈴木警察庁長官、加藤内閣官房長官の順であり、順調に進んで四時前には予定が全部消化できた。行動もゆったりだったし、中食はふくおか会館でゆっくりとることができた。帰りは早めに、五時 JAL 便を使うことができ、七時二〇分には帰宅できた。東京も福岡も局地的スコール雨、福岡は寒いほどであった。金子文夫氏がトマトをたくさん届けてくれていた。

5月28日（木）晴

十時半からパピヨン 24 で防犯協会連合会総会。十一時にホノルル日本人商工会議所代表団の表敬。一時半からリーセント H で高速道路公社運営会議。三時半防衛庁長官を空港で見送り挨拶。これは風倒木処理に自衛隊の出動を要請していて、長官が作業現場視察に九州四県まわりをし、林副知事が対応したので、彼の帰京は私が見送ることになったもの。自衛隊機を使っただけの旅だから西門を使っただけのこと。あと検診。そして巳千代でマージャン会となった。近藤、是松、われわれ夫妻の四人。体調は下り坂ではあるが、今日は一寸もち直しているようだ。眠りが浅い日がつづく。

5月29日（金）曇 小雨、雷

ぎっしり詰った一日。七時二〇分発。志摩町船越漁港での総合防災訓練に出席。弘津小校庭からヘリコプターで現場へ。終ってからは志摩町役場で中食。二時半帰庁してレクと決裁。

六月に入ったら広域の陳情(西瀬戸内、県南)九州地方知事会がつづくので、くわしいレクがついた。六時すぎ中洲東宝映画試写室で山村謙一氏紹介の「おろしや国酔夢譚」というもの。徳川鎖国政策がゆきづまる前哨となる対外関係の中のロシアを漂流民の体験からえがきつつ、鎖国を批判するドラマであった。井上靖原作。八時すぎ終ってみんなで第一玉家ずし三階に集って感想をのべ合って夕食をした。秘書室関係者十二人だった。それぞれに感動するところがあつたに違いない。映画のよさはテレビでは味わえない。

5月30日(土)曇

ひるまで在宅。十二時二〇分発で吉井町文化会館へ。街並み保存の第15回全国大会を吉井町白壁保存の会が引きうけて金子文夫氏が実行委員長をしている会である。来賓として知事が来たのは初めてという声をきいた。挨拶が終ってから外の準備花壇(歓迎用)をみたり、小さな美術館めぐり、吉井町の水路に気をつけてみせてもらったり、コケシを作っている家をのぞき込んだりして楽しんだ。予定より一時間おそく帰ったが、四〇〇年の伝統をもつといわれる吉井の深さを結構楽しむことができた。自宅にこもったり、その辺をうろうろしているよりよっぽどましな時間を取ることができた一日だった。

5月31日(日)晴

在宅で終日筆を執る。色紙や条幅など宿題がある。失敗したら外に出てうちのまわりですべき小さい仕事もする。延び切った若枝の摘み切りなども、天気がいいので在宅、在室のままでは惜しいのである。草木が順を追ってそれぞれに成長していくことがよくわかる。アジサイはこれからであるが、ガクアジサイの先駆者枝をいくつか摘んで大瓶に生け花とした。それなりの風格はある。ツリガネ草とクジャクサボテンが盛りである。農山村では麦秋、田植もあちこちにみられる。若アユのシーズンに入ったようだ。これら自然なしに人間の変化などつまらん。

6月予記

六月議会であれこれ日程がふさがる。昨年の台風一九号倒木のあとしまつをしないと、二次災害が心配される雨期に入る。降らないと稲作田植に心配だし、降りすぎると山の地盤が弛んでいるので地すべり、洪水、流木の心配がある。危険箇所の視察、倒木処理に力を貸してくれた自衛隊その他への挨拶まわりもせねばならない。県議会では農業改良普及所の統合、週休二日制など重要案件をどう理解してもらえるか、これらは山場となるに違いない。月末の雨がこわい。あと自分の体調をどう維持するかであるが、依然衰えを痛感する毎日である。中国江蘇省との姉妹提携論が煮詰まりつつある。

6月1日（月）晴

植樹祭事務局大縮小の辞令交付。あと十時からサンパレスで高速道福岡の総会、三時から小倉ニュータガワで西瀬戸開発会議の総会、この二つに会長として議長をつとめた。双方とも年度方針の決定である。十時五〇分に例年ある日航の「すずらんキャンペーン」鈴蘭鉢を受ける。一ヵ月以上季節のずれがあるようで、うちの鈴蘭はもう咲き終わっている。レクや決裁もあった。六時からサンヒルズで建設事業連絡協議会の懇親会があり出席して挨拶。九地建主催の協議会がすんだあとの懇親会。今日は晴天で緑がまぶしく映えた一日であった。梅雨入りを前に昨年台風一九号の倒木除去自衛隊の作業目標は九割終わったとの報告あり。

6月2日（火）晴

庁議、記者会見、役員会議ととんでいく。ここでは学校五日制の対応を教委側から、新空港と知事会について、どう臨むかが論議された。空港問題は急がねばならぬので熊本ががんばっているから福岡の声をあげにくい。次の知事会までにいずれ明確な態度を出すしかない。一時から市民会館で青年女性フォーラム（以前の六・一集会）十分程度あいさつ。元の県評青年部九州各地から来ている。PKOについてふれた。あと検診。KKRで県南総合開発促進会議総会、新幹線博多・八代間のことも提案になった。終って四時半帰宅。机辺の仕事。

6月3日（水）晴

昨日からゆったり時間があつたので筆を執った。又今朝はツツジー一本剪定した。そして十時半発、公用車でハウステンボスへ。二時間、九州地方知事会のため。中食【欄外記入参照】のあと案内がついて巡航をふくめ町の内を一まわりした。迎賓館の泊所は豪華、隣が会議及び従行者らの泊るホテルヨーロッパ。めぐり歩いて四時前に宿所に帰り小休。ユトレヒトのドムートルンが部屋からすぐ左にみえ巡航船発着所をふくめながめはすばらしい。六時から八時まで大村湾周航クルージング。知事会議関係者みんな二階テーブルを三グループに分け動くレストラン気分も味わった。波静か夕日も美しかった。迎賓館まで又バスで送ってもらい、広い三〇五号室で白石・川上両氏がくつろいだ話をし、九時すぎお別れ。

【欄外記入】 ウェルネスセンター

6月4日（木）曇

七時二〇分起床身仕度。ルームサービスで八時朝食。八時半から県職員事前レク、九時から知事会事前協議。このとき神近社長の冒頭あいさつ。九時四五分から十二時すぎまで第99回九州地方知事会。打合わせ通り順調に運ぶ。中食はタワービルの二階で、それぞれ自然解散。記者会見では、雲仙普賢岳火砕流、台風十九号風倒木処理、九州国際空港構想がしぼった話題になった。空港問題は福岡が新空港案を打出すほかない模様である。帰途、有田中西唐仙堂に立寄り二時間ばかり懇談して帰宅。五時少々まわっていた。佐賀市に住むという美

保子さんが来ていた。帰宅後少々庭仕事。雨が欲しい、カラカラだ。梅雨近しという。長崎知事からコハクのブローチを土産に。これは従来のベッコウに代わるものという。

【欄外記入】 ホテルヨーロッパ (知事会)

6 月 5 日 (金) 曇

降ってくれればと思っていたら、昨夜かなり降ってくれた。十時すぎリヴィア米国領事館のリヴィア氏がワシントンに帰任の挨拶に来訪。中食後、前原町長が市への昇格決定のお礼挨拶。一時から町村会理事の陳情うけ、道路、産廃処理、風倒木処理の三件が主体。あとレクがつづいて決裁。四時すぎから検診。五時半から九州管区公安委の連絡協議会懇親会がサンヒルズで行われて出席。六時半からニューオータニで斉藤文夫氏「ちびた鉛筆」(随筆集)出版記念パーティ。発起人の一人として祝辞を述べた。知人がたくさん参集していた。東定さんが話しかけてきて、問研の月報、事務所閉鎖につき、衣笠氏が白紙に戻すといっていることについて私に報告した。再建方法が問題なのである。

6 月 6 日 (土) 曇

休務。目がさめてしまって離床したのは七時頃。揮毫の課題があったのに用箋を受取ってないので秘書室に連絡の上条幅は別とし、色紙だけ十数枚仕上げ、あとは用紙の整理や手紙書きに時間を使った。未明紛糾の末参議院で PKO 法案が委員会通過となった旨報じられた。自衛隊が変質し、海外派遣できる時代になったわけだ。自民、公明、民社が押し切った。憲法九条はいよいよ形骸化されていく。改憲になる時がやがてくるだろう。むし暑い一日だった。庭に出て一寸草取りしたり剪定したり。クジャクサボテンが終りに近づいた。

6 月 7 日 (日) 曇 小雨

梅雨に入った。むし暑くもある。机辺の仕事をして果てたが、午後はツクシ会館での福教組大会に行って祝辞。そのあと春日基地に第四師団長を訪い風倒木処理出動の自衛隊撤収要請に行った。部長、次長、課長も同行であった。五月十二日から今日までの出動で、予定作業一〇〇%完了である。三時半に帰宅できたので揮毫の宿題を片付けることにした。条幅二枚である。虫と雑草に手を焼くこの頃である。もう蚊が出ていて、これから外の仕事はやりにくくなる。東の屋敷から梅の実が転がり落ちてくる。今年は梅不作という。

6 月 8 日 (月) 曇

オリンピック、パラリンピック、アーチェリー選手出場の挨拶を受けたのが十時。十時半から植樹祭行啓先の施設などについて感謝状贈呈。十一時から環境保全公社理事会がサンヒルズで行われた。中食後は三役会議となって当面の重要事項を話し合った。四時からこのつづきのように、山ノ上ホテルで林団長をまじえた会があった。人権平和資料館人権センター

など議会の動向をみてうまく対応したいこと、九州国際空港については九州知事会レベルと異なる独自の必要な動きをしよう、職員会館の建設をどう持ち出そうかなどといった問題である。これから議会対策重要となる。夕食もとって話合った（山ノ上）。

【挿入文書】

万燈平成三年二月号

全国身体障害者スポーツ大会

立石月子

開会は知事手話をもて爽かに

秋晴やろう啞の子らの鼓笛隊

天高し盲学生の吹奏楽

秋高し炬火のトップは車イス

6月9日（火）晴

庁議、記者会見。「テレビは嫌い」発言で記者クラブから抗議書が来た。十時半から都市高速公社運営改善委員会。午後山口一弘氏が来室。「炭労」一激闘あの日あの時一の販売促進協力につき要請があった。県は一〇〇部買うことにしている。県議会も近いので、レク、決裁がどんどんつづいた。午後まを縫うようにして検診、数値は悪かった。夜は住吉の嵯峨野で新旧正副議長、議運正副委員長との懇親会をもつ。旧は井上、松山、新は井手、助信、議運は横田、松永、執行部側は三役、室長、総務部長、財政課長などなごやかな中に六月議会その他うまくやってくれる旨をたのんだ。明日から県議会がらみの日程がつづく。

6月10日（水）晴

十時から信用保証協会、道路公社、土地開発公社の役員任命式。十一時から社会党、一時半から共産党、農政連、公明党と、つづいて六月議会に向けての県政懇がつづいた。つまり提出議案概要説明と、当面の県政課題についての執行部各党の話し合いである。予算議案はないのでかんたんであったとはいえ、週休二日制学校五日制、農業改良普及所統合など重要案件に論議が集中した。夜は三光園で公明党県議団と議会関係執行部三役との懇親夕食会が行われ「裸の」意見交換の場となった。話の中で私の立場もよくわかるとってもらえた。八時半帰宅。

6月11日（木）晴

つゆっぽいが降らない。挨拶をうけたり、決裁をしたりで、主は対議会。十一時から代表者会議で六月議会を十八日から開くこと、提案議案の概要説明。午後は県政懇昨日につづいて県民クラブと自民党。台風19号の二次災害予防と農業改良普及所統合問題が共通して各派から指摘されている。又学校週五日制への対応についても問われている。自民党からは北九

州高速道の赤字解消策のなさを指摘された。早目に終わったがあとサンヒルズでの夕食会も自民党各氏に別の予定あったようで中途半端なものになってしまった。帰宅後少々筆を運ぶ。

6月12日(金)晴

梅雨期なのになかなか降らない。終る頃にどっと降ると最悪である。十時四五分に県受け入れの海外技術研修員一七人が来県、日本語を習いはじめたばかりという。十一時半叙位叙勲の伝達式。一時半サンヒルズで交通事故をなくす県民運動本部の総会、私が議長もつとめた。今日は日本開発銀行支店長、九州松下電器顧問の二件表敬をうけた。九松は筑後市に大工場を建設中、輸出中心で大きく伸びている。博多駅南の工場には研究所を作るという。飯塚の松下研究所も話題となる。四時検診。早目に帰宅し、ゆっくりした夜の時間をすごすことができた。筆のなぐさみ。

6月13日(土)晴

朝のうち宿題の筆仕事、掛軸一枚を残してほぼでき上がった。屋外の仕事はない。午後一時から衣笠・嶋津の二人が予約どおり来宅。外は蒸し暑いらしいが、内は開け放っておくと案外凌ぎ易かった。話題は社会問題研究所の閉業をめぐる、一時は断念の方向を決めていたらしいが、思い止まることに訂正し、それでは今後どう運営改善をしていくかという事で私の意見をうかがうということにあった。短くいえば私に手伝ってほしいということでもある。社会状況が著しく変っていく今日、もっと工夫を凝らし協力の幅を広く求める必要ありということ私を私は協調した。五時二人は退出。

6月14日(日)雨

九時すぎに出発し、四王寺県民の森で県職員などボランティア植樹行事に参加した。急に力仕事をしたためか貧血になったらしく公園事務所でしばらく横になった。珍しい事件だ。休んで回復、弁当を食べ、教育会館での第五〇回高教組大会に出席祝辞を述べ、帰宅。植樹が始まる頃から小雨となり、夕方には本降りになった。雨が欲しいところなので、梅雨とはいえ、いい雨になった。あき時間は又又筆墨の遊びに使った。体調が心配だが、休養とまでは気が向かないので動いていた。

6月15日(月)晴

年度総会が近頃多い。今日は科学技術振興財団理事会と産炭地域振興促進協議会の二つ。三時頃夏のバルセロナオリンピック水泳選手肥川葉子さんが出場あいさつ。肩幅広く見るからに強そうな体格である。朝も午後もレク、レクと今後の行事の事前説明、とりわけ明日の庁議と定例記者会見。何やかやがどっとおしかけたような形である。議会開会前で一そう緊

張する話題が絞りこまれているみたいである。昨日降って今日は晴、気持のよい初夏といえよう。PKO 協力法案が国会通過。平和をうたい文句に戦争への準備に踏み出す。歴史的先例の通りと見る。

6月16日（火）曇

定例の庁議と記者会見。十時半から漫画家うえやまとち氏との対談（グラフふくおか収録）、十二時半明治屋産業の会長、社長新規就任披露パーティに出席、二時から地域交通体系整備促進協議会総会をサンヒルズで、三時半からは個人情報保護審議会委員（近藤教授会長）との懇談、さらに五時半からは、「かわさき」で信用保証協会役員との懇親会とあわただしい一日がつづいた。最後は早目に退出し、七時一〇分の JAL で上京ふくおか会館に泊る。うえやま氏との対談は家庭料理クッキング活動が話題で楽しかった。

6月17日（水）曇一時雨

午後はやく福岡では一時降ったようだ。東京は曇り、七時起床、八時朝食。九時半議員会館に太田代議士を訪問。あと防衛庁、国土庁、自治省、消防庁、建設省、林野庁の順で昨年九月の台風一九号関係風倒木自衛出動処理に関するお礼まいりに走りまわった。再度自衛隊出動が必要との意見もきかれた。今のところ目の梅雨期が乗り切れるかどうか心配。午後の時間あきを利用して県人会々長の斎藤武幸さんの奥さんの告別式（中野慈眼寺）に一寸顔を出しおくやみを述べた。五時の ANA で帰福、七時半に帰宅できた。官庁街はしりまわって疲れた。

6月18日（木）晴

朝登庁してすぐ散髪。十一時すぎから議場、本会議、提案理由知事説明。午後は一時半から三役会、黒木病院閉鎖の方向を出すことになった。決裁を何件か消化し、二時四〇分から一時間、労働党役員二人の来訪に対応、懇談一時間。あと、企画のレクだが、これは明日北九州市で始まる国際宇宙大学夏期講座オープンセレモニーでの英語での知事挨拶の草稿了承についてであった。三分ぐらいのものだが、なかなか口がついていかないのに驚いている。このあと検診、まずまずの結果。六月議会を乗り切るだけでなく重荷の毎日がつづきそう。少しでも自由な時間が欲しい。カンボジアに自衛隊七〇〇人ほど派遣予定と、大変化時代に突入した。

6月19日（金）晴

レクがつづいたあと、一〇時一五分からスターカップ大会寄付金の贈呈式つづいて共同募金感謝状伝達式があった。両方に上杉昌也氏が関係。次に「父の日」バラ贈呈（園芸家）。十一時から婦人警官と語る会及び中食会。決裁をすませて八幡済生会病院の増改築落成式

と祝賀会にかけつけた (於千草ホテル)。こんどは小倉駅北口近くの国際会議場、五時から国際宇宙大学 (ISU) 92 夏期講^マ入学式及びレセプションに参加、英語で歓迎挨拶。千草ホテルに移動、ISU 日本側代表ら四人を招待の夕食会。これら ISU 関係はすべて末吉市長の骨折りによる。あと済生会永田常務らと少々遊び千草ホテルに泊る。

6 月 20 日 (土) 晴

県環境整備局の問題提起で朝から千草ホテルに局長らが来訪、十時半から宗像市長が来訪。坂本工業が日の里に産廃処理場を建設する問題につき、業者側の着工姿勢が明確になり、住民団体との間にトラブルが起るがどう対応するかという。市長は県が仲介者になる事を希望、住民側反対の先頭に立っている旨私にもちかけてきた。県の事務側と予め話合っていた通り、業者側に完全ストップと県がいうわけにはいかないと返答した。市長は退辞したが、二十三日に迫ったこのトラブルをどう裁くか狂いそう。古賀で中食、三時帰宅。

6 月 21 日 (日) 晴後曇

朝八時に出発し、添田町での甘木豊前線、添田～小石原道路の開通祝賀式典に出席した。山崎拓建設大臣が出席するからというので大牟田での行事に優先させることになった。県南から豊前への近道ができ、将来国道に昇格するといわれる。帰宅したら二時すぎであった。机辺で時間を使ったが、夕方五時半撒水作業をした。降らないのでカラカラ、とくに鉢物は水を欲している。もう朝顔の蕾ができていたので驚いた。昨夜は月下美人が咲いていることに気づけなかった。撒水するとすべてが生き生きと感ずるし、自分もすがすがしい。来週は議会。

6 月 22 日 (月) 雨

一日中、とくに午後になって梅雨らしい雨が降った。田植期の農業者にも喜雨といえよう。レクがつづいた。ゴルフ場開発規制、産廃反対運動、とくに宗像市での坂本工業問題、それからハワイ州議会からの来訪問題。午後は二時から看護協会の幹部一〇人を相手に「対話のつどい」現在の看護人材不足への対応と看護大学を県立でという要請が話題の焦点になった。これは平素から私も気にしていた課題であり、話もはずんだ。四時二〇分から検診。六時からハワイ州議会代表団を歓迎する夕食会 (県議主催) に招かれて出席挨拶歓談。済生会病院では永田常務が要請する時間をとって、ライオンズクラブに入会することに決めた。

6 月 23 日 (火) 雨後曇

二日間たっぷり降って四時すぎ議場を出た頃には止んでいた。よい雨だった。八時に出発し、答弁資料検討会、ハワイ下院議長らの表敬、本会議での交歓会。十一時十五分から代表質問がはじまる。中食も残りの答弁検討会でできりきり舞いだった。自民の藤田、社会の野下、

農政連の重野の三人が質問者。終わってから決裁、そして林武彦県議の来室。女性副知事候補探しが主たる話題、西部ガスからの用地購入も。（議員会館、黒田荘がらみ）ほかあれこれ密談して帰宅したら六時半。かなり冷え込んできて長袖やチョッキを出して着る。ハワイ議会の人達には私の揮毫の色紙を額に入れ贈る。

6月24日（水）晴

八時に出発して答弁勉強会。代表質問の二日目、勝野（民ク）と北原（公）の二人だが途中あれこれ行事がはいり、又も忙しい日となった。朝の挨拶録音が終わって四時、吉井町へ。金子文夫氏の奥さんが急逝された。年はきかなかつたが彼の方は81歳。筑後川は二日間の雨で増水濁流となっていた。田植の進む風景を見た。むしろ園芸農業化も進み、名も知らぬ作物が整々と育てられているが目についた。時代も変わったものだ。吉井町などにまだ見られそうな古い農村伝統をどう残すかに気がかたよった。術はないかも知れないが、何とかしたい。

6月25日（木）晴

八時半から議会答弁検討会。十時^{四時}韓国の輸出促進ミッション朴龍学氏ら6人の表敬あり。十一時すぎから一般質問に入る。中食までに二人、あと三人の五人だった。午後の休憩時に椎田町下岩丸に産業廃棄物処理場建設反対の趣旨で町長ほか七人の代表が来訪し、水源汚染などの理由で差止めをするよう陳情。近頃あちこちに同種の問題が起って私も困惑、現地ですぐ対応してもらわねばと思う。今日の一般質問は広田（公）、下川（共）、横溝（友ク）、武藤（自）、木野（社）でみんな建設的な提案で快い感触が残った。三時二〇分終り、あとレクが二件あり、五時半すぎに帰宅できた。議会のある期間でも種々行事が入り組んで多忙。骨休めはできそうにないという。

6月26日（金）晴

一般質問二日目。前・後で四人。後藤元秀（農政）、薦野健（民ク）、橋詰和元（自民）、勝見保（社会）どれも順調に流れた。終わってから決裁と検診があり、午後六時から河北倫明氏の文化功労者受賞祝賀会が国際ホールで行われた。浮羽、久留米で育ち、美術評論家として光りかがやいた人だ。実に温厚にみえる。五高、京大を経ている。西日本新聞の青木社長と私と、桑原が発起人代表であいさつをした。県下の知名人をほとんど集めていた。美術界でははじめての受賞とかいわれていた。風変りな所に取りえがあるともしわれていた（今日の話題）。

6月27日（土）曇・小雨

朝九時一〇分に出発し、夜九時半帰宅するまで遠乗りの一日だった。八幡西区松柏園で栗川

タツエさんの受勲祝賀会。盛大にやらねばならぬので苦労も多かったと思う。重富氏が選挙を念頭に来会していた。小倉南区一〇号線に入ってから中食。大平村役場へ。県・村の関係者に迎えられ風倒木被災地視察。小畑地区二つと椎ヶ迫地区。自衛隊の作業跡、新機械導入作業現場、未処理現場としては後者と次にまわった豊前市櫛狩屋地区であった。計四カ所、それぞれ人力では時間がかかることを痛感しつつ大平の小畑地区での機械化処理には驚愕した。六時から県総合庁舎横の築上館で恒遠俊輔氏の「幕末の私塾蔵春園」出版記念パーティに出席した。知己の人々多数。

6月28日(日) 晴

休みで、何とはなく楽しい一日だった。小島隆保氏が植樹祭の句を送って来たので、それを筆で書き返信とした。条幅のうち一枚押印の段階で失敗その点気分が悪い。夕方、台所の上の渡樋が篠の葉で詰まっているようなので梯子を使って掃除した。蚊が多いので外の仕事は油断ならない。柿の枝が屋根をふさいでいるので切り落した。早ぶろで体をすすいで肌着のままではいるのは気持ちいい。網戸を利用して窓は全部開け放つ。適度の風もある。近頃夜の睡眠が十分でないのが気になる。頭が重いのは睡眠不足のせいだろう。他は何とかうまくいっている。筆をもつ時間が多いのはよい。

6月29日(月) 雨

一日中小雨。八時半から答弁検討会。十一時一五分から最後四人の一般質問。林裕二(民ク)、古川忠(自)、若狭春次(社)、内田壮平(自)であったが、自民の二人は前からからんでくる人で、今日も同様からんで来た。とくに古川氏は週休二日制と旅券発給行務について、ここではもつれて議会が中食をはさみ二時間以上前進しなかった。十二時過ぎから三時までストップし議事調整にひまどり役員が入って結果をつけた。内田は知事のリーダー論。以前コンダクターだと私が言ったのが気に食わずリーダーと直せとの強引で終止符をうった。副知事などリーダーといってもよいといったが、私は頑としてリーダーシップという表現で彼の説に従わずに逃げた積り。あと決裁。

6月30日(火) 曇

議会は常任委員会におち、ほとんどが議事終了に向かったとの報告。総務を残すのみ。十二時三〇分から代表者会議で、教育委員の追加提案と、中国交流姉妹関係締結に江蘇省を選びたいので協力をと提案して終った。あと常任委員会の待ち時間となったが、四時頃、山村、土井、牧坂の三人が来て展望室で春の同級生会(二十二日)の構想、案内状の出し方について六時近くまで話し合った。ほぼ結論をえた。六時過ぎから山ノ上ホテルで済生会永田たちとマー جانをすることになって深夜に及んだ。常任委員会がうまくいったので安心できる日だった。台風それる。

7月予記

六月議会在週休二日制で徹夜審議になって七月未明終了したが、つくづく無駄づかい。疲労という馬鹿なことを平気でやってのける議会制度の一面を改めて痛感させられた。中旬の政府予算要望の時ダイヤモンドホテルで、私の好みは何かときかれたとき、何に対しても積極的にこれという好みはないし、逆にこれがいやという事もないと答えて夕食会の同席の人を驚かしたのには改めて自分でびっくりさせられた。与えられた環境に適応するだけという自分、二〇日から肝臓治療で特別入院せよといわれて応じたのもその傾向。どうなってもいいと思う結果なのである。

7月1日（水）小雨

霧雨模様がつづいた。朝八時二〇分から岩田屋コンコースで同和問題啓発の行動に参加し、終って検診、そして登庁。県議会の各常任委員会は昨日すでに全部審議終了したが、週休二日制導入問題を扱う総務だけが議了しない。待ちの姿勢がつづいたし、与野党それぞれに表面に出ない動きをくりかえし、総務部長、職員長らきりきり舞いをさせられ、副知事も職員組合の意向打診に努力したが、八方ふさがりのまま、今日は暮れてしまった。三日までの会期。組合側が休息休憩の時間について野党のいう通り認めない限り、片付きそうにない。極めて難問。

7月2日（木）曇

九時五〇分に大手門会館へ。部落解放同盟県連大会があつて挨拶。あと済生会永田氏の案内でグランドホテルで行われるライオンズクラブ理事会へ、入会をすすめられて入会の挨拶。入会金を支払をすませる。こんどは新幹線で小倉市民会館へ。県市第四港湾など主催の「港湾・空港シンポジウムイン北九州」で冒頭主催者挨拶に立つ。帰庁して、待機姿勢がつづいたが、県議会の総務委員会関係、副知事ら職組側と交渉をもつが、週休二日制総労働時間の点で三者折合がつかぬまま暮れていった。私は六時からのアメリカ領事館での第二一六回独立記念、総領事館開設四〇周年式典に出席した。

7月3日（金）曇

九時までに登庁。県議会々期は今日までだが、総務委員会が、職員の週休二日制条例の取扱いで難題をもちかけなかなか議了しない。十時半オーストラリア大使館からドッズ公使来訪で対応した以外は議会对応ばかり。週休二日制関連議案の取消しと再提案代表者会議、議運、などくりかえし、午後八時まで、つづいて十時まで、さらに午後十二時まで、三回の延長のための本会議があつたが終に議了せず四回目の会期延長。七月四日に持ち越された。職員の勤務時間が週三八時間四五分となる点に文句がつけられ、時短を渋る心がみえていた。

7 月 4 日 (土) 小雨

六月議会は一日会期を延長し、午前二時半全議案が可決され、挨拶まわりを終えた。午前三時に帰宅、就床は三時半になった。空腹と疲れ、少し食べて休んだ。気温がかなり上昇。ひる頃起き出たが、是松、松永氏が約束ということで来宅、マージャンで時間を使った。十時頃まで。又程よく疲れた。週休二日制が九月から実現するのだが、あれこれ行政課題があるのにとの理くつづけで野党がねばったわけ。新聞は早速、福岡県職員が週四〇時間を割ることになったと報道している。県民に辛く訴えようとの下地が見えている。

7 月 5 日 (日) 曇

休務。降りそうで降らなかった。終日在宅。揮毫は半截二枚の宿題を仕上げた。この夏の玄羊会書展に正規の出品をできないままだったが、先日牧坂氏から写真冊子には間に合わなくても略式で出すだけでも、必要だということで、紛失したものの原本があったので、それを出品にまで漕ぎつけるのに時間がかかったのである。涼しい風が吹いて、開いた窓辺では快い気分になれる。中元の用意もせねばと、今年の分を点検した。同じもので変りばえはないが、夏だから又ソーメンで片付けようと思っている。昨年より用意がおくれている。

7 月 6 日 (月) 曇

十時少し前青年海外協力隊第一陣十人の来訪挨拶。十三時から江蘇省人民対外友好協会一行の表敬があった。県との友好関係協定を前提に、秋に知事を招待するとの文章ももらった。三時半久留米を中心とする筑後川沿いの市町代表が県議を含め二〇人ばかり来訪、地方拠点都市の地域指定につき陳情があった。特別会議室一ぱいになった。六省のバックをうけた地方振興策であり、東京一極集中を訂正する政策が打ち出されていることによる。昨日書いた「月報」の原稿渡しと、玄羊会書展におくればせながら出品する二つの件で牧坂に、嶋津にと頼む用件をもって尚文堂に、帰途立寄った。六時帰宅。

7 月 7 日 (火) 曇

定例の庁議と記者会見。「テレビ嫌い」の発言に抗議文をつきつけた記者団に私の気持はさめている。十時四〇分から県税事務所長 14 人との懇談会。ひる休みに講堂で公演を終ったドイツフィグル合唱団の表敬。次いで長崎県企画部次長来訪、来年の全国知事会の件。三時から篠栗線電化複線化のための三セク設置準備会がリーセントホテルで開かれた。夕方検診を受けたが、糖の数値が異常に高かった。最近眠れないのもこれにつながっているかも知れぬ。帰宅して時間があつたが、休むことを知らず原稿書きなどもした。

7 月 8 日 (水) 曇

午後一時に出発。知事室に姫高の後輩といって小沢氏が訪ねてきた。建設関係で活躍、県で

仕事があればというのが来意。二時在日韓国人婦人会県本部の人達から要請、国籍条項緩和の件である。三時アメリカ領事館首席領事来訪（就任挨拶）。四時凸版印刷で肖像用写真撮影。ポーズが細かく指示に従わねばならぬ。髪、ネクタイも気をつかう。五時からガーデンパレスで県連（老人クラブ）三〇周年祝賀会があった。教養部時代の事務長だった青木氏が粕屋町から来ていた。六時すぎ帰宅。参院選公示の日。

7月9日（木）曇後晴

九時半発。週休二日制についての協議機関を早急に作ろうと提案されて来た。県会の答弁をうけた形。十一時四〇分から上海の教育産業考察団代表来訪、三漕町との交流に県も関与してもらおうといいのにといい。一時駐日フランス大使館から公使、大阪神戸公使の二人が来訪。今日六時半から末永文化センターでのパリ祭と併せその歓送会が行われる人ジャンジャック・シュグルナ公使とルオ・ベレ領事の二人。五〇〇人も集っていたといわれ、第三十三回目のパリ祭と二人の歓迎会になった。末永文化センター長は名誉領事だが、こうした行事消化に困難しておられる模様。コンサートその他。

7月10日（金）曇一時雨

歯大の学長辞令交付のあと、荻田地区主要企業と懇談会と中食、サンヒルズで。道路や空港が主な関心事で雰囲気は協調的。日産、九電、セメントなど基礎産業界が主。一時半から交通安全対策会議が特一で行われた。交通事故への対応が中心である。毎年一万人以上の死者を出す「交通戦争」だが、自業自得とはいっておれないものがある。三時から三役会議、昨年台風の二次災害防止策とそのための特別予算政府要望の準備である。A級の危険箇所がまだ残っている。ドカ雨の心配もある。限りない努力。

7月11日（土）雨後曇

七時には起き出て机に向う。眠りが浅くて爽快でない。十一時すぎに是松氏が掛軸を仕上げてもってきてくれた。井上前県議長に贈る予定のもの。一時に出発して二日市温泉の大観荘での「平和の旅」中国写真集出版記念パーティーに出席。小中学校の教師たちが中国の要地をまわり日本軍の残した戦争残虚跡を写真集としたもの。三〇〇〇部を出したという。毎日新聞の大賀記者の作品前例がある。四時半大手門会館でのローフレンズ懇親会にも出席。十三年目を迎えている。細々ながら意義深い努力だと思う。

7月12日（日）曇

雨気こもったまま、夕方一寸ひざしあり。休務で、ねっころがったり筆をもったりだが、やはり眠りに問題がありそうである。湿気が強く汗をかくこともあって、夕方早目にシャワーを浴びた。外は山笠でにぎわっているだろう。近隣は子供の泣声、オートバイの爆音、車の

クラクション、犬の遠吠など結構うるさい。小鳥のさえずりが涼をもたらしてくれる。環境のよさを感じる。騒音がなければと思う。自分の健康が終始念頭から離れない。頭の曇りが第一。

7月13日(月)曇

十時にタイ国大使ら七人(スチャリックンさん)来訪。次に篠栗線活性化対策準備会室のオープン看板かけ。十一時に検診、二十日からの入院治療について決意。二時にニュージーランド大使来訪。(マクダウェル夫妻ら六人)あと、日程関連のレクがつづいた。決裁もあり。六時半から中洲の満佐で県警役員主脳らとのこんしん会。堀川本部長は姫路、野里出身ということで、いろいろ話がにぎわいだ。警察の仕事も大変だし、庁舎が古くなっている地方も多いとの話。女性警官の話も、駐在所、派出所の話。宴が終って、執行部側の者でマーじゃんをした。十二時までに帰宅できた。

7月14日(火)曇・晴、東京小雨

九時から定例の庁議・記者会見とつづく。このあと歯科大自治会幹部が来訪(武藤県議が仲介)全国規模での夏の大会出場、などの話題が中心。十二時半のANAで上京、二時に羽田着。四時半に黒川紀章事務所訪問。平成六年の文化デザイン会議を福岡でしてほしいという依頼が目的。可能性があるとの感触をうけた。六時から西新橋の泉寿で文部省生涯学習局長、前高等教育局長、前畑安宏氏と夕食懇親会。福岡県立大学設立のお礼の意味があった。県の私学局から局長、課長も同席した。

7月15日(水)曇

いまにも降りそうな天候。八時に朝食。十時から午後四時半まで来年度予算編成についての対政府陳情。両副知事関係部長らも来ていた。私は午前中文部省、文化庁、建設省、午後は運輸省、国土庁、建設大臣(山崎)、自治省を担当した。審議官以上で、建設と運輸は対象者が二〇人をこえ、陳情行動も疲れる。すべて言上は私がアウトライン発言せねばならないから気疲れもする。中食はふくおか会館、夕食はダイヤモンドホテル地階で県関係者でテーブルを囲んだ。参院選たけなわなので大臣、政務次官は留守中というのが多かった。他省は両副知事で担当、とくに重大問題はない。

7月16日(木)曇後晴

ふくおか会館七時半朝食、八時二〇分出発。羽田発九時四〇分で富山へ。一時間で着く。バスで市内の名鉄トヤマホテルへ。一二階レストラン(ルーバン)で中食。川上、平の二人が秘書室からの同行者。十二時半から第十二回全国知事会議(同ホテル瑞雲の間)、三時まで。あとバスに乗合わせ、小杉町で開催されている「ジャパンエキスポとやま博」を視察。五時

十分までかかり、ホテルまで帰り、六時四〇分から知事会議と同じ部屋で知事会の懇親会。八時には約束していた富山大学の桂木氏が来訪、大藪、世利の二人を伴っていたので、又12Fのレストランで九時まで懇談。送り出したあと、十時まで同じレストランで、金丸、みゆき（別行動中）を加え、ビール、つまみで談話。ホテル部屋番号は一八二二号室。多忙な一日。天気回復でラッキーだった。

7月17日（金）曇 一時雨

全国知事会のあとの日程。産業行政視察の一端、立山一黒部のコースを選んだ。九時に名鉄トヤマホテル出発、立山博物館、清流荘での中食、称名滝見物、美女平を経て三時四〇分に泊地の立山高原ホテルに到着、六時から一行の夕食懇親会という日程。高原ホテルに着いた時は一時雨が強かった。ホテルで夕食まで二時間休憩することができた。一行は多くなく四〇人余。富山県側六人、福岡県は平、川上、金丸、みゆきで計五人。称名滝は日本一の長い滝、今日の圧巻であった。立山連山の広い原野から落下して称名川をなす。常願寺川の上流。富山県が称名滝プロムナード事業を進めており、四七億円投入で観光客の足止めと災害防止を目標としている。珍しい植物、動物もうまく保全されている。年間三〇万人が訪れるという。称名プロムナードは自然を楽しみつつ誰でも散歩を楽しむことができる。滝の落差は三五〇m。

【欄外記入】立山黒部アルペンルート

中部山岳国立公園をなす

7月18日（土）曇一時雨

七時にホテルで朝食、五〇分発。バスでトンネル、ロープウェイ、ケーブルなどで黒部ダム、室堂、美女平、国際ホテルで中食。雨と霧にとりつかれた黒部、立山の視察になった。溪流の増水著しく帰りの称名滝はすごく大きくみることができた。降雨のため経路を予定より若干カット、三時に空港着。午後四時二十分羽田に向い、羽田で夕食をとり、ゆっくり時間をとって七時一〇分羽田発、福岡は九時着。雨上がり後の福岡はひどくむし暑く感じた。黒部視察が雨で乱れたのは残念だったが、ありうることと思えば、いい体験であった。川上、平、金丸の三人も元気で帰福。留守中のたまった荷物は明日以降に整理しよう。

7月19日（日）晴

休務。何もしない一日にしようと思って、その通りに暮れた。少し筆をもつ。条幅一枚と短冊何十枚か。蟬が啼き出して暑さを加重する。明日からしばらく入院とのことでその準備は一応すませたが、心の方がもう一つ。富山県の地図を拡げて旅の足跡をたしかめた。予備知識が少いのになら驚く。黒部峡も改めて地図の上で確かめた。九州に来て五〇年になるが、足跡なく未踏の地も多い。誰もがいうが、どの地も変わってしまっているようなので、

昔行ったからといって知っているとはいいい難い。昨日、平氏と語ったのは鹿児島県のアマミ地方に足を運びたいなということだ。種子、屋久、大島などゆっくり旅したい所だ。

7月20日(月)晴

今日から長期入院。その前に西鉄労働会館に行って渡辺四郎、淵上貞雄両候補はげまし、中央区役所に寄って不在者投票をした。十時に入床。主治医は今利先生。インターフェロン注射療法の説明をきき、心電図をとったあと注射。秘書室からどンドン見舞客が見え、おしゃべりもして時間がすぎた。高熱を生じ、けだるさが出るといわれていた注射だが、私にとってはオーバーな反応はないといえる。ザヤクのせいかな体温は三六度四分まで上昇、そしてかんたんに入眠した。梅雨が上ったらしく、外はすごく高温、真の夏日になった。

7月21日(火)晴

注射のせいかな若干だるい。今日は糖検査のため規則正しく食前食後食間など七回の採血、採尿があった。副知事らほか外にもれたらしく上岡夫妻も見舞に来てくれた。少々熱も出たが三六・四度、血圧や脈搏は順調に経過しているといえる。見舞の花が部屋(三六五号)にところせましと並べられた。上岡さんはビーレバーキングという飲み物をそして杉茶の干したのを煎じて飲むよう忠言してくれた。漢方にもいい途があることの強調でもあった。自覚の程があやしいので、何でもひとの言分に従うことにしている。大腸をめぐって少しびくびく痛む。睡眠は十分にとれている。句誌もよむ。

7月22日(水)晴

昨日につづき朝早くから、長い時間腹痛を感じ床の上をはねまわった。六時すぎ起き出し洗面などでまぎらわせ、時間が来てから主治医に訴えた。エコーによるも肝治療とは関係なく、便秘ガスのたまりからと診断され下剤をもらった。九時半朝食、注射、体温は三六・七度に上昇、中食までに腹痛は止んだ。午後、土井、牧坂が来室、姫高同窓会の打合わせ、雑談。この時土井氏が整理している本の中から少年倶楽部が見つかったとの話(昭和六年三月号)夕食後牧坂氏もってきてくれた玄羊書作展の図録をみせてもらった。私の出品につき間にあわぬところを敢て図録にのせてくれた点に感謝したい。

7月23日(木)晴

昨日同様午前五時から九時頃まで腹痛で苦しんだ。九時パン食、便通少し。睡眠不足のようだ。注射のあと自然に眠て取り戻した。森山、信用保証協会の近藤氏が来てくれたし、約束もあって教育長も来た。県立図書館の増改築、議員会館移築の話、黒田荘改築の話がからみ少しずつ根まわしが進んでいるようだ。東京、大阪に次いで九州にも不況の波が寄せて来たと近藤氏の話。景気対策もそううまく進まない。製造、消費にまで及び自動車産業にも往年

の勢いが無い。消費の買いひかえ、回復に一年はかかるだろうという。外は三四度の熱暑。私の体温三五、脈五七、血圧七五一一二五。まずまずで注射の影響即にあられてないようだ。できるだけ早く休むことにしている。

7月24日（金）晴

八時に朝食。今日も胸部少々痛む。九時インターフェロン注射。まもなく眠りこみ、十一時まで安眠。午後、社協から一宮、松永両氏が見舞に来てくれた。秘書室からも大勢、林副知事、林県議。昨日は国労出身の小田氏の葬儀だったとか。林県議の話は例の西部ガス跡地利用である。県教委から図書館増改築、議員会館の移築、黒田荘の改築を共に行うため、西部ガスの用地を早目に取得しようというもの。三者がらみであるから話の筋道をうまく運ぶことが必要。重松女史が鈴虫籠を九籠にもふやしているとの話、世話が大変だ。しかし一つ事にこることは立派なこと。

7月25日（土）晴

連休だから誰も来ないでいいとっておいたが、金丸女史が来た。赤嶺さんが訪ねて来た。渡辺選挙は大丈夫ですという。マスコミの焦点ボカシに洗われてか、低調選挙で関係者はいら立っている。特に発熱もなく順調だった。午後六時中洲の丸海屋で行われた第21回玄羊会書展打上げ懇親会に出席。病院から近くもあったが、みゆきが随行者になってくれ、岸本先生を送ってもくれた。二〇余人の出席者で書道人口がふえている一方で玄羊会員は減っているようだ。岸本先生は羊どし生まれ、私より一三年上、八十五歳になられる。元気そのものだ。私は一向に字がかわらないので書展があるたびに自分で嫌になる。大胆さが必要なのではないか。

7月26日（日）晴

入院以来これで一週間。ベッドの上が家だから注射をうけ睡るばかり。馬鹿な夢をみて覚める、又一寸寝る。運動不足でひょろひょろになっている。今頃子供達は海で山で一番楽しいだろうなと思うと羨しい。牧坂氏の話では土井氏の息子が突如入院、家の改築計画に狂いが来るのではないかとのこと。そうだと全くお気の毒だ。今日は参院選投票日で誰も来訪なし。私は部屋にテレビもラジオもおかず、情報切断の毎日。午後九時には大勢判明だろう。内政・外交とも大変な時期なのに、マスコミが争点を意識的にはぐらかし、国民も安住の段階。政治に変化は求められない今の段階だ。

7月27日（月）晴

登庁の日を意識して朝風呂に入る。十時すぎ川上氏が迎えに来て登庁、すぐ散髪に行く。選挙の結果を一寸きいてレクをうけ、一時から自治会館で恒例の解同との交渉。私は挨拶だけ

で退散。病院に帰って中食、注射、休息。午後六時から三光園で県の指定金融機関の役員たちとの懇親会。今後筑後川大堰を見学してもらってその帰りというコース。池田出納長がホスト役。参院選福岡地区は横尾（公）、渡辺（社）、吉村（自民）の順で三人。重富一位のうわさが先行していただけに一寸意外ともいえる。比例代表で細川氏ら日本新党が四人当選した。政治の大勢に変化はあるまい。

7月28日（火）晴

庁議と記者会見の日で、午前八時すぎ退院して両方に臨んだ。済生会の永田氏が手伝ってくれた。永らく体を使ってないので足許がもつれる思いであったが、何とか消化した。決裁もあって、十二時頃県庁を出て病院に戻り、例の毎日の注射をしてもらい、そのまま帰宅した。無理をせぬようにと思い乍ら積っていた来簡物を点検した。新聞には、二六日の参院選挙評が出ている。無責任に勝手なことを書いて足りる新聞である。PKO 法による部隊派遣には依然誰も自信ある言い方ができないようだ。

7月29日（水）晴

七時におきて、たまっていた日記を整理していると蟬しぐれ、山鳩、バイクの音。いい加減にしておくれといたい。十時半に迎えが来て病院へ。注射と点滴。今日は座薬がよくきいたのか、ふらふら体調。十一時半に帰宅したが、中食をはさんでであるが、午後三時すぎまで横になり、うとうとして過ごした。半病人の形である。自己を失った時間。肝の病がよくなる前兆まだ見えない。何もする気がおこらない。何とかもてているからいい。しばらく無為に過ごそう。それも人生の一齣だろう。でも仕事。夕方植木にたっぷり撒水した。疲れた。

7月30日（木）晴

朝から揮毫。腹が立つ程誤りが出る。最後の署名などの時だ。頭が一寸狂っているのであろうか。電話がかかって来て、グランド H での参院社党の敢闘祝賀会の行事が追加。五時少し前例の注射で座薬を用いて夜七時から九時まで苦しんだ。三時～四時高宮別館で直木賞の杉本章子さんと対談（広報の取材）この辺午後の書き方は時間的に逆ばかり。外は猛暑、夜花火大会すごい人出であった。苦しい注射闘病の数日である。まだ心配残る。

7月31日（金）晴

九時半に出発。まず病院で注射、登庁して決裁を少々消化し、一時三五分の JAL で上京。羽田から都市交通網は大いに渋滞し、五時からニューオータニで行われた九州国立博物館誘致のつどいにまずまず間にあった程度。国会議員、県会議員、文化人など著名人をたくさん集めて成功裡にこの会は終ることができた。教育長ら文化課の人達の骨折りが報われ、国博誘致への固い一歩が築かれたといえる。六時半頃ふくおか会館のビヤガーデンで一時

間ほど休憩し、八時頃自分の泊る部屋に入り早目に就床した。二階堂、西岡ら国会議員が今日の集いに役割を演じてくれた。ひるま国博についてのパネル集會うまくいったらしい。

8月予記

八月も知らぬうちに過ぎた。長期休暇はと問う人もあるが、あるのやらないのやら。中旬にスコレ若宮で二泊の勉強会をし、県庁の新鋭が入れかわり立ちかわって当面の県政問題につき討論することができたこと、九州北部三県知事と韓国沿岸の四知事市長とが济州島で友好を語り合ったことが印象に残る。対政府来年度予算要望の中で、新北九州空港と九州国博の二つに展望が出たことは画期的というか、明るい話題であった。どちらも長い目でこの先努力を要するが、ともかくよろこばしいことだ。夏の甲子園では西短付属高校が優勝するし、うれしいことばかりだ。

8月1日（土）曇

八時に朝食してそのまま羽田空港へ。九時五五分のJASで福岡となる。帰宅途中病院に寄り注射、帰宅後中食。体力弱화의せいか意欲もわかずごろごろしてすごした午後だった。夕方外に出て雑草取りの作業をしてみた。きれいになったのはいいが、残念ながら疲れを感じる。座薬がきいてか、便所に三回も行った。何もする気がおこらないのが気になる。雨が欲しい、からからである。うちにいても蟬がうるさい。情がない。犬の吠えるのもうるさい。下のマンションへ来た警笛、建築のための釘を打つ音で。風鈴はむしろ涼しい。

8月2日（日）晴

県議の山根守氏の藍綬褒章受賞祝賀会があつて十一時飯塚寿会館に行った。六〇〇人からの来客でにぎわった。町議二〇年県議一〇年の経歴をもつ人で石炭問題にこの三〇年間取り組んで来た功績がたたえられた。宴が始ってまもなく退席し、帰途上岡さん宅に寄り、私への見舞に対するお礼を述べることにしたが、留守だった。福岡市内に入り済生会病院で毎日の筋肉注射をしてもらった。今日で二週間目になる座薬のせいか体力気力共に衰え暑さも加わってか、何もせずごろごろの時間がつづいた。静養になっているのだろうか。

8月3日（月）曇

八月に入っても、ひとのあれこれの行事が重ねられており、当方対応にいとまがない。休みを取ったらとの忠言もあるがそれどころではない。午前中は甲子園出場の西短付属高の出場あいさつと、アジア太平洋子ども会議来福代表表敬。午後は九州北部研究学園都市建設構想懇話会（全日空 H.）下川端地区市街地再開発組合設立記念祝賀会（日航）と、いずれも長い長い名称の会議。途中で切上げ検診に行き、六時から教育委員長再任の祝賀懇親会。これだけで疲れてしまい、夜は早目に就寝した。希望もよろこびもなく一日が過ぎていく。

8月4日(火) 雨

早朝から風を伴って降った。文字通りの慈雨だ。万物生きかえる感じ。午前中からレクがつづき、十二時からグランドホテルで第二回産労懇が中食をはさんで行われた。「高齢化時代の労働」がテーマとなった。平穏な意見、前向きに行われてよかった。三時から全国私立短大体育大会関係行事。高円宮両殿下を迎えて市民体育館で開会式、四時から。そして七時からニューオータニで両殿下を囲んでの役員五〇余人による夕餐会。九時すぎまでかかったがうまくいった。明日から三日間市内主要施設で行われる室内大会が盛会裡に終了することを期待してやまない。一六五校三八〇〇人の参集だ。

8月5日(水) 晴

毎日病院にかかっているせいか元気がない。与へられた仕事をやっと消化している程度。自分で日程を作るわけではないのでひとさまのいう通りである。一時半福岡学園から全国少年野球チーム出場の挨拶のあいさつがあった。決裁後の検診、そのあと上京。夕食もいつもの通り中華料理で終わったら就寝。明日は一日多忙。受身の暮らしばかりの連続。カンカン照りでなく助かっている。みんなベストと思って動きその中に私も巻き込まれている。自分で読書の意欲もない。しばらくこの状況がつづきそうだ。今日から急に涼しくなって来た。

8月6日(木) 東京晴

台風のため九州は雨だったが、東京は晴れていた。例年の朝食会、中食会、夕食会と、国会議員に来てもらって県政の来年度予算要望をきいてもらう会がつづき、あいまをぬって防衛庁、自民幹事長室、総務会長、政調会長、運輸大臣、建設大臣に陳情に行った。共産党・社会党には桑原末吉両市長は同席しなかった。北九州の空港問題で防衛庁が空域調整で主張をダウンする気配がみえてきた。防衛庁が空域問題でがんばっていると国民への印象を悪くすることがわかって来たようだ。でも一がんばりは是非と思ったのであろう。朝八時半の朝食会から始って帰宅は午後十一時前、今日もつらい一日だった。

8月7日(金) 雨

台風十号の北上、九州を縦断するという。朝からよく降った。十時から九電体育館で部落研究会、十一時半から死亡者叙勲伝達式、あとはレクばかりつづいて最後に決裁。五時から検診と注射。負担の軽い一日だった。知事室にいても、うちに帰ってからも、目をつむって休むばかり。いつもなら句誌を読むなど寸秒を惜しむような時のすごし方をするのに、今日は目をつむるばかり。疲れているのも確かだ。注射の影響なのか気力がぐっと衰えたように思う。あわてる必要もないと割り切って暮そう。ギッシリ日程が詰っている。

8月8日（土）曇、小雨

ほんとうに台風十号は九州を縦断した。十二時前後福岡での風がひどかった。午前中雨情報を待って在宅。できるだけ横になっていた。県庁からの報せでは被害はとくにひどくはない。三時すぎ台風は北に抜け去ったようだ。五時前出発、アジア太平洋こども会議インふくおかのため御来県の清子内親王を出迎えるため空港へ。空が荒れていて、出迎えが混乱。一時間も余分に時間がかかり、日程は明日分から正常化ということで、空港でお別れした。今日も又疲れのため横にばかりになった一日だった。頭もはっきりせず。

8月9日（日）曇

清子殿下は福岡タワー、博物館、防災センター、大濠観光会館、子ども病院、次に知事の県勢説明という日程で、私の出場は三時からだった。四時五〇分中央公園でこども会議セレモニー、休息を入れて子ども会議イベント広場。アジア太平洋地域から選り抜かれた子どもたち四八〇〇人、四二カ国から集って来た。日本のホストファミリーの人達も来たので見物人入れて六〇〇〇人は集ったろう。幸い台風禍も去ってよかった。午後八時からグランドホテルで夕食会を共にしてお別れした。今日も午前中私はごろごろして時間をつぶしたのであった。

8月10日（月）晴

レクがあった後工業大学付属の田村亮子ちゃん（柔ちゃん）がバルセロナオリンピック柔道48キロ級銅メダルの報告に来県、はげました。一時四〇分江蘇省代表視察団来訪。次いでリトアニア国代表、核被害運動の一環で来県（共産党高県議案内）。三時から九州地方建設局長との対談、建設局から県の要望をききたいとの趣旨であった。牧坂氏が来て姫高会出席の人数をたしかめたらしい。六時から駅近くのセントラーザ三 F で江蘇省視察団の方達を囲んでの夕食会、にぎわった。十月に天皇訪中が決定しコメントを発表した。

8月11日（火）曇

十一時、ジャイカ派遣の林業職員をケニヤに送る辞令交付。北九州にとんで一時から小倉ホテルで東九州自動車建設促進総会、その帰りに東区前前田憲義宅に寄り初盆参りをした。決裁があつて六時半からサンヒルズで夕食と遊び。県警本部長、総務部長、林県議と私。十時半頃まで勝手に時間を費やした。久しぶりの遊びであった。台風十号の被害状況報告をうけたが昨年の十分の一以下。県の防災本部も民生から総務に移管の方針が出されている。

8月12日（水）雨

十時頃博多駅に清子内親王殿下（広島ゆき）見送りのあと、五件の初盆まいりを行った。吉井の金子さん、県議だった木村正剛さん、具島先生（奥さん）、荒巻京都府知事実父、最後

に九電の渡辺哲也さん、初盆を迎える側も大変な気づかいだろう。そして残された人はそれぞれに淋しさを表明しておられた。西南の学長された古賀武夫さんはキリスト教式を守り初盆まいりをしなかった。途中病院に寄り注射し、夕方五時すぎに帰宅できた。

8 月 13 日 (木) 曇

昨日夕方から今日夕方まで筆をもちつづけた。色紙など宿題である。六十余枚根気づよく仕上げた。アメリカ (ハワイ、ロス) の県人会にもっていくぶんが主体。今日も一日天気はぐずついた。台風十号の被害三十三億円との報告があった。昨年の十七、十九号台風の二十分の一だが、十一号台風が北上しつつあるという。九州に近くないとのこと。世間は一般にお盆休み気分になっている。若い人達は甲子園の野球に心をひかれているが、私には興味なしである。

8 月 14 日 (金) 曇一時雨

いわゆる盆休。一日何をしようかとふりかえってみる。短冊に句集写しをひたすらやっていた。栗山みつ子句集句を書き上げた。それぞれに特徴があつて、よい句、でない句があるが彼女は個性が強くてよいと思った。米寿になるが句の世界でがんばっている。生き甲斐があるだろう。物を見る目、思う心が句の範囲にしばられるのはよいことだ。相手の自分も句の中からの表現になっている。自在な世界に住める楽しみはうらやましい。庭の草抜き最中にはげしいにわか雨が降って来た。

8 月 15 日 (土) 曇

明け方降つたらしい。恒例の戦没者慰霊式が武道館で行われ、一時近くまでかかり、そのあと病院に行き、注射と点滴をうけた。他の時間はすべて筆墨にあてたとはいえるが、注射はやはり気持ちでできるくさせるようだ。積極的に何かをしようという気を殺ぐ。夕方庭の草抜きをしたが、昨日につづき完了したといえる。昨日から一匹、今日からも一匹鈴虫が鳴き出した。昨日のはもう馴れた音色になってきた。全国の追悼式につき新聞があれこれ書いている。PKO 法にも傍観者的に。

8 月 16 日 (日) 曇一時雨

もう一つはっきりせぬ曇天つづき。今日も休務。とくにせねばならぬ事もないので例により筆墨。食後横になってうとうと。大坪氏から電話があつて雑談に行くという。中川氏も誘われていた。午後四時から八時頃まで雑談にふけた。似たような物の見方であるのに改めて驚いた。中川氏は朝鮮との関係に深い関心を示したし、びっくりする程の知識をもっていた。中国江蘇省、韓国海峡各省との今後の友好交流について話しておいた。日本の政府自体歴史上の日朝関係についてはっきりした態度を表明すべきであるということも話し合っ

た。

8月17日（月）曇

台風十一号が九州に上陸の可能性があるとの情報が入ってくる。ひる前レクが二つ。十一時から海区漁業調整委員十五期の発足会、引きつづき新委員との中食会。午後は又レクがつづいて決裁。次は病院での注射と点滴。どうも注射が体力に影響しているように思え、気力にひびいている。五時半から山ノ上ホテルで六二会との懇談夕食会。社会党二期目の議員榊氏のほか全員出席。私にも平素いえなくて胸につかえていることを言わせてもらった。県議たちも議会の為辛抱のつづきだとの話が多かった。八時半帰宅。

8月18日（火）曇

今年はやらないかとも思っていた企画監との庁外での政策研究会が今日から三日間スコーレ若宮で実現した。40代の若い職員はみなはりきっていて国際交流を課題としていたのではあったが、みなよく研究をしていて、地理的歴史的視点から福岡のおかれている位置と任務はよく自覚していた。東京、名古屋、大阪に次いで第三番目の拠点であることがこぞって指摘された。問題は今後の行事にどう予算を確保していくかである。台風11号は心配されたが夜半福岡は無事通過したとの情報が入った。

8月19日（水）曇

企画監との政策研究研修会の二日目、今日は三〇人ほど参加。地域づくりが主たるテーマ、高齢化、環境、過疎過密が内容である。午後は一時から二時まで、トヨタ自動車九州の工場建設の現場を視察させてもらった。想像もできないほど広大な設備がもう八割はでき上っている状況であった。来年一月には新鋭工場が稼動をはじめるといふ。研修会は五時半まで密度の濃い発言がつづいた。みんなよく勉強している。これなら安心と判断できる。ただ過疎化、後継者難への心配が大きすぎるように思った。尤なことではあるが、物は長い目で見たい。

8月20日（木）曇

スコーレ若宮での研修会三日目。広報問題と県政の地方における総合調整に関して討論。九時から十一時まで。中食を終えて帰福。二時半から個人情報保護制度発足につき九大の近藤昭三氏と対談（ぐらふフクオカ用）。つづいて日韓知事会議を前にしての西日本新聞記者とのインタビュー時間、次の月曜日からの済州島における珍しい行事についてである。四時五〇分から病院で注射、すぐ空港へ。明日新北空港について四つの省に御礼まいりするためである。八時すぎからふくおか会館で夕食九時半まで。台風の影響で曇空ばかりがつづいている。稲にはよくなかろうが凌ぎ易い。

8月21日(金)曇

午前中あき時間となったので、児嶋正博さんを事務所に呼んで久々の懇談とし、すしを共に食べてお別れ。午後は新北空港の見通しがついたということで、防衛、運輸、大蔵、建設の四省庁へお礼にまわった。県議会、北九、行橋苅田の各分野からも同行してくれた。五時羽田発で帰福することができた。九州国博のことが文教族の間で話し合われ、概略建設の方向で話がおちつき、文部省予算に織込まれそうだとのニュースが流れた。いい知らせに包まれているといえる。

8月22日(土)曇

十二時すぎ出発。病院では注射と点滴をすませ博多駅へ。姫高卒業五〇周年同期生会を志賀島、博多湾一周クルージング、金印見物という内容をもり込んでやるその日が来たのである。26人が希望し、うち半分が夫婦同伴という形になった。福岡四人組、土井、山村、牧坂、それに私。こまかい案内状などの事務は牧坂がとってくれた。国民休暇村、海の中道ホテル(クルージング)福岡市博物館、山ノ上ホテルでの中食など手分けして連絡がとれていた。ラッキーだったのは降雨にならなかったことだ。曇り博多湾は残念。夜のコンパは結局十二時すぎまでつづいたことになる。

8月23日(日)曇

昨日今日志賀島万葉歌碑四箇所みたことになる。十時に海の中道ホテルの迎えが来てシーサイドモモチまで快速艇で移動、福岡博物館で金印中心の見物をすませ、山ノ上ホテルの迎え車で中食会同窓会をすることができ、午後一時すぎに散会した。来年四月の七十年記念式について、会長でもある戸谷市長から記念式概要をきき、再会を約してわかれた。二時頃帰宅。参加者はやはり金印に強い印象を残したように思う。福岡市の発展ぶりにも言及してくれた人がいた。一ヵ年ぶりに重い宿題を果たした感じ。

8月24日(月)曇

午後六時半済州島グランドホテルに着いた。釜山経由で長旅に思えた。朝は九時一〇分に出発、点滴と注射をすませ、自治労本部委員長(於福岡大会)の挨拶があつて旅行に出発となる。空港で佐賀県知事、釜山で長崎県知事と合流。釜山―済州では雨模様になった。済州グランドホテル着で記者会見もあった。今回の知事会議が全国で注目されているからである。一九時三〇分から知事七人揃ってのホテル一階で晚餐会。私室テーブルの仕組みになって午後九時すぎまで雑談、終って疲れを覚えたのでそのまま就寝。グランドホテル一五九室である。

8月25日（火）曇一時雨

八時から16Fスカイラウンジでバイキング朝食。10時から日韓海峡沿岸七知事会議。釜山、慶尚南道、全羅南道、済州道。会場進行役は済州道。事務側の打合せどおり何のわだかまりもなく理想的に進められた。十三時から同時行われた韓日協力委員会シンポジウムに列席し、途中退席、付近の彫刻公園を視察。十六時一〇分から共同宣言の発表と記者会見。一七時四〇分から韓日協力委員会知事会合同レセプション。一九時半から両者幹部の夕餐会二一時まで。万事がうまく運営できた。西短大付高校甲子園優勝。

8月26日（水）曇

昨日の合同レセプションと晩餐会で感じたことだが、今回の七知事会議は両国の政府当局は困難な中で両者をペアにして成功させたことの裏面がある。それにしても知事会議が新時代の幕開けを作ったとの私の発言に「自画自賛」と西日本新聞が評していた点、長崎知事も「何だこの表現は」と憤っていた。マスコミは沿岸サミットをできるだけ評価しない態度、勝手にさせておこう。七時起床釜山経由で帰国は一時半。総務常任の「職を賭して」という内容にクレームをつけ、注射をし、サンパレスでの自治労大会レセプションに出席した。

8月27日（木）晴

決裁を終えて久しぶりに早く帰った。十何日ぶりかの晴、むし暑い一日だった。九時半に国際センタでの自治労大会（第61回）に出て挨拶。先日優勝した西短大付高野球部員が報告表敬。三時頃に西国分ウエストナインも同じく九州大会で優勝報告来訪。十一時半に九月分知事挨拶収録。いろいろ、今日も多忙な一日だったが、朗報がつづいているので秘書室側も気が軽そうであった。佐賀県知事が来年の日韓七知事会議を佐賀でといった点につき、くいちがいがおこらぬようにと事務側に注意しておいた。虫の声も秋を告げるかに思える。ゆっくり休みたい。

8月28日（金）晴

次から次へと日程があって、そのレクがつづく。決裁も。十一時すぎから議会総務委員会知事保留に出席。週休二日制が始まる九月以後について、職員の規律保持について知事の決意を問うという事である。十二時、松下電工のビル、ナイスプラザ福岡の竣工披露パーティ、大牟田痴呆性老人を支える家族の会陳情、九州女子高校ダンス部の文部大臣賞報告等々と午後の日程がつづき、最後が検診（注射）。六時から魚新で関県議の病氣回復祝いの会。

8月29日（土）晴

日ざしカンカン、今日もむし暑い。書の課題があるので朝から従事、午後四時半までかかった。押印失敗で条幅の書き直しをしたのが痛かった。夕方枝がのびすぎて気になっていた藤

を剪定した。この年になって藤棚に上るのはつらい仕事である。足はびくびくふるえるし、バランス取りにエネルギーがいる。汗びっしょりかくし疲れも感じる。いっそ藤を切り取ってしまったらどうかとすら思う。まだ陽が高いと思ったのに、八月末にもなると暮れるのも早い。新木氏死去。

8月30日(日)晴

日照が強く、休務でも居場所がないほど。扇風機を用いたらやっと通常の気分になりえた。県庁からもち帰った資料を読むも半ばうわのそら。何をしないで寝っころがっているのが一番為になるように思う。六時から福岡斎場で元福銀頭取新木文雄氏の通夜式があった。大物だから本葬のような構えになっている。東大一日銀のエリートコースを歩んできたが、昨日脳梗塞で倒れたという。OB生活だったが、急に逝ってしまった。命の終末は急な方がいいだろうか。

8月31日(月)曇

もう九月議会の準備が始まる。バブル経済崩壊により経済不振、法人二税の落付は大きく、その上緊急経済対策が要望されるのに、中央の政策がもう一つの段階で予算編成にとりかかる難しい所。又、明日から週休二日制に入るので職員の服務規律(十二時十五分まで仕事し、三時から十五分休息)が議会側から注目されるので対応を怠るわけにはいかないという立場に執行部は立つ。六時まで山ノ上ホテルで予算編成の中味を説明する与党懇。ここでは原爆記念碑を作ることへの態度決定が大きな話題になった。執行部の決意が問われている。

9月予記

九月議会の準備で忙しいが、その前に県人会のことでロサンゼルスとホノルルの旅をせねばならない。地球をまわるような旅はごめんこうむりたいがやむをえない。十分に自覚して目をつむってばかりの機中だったので、今回は時差ボケにかからなくて済んだ。ただ県会の今後が気になる。若い人は日本語もわからないし、日本の意識はゼロになって来た。そういう時代の県人会、としより趣味のようにも思えるが、世界の流れは新しい日本への期待もあるようだ。交錯の時期といってもよいだろう。ロスでのホームレスの話はショッキングだった。日本にもふえてきそうだ。

9月1日(火)晴

庁議、記者会見の日だが、その他きりきり舞いさせられる一日だった。陳情が二件、公立病院の経営に助成をというのと、トヨタ自動車の宮田への進出に伴う道路整備の要求はなかなか実現し難い分野なので辛い思いで対応せざるをえなかった。書写の井上三郎氏に、十一月二十二日の曾左小一〇〇年祭に出席の旨電話返事をした。それで今年の千秋会はダメに

なる旨中西忍氏に連絡した。今日は四期目の情報公開審の任用辞令交付とメンバーの懇親会（稚加栄）があり、楽しい一時をすごした。

9月2日（水）晴

昨日今日、この夏最高の暑さという。夕方六時に帰宅できたものの、又又多忙な一日。九月議会向け補正予算案復活要求知事査定に時間をかけた。途中、衆院労働委員会視察来庁をうけ対応、ひる少し前私の要望で慎三範氏、安枝県議、来室をうけ、先日の海峡七知事市長会の成果をどう将来につないでいくかの相談に応じてほしいとのお願いをした。相互の気持がよくわかるようになる事こそが前提になると私は強調したのである。決裁案件がかなりあり、帰途、病院で注射。やはり体力にひびく注射だと思うが、有効のようだ。

9月3日（木）晴

暑く忙しい一日。まず散髪。午後は福間飯塚道路の陳情。三時半に中国大使（楊氏）ら一行来訪。決裁。夜は第三回アジア文化賞祝賀会（日航ホテル）引きつづき林野庁長官の災害調査慰労の懇親会が三光園で行われ、帰宅は九時半。在庁中は日程説明のレクつづき。ロス、ハワイ県人会出席のレク、フィナンシャル社取材レクなどがつづいた。中国大使は江蘇省との友好提携についてふれてくれたし、夜のアジア文化賞にも顔を出してくれた。文化賞は四人が対象、外国からの祝賀の客が多く英語通訳が入ってのにぎにぎしさであった。林野庁からは災害復旧につき語ってくれた。

9月4日（金）曇

十時からメルパークで県老人福祉大学があつて挨拶や表彰状わたしの役を担う。県老連三〇回という。一時からフィナンシャルタイムズのインタビュー取材に対応、あとつづいて私学協会筋の人達を相手に「対話のつどい」。庁内仕事をあれこれ消化し、五時半に検診（注射）。六時から高山県議退院祝いの三役陣での懇親会。固い話は一切抜きで子供時代の田舎でのいたずら遊びの思い出に笑いが止まらぬ夕食会になった。県議は肺の摘出とか大手術をくぐり抜けたあと。永田氏に韓国との交流展につき努力してくれと頼んだ。

9月5日（土）曇

降ってほしいのに降らない。今日もかなりむし暑い。九時半に出発し、二時に帰宅して中食とした。八幡西区の松柏園で助信氏の県議会副議長就任祝賀宴があつて出席。四季の間が満席になっていた。会派はもちろん県職員もかなり来ていた。帰宅後は小休息ののち、揮毫の宿題につきひととおり下書き程度までの仕上げをして時間を費した。明日から旅行つづきで追い立てられ、体調がどうかならないかと気を使っている。頭が依然重いのがとくに心配のたね。誰も顔色はいいとってくれるが、老化の自覚日々に濃し。

9月6日(日)晴

午前中はゆったり気持で昨日からの揮毫を完成し、旅行の準備にあて、あとごろごろしていた。さすが九月か、日射しも涼しさを感じさせる。啓二と合うためおみやげ荷物が少々かさばっている。一時から小田弘治氏社会党合同葬(福岡斎場)。三時半羽田に向け上京の旅。六時半から啓二家族とスシ屋の半蔵門で合う。けれどこの件でサリがはぐれ(電車乗りおくれ)、到着が大幅におくれるという事故があった。幸い大事に到らなかった。親子が別の電車に乗ってしまって大変なことがおこるところ、ラッキーにも決着したのだった。

9月7日(月)晴

新北空港と九州国博とにつき、次年度政府予算に配慮してもらっているので、そのお礼に、朝から運輸省、文部、文化庁それから関係議員所属の会館まわりを行った。大型プロジェクトに予算がつくということになるからである。最後に国博については特に二階堂氏に会うことができ、意見の一端もきかせてもらった。三時発の便で帰福でき、帰路済生会に寄りインターフェロン注射を行うことができた。ロス・ハワイの長期旅行を控え夜はその準備に時間をつかった。外国ゆきとなると保険その他気づかいが少ない。雨降らずまだまだ暑さがつづくので、東京水不足、木の立枯れが心配。

9月8日(火)晴一時雨

庁議、記者会見、そして決裁。あと大牟田へ。十二時半すぎガーデンホテル着。衆議院の建設委員の筑後地方調査に対応。委員長古賀誠氏ら九人。香川、福岡、そして山口という日程の中日にあたる。中食、陳情もすませ、二時に船小屋樋口軒に行き時間調節もあって企画の久保氏から九州北部研究学園都市構想につき県の対応の概要説明をうけ討議。七時から衆議院の調査委を迎え夕食会。私は八時までつき合い帰宅した。九時すぎだった。明日からのロサンゼルス行きの準備であわただしい時間を費した。一週間以上の旅行になるので準備も大変だった。あとは明朝にまかせる。十一時半には就眠する。

9月9日(水)曇 晴

朝一寸雨。十時二〇分発で済生会病院に行き注射と検診。九日間、ロス、ハワイ、東京の順で旅行つづき。体力に自信がない、眠ることに意を注ごう。成田のりかえロスへ。長旅だ。日付変更がやっかい。十時間の旅。成田午後五時二〇分発でロスには十一時一五分着。ロス側はホテルニューオータニで県人会第一回国際交流大会。同行は佐々木室長、秋山係長、交流センターの二宮、鎌田、城戸課長現地で合流。カクテルパーティ、鏡割りも入り、南加県人会々長安達幸一氏が中心に会を進めてくれた。参加はブラジル、コロンビア、メキシコなど七県人(ブラジル四団体)四〇〇人の参加。余興まであって賑わった。

【欄外記入】第1回海外福岡県人会国際交流ロサンゼルス大会の名称。

9月10日（木）晴

現地で十日。県人会代表者会議があり県に対する困難な要望もあるかと予想したが、強く表面に出なかった。私どもは市内見物の時にあててもらい昨日のロス大会では各県人会の活動状況報告があったが、同窓会を思い出してやっているもの、それに毛のはえたもの、いろいろで、もっとやろうという事になった。生活は豊かになるし、三世、四世の時代になったケースも混みで考えると、家族意識も変化し、個人個人の結びつきが薄くなり、時に望郷の念が湧くといったところかなというのが概しての印象である。市内見学はチャイシアター、海岸ヨットハーバーの巨大な施設、ホームレスもいる。

9月11日（金）晴

今日は一日見学にあててもらった。中に知事主催の県人会代表との懇談会を挟んだが、県人の経営するフィッシュカンパニーと三星ナーセリーというのが関心を改めさせてくれた。大型海産物を大量に処理する施設と、花卉苗を広範に栽培する施設とである。ハワイにハリケーンが上陸して荒れているとの報が伝った。どうなるか心配したがホノルルは大丈夫のようだ。所でこの二大企業でも労働力調達に心配があるという。ホームレスはいても働かぬのでメキシコから労働力を入れているらしい。雇主からいわせると過保護がホームレスを蓄えているということのようだ。千羽鶴で非公式夕食会をし、ひき上げた。

9月12日（土）晴

九時にホテルを出て、ハワイゆきロス発の予定がハリケーンのためハワイ空港閉鎖さわざや機の故障で大幅にくるい、三時間も機内に閉じこめられた。ために今日の午後のハワイの見物予定はすべて取り消しになった。ハワイのホテルはハワイアンビレッジのレインボウタワーだったが着いたら前に泊ったのと同じ部屋だったのでびっくりした。窓の下にはワイキキビーチがすべて視野に入るし、左手にはダイヤモンドヘッドが美しく眺められる。大きな部屋が用意してあるので文句なし。立派づくめだ。シーフード方式の夕食で仲間同志時間を費し、あとは休むだけが必要。それにしてもロス空港は広かった。日本にはあんな土地はない。早目にねてしまう。十時半。

9月13日（日）晴

スーツでというので服装ととのえる。アラモアナホテルに移動。十一時からハワイ県人会三五年祝賀式典。昭和三七年まで戦争で中絶していたのが再発足したわけだ。一五〇人ほど参加があった。空気はロスでの集会とほとんどかわらない。末席の議員も早目に席を立ち、私も予定より早く退席した。余興を用意していた人もあったのにできずじまい。三時すぎホテルに帰って休息。夜はレインボーホテル内で中華式の夕食。仲間うちばかりで、アメリカで食べる料理は味は濃く量が多く少々もて余すのが常だ。休息が大事と思い十時に就眠。同行

者達は夜を楽しむ。

9 月 14 日 (月) 晴

朝スコールがあった。ハワイ州政府を訪ねたが知事には会えずキハノ議長に会えた。昨日ハリケーンでカウアイ島がその直撃をうけ一〇億ドルの損害があったとのこと。十年ぶりのことらしい。プリンセス・カイウラニホテルで中食。県人会の方々の歓迎踊り練習披露もあった。二時にわがホテルに着き一休みの後三時半から六時すぎまでショッピングに出た。七時半すぎ外出夕食。ショッピングは ALAMOANA 通りでスーパー風、ブランド店珍しいものよりもチョコレートのような平凡なものに人気があつまったようだ。できるだけ目を閉じ、何かを経験しないようにしたいという考えが近頃の私を支配しつつある。みやげ物にも興味なし。

9 月 15 日 (火) 晴

昨日鉄板焼 (田中東京) の料理人の芸見世動作が思い出される。朝は気になって六時すぎ起床。荷物を点検して八時にチェックアウト。忘れ物が気になって仕方がない。十時三〇分発の JAL で成田に向う。ハワイは自然に恵まれているが実に入念な手入れを市もホテルもやっているので、きちんとしてすべてが美しい。汚すのも人間なら美化するのも人間であるということをつくづく感じさせられた。いい勉強になった。砂浜の美化、ホテルの庭の落葉除去も実に入念だ。成田に向けて機は順調にとんだ。機内でもできるだけ目をつむったが、椅子の姿勢のせいか眠れたとは思わぬ時間が過ぎていった。

9 月 16 日 (水) 曇

日付変更線をこえて西向き空路、成田着は現地一時半。東京はむっと暑い。所長、日高課長が出迎えてくれ、東京事務所着三時。一休みして泊りの部屋に入ったのは四時。機内食もあったので、一行にことわり、私はミルクなどで軽く夕食代わりをし、できるだけ眠り、時差ボケを警戒した。こんどの旅を世話してくれた人、佐々木室長、秋山係長、国際交流センターの二宮、鎌田、ハワイで合流の城戸課長、これらが行動を共にしたスタッフ。エイジェントは西鉄旅行職員萩原氏は常に誠実によくやってくれた。何もかも彼にまかせた。タクシーもみやげ買いも、さすが旅行社だなと思った。ハワイで別れた。英語もうまいと思った。

9 月 17 日 (木) 曇

ロス、ハワイ、東京、福岡の九日間の旅を終えて帰福八時半だ。どこも雨ふらずに困っている。東京事務所を出て十時から中食会を挟んで三時半までの全国知事会に出席 (於総理官邸)、国立博物館誘致について福岡県発言を行った。一歩前進と見てよい。夕方六時発 ANA で帰福。秘書室関係者の出迎え、車の中で留守中の主たる出来事につき川上氏から説明をう

け済生会病院で例の注射をうけた後帰宅。荷物を片付けたら夜十時になった。中七日おいての注射だが、フラフラの感じがしてきた。疲れを早く回復させないと、又明日からきびしい日程消化に差支えがくる。

9月18日（金）曇

九時半に出発し、七時半に帰宅。午前中の主な行事はサンヒルズでの山本辰雄氏叙勲祝賀会、午後はサンパレスでの交通安全県民大会そして三時から東急ホテルでの九州北部学術研究都市整備構想推進会議の設立総会と記念レセプションである。後者には井本佐賀県知事も出席していた。筑波、関西に次ぐ第三の研究学園都市づくりだということで各界の期待は大きい。それだけに産学官の境をこえた発想と協力が期待されるわけである。太宰府の国立博物館について新聞報道があっているが、この課題も意義は大で一つの山場をこえたと思われる。県も多忙になるばかりである。大ニュースだけに。

9月19日（土）晴

十一時から小郡体育館で井手宗夫氏の県会議長就任祝賀会があって出席祝辞。中食はそこですませ、帰福して病院で注射、次いで下川端の冷泉閣ホテルで開かれている社会党首長自治体議員団会議に出て挨拶。帰宅は四時。注射のせいか疲れを覚えしばらく横になり、まずつかえている来簡物一〇日分の開封仕事に手をそめた。悠々一時間余費された。そのあと、ロス・ハワイ旅行中の日記のとりまとめを行い、やっと形がととのうままでに至った。眠いやら疲れやらで自己限界を感ずるし、皮膚の調子がよくない。早目に再診をお願いしたい。身辺整理が一寸も進まないのが気になる。

9月20日（日）曇

休務で朝から揮毫の宿題を進めていった。嶋津氏からの電話で待鳥恵氏が死亡、川上氏と連絡し、夕方弔問することになった。柳川の向うの三橋の自宅。六六才だから惜しい。車の中では目を閉じ何も考えぬことにしてはいたが、休みにはならなかった。四時半から七時半すぎまでかかった。牧坂氏が電話で要望してきたので、明日三〇日ほど前のクラス会打上げ会をしようという。待鳥氏は安保・三池の頃からの同志知人なのである。県議会関連で葬儀には出席できず今日の弔問になったわけ。闘士又一人去るとの想いである。

9月21日（月）晴

九時半スタート。今日は県政懇の日。十一時半からは社会党、午後共産党、公明党、四時から県民クラブ、これは場所三光園、終ってから夕食会、まずは順調に流れた。午後七時から天神の新しいビル（ダダ）六階の、しゃぶしゃぶ店「木曾路」で牧坂、土井それに随行の川上を加え四人で料理をはさんで、一カ月前の姫高会の打上げ会をおこなった。いずれも大

成功だったとよろこんだ。牧坂、川上がよくやってくれたので成功したことは特記に値する。せんさいな配慮と厭わぬ事務的努力は高く評価できる。九時帰宅。

9 月 22 日 (火) 晴

ぐっと涼しくなった。庁議、記者会見と県政懇でびっちり日程が詰っていた。代表者会議が開かれ二十九日から十月十六日までの九月県会となった。県税収入が見込まれない中で国の経済対策上の施設を織込んでいかねばならぬところに今回の特徴がある。夕方自民党議員の県政懇サンヒルズでの夕食会。あと点滴の二つのため病院へ。七時頃帰宅したが、もらっていたおみやげなどを整理したあと、気分が悪くなったので八時すぎには就寝した。調子がよくないというのが総合判断だろうか。自信ある対応はないし。

9 月 23 日 (水) 曇

休務。どんよりと曇りむし暑い一日。外にも出ず終日在室だった。注射の影響かダルい感じでも何事にも積極感がわからない。色紙一〇枚書きあげたあと、筆の手なぐさみで一日が終わった。手紙もあれこれ書いた。こうして身边が若干片付いた気持になる。県議会もさることながら、九州地方知事会、秋の陳情、中国江蘇省との友好提携を含む旅行など爽かならぬ問題が頭の中をうずまいている。今後もできるだけのんびり時間を使って体力を温存したい。雨が欲しいのに降らない。

9 月 24 日 (木) 曇・小雨

十一時にブラジルから県費留学生 OB の表敬訪問をうけた。一時半 JR 社長と行橋市長が来訪。行橋連続立体交差事業にかかる調印式があった。このあとソラリヤで行われているゼンセン流通部門中央委に行って挨拶。帰庁後補正予算の知事査定につづき三役会。ここでは当面する大きな問題たる福岡空港新建設と九州国立博物館についてかなりつこんだ話合いをした。両問題につき近々知事の公的発言を必要とする場があるため、すっきりした事がいいにくい課題である。時折小雨、夕方から風も出てきた。台風のせいだろう。姫路の渡辺公久氏から一月前のクラス会写真を送ってきた。

9 月 25 日 (金) 小雨・曇

小雨がつづいた一日。今日も多忙。一時半に坂井ひろ子さんら、盲導犬カンナと共に盲導犬協会の人達の表敬。正常者と差別ないよとの声も出た。三時から朝の挨拶録音。六時からニューオータニで県市その他、十団体主催による日中国交正常化二〇周年記念祝賀会が開催された。午前中訪日共産党代表団の来訪をうけたが、その人達も出席、留学生も加わり盛会であった。有名な人物たいてい出席である。日程がたてこみレクが多かったし、決裁も多かった。たてこんだ日程消化が心配、健康が許すかどうかだ。朝六時から起き出ている長い

長い一日だった。

9月26日（土）晴

久々に青空がみえた。大分グランドホテルで平松知事（知事会々長）にまず了解を得ておくべきだという事で非公式に会見。中味は九州国際空港建設要望運動のことで、福岡空港を新規にという要望運動を別途打ち上げたいから理解してほしいという内容。九州知事会が十月下旬に迫っているし、福岡空港の容量限界も近く、政府の新空整計画にまに合わせねばならないし、という段階に来ているので、まず平松知事に会って後、福岡独自の動きを始めようということである。大分市まで、片道三時間余、一日仕事だった。

9月27日（日）晴

久しぶりの照る日、秋来る日。休務。公民館の看板書き宿題を遂げようと作業を進めたが運筆に失敗、板の削り直しをあちこち求めたが是松氏に行き当り、快く世話してくれる事になり、彼は車で運び屋役もしてくれ、大だすかり。自分の不注意ではあるが、やる気をなくし、彼をいれ、内田氏を誘い込んで三時半頃からマージャンをすることになり、気をまぎらわした。どうしてミスが多いのか、頭の働きの老化をつくづく思い知らされた。又失敗を許されぬ看板書きのような課題はもう受けてはいけないと思った。

9月28日（月）曇

九時すぎ久留米に向け出発。萃香園に、グラフふくおか「知事と語る」取材。相手は夏の甲子園で27年ぶり優勝の西日本短大付属の浜崎監督、中村主将、森尾投手。一時間余いろいろ聞き中食を共にした。一休みの後同ホテルで九州新幹線福岡県建設促進期成会設立総会が行われ議長も勤めた。帰福して済生会病院に行き、皮膚科診察、インターフェロン注射、点滴の三件お世話になった。六時から中国総領事館へ。新中国43周年と日中国交正常化20周年祝賀会。八時前帰宅したら広報職員四人が待ち構え「朝の放送」録音やり直し、たいへんな日程だ。

9月29日（火）雨

十一時十五分から県議会本会議、提案理由知事説明。午後ホテル日航の一室で桑原市長、山下商工会議所会頭との三者懇談会。新福岡空港建設につき一ヵ月後に迫った九州知事会にどう臨むかという問題の意見交換会であった。桑原氏は平松知事の出方をまず見ようと強調した。経済界もいらいらしているのだが、ボタンのかけ違いがあると紛糾のおそれすら案じられる知事会である。「九州国際空港」という意識を薄めたいが、熊本など態度は強く、「福岡に」立地する立場になかなか歩み寄らない。四時四〇分発で上京、明日は陳情である。東京は久しぶりの雨とのこと。

9 月 30 日 (水) 雨後晴

熊本県と共同で陳情。十一時から三時すぎまで、大蔵省、自治省。そして四川飯店で中食後自民党、運輸省、羽田大蔵大臣と奥田運輸大臣が会見してくれた。関係市の市長、議長も、総勢二〇人をこえる陳情。新幹線鹿児島ルート博多、八代間について未だ新幹線フル規格の公式決定がないので、来年夏の「見直し時」までに当局の態度をきめてほしいというのが要望内容である。カネがないからという単純な返答だが、鹿児島の難工事部分は昨年からのトンネル工事が既に進んでいるので博多とつなげることは不可避といえる。これまで陳情しなかったのが問題にならないというのであれば今後特別の陳情活動をくりかえすしかない。

10 月予記

十月もまたまたたくうちに過ぎていった。前半は県議会。中央で自民党が金丸問題で揺れている。暴力団がかんでいるとかで政界浄化の世論が高まっている時だが、県議会の対応は都議会のを写した声明書を出すなどまじめな対応がみられない状況だった。後半は三県サミット、九州地方知事会と二つの大行事を担当する順番になっていて気づきが大きかった。知事会の方は夫人がたを招くなど少し色のかわった事もしたが、肝心の九州国際空港問題については、各県まちまちの意見の出しっぱなしで九経連川合会長はまとめる気がなかったようだ。福岡県は独自に動くしかない。

10 月 1 日 (木) 晴

全快晴、秋らしくなった。八時四〇分発で前原伊都文化会館へ。市制施行記念行事。人口五万余の市、県下で 23 番目という。立派な市と思う。終って済生会病院へ、注射と点滴と。帰宅して中食。やはり同様に脱力感がある。血圧が高いことも心配。夕食は前の家を使ってハッタ会の連中が七人集まって来て、十一時近くまで種々語り合いながら楽しくすませた。葉玉、橋本、原口、川上、斉藤、それに山口、重松の二人が女性。みんなくだけていて秘書室卒業者、係長の上下ランクの者ばかり、働きざかりである。看板書きの宿題が気になるが次の日曜にするしかない。

10 月 2 日 (金) 晴

午前中は門司の豊国学園八〇年記念式典に出席した。野原理事長が喜んでくれた。午後イタリア大使来訪。また朝鮮総連、県勤労者福祉協議会から知事への要請をうけた。前者は国の差別行政への注文、後者は育児及び介護の休暇への処置が要請の柱になっていた。四時、県立美術館で伽耶文化展の開会式が行われた。わが国の五～六世紀の文化史が改めて浮きぼりにされた感じ。韓国と朝日新聞の協力であり、九州国立博物館建設へのよきインパクトになりそうだ。六時から「かわさき」で連合福岡の役員達と県執行部との夕食懇親会。八時半帰宅。

10月3日（土）晴

朝のうち筆を執って宿題の色紙一〇枚その他手なぐさみ。午後一時に出発し、教育会館で行われている社会党福岡県本部第51回大会に出席して祝辞を述べる。社会党をどう蘇生させるかが参会者の共通の課題である。政治改革、PKO自衛隊海外派遣について自民党に主導権をとられたまま、動きようのない社会党だからあせりばかり表面に見える。誰しも歯痒い思いであろう。済生会病院に寄って注射、帰宅したら三時だった。体力に自信がないけれど、筆を執る仕事はつづけてみよう。

10月4日（日）曇

朝めざめた時、日曜休務が念頭になく、議会とばかり思っていたら洗面の時気付いた次第。こんな錯覚は珍しい。外気は涼しく短袖では寒いほど、特別の要件はないので机辺、筆仕事などに勝手な時間を費したが、嶋津氏から問研月報の原稿の件指摘され三〇〇〇字の随想「貧乏と怠惰」と題し、投函までこぎつけた。昨日かいた看板の再度の失敗が、秋ならぬいやな感じとして頭を支配している。できるだけ逃げようとする今日の日だった。久しぶりに午睡をとった。二時間も床の中にいた。いい休務日といえる。

10月5日（月）曇

代表質問第一日、蔵内（自）、藤田（社）、三田村（農政）の三人。例により蔵内は自分をほこらしげにみせるため、質問の中で知事をこきおろす。そういう箇所が何回もあり、再質問という厄介さも加えられた。が総じて一日は波立たず進んだ。涼しさも肌で感ずる頃となった。帰りに注射、点滴をうけたが、注射は依然気力にも影響がある。どこまでつづくのだろうか。事しげく、今日も日程一ぱいで時間が経過し、必要なことをすませると早く寝なさいという時間になってしまった。いろんな人からの連絡はあるが、対応ができぬケースが少なく、失礼してしまう。

10月6日（火）曇

どんよりしたうすら寒い一日。代表質問は二日目、高山日出徳（県民ク）と藤崎充子（公明）の二人。中食休み時に代表者会議、午後の冒頭に追加提案理由説明。本会議が終ってからクラブ「ばさら」からの要望。これは県の文化予算をもっとふやしてくれという壱岐人会の大野さんから要望。四時すぎから公共事業等施行対策連絡会議が庁議室で行われた。四〇〇億もの経済対策予算消化に関係部局頑張ってくれということだ。人手不足をどう切り抜けて仕事を消化するかである。不景気対策というのに。五時五〇分に帰宅でき、手紙四通かく。

10月7日（水）晴

涼しさが一段と増してきた。今日も八時半から答弁の勉強会。今日から一般質問で一人あた

りの時間が短いので比較的に楽である。出される問題は道路、高齢化問題、環境問題が時代の代表みたいに高い頻度でとり上げられる。金丸副総理が五億円もらって二〇万円の罰金でウヤムヤにしてしまった政治献金問題については県議会でも公表できる決議案を練って対応しようとしている。このままでは済まされぬ。質問項目にも頻繁に出て来た。政治倫理ということでもう三年になる。「リクルート」以来、一向にすっきりしない献金の黒い潮である。

10月8日(木)曇

八時半に出発。答弁の勉強会。一般質問の二日目、五人。三時すぎに休会に入り、特別会議室で三役会。中味は月末の九州知事会に提起される国際空港問題にどう対応するかである。平松大分知事(会長)は九経連の川合会長と私と三人で事前打合わせをしようといっているのだが、これにどう臨むかという事も含まれている。全九州一本になることは困難という前提がある。福岡空港への対応一筋でいくしかない。レクがいろいろあり六時すぎ帰宅。姫路ののりさんから曾左小百年祭に行く件で電話あり。

10月9日(金)晴

まさに秋の空、冷気に包まれた感じ。一般質問の第三日。議会が始まる前に県職員の給与について人事委員会からの勧告があり、四月から二・^マ_マ%の本給引上げや休暇を順当にとることなどが内容であった。一般質問はまずスムーズに終って来週からの委員会への移行となる。あと一週間。注射をうけて帰宅したらまだ五時半だった。特に意欲はなくのんびり時間を過ごした。机辺を片付けたいが、日常的なこととして投げやるしかないと判断する。硯をみると筆をもちたくなって少々書いてみる。

10月10日(土)晴

ひるすぎまで在宅し、平凡な時間を過ごし、二時すぎ迎えが来て JR を使い武雄に往復した。中西忍氏長女直子さんが淡路に嫁に行くとの披露宴。みゆきと二人出席。武雄センチュリーホテルで四時から六時半まで、淡路は彼のお得意旅館だとのこと。誰しも娘を嫁にやりたくないというが彼も同じ、半分めでたく半分嫌々ということだ。娘さんの縁で音楽をよくする人がブラスバンドなど余興をうまく組み合わせ、上手に宴会の進行に貢献していた。川上氏が思わぬ付合をさせられた一日。八時半に帰宅。秋さなかの天気。

10月11日(日)晴

十二時に出発し、黒崎のプリンスホテルで開かれた杉の子全国大会に出席。信用金庫関係者の若者で組織の年次大会。会員十一万人というが大会内容ももう一つすっきり感じさせない。五時半から七時まで臨席の常陸宮殿下との夕餐会。県と北九州の知事、議長のほかは知

らぬ人ばかりだった。拘束のあった余の時間はやっぱり筆をもって時をすごした。特別に何かの興味がないので、こういうことになってしまう。もっと何か惹かれるものがあればいいのに、筆をもつばかりではネ。

10月12日（月）晴

十時、玄関前で防犯キャラバン隊の出発式があった。十一時に歯科大の学長が来訪、小倉の現在地に大学全体を建てかえる方針にしたいとの申出である。特別の異論はなさそう。老朽と高層化による土地利用案である。レクがつづき二時ごろ九大歯学部を受診に行く。二年ぶりである。全部がたがたになっている私の歯だ。空港ビルで常陸宮帰京見送り。五時から連合福岡議員懇第二回総会後懇親会挨拶。五時半すぎから済生会病院で検診と注射。月下美人が三輪咲く。明日はどっと咲くだろう。句をさがしてみる。

10月13日（火）晴

県議会の委員会成りゆき待ち。九時半サンウェーブ工業が広川工業団地に進出する立地協定調印式。次いでアビリンピック出場選手壮行会激励、林業予算陳情（県森連）、さらに水源の森基金への寄付金贈呈式（北九州コココーラボトラーズ社）。午後は一時から三役会議。ここでは九州知事会三県サミット議題整理が中心話題。黒木病院跡処理の問題も。議会委員会は資料要求が多くあまり動きはなかった。夕方、「朝の挨拶」来月分について討議、夜は秘書室の者十余人が来宅、月下美人の大鉢一〇花ほど咲くのを見ながら飲み且つ語って過ごした。月もまん丸。

10月14日（水）晴

台風が近づいたせい（22号）すごくむし暑い一日だった。県議会常任委の成りゆき待ちで帰宅は午後十時になった。金丸副総裁（前）の議員辞表が決まり、竹下派を中心に与野党ともかなり揺れはじめた。県議会もこれに絡み、議会決議をどうするかで水面下でかなり動いているようだ。議会待ちの時間を利用して三件の揮毫を知事室で行った。自宅から筆をもっていったので役に立った。歯科抜歯は明日にくり下げてもらい、済生会病院注射は夜九時半にお願いできた。暇つぶしは眠いばかり。知事室で夕食。

10月15日（木）曇

九時半から知事保留のレクがあり、あとは委員会審議の待ち時間。決裁も二〇件ばかりあった。知事保留は企業局の事業をもっと拡大せよという決意をきくというのであった。三時から質問、他の委員会は全部審議を終えたという。三時半に歯学部に行き左上奥歯を抜いてもらった。糖尿も関係してか、流血があったし、その始末に痛い手当をうけねばならなかった。公務が終わってから牡丹閣に案内された。済生会の永田、福原、高原が相手だった。歯が若干

痛んだが大丈夫のようだ。十二時まで遊んで帰った。疲れが残った感じ。

10 月 16 日 (金) 晴

いわし雲がたなびいていた。九時半から知事保留勉強会。十一時から代表者会議 (教育委と人事委提案)。十三時から本会議、各議案は一括しての決裁であった。議会のあとは恒例の通り議長、副議長、各派挨拶、記者クラブ挨拶、それから部長会と、終わったら三時頃だった。一ノ宮氏が来て福祉人材センターの件を話して行った。明日からパプアニューギニアへの慰霊巡拝団が出発することになっている。3 時半に歯科、四時半に済生会注射に行ったあとソラリアで元労働部長清水伝雄氏の事務次官就任祝賀会があり県職安など OB 二〇〇人ばかり集まる。

10 月 17 日 (土) 晴

朝から晩まで墨硯の仕事で今日一日の休務が過ぎた。外に出ても何もする用事はない。在室が一番無難である。色紙四〇枚と半切の半分三枚に漢字を書く宿題があり、それらを仕上げることができた。裏のピラカンサの実が真っ赤になって来たので、枝を一寸切り取った。トゲがひどいのと、まだ蚊がどンドン攻めてくる。楽しむどころじゃないと感じた。インターフェロン注射の効果は上っているときくが、昨日も注射のあとは体軀の脱力感をひどく荷物に思った。意欲気力が衰えてしまう。

10 月 18 日 (日) 晴

休務。朝から昨日のうちに書いた色紙などに押印した。柿が色づいているので柿取りにまわった。昨年のこりごりしたのを思いながら失敗を許されないと強く自覚しつつ作業、何とかしたがおそろしさは止まなかったし、大変疲れた。午後植物園に行こうとして老人手帳を探し出せなかった。歩いて行ったが足の弱っていることをつくづく感じた。終りのコースは園長さんが来てきて案内してくれた。二時半から凸版印刷で青少年育成二五周年記念式のうちパネルディスカッションに参加。あとは山ノ上ホテルで安藤学長と県立大学問題で懇談した。

10 月 19 日 (月) 晴一時雨

連休明けで日程ぎっしり。福岡県近世災害異誌 (立石巖氏著) の贈呈者来訪 (宮崎本子娘さん)、午後は「知事と語る」矢内伸夫全国老人保健施設協会長、また福岡県アロハ倶楽部発足に伴う知事表敬とつづいた。あとはレク、決裁。明日庁議と記者会見、三県サミットのため、レクも立てこんでいた。休み明けとはこうもいそがしいものかと思う。夕方にわか雨が降った。帰途、注射と点滴治療を行う。依然、注射による脱力感が強い。何もしたくない無力を感じず。どうにでもなれとすら思う。

10月20日（火）晴後曇

庁議記者会見のあと、決裁をすませ、県納税表彰式をすませ、九州北部三県サミットのため海の中道公園ホテルへ。まず個別中食のあと二時すぎからクルージングで博多湾を見学、三時から懇話会に入った。五時半から記者会見、六時一五分から懇親夕食会という進め方。福岡県がホスト役。国博、西九州自動車、有明沿岸道路、韓国南岸地域との交流（来年佐賀）、共同物産展（今年香港）、ウェストラリア観物物産展など話題となり記者発表も行い、博多仁和加の余興もあった。

10月21日（水）曇

朝食後、二知事と分れ、それぞれ自分の職場へ。ゆうべから風ありでむしろ荒天。帰庁して決裁。庁舎を出てニューオータニで二件、福岡県銘柄牛肉発表会と全国住宅地協会連合会大会出席と。昨年の牛肉自由化による競争激化により福岡とも銘柄品を選定する必要にせまられて来たからである。美味でやわらかい牛肉を試食させてもらった。帰庁してレクがどんどんつづいたが、九州地方知事会が迫っていてこれが最大。あとは歯科での抜糸、済生会での注射。衰弱した肉体には注射がこたへ、六時に帰宅したが何の仕事もせずに就床した。

10月22日（木）晴

九時に出発して広川町へ。まず役場に着き、JA 広川（冷温集出荷施設）、広川中核工業団地（アポロ電子、ベストフローズル）を視察、そして広川町産業展示会館に至る。ここで中食。一時から同所でふるさと対話（二階ホールで）、二〇〇人ぐらい参加。農業問題をはじめ過疎地問題、久留米餅など伝統工業後継者問題が話題となった。みんなほがらかにやってくれた。順調に移る。対話が終わってから青沼画伯から作品二点をいただき、大変有難かった。久留米餅の小ざぶとんをみやげに買った。気持ち良い秋の一日だった。刀出に電話、曾左小一〇〇周年にからんで。

10月23日（金）晴

北九州市長を頂点に「拠点地域」の問題で地区首長らの陳情、つづいて甘木から水の文化村の件で資金助成を陳情してきた。十時二〇分死亡者叙勲式、午後一時半から薬事功労者表彰式。二時すぎから企画の立場からの平成五年度予算重点政策についての説明。これは二時間余延々とつづいた。決裁あり、注射ありで、やや早目に帰宅できた。姫路と連絡をとった。十一月二十二日曾左小一〇〇年の件だが、塩田温泉に予約をたのんだのにすでに満席だとのこと。当時の二泊の件はふり出しに戻って計画しなおさねばならないらしい。連休のせいだ。

10月24日(土)曇

日光なく低温で休務の一日が過ぎた。例により色紙その他揮毫課題が多くて一日はすぐ経過した。中国江蘇省に行く折に持っていく準備の揮毫についてはなかなか気分が乗らないまま夜を迎えてしまった。筆をもつことと、身边を整理すること以外に意欲がわからない近頃であり、残りの時間はこれにあててしまった。中国ゆきのために書くべき色紙は夜のうちに下書きした。明日かくことにした。さらに余った時間は句集を開き、季節感を共通にする。

10月25日(日)曇時々晴

かなり冷えこんで来た。色紙など宿題になっているものを仕上げ中国ゆきの色紙も作った。出来がよいか悪いかの反省をしていると限りがないので、できたままのをもっていくことにした。午後荷物になる仕事もないので眠くなり、床にもぐり込んで二時間ほど悠々の環境を享受した。限りがないのに今日もまた筆墨の時間を送った訳であるが、切れ端し紙に書いたものがどんどんたまっていく。夜はホテル日航で県市、福大主催のノーベル賞受賞者歓迎夕食会。江崎レオナ、矢野暢氏も来てくれた。

10月26日(月)晴

すごく忙しい二週間の第一日だ。ノーベル賞受賞者を呼んでの福岡セッションが、福岡大、修猷高で開催され、私は前者に出席した。学生達は感激したらしい。三時に「朝のあいさつ」録音。次々とこれからの日程についてのレクがつづき、午後六時に病院でインターフェロン注射を行い、あとホテル日航でのフォーラムレセプションに出席、私と市長がそれぞれ受賞の先生方に「ちょうちん」と「はっぴ」を贈った。いいレセプションになったが、贈品の説明が欲しかった。私は江崎玲於奈氏に金印レプリカも贈った。

10月27日(火)晴

多端な一日。庁議、記者会見ではじまり、十二時からニューオータニで中食会つづいて講演、主賓は筑波大学長の江崎玲於奈氏。九州知事会議一〇〇回を記念して、九経連も参加してくれた。県の特別幹部研修会も兼ね、アメリカ生活からみた日本というのがテーマだった。三時から五時まで知事側と九経連側の第八回目の意見交換会。ここでは九州国際空港をどう位置づけ建設に向うかが大きな話題であった。六時から新三浦で同じメンバーによる「知事招宴」があった。各県知人夫人も別室で夕食こん親会をし、あとで福岡夜の見どころを見物の予定。天気がよかったので彼女たちひるまの博多湾周航もよかったようだ。八時半頃に帰宅。わいわい忙しいばかり。

10月28日(水)晴

八時半出発、九時から事前協議ののち、第一〇〇回九州地方知事会(於ニューオータニ)。

議題が多かったので議事はおくれ勝ちに進んだ。議長役の私にははらはらした。十二時から平松会長と私で記者会見、これは昨日ほど多くの質問攻めにあわずにすんだ。一時十五分からソラリアで知事会メンバーがパネラーとなり、九地建主催の九州道路サミットが行われた。山崎拓建設大臣は挨拶だけで退席。四時から点滴と注射の治療。あと登庁、江蘇省との友好提携中国ゆきの日程につき、こまかくレク（説明）があった。今日も亦多忙な一日、自分のない日が過ぎた。案じていた九州知事会が終ってホッとした。

10月29日（木）曇

八時四十分出発。十時から久留米で開かれた九州市長会（ホテルニュープラザ）に出席挨拶。次は田川にとび文化会館で開催される県職労定期大会に出席挨拶。帰庁して決裁の仕事を少々消化し、十六時五五分発のANAで上京。元三井鉱山にいたという現三井建設社長鬼沢正氏とふくおか会館で夕食懇談会。彼は三池争議の会社側資料の編集者、私は「みいけ十年」の編集者として、是非一度話合ってみたいとの強い要望が前からあったのを今回受諾した形になったわけ。九時半頃まで川上氏も中に入れて夕食懇談したが、炭鉱節の一節「三池炭鉱の上に出た・・・」の部分につき山川良一選挙との関連との種あかしをきかされた。

10月30日（金）晴

朝八時二〇分から赤坂プリンスホテルで東九州自動車道福岡県建設促進大会が開かれ、あと三班にわかれて中央陳情となった。建設省道路局長、山崎建設大臣もあえた。午後は三時からパレスホテルでの県企業立地セミナーにおける挨拶と懇談夕食会。それからふくおか会館で開かれている農水省関係県人会総会にも出て挨拶、顔見知りの農政部長ら多くと会うことができた。三時前は経団連会館に行き、花村仁八郎氏に会って九州北部学術研究都市構想推進会議の顧問委嘱状を渡す儀式も行った。花村氏は足を少々痛めてあるが元気。農水の県人会早目に辞退し、部屋で休養。

10月31日（土）晴

いい天気がつづいている。ふくおか会館で朝食、ゆっくり羽田に行き、一時少々前に福岡に着くことができた。帰途、済生会によって注射を行ってもらい、夕方まで身辺雑用で休養した。五時半頃永田照彦氏が迎えに来て白銀方面の大塚水炊き店に行った。ライオンズクラブの八〇歳高令者を祝う会であった。それぞれ日常的肩書きをはずして語り合おうという会で、お祝いを兼ね二〇人余で三時間も語り且つ食べた。次という話が出て中洲に出た。私には中洲は久しぶりだったし、カラオケを中心とする雰囲気にはどうしても馴れないで終わった。早目に迎えの車が来て永田氏に送ってもらい、十時半には帰宅できた。

11 月予記

11 月 1 日で満七二歳サル年。多忙きわまりない。中国江蘇省との友好提携調印式、曾左小学校一〇〇周年行事への参加が大きなきごと。大相撲九州場所優勝盃、わたしは林副知事にかわってもらった。病気の心配をして電話してくる人がいた。姫路へ行かざるをえなかったわけ。今年は冬が来るのが早すぎる。寒くて眠れない夜があったほど。十一月は思い出の話題が多すぎるほどあった。江蘇省との友好提携は後々大きな意義、責任が生ずるであろう。南京事件で、相手側の胸の広さに感動残った旅だった。

11 月 1 日 (日) 曇

寒さがつり、ストーブが必要。明日からの中国旅行の支度に気がかりである。朝のうち龍建設から私の誕生祝品が届けられた。行き届いた気づかいであることに感心した。眠気がさしてきたので一寸午眠をした。雨も降る。快適な日とはいえなかった。自民党の竹下派をめぐる派閥争いは頂点に達した模様。金丸氏がやめてから党内争いはぐんぐん高まっている。小沢小渕の名が前に出てくる。どう落ち着るのかわからない。三日後に投票される米大統領選挙はクリントン優勢と報じられている。不況は深刻。目さき暗い 72 才誕生日だ。

11 月 2 日 (月)

中国ゆきの一週間。六時間^{まで}に起きて足りないものはないのか確めた。八時四〇分発。庁内で決裁を含めた事務がつまっていた、三時半から空港ビルで出発の行事。一三〇人でチャーター便だからかなり大がかりだ。これから交流の中で大きな荷物も生じてくるだろう。一五時に出発して一七時着。出発前に点滴や注射、決裁。また職員から誕生祝をうけた。又文化懇話会(権藤会長)の答申もあった。北京は五度という寒さ。全くの曇天だ。時差一時間。私が団長、副団長は議長、秘書長小西県議、その他議会から一五人ばかり、執行部も部長クラス多数、それ以外に農工商団体役員。ホテル北京飯店。十一時就床。緊張がつづいた。

11 月 3 日 (火)

11 月 2 日 13:00 福岡空港第 3 ターミル

壮行会

15:00 チャーター便にて出発

17:00 北京空港着

19:00 夕食 北京飯店

11 月 3 日 起床 7:30 朝食 8:00

9:00~10:00

国务院外交部表敬

中日友好協会表敬

奥田八二日記（1992年）

12:00 中食 頤和園 天安門…

18:30～20:30

福岡県主催晩餐会

北京飯店

11月4日（水）

6:30 出発

7:50 北京発 チャーター便

9:30 南京空港着

10:45～11:00 江蘇省人民政府表敬

11:15 同人民代表大会常務委員会表敬

11:45～12:15 中国共産党江蘇省委員会表敬

15:30～16:30 金陵飯店

友好提携調印式

18:30～20:30 金陵飯店

江蘇省主催 祝宴

2階大ホール

11月5日（木）

7:30 起床

8:00 朝食

9:00 揚州へ 瘦西湖 参観
大明寺

12:30～14:00 揚州賓館にて中食

14:00～15:00 揚州漆器工場 個園

15:00 バスにて揚州出発

16:45 南京着

18:30 福岡県主催祝宴

金陵飯店にて

11月6日（金）

7:30 起床

8:00 朝食

9:30 江蘇省中日三資本企業成果展覧会開幕式

10:45 南京虐殺記念館訪問

中食

14:00 中華門 夫子廟参観

ショッピング

18:00 中日正常化 20 周年祝賀会

金陵飯店

11 月 7 日 (土)

7:30 起床 8:00 朝食

9:00 出発 南京博物館

中山陵参観

中食

14:00 中日国交正常化 20 周年祝賀記念大会 (南京人民大会堂)

17:30 南京発 チャーター便にて

18:10 上海空港着

11 月 8 日

11:30 解散式 空港へ

14:00 上海空港発

MU 512 便

11 月 8 日 (日) 上海雨

今日も時間ロスを大きく感ずる一日だった。六時半モーニングコール、七時荷物出しから始
って土産品買いに使ったほかは夕刻七時前に福岡空港に着くまで空港での時間待ちが多か
った。十一時から上海空港近くのレストラン(龍柏飯店)で中食を兼ねてお別れ会があった。
病気、事故なく全員目的を果たして帰国する。ハードスケジュールで疲れない人はなかつた
だろう。上海発の中国東方航空が定刻より少しおくれて発ち、二〇分ほどたって引き返すと
いう機体油もれ事故があり、問題をきいて驚いた。定刻より一時間半おそく福岡着。江蘇省
との間には予期できぬ大きな宿題を抱えたし、国際交流というのも一段階新しくなったと
いう実感。

11 月 9 日 (月) 曇

急に寒くなって昨夜は寝具を追加するという事態も。雨も降っていた。十一時から病院で注
射と点滴。登庁して中食後散髪。あとは今後の諸日程についてのレクが六件もつづいた。明
日は定例記者会見があるので、各方面の課題が積っている。三時に更生保護婦人大会に助成
の件要請があった。内野さんが役をうけている。高令でも大変元気だ。旅行直後だが山積す

る課題を一つでも消化していかねばならない。曾左小百周年記念式をめぐる具体的な宿所その他に関する連絡があつて、態度決定をせまられている。今朝の冷え込み睡眠不足がひびいている。健康不安がつづく近日だ。

11月10日（火）曇

九時から庁議、記者会見、午後は今後の日程関係の各課レクがあつたが、夜は日赤紺綬会33回総会晩餐会（高円宮妃）がニューオータニで行われた。今日から県政重点ヒヤリングが行われる。今日は総務と企画の二部が終った。研究所からの原稿要求があつたので、帰宅後、十数枚のものを作るのに夜おそくまで仕事した。「炭坑節」田川か大牟田かについて、鬼沢三井建設社長の説明につきふれた原稿になった。朝日新聞の夕刊に、九州国際空港につき福岡県が見切発車すると一面トップ記事が出た。今朝の記者会見で知事が質問に答えたとなっている。職員の意見では、「よかったね」と。他県の反応がどう出るかが今後の視点だ。

11月11日（水）曇

十時すぎニューオータニに着き高円宮妃を迎え、十時半から電気ホールで日赤紺綬会総会。中食は県庁にかえってから。一時から十二月補正予算の知事説明。トヨタ自動車の新社長豊田達郎氏の表敬をうけた。二時二十分から建築都市、保健環境、民生の順で、部長の重点施策ヒヤリングを受けた。五時半注射、六時から山ノ上ホテルで社会党県議対象の懇談会。これは十二月議会の予算案の説明会であるが、当面する諸問題についても話合った。林団長らと、あとでマージャンの会になって夜おそくなってしまった。日程がきびしい。

11月12日（木）晴

九時から重点施策ヒヤリング。今日は労働、土木、同じく午後は教育、警察と説明の聞き役延々三時間以上。中食をはさんで叙勲、褒章の伝達式二回も。また、社会党道県議員団連絡会総会（議会棟）で挨拶。四時半から県立病院改革につき一時間余三役会議。六時から福新楼で21世紀の会懇談会（会長小柳勇氏）。四〇人ほど集ってくれた。龍功二郎氏は自社の職員をたくさん誘い出してくれていて有難かった。私の講話は三〇分近くかかった。なごやかに懇談もつづき、九時近くまでテーブルを囲んだ。年に一度ぐらいしなくては、といっていた。

11月13日（金）晴

九時から十二月補正の知事査定。第一会議室で、原案どおり順調に。つづいて三役会、国立博物館にどう対応して大蔵案につめ寄るか。午後一時から明治生命ホールで個人情報保護条^マ令^マ啓^マ発^マシンポへの挨拶。帰庁して二時から企業局、農政部、商工部の順で重点施策ヒヤリング。次いで注射にゆき、一七時半からの第二二回青年の船の帰港式。今回は広州と香港。

終わったのが六時頃で、これから県下各地に散り帰宅する彼等は大変疲れるだろう。六時すぎからニューオータニで読売本社々長が来て西部本社創立二九年の懇親会。早目に退出し、帰宅して夕食。

11月14日(土)晴

連休のような二日を迎える。でも今日は「若松会」に出た。「くいだおれ」に五〇人ほど集った。例年開いていて今日の私は初出席。昔の陸軍の士官養成学校関係者。新京の陸軍経理学校からは五期生を頭に九期生が多く、私をふくめ十人来ていた。七〇才をこえた者が昔を懐しんで顔を合わそうということで、東京でも大阪でも同様の会はずっと開かれているという。桑原市長は北京の経理学校という。社会的にもOB生活の人が多いため、海外遊行も自由に楽しんでいる話題が聞かれた。一人減り二人減りだから黙禱も冒頭に入れられた。でも皆元気。

11月15日(日)晴

昨日今日在宅で久しぶりに揮毫に時間をさいた。外風はひんやりしている。庭の小菊が偶然ながらよく咲いている。甘夏柑も黄味を帯びてきた。前の家の庭に小粒のミカン柿が利用できる。気休めになる。近頃の方は、こんな庭の果物を見捨ててしまうが私らは大事にして賞味する。姫路ゆき日程が迫ってきたが気になるだけで準備のしようもない。今日の仕事の中で軸物については後日にまわすしかないものが四枚あった。体調の自覚よくない。疲れを感じ眠くもある。

11月16日(月)晴

九時から重点施策についての三役調整会議一時間半、つづきの会議が二時から三時半まで。十一時からリッツファイブで道路整備促進県総決起大会。十一次五ヵ年計画の達成と予算確保を決議した。明日の日程についてのレクがつづいた。決裁のあと済生会病院で注射。そのあと「かわさき」で日教組、県下両教職員組合委員長らと夕食懇談会を行った。教組側では組織率の低下という背景で「実損回復」問題で困惑しているという事実で、県の善処を求める胸の内が明らかになっている。県側からは私と団長秘書室の白石、八時半まで。教組問題は湿度が高いので困る。

11月17日(火)晴

九時から定例の庁議、つづいて記者会見。十一時に中国に赴任する大使国広道彦氏が来訪。すぐあと久留米広域市町圏の首長ら筑後の道路につき陳情来県。決裁のあと中食。一時半から高宮別館で中国韓国両総領事に来てもらって広報課用の新春取材に対応。いわば国際化政策を今後どうもっていくかについて対談であった。呉、崔両人とも県の立場をよく理解し

てくれていて立派な取材になったと思う。四時四〇分発 ANA 機で上京、林副知事も同道。明日の予算対政府陳情である。ダイヤモンドホテルで中華料理での夕食懇談会になった。九時半ふくおか会館入室。

11月18日（水）晴

案の定きびしい一日だった。来年度政府予算陳情。朝食会（自民党一キャピトル東急、八時半から始まり、建設省、をぐるぐるまわる。中食会はマツヤサロンで公明、途中茶話会を共産党、夕食会を社会党いずれもマツヤサロン）、そして運輸、文部、自治の各省が午後の日程。各党同じ知事挨拶、そして各省庁陳情書の説明に先頭に立たねばならない。同行の係の者が口上の中味について指図してくれるので助かるが、一々気をつかうのも大変、社会党との夕食会がすんでふくおか会館に帰り部屋入りした六時半から二時間ほどベッドの上で体を休めたのであった。疲れた。

11月19日（木）曇後雨

国土庁の陳情を終え、十一時半頃新幹線で大阪に向った。大阪事務所長の出迎えをうけ、コマ劇場の会長の案により新装成った劇場「飛天」で観劇一齣のシーンを味い、東のニューオータニに向う。ここでは福岡県の観光キャンペーン「ふくおかフェスタ九二イン大阪」が行われている。第一部は講演、第二部はレセプション。福岡の味をよく賞味してもらおうと、いろいろ出店を迎え夕食レセプション。私はこの第二部に終始つき合った。県人会の人が中心になって集客努力をしてくれ四〇〇人ぐらい集まってもらった。不況がなげかわれている今日だが、観光キャンペーンには耳を傾けてくれる客は多い。九時半帰福。

11月20日（金）曇 夜雨風

十一時から NHK の建て替え（天神→大濠）竣工式があった。NHK 福岡放送センターの発足となる。斬新なアイデアが各所に採用されていて日本一という。一時すぎから福祉マンパワー研修として十日近く派遣されていた人達の帰国報告会があった。ロンドン、パリ、コペンハーゲンを見てきて参考になったろう。例によって成蹊幼稚園々児が勤労感謝の日に向けた花束を贈呈に来室した。園児減少の危機に立つ幼稚園である。決裁がたくさんあった。それから今日は注射、点滴のほかに、皮膚科の先生から再検診をうけ、新しい薬ももらった。六時から NHK 主催マスコミ市長ら十人の懇親会がニューオータニであり、歓談の一時があった。

11月21日（土）曇後晴

寒さが加わってきた。姫路ゆきの旅行が念頭にあり、準備でそわそわ過ぎ、午後一時二〇分頃川上氏が迎えに来て新幹線でまず相生へ。五時前章の車が迎えてくれて佐方へ。みゆきも

同行、東京からは一彦が先着、和子夫妻も来てくれた。スシ鉢を囲んで懇談。おばあちゃん は全く心配のない健康。午後八時になって章がわれわれ二人、一彦を乗せて姫路駅新幹線側のホテル、サンガーデンまで送ってくれた。川上氏は行くとき相生駅で別れた。同じホテルである。ホテルでは九時半頃まで一時間、一彦と雑談で過ごす。一彦は明日親戚寄りにも参加していいとって時間計画を練っていた。

11月22日(日) 晴

気になっていた本番の日。十時二〇分市役所の車が迎えに来て曾左小まで。校長室で一休みし、十一時すぎから「私と因縁」と題して一時間ほど講演。午後はレセプション、写真とり。二時近く車で刀出自治会河川井堰改修工事現場案内と部落の人々と自治会館でしばらく茶話会。そして後曾左小の同窓会。一時間ほどおくれ、五時から、前田先生も来て上山ホテルで。六時頃から親戚集りということで弟、妹、甥、刀出打越から集ってくれ、二つの席をかけたもつような形になって八時頃終わった。同窓会には永井辰夫、江源健三など久しぶりの人、井上、黒川、吉田がよく世話してくれ親戚会には棟安、小林、田麿和夫、本家主人などよく来てくれ、ほんとうに恵まれた一夜になった。

11月23日(月) 晴

九時二〇分、姫路市役所の車の迎えで姫路文学館及び好古園の視察に入った。九一、和代、和夫さんが同行してくれた。戸谷市長(夫妻)のはからいで副館長、園長がていねいに案内説明してくれた。好古園は実に立派な庭、茶室になっている。中食や茶もいただいた。福岡大濠の日本庭園など及びもつかない。これで姫路城がさらにはえるだろう。もう既に入園、入城者が増加しはじめているということだ。意義ある祭日をすごすことができた。午後二時の新幹線で帰福。晴久、房一、和代の子、孫たちも見送りに出てくれ、華々しい旅もようやく終わった。定時に博多につき、五時半帰宅。荷物を解いて疲れをほぐす。

11月24日(火) 晴

昨夜はひどくひえた。多忙な日がつづく。今日は十二月議会のかかわり県政懇。午前中は共産党、社会党、午後は公明党と農政連。三時からリーセントホテルで文化団体連合会結成記念講演会があり出席して挨拶、予算をつけねばならぬからと、同席していた井手議長がいう。新幹線長崎ルートについて高田知事が明日来県する件でレクがあった。佐世保切捨て案である。魚新に行く前に注射をすます。六時から魚新で農政連議員との夕食会。八時半帰宅し、たまっている揮毫の下書き(条幅五枚)を行った。要望されている日にまにあいそうにないからだ。寒さがつのってきたようだ。

11月25日（水）曇

一日のびて今日が定例庁議と記者会見。十一時半から代表者会議、十二月議会が始ったわけ。一時半に長崎の高田知事が来訪、新幹線長崎ルートについて武雄から短絡するルートに腹をきめたので理解してほしいとのこと。県政懇が県民クラブと自民党。これを消化したあと、決裁もあり、四時からホテル日航で自民党相手の夕食会が行なわれた。十二月議会への協力要請の意味があった。県政懇では「県土の均衡ある発展」ということで意見が出た。北九州や筑後にもっと県政の目を向けてほしいとの声である。寒さが加わり、九州にも雪がみられるかも知れないという。忙しいばかりで体力がつづくかどうか心配だ。

11月26日（木）曇

九時半から三役会議で歯科大の改築について了解することになった。十時から決算委員会との質疑、懇談。トヨタ九州の中村社長の来訪あり。年末から宮田工場の生産開始の報告があった。一時半からユニバシアード福岡大会まであと一〇〇〇日ということで残暦版オープン式が寒風の中、岩田屋前と市役所前で行われた。三時から朝の挨拶録音、その他。四時四〇分のANAで新幹線鹿児島ルート陳情のための上京。ふくおか会館に着いてすぐ、自治省県人会に出席した。五〇人ほど出席、見覚えある人が多かった。早目に入床。寒風は東京にも。急に冬が来た。風が強いのでなおさら。

11月27日（金）晴

七時起床、七時半出発。八時からキャピトル東急で九州新幹線建設促進総決起大会が行われた。沿線五県知事も参加。私は集会のあとB班として運輸大臣と鉄道管理局にまわった。長崎ルートも加わってよいよ正念場、「見直し」の時期に来ており、地元の熱意を伝わらせなければならぬという。博多八代間も未だ明確でない点も陳情に加えられている。三時に帰福し、決裁のあとグランドホテルでの全国植樹祭終結式（実行委員会総会）と懇親会に出席。六時近くまでつき合い、後注射に行き更に昨日逝去された佐々木室長ご母堂の葬儀（通夜）に中間市積善社に行く。（八六才という）帰宅は九時近く、何することもなく入浴し就寝した。

11月28日（土）晴

八時前に出発し、県北と県南の二つの行事に出席あいさつ。小倉の体育館での同和教育研究全国大会で、にぎにぎしい行事になっていた。終って大牟田へ。市民会館で覚醒剤シンナー等乱用撲滅県民大会。前者は九時半後者は二時半、それぞれ時間を要した。前福岡市長進藤一馬氏が今朝四時すぎ逝去八十八才。福岡斎場でのお通夜、早目だったが参加して帰宅した。四時半。久しぶりということで河野氏に電話し、上田氏の参加をえて七時からマージャンの夜となった。互にもう老骨だ。

11月29日(日)晴

昨夜はおそくなったので朝寝し、仕事をはじめたら正午前になっていた。宿題の揮毫に一日を費した。しかも今日は珍客が二組、どちらも夕方。一つは馬渡夫妻、息子の結婚案内に私が返信をしてなかったので、色紙を差上げた。次いで江頭由子さん、労働省婦人室に勤め、もう定年だから揮毫の依頼という。馬渡氏の奥さんの母波多江さんも字をかいて高齢のひまを埋めているという。二組とも墨筆に関する珍客だった。こんなことはありえないことだ。時間がかかったが揮毫の宿題は何とか終って、よき休務日といえた。天気よく庭先にも出た。

11月30日(月)晴

雲一片もない。もう十一月も終わりか。十時半から自治会館で町村長らとの協議懇談会、会長は小早川氏から添田の山本町長へかわっている。二時半から、老人保健福祉計画策定検討委員会の辞令交付、サンヒルズに行く。三時半からソラリアで産労懇、議題は外国人労働者問題について。地階に移り夕食懇親会。引きつづき同じソラリア八階で上杉佐一郎氏小郡市長名誉市民顕彰祝賀会。差別撤廃運動で全国的世界的な指導者であることに対し授賞。私より一歳うえ、白髪の活動家で通している。部落、人種の差別撤廃提起である。七時半に帰宅、揮毫する。

12月予記

二日から十八日まで十二月県議会。コメの自由化にどう反対表明を伝えるか。力強い表明を農業団体もできずにいる。諦めムードすら見える。マスコミがリードしている要因も感じられる。県議会のあと、中央に上って来年度政府予算案に対する陳情。この中には国立博物館を九州太宰府にということ、新北九州空港建設に向け実施調査費、そして地元では漁業補償の話を進めなければならない。東九州自動車道、博多八代間新幹線に見込みをつけるなど課題は少ない。

12月1日(火)晴

庁議、記者会見、とくべつの問題なし。環境白書は出たので一読しておきたい。中食も兼ねて十二時半からソラリアで中小企業代表者との懇談会があったが、不況を反映し、企業融資問題が話題を呼んだ。三時から済生会勤続表彰式つづいて懇親会(ニューオータニ)。五時すぎから注射点滴。あと三光園で報道責任者と県幹部との夕食懇親会。これも年次行事でおそくまで時間をとったが不可避だった。雲一つなく晴れ、立派すぎる天気、十二月もあつというまに暮れていきそうだ。明日から県議会。健康に注意しよう。和歌山から蜜柑とどく。

12月2日（水）曇

十二月議会ははじまる。提案理由説明。その前十時に農協中央会などの要請を受ける。米の自由化につき、県の動きに注文がついた。一時半から新春取材につき時間をかけてのレクがあった。急にあわただしくなったように感ずる。三時半、四建の新局長挨拶に来訪、新北空港の漁業補償など話題。早期決着を要する。四時半江蘇省秘書長など来訪。夜六時半からホテル日航で県の議長らを交えて夕食会。六人の来客だった。友好調印後はじめての来訪で、東京、名古屋、大阪などもう十日の旅をすませでの来県という。うちとけての夕食会、議会側も各派代表参加となった。

12月3日（木）曇

十時に朝鮮チュチェ学院からの二人の来訪者があった。十一時四五分から高宮別館で新春を迎える各種報道の取材。つづいてグラフふくおか用で坂井ひろ子氏との対談取材もあった。三時半に国立博物館設置促進財団の設立総会（於ニューオータニ）に出席、挨拶をした。四時すぎ帰庁後決裁やレクがあったが、歯科大の学長同窓会長の陳情をうけた。同大の現地での改築の件である。五時五〇分発のJALで上京。八時ふくおか会館入室。機内で読んだ新聞には少雨のため福岡都市圏が一〇%給水制限を始めたと報道されており驚いた。水に弱い福岡都市圏だ。

12月4日（金）曇

朝ゆっくり起き十時から九段会館ホールで行われた地方交付税確保緊急総決起大会に出席。全国知事会議長会ほか地方六団体、来賓の国会議員らで満席。大会後は議員会館に地元国会議員陳情。そのあと帰福となるANA一四時の便で帰福。五時すぎまで注射と点滴をうけ、五時半からの二一県民の会の女性政策委員会の人達と、くいだおれで一時間の懇談会。女性副知事実現その他具体的要望がたくさん出ていて、ひる間林副知事が対象してくれていた。男女機会均等には多くの問題がある。巳千代で夜永田氏らとまで遊ぶ。

12月5日（土）曇

うすら寒い。ひるま休みだったので手持ちの揮毫宿題の消化に努め夕方までにほぼ完了。久しぶりに裏庭に出て自然の冬支度もようを観察した。水仙が蕾をつけているのに驚いた。六時から老松で夕食懇親会があった。明日の福岡国際マラソンの揃い踏み会が終わったあとの会で、みんなそれぞれ知り合っている仲のようだ。四六回というから、戦後すぐ始まった大会、長い歴史を刻んでいる。今回から放送はNHKからテレビ朝日に移管され、民放のよさが出るだろうといわれている。八時半帰宅。

12 月 6 日 (日) 曇後小雨

朝のうち頼まれ原稿を書いていると久しぶり安部夫妻が訪ねて来た。スシで中食を共にし、半ば過ぎた国際マラソンのテレビスイッチをいれた。日本勢はふるわなかったがまずまずの記録。終りがたから小雨になった。四六回目にあたるもので歴史の重みがある。安部氏は病気のため退職し、習字の先生をつづけている。もう五七歳だときいて驚いた。大野城にもどんどん開発が進み住宅が建てこんできたという。お互い健康に気をつけようということマラソンが済んだあとお別れした。小雨ながら福岡にとっては慈雨、冬の木でさえよろこんでいる。

12 月 7 日 (月) 曇 一時小雨

代表質問の初日。十一時すぎから始ったが十二時すぎストップ。五時五〇分までもめつづけた。自民党の古川氏の再質問に対する私の答弁が議会を刺激したわけ。問題は県民一人当り行政投資が全国最下位という事への知事責任、もう一点は九州国際空港建設について他県知事とどう接衝したかということをめぐるものである。古川質問に善意ある再答弁でないということで、もつれて五時間。審議前進を望む声が出て事がおさまったが、予定の三人の質問が一人で明日にもち越した。他県知事との話合いの内容はどう考えても公的な場ではいえない。行政投資の責任ある順位引上げも約束できないという立場だったから。

12 月 8 日 (火) 曇

今日は代表質問三人、スムーズに進んだ。村瀬、後藤、近藤。議会のあと決裁と三役会議。新福岡空港建設に付県が先頭切って箇所付けなど決めるまで別途事務所をもつべきだが、来年一月からその体制づくりをするのに人事も予算も大変である。一年半で結論にこぎつけねばならない。七次空整にまに合わさねばならない。福岡市、市商工会議所と三者で一四人体制で進みたいという。県議会が無用の問題ほじくりをしそうでそれが又怖い。大きな荷物をせおい込んだものだ。昨日の古川のようなのが動き出すと九州他県にブレーキ役を果たさせることになる。

12 月 9 日 (水) 曇・小雨

代表質問、公明北原。午後は一般質問に入り、横溝、橋詰、榊、古賀の四人。まずは順調に進み、終ってから一時間ばかり新北空港構想についての広報パンフ用の取材をうけた。新北九空港の宣伝が内容。五時すぎから注射と点滴を行い、六時半に帰宅できた。やはり注射は気力をそぐ作用があり、夜は何もする意欲なしの数時間になった。予想外に高温の数日がつづいている。小雨が万物をぬらしている。まもなく寒気が襲来するだろう。冬物衣料の売上げが悪いようだ。

12月10日（木）曇・小雨

一般質問の二日目。二人と三人計五人。今日もまずまず順調。終わってから決裁、そのあと広報課のレク。報道各社の新年記事の取材などについて予想されるアウトラインをたぐってみる。次の土曜日はその取材で一日つぶれてしまう。報道陣も正月休みの書きだめをするのに懸命で、その巻きぞえになるわけだ。一般質問者は井手、廣田、瀬川、森田、鳥越の五人みんな。温厚な発^てだ^つたが、空港、産廃、高令化、農政など苦しい問題が揃えて出された。七時少し前県庁を出る。小雨と風、気温は徐々に低下していく。ボーナスの話題、所得課税も大きい。

12月11日（金）曇 小雨

一般質問の三日目、大石、薦野、藤崎、井上（澄）、松山の五人。中食時に代表者会議、中食後の本会議冒頭に追加提案。案件は職員の人勧給与引上予算関係。議会が終わってから県庁跡地のレクがあった。入居施設につきやや詳細な説明である。ひるの休みに京都での全国駅伝大会に出場する高校（大牟田・筑紫）の選手が知事室に来訪、去年はアベック優勝で年末の県内話題をさらったのだが、今年はどちらか一つでもと思う。帰りは注射と川上氏父の死亡により二日市の葬儀社にお悔やみに行った。斉藤教授の奥さんも亡くなったとか。

12月12日（土）曇 夜中雨

一〇時半高宮別館につき、中食をはさんでマスコミ各社（日経、毎日、西日本）の新年取材に対応した。一年をふりかえっての実績、新年の課題、抱負などについて似たタイプの質問がつづいた。四時から市民会館ホールで例年のようにFM福岡後援の（主催は県）「広がる希望のつどい」が開かれ、挨拶と賞状授与につき合った。体験発表や音楽にはひとにまかせて早目に帰宅した。是松氏、藤江氏が呼んであって夕方から夜おそくまでマージャンを楽しむ時間になった。藤江氏は二年も来てないだろう。寒さは募る。

12月13日（日）曇

一時晴れたかと思うと又曇った。それに風も冷く、冬の実感が強い。朝おそくまで床にいて特別にすることもないので又自在な筆をもつ。飽きて部屋を若干片付け又筆をもつ。身辺整理が気になるのに少しも進まない。「喪中につき」という便りがたくさんくる。年賀状でも書けばと思いつつ、全く消極的で、その方向に体が動かない。今日は別として、平素が多忙すぎ、動作に連続性がなくなることをおそれる。

12月14日（月）一時晴

荒い冬雲で時に日が射す。本格的寒気だ。十一時からの土木常任委に対応、又四時半からの厚生常任委知事保留をすませた。中食は「花の木」で大濠の水やカモメをみつつ、桑原、末

吉岡市長と共にした。KBCの新年放送に使われる三者鼎談のあと。この収録はほほうまくいったと思う。ショッキングなニュースだが東京の岡茂男氏が今朝十時すぎ逝去したという。知らせは次郎寿司の中村氏から。ガンらしい。しばらくごむさたしてただけに、すごいショック。つくづく年を感じず。寒くなったので注意の上にも注意したい。用心、用心。

12月15日(火)曇後晴

九時に出発。ぐっと寒い。風邪ひきの声が周りに少し。文教、総務の両常任委が結末を得ないまま明日にもちこした。われわれから見るとガタガタやっているという感じ。議員の自己満足はあっても審議はほとんど前進していない。合所ダム管理のことで報告、日赤から挨拶、女子大学長が徳本鎮氏に交代と挨拶あり。夕方菊重で土木関係者数人での宴会。都市高速北九の光がみえたということ。七時半から山ノ上で一期会の忘年会、近藤栄次郎以下十数人。

12月16日(水)曇時々晴

真冬の気候であるとの放送があっていた。平年より三度ほど低温という。今日は議会の常任委員会(総務と文教)に時間をとられていた。午後になって知事保留への答弁のすり合わせで終り。三時頃には双方とも終審となった。議会が終ってから自民党県連からの来年度予算要望を受け決裁、そして理髪、そのあと病院行きとなり六時前には帰宅できた。ただ、注射の影響がとくに強く感じられた夜になり、日記を書く程度で何もしたくなくなった。寒いので風邪をひかないように最大限注意しよう。

12月17日(木)曇時々晴

甘木・朝倉広域市町村圏からの陳情(来年度予算に向けて)。共産党県議、県本部長などからの要請、部落差別調査規制の陳情は受けとるなという内容。午後二時から大川氏の県警察本部葬(福岡斎場)交通取締活動中の交通事故死(十一月十一日於小郡市)。今日も大寒といえる寒さだった。次から次へとレクがつづき休むひまなし。凡その仕事が終わったかなと思ったら決裁がつづく。七時少し前に帰宅できた。黒川庸氏から十一月二十二日曾左小一〇〇周年の時に上山ホテルで行ったクラス会の時の写真が届いた。これは珍しい記念物になりそうだ。三木辰夫、江原健三、梅宮芳太、大坪好春など何十年ぶりかの友の姿が撮れている。

12月18日(金)晴

合所ダム管理で県への謝礼に来室(関係町長ら)。献穀者報告。進藤前市長叙位伝達。十一時二〇分から本会議、事なく議了。一時すぎ公明党からの要望をうけ、決裁のあと林業労働力対策協議会からの提言。黒田迪夫氏と久しぶりに顔を合わせた。注射をうけて後サンヒルズで本部長らと歓談。今日は久しぶりに小春日和といえる状況で気持がよかった。政府来年

度予算陳情を前に、税収不足や不況など暗い情報、空港、廃棄物処理など重い荷物の多い年末に入っていった。葬式も頻発したし、ユーウツ。

12月19日（土）晴

筆をもって午前中をすごし、午後二時から市の体育館で進藤一馬氏の市葬がおこなわれた。満堂の人達が弔意を示した。進藤氏は衆院四期、市長四期とまれな政治活動の長い温厚な方であった。享年八十八歳、十一月二十八日の死去だった。市葬二時間。このあと天神アークホテルでローフレンズの忘年会があり顔を出し、早目に引きあげた。顔見知りの方が多かった。森氏も、前田、辻、上田ら常連で木梨にも会うことができた。新規の人が少いようだ。

12月20日（日）曇後雨

頼まれている色紙をどんどん書いたが、条幅を書こうと思っていたら森、是松氏と連絡がとれていて、マージャンの午後になってしまった。外は夕方から雨だった。色紙を四〇枚ほど書いただけが今日の成果だ。雨が降ってくれると、水の心配がなくなるので、歓迎できる。ひるごろ、秘書室の金丸文枝氏が夫妻で来宅。昨日限りで県職員を辞し串木野に住んで主婦としての道に入るという。夫が同級生だそうだ。小学校の先生。

12月21日（月）曇・小雨

冬至。割合に、暖かい。十時から二度にわけて叙位叙勲伝達式。九時半には東福岡高校のラグビーフットボール選手団が全国試合に行く挨拶来訪。十二時に岡垣第一・中央幼稚園児の一円玉募金来訪。これは毎日つづいている。五万円余らしい。一時半新年挨拶放送の録音。三時から県美術館で「楼蘭王国と悠久の美女」展オープニングセレモニーに出席、あと場内一巡見学。そして注射。院長から糖尿の値について大いに要注意（入院もの）と注意された。一七時五〇分発で予算詰めのため上京。概要はまずまずのようだが、明日からが本番。

12月22日（火）晴

六時すぎ起き出て準備。七時から東京での朝会議。大蔵予算のつき具合につき各部長の説明をうけたがほぼ満足できる状況。新北九州空港だけ。八時半からマツヤサロンで自民議員を入れての朝食会。十時二〇分から文部、文化庁、運輸省、農水省、労働大臣、建設省、自治省の順で省庁お礼まわり。新北は最後だが OK といってもらった。九州国博に一千万近く調査費がついたのがみんなにとって嬉しかったわけ。その努力の謝礼に二階堂、西岡、石橋、保利、臼井各代議士につき第一議員会館まわり。五時から三役会議、産炭地振興センター、篠栗線の問題。夕食後早目に就寝。

12月23日(水)晴

九時すぎ出発し、劔木宅(横浜市緑区)と岡茂男氏(練馬区桜台)のうちへ先日死去の弔意をのべに行った。東京事務所に戻って一眠りし、NHKカメラ取材に応じた。終わったら四時になった。このあと六本木に出て事務所の二人を相手に川上氏とマージャンをし、部屋に戻ったら十一時を過ぎていた。天皇誕生日の休日で政府予算についての追加ニュースもなく、私的なことに一日を費した。中食はダイヤモンドホテルで。テレビの報ずるところでは福岡は大変寒くなっている。東京は暖い。予算もまずまずで平穏な年末になりそうだ。

12月24日(木)晴

新北空港の予算がつくかどうか決まるのが午後二時半の次官折衝。これを待つ。一億円の実調費が結果としてえられた。お礼の挨拶まわり、運輸省と防衛庁に。記者会見も(感想をきかれる)。午前中は国土庁、あいさつまわり。九州北部学術研究都市圏構想について、今後も引きつづき配慮してくれということ。これで来年度政府予算関係上京の仕事は終り、六時五分JASで帰福することになった。新北空港については吉村、安枝両県議も行動を共にしてくれた。やっと新しい一步をふみ出したといえる。新北は大きな予算を準備せねばならぬ。漁業補償と渡し橋かけだけでも大変だ。でも北九州市はこれで一〇〇万都市の面目が保てる。クリスマスプレゼントとなった。

12月25日(金)晴

九時半に出発して年末挨拶二件、井手、上杉。午後になって税務職員に対する報奨金交付式。バブルの崩壊、利子低下のもと、利子割県民税が大幅に落込み、法人事業税を加え、約二〇〇億円の税収不足がみこまれる今日、税務職員の苦労も一段と増している。二時すぎ県環境緑化懇話会五団体の陳情をうける。植木から並木、緑化樹林へと苗木生産もかわりつつあり、福岡県の業者はおくれている。三時半から政府予算関係の記者会見、平塚川添遺跡保存の質問も出た。決裁、松本事務所年末挨拶、それから点滴と注射。疲れがひどく、八時半に就床。何もする気起らず。

12月26日(土)晴

今日は休務で明日は年末挨拶まわりなど。朝六時半頃から起き出してしまった。揮毫宿題にとりかかり、一日中筆墨を友とすることになった。今年最後の揮毫であろう。体調がよくなり昨夜早目に就床したのだが、今日も頭が少し痛い。小川院長の指摘もあり、糖尿関係の数値からみて一月上旬に入院加療をすることになりそうだ。身体の全面に脱力感がある。在宅してハガキ一〇枚書く。歳暮など返礼がふくまれている。一つ一つ対応できないが幾つかの対応。

12月27日（日）晴

九時五〇分に出発。暮れの挨拶まわり、松本英一、上岡、三木清が午前中。十二時三〇分から大任中学校体育館で劔木享弘氏の町葬。そのあと又挨拶まわり、松尾正信、浜中、住吉、助信、山本義隆氏の五人。上岡、松尾、住吉、山本の五人は年齢の点であるせいか本人に会うことができた。みなさん元気にしておられた。松尾正信氏の顔色がいいのには驚いた。精神力が支えになっているともいえる。八時すぎ帰宅したら龍ホテルからフランス料理やシンビジウムの花が届けられていて配慮や温情には感謝させられた。体調に用心しながら明日の出勤を乗り切ろう。

12月28日（月）雨

小雨降りつづく。一度登庁し決裁もして後十時半から須崎公園で行われた「日本の米を守る」緊急福岡県総決起大会に出席した。傘をさしての大会、今一つ盛り上がり足りなかった。自民党代議士も来賓席を埋めた。帰庁中食後、年末挨拶まわり。川合、多川、林武彦事務所の三つ。又帰庁して四時から年末挨拶を含む庁議（昔の御用納めだ）。このあと検診注射に行き、六時半から「雪」での秘書室忘年会。富永氏以外は全員出席でなごやかな雰囲気の中に九時に終り帰宅した。体調がよくないので年明け入院する話が打合わされた。二週間程度の予定。糖尿に別面から対応する心算。頭痛、皮膚、咽喉など自覚もある。

12月29日（火）晴

正月休みの第一日だが、好きなように筆をもっているのはダメとわかって、宿題の揮毫に向きを変え、墨すりから始めて夜九時すぎまでかかって課題によろやく見透しをつけた。色紙はもちろん、条幅、植樹祭御製まであって時間手間がかかった。明日は検診、一彦一家が福岡に来るので自分の時間をとられる。正月の三日までかなりがさつく予想が立ったからである。午前中赤嶺さんがやって来た。私の病気のことをあれあれ心配してお見舞をちょうだいした。私より六歳上というのに顔色良好、若々しく見えている。在宅の一日はいい。

12月30日（水）晴

注射と点滴の課題があって十時半に出発。直美が随行してくれ、帰り大丸に寄って買物をした。一彦一家が夕方に来る。餅も搗くことになっていてにわか忙し。久しぶりの餅、キナコ、小豆アン、オロシ、つきたてのものをみんなで腹一ぱいよろこんで食べた。すぐ満腹になって心残りがする。夕方になる一寸前吉村氏が歳に来た。久しぶりだった。色紙を頼まれたので OK した。大学生と高校生の孫娘、伸びざかりでピチピチしているので気持がいい。ペンをみやげにやることにした。風呂場が新式になっているのでよろこんでいた。

12月31日(木)晴

久美、麗衣は直美につれられて街に出た。午後私は一彦を伴い大濠公園に散歩に出た。約二時間の歩行、天気よく鷗たわむれて小春日和に恵まれたが疲れた。散歩途中永井元副知事の散歩に出合ったが、数人の人から会釈され、一人は勝手な駐車は何かならぬのかといわれた。歩いているとこのような何人かに出くわすことになる。いよいよ除夜の鐘の日、正月に備えての雰囲気があちこち感じられる。今日も筆をもち、余暇を費すことになった。

補遺

五月十日の植樹祭の折、八女の伝統工芸館に両陛下お伴として立寄った際、館の入口に短歌で奉迎することに気づいて、その後、同趣旨のものを送ってくれるように頼んでいたら入口に貼ってあった選とは別にとってあったのを加えて送って来てくれたので、この地方の人達の気持の一端を伝えるものとして書き残しておこう。

天皇皇后両陛下奉迎歌

八女文化連盟短歌部

- | | |
|-------------------------------|-------|
| ◎すめろぎを迎へむさいはいかしこみて行幸の道ひたに草取る | 中川原政治 |
| ◎両陛下お近く迎ふるしあはせの通知は桜のときに届きぬ | 鶴 龍廣 |
| ◎筑後路に新緑は充ちつつじ燃えみかどしたしくけふぞ迎ふる | 石橋和子 |
| 両陛下のご視察たまふ工芸館藤波垂るる下に旗ふる | 相明フミ子 |
| 大君の八女に来ませば大杣の良成親王目ざめ給はむ | 石橋田鶴子 |
| ◎山きよく若葉目に沁む筑後路の行幸やすけくと祈りまつらむ | 江上芳枝 |
| 伝統の工芸ほこる八女の地に行幸なりて光あまねし | 斎藤一二三 |
| ◎すめらぎの畏くもこの地訪ひたまふ老いの日われに思はざる幸 | 今村 漣 |
| 両陛下を迎かふる八女の五月空この吉日は永久に忘れむ | 安永トシエ |
| ◎伝統に息づく八女は新茶萌えいま両陛下挙りて迎ふ | 小 蔦 睦 |
| 両陛下をお迎えせむと八女津路は新茶の香り南風に満つ | 石橋トミ子 |
| ◎新茶摘む老いの手休め日の丸を固く握りて両陛下まつ | 馬場ナツヨ |
| 両陛下訪れ給ふこの良き日ひとしほ高く新茶香れる | 松延敏子 |
| 平成に生きるしあはせわが里に見ゆる陛下を拝がむと待つ | 大坪キヌ子 |

(◎印は入口に選出され貼られたもの)

曾左小学校の沿革

- 明治6年3月5日 咸和(東坂本村) 飛文(西坂本村) 楊光(田井村) 学校設立
- △8年4月8日 三校合併し高基学校と称す
- △20年4月1日 書写簡易小学校と称す

△25年12月1日 組織を尋常小学校に変更、曾左村立書写小学校創立（この日を開校記念日としている）

△34年4月1日 校名を改称し書写尋常高等小学校と称す

○大正12年10月3日 曾左村書写大門より書写字北垣内に校舎を移転

○昭和16年4月1日 飾磨郡曾左国民学校と改称する。

△29年7月1日 姫路市に合併、姫路市立曾左小学校と改称する。

△54年4月1日 峰相小学校開校にともない本校区より刀出栄立、六角分離する

△58年3月31日 新学校竣工式

△62年・63年 国際理解教育推進県指定校

○平成元年11月22日学校給食普及充実研究発表

△4年5月4日創立一〇〇年大運動会

△4年11月22日創立一〇〇年記念式典

年末二十八日になって補遺を追加しようと思う。平素多忙で日記を書く時間をとるのも大変である。これは日程表を身につけていて、それを見ながら概要書けば平素はすむことであるが、就床を気にして翌日まわしにすることもあって、日程表を見つけ思い出して果たす。荷が重くなるだけであるが、旅行中、日記帳をもって行かなかつたり、書く時間を見つけえないとき、荷物が急増する。そうした苦勞をしながら、ページが空白にならないことだけが最大の満足となる。これはどうした心理だろうか。自分でも説明できない満足度にひたっている。不可解不可解。ところで年のせいだろうか、字をまちがって仕方がない。第一頭の動きと手の動きに一致がないことがしばしばある。文字にしてからこれは違うと判断せねばならぬ。第二に頭が動かない。つまり書かねばならぬ文字が頭に浮ばない。明らかに能力の低下である。忘れるのである。思い返せば中学校の上級の頃が最高に頭につめこみえたのではないだろうか。句誌を見ていると読みえない文字がどんどんでてくるが、字引をひくひまもなくそのままに通過してしまう。句友の人達は文字と物をきっちりつかんでいる、つまりのめり込んで勉強しているに違いない。書くことは大事ということをここで改めて強調したい。

十二月二十九日、植樹祭の時の御製が届いたので私に五〇センチ四方の紙に墨書してくれとの宿題が来た。植樹祭跡地の県民の森に碑を立てたり、記念誌出版の一ページに用いるらしい。名誉なことではある。第四三回、先催県では多く書家に揮毫を依頼しているようだが、下手と知りながら自分で書くことにした。いろいろと同種の行事があつて、それらに關与することは、思想面からの反撥はありうるが、私には抵抗はない。昭和天皇葬儀、天皇即位、誕生祝賀会、国民体育大会などラッキーにも経験をたくさん重ねてきたのだ。

十二月三十一日、午後一彦と大濠を散歩したが、底に藻は生えているものの水は昔と違って澄んで快いと彼はいった。十数億円を投じ、濁らぬような構造も追加したこの浄化工事が県民によるこんでもらう結果を伴っている。今年一年をふりかえって思うことは、負の面とはいえ、昨年の台風の二次災害にあわずにすんだというのが何よりの幸いであった。二次災害があれば、世論は県政に責任をかぶせてくるに違いない、治山工事に気をかけていたのだが、自然の力はこれを上まわったであろうからである。次に指摘すべきは不況だろう。全国規模とはいえ、西部日本は不況の波が比較のおだやかといえる。補正予算で対応できたのもよかった。経済界は打ち沈んだまま越年になった。一家四人揃って元気で一彦が帰省した。三年ぶりとかいっていた。久美は大学生になったし、麗衣も姉を抜く丈になっている。県下の経済界ではトヨタの宮田工業団地進出で、来年一月にはマークⅡの出荷を始めるときく。まだ十分とはいえませんが、これで重厚長大の素材型に偏っていた県下の経済構造も、加工組立型に移行することが明らかになったといえる。これらの事を含め今年は福岡が西日本のリーダー県として注目されるようになった、九州の他県から羨望の目でみられるようになった事は特記に値しよう。それもあってか、福岡空港の容量限界も程なくやってくるということで、新空港の立地論がにわかには浮上してきた。九州国際空港をという問題提起では九州の他県が手をあげ譲る様子がない。といっても福岡周辺に適地が見つかるかというと容易ではない。この問題は来年一月以降専門委員会を組織して論議してもらおうという筋途を選ぶしかないという事で今は落付いている。

今年の大きなイベントは五月の植樹祭、中国江蘇省との友好提携調印、韓国南岸市道と三県の対岸サミットの開催であろう。又大きな変化は秋以降学校週五日制、県職員の週休二日制のはじまりである。高齢化はどんどん進むのに行政側の対応が鈍いので気がかりである。又コメの自由化は年末になって決着が先送りされたものの政府のトップは自由化やむなしとの思いをいんでいるようである。米作のみならず、日本の農山村の伝統文化が激動する憂いが宿されている。

1993年

一家全員揃っての迎春でおめでたいことはいうまでもないが、世界、わが国、わが家、どこにも緊張感が見えない。めでたいという事が緊張感のないことと同じなら、どうもそれは危機前夜のように思えてならない。アメリカはソ連という相手がなくなって、貯えた戦力の「はけ場」を求め地球のあちこちで、こそこそ事を起こし、日本がこれに追従している。中東戦争で「国際貢献」という文句を見つけ100億ドルにのぼる国費をアメリカに捧げたのだがあちこちで同じことを繰り返すわけにはいかぬらしい。カンボジアへの派兵で何の成果をあげうるのだろうか。共和、リクルート、佐川など政治資金にまつわる汚名を一つだに解決しようとせず、ずるずる時のたつにまかせその場を逃れようとする宮沢首相への支持率は急低下しているというのに、責任を取る姿勢が一かけらもみえず、国民のこれに対する追及の声も目立ったものがない。盲目、無責任の極まった政治状況である。正に世紀末的現象といえそうだ。野党は問題の人物を国会に喚問しようとはするが、追及は自民党に阻止されて成功しないままである。国民すべて豊かになったといえそうだが、政治白痴になったともいえよう。米の自由化問題は越年した。これまた「ずるずる」の一例である。一月から二月にかけて決着したいといっているが、怒るべき国民の怒りの声が届かないとして政府はここでもアメリカに追従しそうだ。自由化は社会、文化を基本のところを変え、国の弱体化につながるのに平気、無関心……。

1月予記

久しぶりに一彦、啓二ら家族と直美が帰宅し全員揃った新年始めになった。このように顔を揃える事はもうないのではないか。みんな年を加えそれなりに暮しているなら幸せというしかない。私はこの月の中下旬を済生会病院入院検査ですごした。特に新たな検査結果が出た訳ではないが、自覚としては大へん衰えていく。足腰は弱まり、身体の芯からの力量に欠けてきた。ふんばる^こ気^こ慨と力量がないと思うと急に弱者になったように思う。

1月1日（金）晴

雲一つない快晴で一日がすぎた元旦。啓二一家が帰福するのを待って十時すぎから屠蘇雑煮をいただき、総員十人、三人の孫娘いずれもすくすく成長している。食後彼らは親子揃って天満宮参拝に出かけた。年賀状が山ほど来ているので、ゆっくり見たり情報をいただいたり宿題を感じたり。夕方コウ・テン・リム氏が年賀の挨拶に来た。三人の子供を育てるのに苦労している。家の中前後に一家族ずつ分けて宿泊される。サリは一年生、久美は大学一年、麗衣は中3。

1 月 2 日 (土) 小雨、曇

睡眠不足気味。朝から頭髪を洗い、十一時約束の済生会病院ゆき。随行は一彦が担当してくれた。昨日の陽光はみられず、時に小雨さえ降った。賀状に対応すべきだったのに、できずに暮れた。昨夜はスキ焼きで今夜は水たき、みんなわいわい楽しくたべた。眠りが浅いのが気になる。最近の不調がこのようにあらわれている。何も考えず自然体で就床しているのに、薬さえも効力をあらわしえないのだろうか。

1 月 3 日 (日) 曇

午後一時から山ノ上ホテルで昨年同様新年挨拶をうける席を設けた。川上氏が車で迎えに来てくれた。21 県民の会、秘書室など、ごく親しい人達が出席、総数六〇人ばかりとなった。山口から内田一郎氏も来てくれた。姫路に転居するという徳本氏も教養部の福留氏も、県評センターだった松田氏も、代議士の渡辺四郎氏も、中西次男氏、大坪、衣笠も、秘書室現役 OB とりまぜて、ほんとうに多くの人々が来てくれ、四時まで雑談にふけた。永田元室長も来ていて、このチャンスを捉えてマージャンをするといい出した。相手を二人募り、山ノ上ホテル夜九時すぎまで遊んだ。早く就眠しないといけない。一彦一家四人は十一時の空路帰宅した。

1 月 4 日 (月) 曇

八時半出発。御用始めの日だ。九時半から庁議 (私から新年挨拶)、十時から記者会見、十一時から講堂で年頭所感のスピーチ、30 分近くの講話になった。あとすぐ養護学園卒業者に対する知事激励の会 (特一) というように、目のまわるような忙しさ。午後は県の外部事業体の役員を中心に、続々諸方面から来室の年頭挨拶をうける。県関係の銀行もその中に入った。入れかわり立ちかわっての忙しさ。午後四時切上げて病院に行き、注射と点滴。九日から入院の話もきまった。五時半帰宅。一時半に県立三大学長が挨拶にみえた事を書き加えておかねばならぬ。

1 月 5 日 (火) 晴

新年挨拶まわり。報道など各社次々と。そのうち団体の祝賀会は十一時から県評センター旗びらき (シティホテル)、十二時からの福岡商工会議所新春会 (ニューオータニ)、午後六時から解同との懇談会 (博多弥生) の三団体であった。挨拶先では共通して不況克服の話が出るし、当方からは国立博物館、新北九州空港の予算がついたあとの県レベルの任務の大きさと、福岡空港建設模索の困難性についての話題を出した。不況が全国レベルとくらべ過去とくらべ影響が比較的小さく軽微であることはどこも納得、しかし不況で困惑しているとの指摘は共通。

1月6日（水）小雨

十時から平和台陸上競技場で福岡市消防出初式。カゼを慮り下着を二枚つけて参加、うまくいった。あと一日中挨拶まわり。十一時一五分から歯科医師会、県庁近くの自民、民社、公明、中食後西部ガス、農協等、農政連、毎日、九経連、西鉄、共同通信、西日本、RKB、九電工、TNC、最後は病院注射点滴のあと共産党の旗びらき（三鷹ホール）。休むひまなく帰宅したら（夕食後）テレビで皇太子妃候補が小和田雅子さんに決まったとの報道しきり。秘書室からコメントを求められ、人物紹介などきかされた。注射疲れもあり、染髪して早目に就床した。

1月7日（木）小雨、曇

十時から平和台で警察年頭視閲があり、出席して激励の辞をのべた。十一時半舞踊協会県支部の皆さんの来訪をうける。中食はグランドホテルでのライオンズクラブ舞鶴の例会に出席してすませた。二時から三役会議、筑後川下流開発の経費問題。三〇年も前からの、土地改良、水源開発計画にかかわる大きな問題である。レクがつづいたあと五時半からニューオータニで建設業協会の新年祝賀会があった。この不況の中で、建設関係予算が大きく伸びたことが挨拶の中で強調されていた。六時半帰宅。夕食は七草粥、ライヤがおいしいといって珍しがって食べた。明日から入院するので、準備が必要だった。

1月8日（金）曇 小雨

十時に中小企業労働時間の報告をうけた。十一時解同県連旗びらき（グランドホテル）に出席。午後はサンヒルズで福岡筑豊都市鉄道開発株式会社発起人会を開く。これは篠栗線の電化複線化の工事主体の第三セクターの設立につながる。三時前決裁を消化した後、労働組合系向けのあいさつまわり。自治労、西鉄のほか大手門会館にある連合、労金、共済等々、そして最後は連合福岡の新年交歓会への出席。午後五時済生会病院の検査入院。糖尿病を主体とする各種検査。二週間余の長期を確保する必要がある。秘書室からも啓二一家直美も入院時の見舞に来てくれた。六時病院食。休眠。

【欄外記入】△せりなづな御形はこべら仏の座すずなすずしろこれや七種

1月9日（土）曇

外界と関係を絶っているのでよくわからないが、窓ガラスをみる限り終日曇り。昨日から眠るばかり。朝五時に起き出て入浴、汗を落してさっぱり。七時半採尿など血糖系の検査がつづく。心電図、胸腹部のレントゲンも撮った。井口先生が説明にこられ、血糖以外はまだ特別に異状は見当たらないらしい。できるだけ横になっていようと思い、よくよく休んだ。平素が多忙なだけに、横になって泡のような想念につかっているのも楽しいことだ。病院食はまずいと誰もがいうが、今の私は一〇〇%食べている。これも指示された薬だと思うとまずい

とは思わず食べてしまう。

1月10日(日) 雨

外は一日雨、あまだれの音止まず。啓二らは山野氏に送ってもらって昨夜帰京した。美可からは礼状が来ていた。ひまにまかせて問研月報の原稿を書いた。文字についての随想になった。日曜の仕事としては適当量三〇〇〇字。他の時間は休眠ばかり。何を考えるという課題もない、ホッと念頭に浮んだのは引退後どうするかということだった。誰しも「付き合い」のわずらわしさに困惑している。すべての従来縁を切って山ごもりでもしたらどうかと考えてもみた。人間として社会的に死ぬことだ。それでひとが許すかどうか。大変な手数もかかろうし。

1月11日(月) 晴

七時起床、八時半朝食、五時半夕食と、平凡な入院の一日が暮れた。血糖値の高いことが依然問題である。十時半インターフェロン注射。問研月報原稿は十時すぎ熊谷氏から東定に手渡してもらった。赤嶺利文氏が訪ねてきてくれた。健康自慢のできる人だ。午後の中ばに皮膚科の先生にきてもらって診断塗布剤の追加をいただいた。湿疹が全身的に出てやまない点気になっていた。やはり内科病と関係があるようだ。塗布剤でよくなるだろうか。糖尿がやはり心配の根源。明日は忙しく通常勤務の日。少し気が重い。早目に休む。

1月12日(火) 晴後曇

庁議記者会見など登庁して平常どおり勤務。庁議の中で渇水対策本部の発足をきめた。十時半歯科、奥歯左上義歯を入れてもらった。寺田先生。一時から県警察署長会、二時から商工団体婦人役員との懇談会、三時から日産自動車九州社長ら来訪、決裁をすませて入院生活にかえった。歯の治療が三〇分で終るなど思ってもみななかった。夜六時から春吉の福岡家で永田照彦氏の還暦祝賀会があった。済生会病院のスタッフなど三十余名のにぎにぎしい会になった。七時半帰院。糖の異常が気になる。明日から腸検査の準備に入り大変だ。

1月13日(水) 曇

晴かと思っていたのに間もなく曇となった。今日の病室は、明日の腸検査に備へボンコロンの三食だった。七時起床、絶食で腹部エコー、十一時に咽喉をみてもらった。双方とも異状なしとのこと。朝食は十一時、またインターフェロン注射で、これらすべての合力で無力感じちじるしい。午後家永民生部長が見舞に来てくれ、花束の御礼ものべておいた。直美が又東京に出かけた。何を考えているかよくわからないが責あれば自分でとるだろう。賀状に対し若干返書を書いた。依然糖の心配が去らない。

1月14日（木）曇

午前中大腸検査に対応。十時から三〇分ばかりだが、レントゲン室で苦しみ抜くことになった。腸にバリウム、空気など入れての検査で前後うつつの時間だった。林武彦氏が急病で当院に来て手当をうけているという秘話があった。午後三時から五時半まで登庁して二つのレクと決裁という公用。中食と夕食が平常なみに食べられるようになったので、夜は元気が挽回された。家永氏が来て、田園生活を楽しみえたらということを主題にほがらかに語り合った。賀状に対し少しでも返信を書こうと努力している。やはり書くべきだと思う。よくも皆さん賀状書きをするもんだと感心したり……。

1月15日（金）曇

晴れない日がつづいている。室内にいと区別はつかないが小雨も降っているようだ。入院して一週間が経つ。腸検査を経たが残っている心配は糖尿に集められている。床の上で横になると心地よく眠るこの頃ではあるが、運動量不足が一番心配。午後林武彦夫人が永田氏に伴われて来室挨拶。彼は快方に向っているというがまだCCU室に入ったままのようだ。県議多数の前での朝食会の折にこんめい状態になったという。隠しようのないことのように。快方とのことで安心できそうだ。

1月16日（土）曇

照ったり降ったり落付きのない天気だった。永田、家永、佐々木が来室。又林武彦夫人も見舞に来室。私も永田氏に案内されてCCU個室に林氏の見舞にいった。正常に近く回復して心配はない模様。過労のためという。横になる事が多いが、ねむりぐせがついたかのようである。たいくつだろうという人もあるが、ここ三日ほど賀状で返信を出すべきものを選んで対応しているが一〇〇枚はあろう。ワープロの賀状も少ないがこちらは全部手書きである。久しぶりの人、あいたいと思うような人もある。でもわが身の年齢をかえりみると全て夢である。

1月17日（日）曇

七時半頃目が覚めたら又雨の音、午後には止んで曇りとなる。日曜日でもあり、訪ねてくる者はなかった。賀状への対応は休み休みしていて夕食まで予定した返信を書き終えて一息ついた。一〇〇枚ほどになった。賀状というものは無用との考えもあろうが、義務観^{ゴウカン}をもってすれば、多くの人のごすることに従っておくのが率直であろう。近況を知ってもらいたい機会である。長い目でみると世代の動きも感じとれる。新婚の人あり、子供の成長する状況もわかる。近況の書かれた賀状がたいへん役立つ。

1 月 18 日 (月) 曇

急に冷えてきて冬を感じさせ、カゼをひく人がふえてきたようだ。登庁。十時に村上労働大臣の訪問あり。十二時嵯峨野で同大臣を招いての中食会。病院に帰り、洋服姿で林団長の個室に見舞にゆき、午後二時から第十回女性研修の翼のメンバー対象の対話、三時半ブルーノ・ドリュウ氏 (貿易大臣) 一行のレセプション (グランドホテル) に出席。久しぶりに帰宅し、下着など着替えて山ノ上ホテルへ。県関係報道記者との新年会。七時から広報三役関係者約三十人。早目に退席入院姿勢に入り、八時半、インターフェロン注射。やっと一日の行事が終った。カゼに注意しなくてはならない。ノドやや不安である。

1 月 19 日 (火) 曇 ミズレ

又曇り。旬日曇って小雨を伴う。今日は寒さも強くミズレ、三郡の山々は薄化粧。外出登庁で庁議、記者会見。中食をはさんで福岡都市圏首長らと懇談。帰庁後椎田から産廃処理場反対陳情をうけた。三時から日航ホテルで九州県議長会があり出席挨拶。何回も出たり入ったり業務が一日中。最後は高齢化対策室のレクで、高山女史、森山らを相手に一時間半ほど問題のときほぐし方について語り合った。広く深い高齢者問題である。六時頃病室に帰り夕食、林県議の見舞に来た田口企業管理者が私の部屋にも来た。

1 月 20 日 (水) 曇

日射しがあるかと思ったが曇ったまま。登庁して、十時から散髪、中食はサンドウィッチ。十三時からサンヒルズで青少年問題協議会の総会があり、非行、シンナー禍、エイズ問題について県下の現情報告と意見開陳があった。終ったら帰院。^{ママ} 栄養士の井口さんからの栄養摂取についての指導をうけた。甘いもの、糖分の多いもの、食餌全量について常に控え目にとというのがポイントであった。五時頃インターフェロン注射あり、休みを取ろうと思って横になった。夕食したあと、中村香春町長の見舞来訪があった。林県議はほとんどよくなっているときく。青少年問題で、なぜ福岡県が非行率が高いのかの質問にはまともに答弁がしにくかったのが印象的。非行も一極集中か。

1 月 21 日 (木) 晴

やっと日射しがあった。九時四〇分発。十二時まで三役会議、水資源対策が中味。決算委員会で知事保留に対応するためである。午後病院に戻り就床した。朝食前から就寝前まで毎食後を含め前後七回の採血採尿による血糖検査があった。小川院長、井口主治医たずねて下さった。癖になったように横になると眠るし、会議中も目をつむると休まる。夜企画の樺島部長ら四人が見舞に来てくれ、水資源不足が話題になった。ダム建設や中水利用について知事の基本姿勢をきくという。

1月22日（金）晴

バリウムのでの胃の透視、そのあと眼底検査。午後に登庁。いくつかのレクと決裁（筑後川下流農業開発事業負担軽減陳情、朝の放送録音、知事と語る、などのレク）、いくらでも仕事はあるものだ。夜病院に帰ってからの注射、これで又力が抜ける。胃カメラの必要があること、白内障対応を後日、という所見をきかされた。糖尿病は一進一退で見守るといのである。老化現象の具体的あらわれが今日のわが身と思えば心配しても仕方はない。世間はそれなりのテンポで動き、それなりの音波で動いている。明日退院することに決めた。

1月23日（土）曇

入院を切り上げて今日午前中に退院した。寒さはそれほど厳しくないが曇って風が吹くとやはりきびしい。アロエの花がまだ咲いていた。梅が一輪づつ咲いてゆく。公安委員中川正輔氏の密葬が一時から小笹平和町の草苑で行われ出席した。JR、九電で重きをなした温厚な方だった。南区樋井川六丁目が住居。とりあえず身辺整理をしていたら、伊三男夫妻が訪ねてきた。彼女の父原田鹿三氏が危篤だとのこと。見舞に行くチャンスがないのが残念である。八三歳大腸ガンというから諦めるしかないだろうか。特開に働く人達（田川）から増額要求のハガキの山がきた。

1月24日（日）晴

ゆったりした休業日終日在宅。筆墨に時間を使った。今日のは目的のない筆墨だった。昨日九一からの電話で、本家と夫関係で月末に結婚する人への祝電要請があり、忘れぬ内と思って打電した。かなり寒さがあり、外に一寸歩み出て又室内に戻った。新聞には春の準備をしている木の芽いろいろの紹介がある。枯葉もちゃんと次の準備ができて落ちるのである。体調は平凡といってよい。足の力が衰えて手で補助する動作がふえている。「よっこらしよ」といいたくなる。

1月25日（月）晴

十時すぎから「ぐらふふくおか」用の対談。相手は樗木武教授、道について。ひるまえ、ベルギー総領事の表敬をうけた。貿易促進について。一三時四〇分から特別講話3Fに出る。四時から二月朝の挨拶録画。ごみのポイ捨て条例案次期県会に提案することをめぐっての説明が内容だった。帰りに病院に寄って注射、二～三人の者から元気がないといわれた。病院かよいでもらった薬を飲み間違ったせいだろうか、体調が軌道に乗っていないのだ。

1月26日（火）晴

例により九時から庁議、次に記者会見。十一時半からは東急ホテルで沿岸漁業役員達と懇親

と中食の会。四時半に久留米市長ら来訪あって花畑付近の市街地再開発着手につき礼をのべられた。三時から筑後川下流農業開発協議会（関係県議も）から事業費軽減について陳情があった。昭和五〇年代からの事業が前進してないのもネックの一つである。四時半に北海道横路知事が来訪、観光宣伝に来福したついでに来庁。午後のあき時間を渇水対策について知事保留している委員会についてのレクで埋められた。

1 月 27 日 (水) 晴

九時に出発し、七時前に帰宅するまで一日中県議会決算特別委員会知事保留質問への対応に時間をさいた。自民党中村忠和氏を筆頭に水不足問題についての追及があった。県は渇水対策本部を十二日に発足させたがどんな仕事をするか、日量 30 万トン不足することがわかっていながら対応策が立てられてない責任をどうとるのか。水利権の割譲を簡単に実現しえないではないか、その他水問題解決に努力が不足している点が追及された。中水の利用への姿勢もつつかれた。田川原田鹿三氏逝去の知らせが秘書室に届いた。てんやわんや。

1 月 28 日 (木) 晴

今日が一番寒いといわれている。外気が冷い。十時半から特別職報酬審議会委員に辞令交付をした。もう三年たつから引上げようとの声が出ている。このあと労働福祉功労者表彰、三時から日刊工業新聞社の要請でインタビューに[〃]県政一般について私が応対した。五時半に帰宅できたので色紙類の宿題にとりかかったが、安田伊三男が来訪し中挫した。三十一日の鹿三氏の葬儀に弔辞を読んでくれとの依頼である。原文を書かねばならぬし、日曜日が半分利用できなくなって大痛手になる。ふりかかった仕事、消化するしかない。

1 月 29 日 (金) 晴

日帰りで東京ゆき。パレスホテルで筑後地域の企業立地セミナー、一〇〇人ほどの案内に一三〇人ほど参加の盛況。福岡に関心のある企業が多いようだ。途中経団連にゆき花村仁八郎氏に県関連の組織にかかわってもらっている事への御礼をのべる。行きの機内で原田鹿三氏本葬での弔辞原稿を考案した。助信氏の母堂逝去などあって当方の日程に問題が生じ東京と秘書室の電話連絡でさかんに調整した。寒さが一段と加わり、死亡が重なるように感じた。多忙な土、日を迎える。風邪もはやっているようで用心の上にも用心といわれている。

1 月 30 日 (土) 晴時々曇

休務。やっとの思いで宿題の揮毫に手をつけることができた。色紙約七〇枚。外国からの研修生をふくめ退職など異動、春をひかえての結婚の事例が多く、色紙ですませようとするから私に荷がかかってくる。一日かかっても条幅類は残ってしまった。あとまわしとする外はない。外気はたいへん冷い。屋内でガスストーブで寒さをしのいでいる。健康によくないか

も知れないが仕方がない。色紙を書きあげただけでもましな一日だ。一番はじめに明日の鹿三氏葬儀の弔辞を書いたが二時間以上の時間がかかった。

1月31日（日）曇時々晴

寒冷つづく。十一時半迎いの車で後藤寺へ。原田鹿三氏告別式、会場は自宅近くの畑に天幕を張って立派に作ってあった。私は縁戚代表と知事と合わせたような立場で参加した。午後一時から式で二時半出棺見送りまで。安田伊三男氏の顔が立ったと思う。原田氏は三井田川で初期労働運動、そのあと市会議員、県会議員と情熱こめた生涯を送った人、滝井市長も告別式に出席してくれていた。四時近く帰宅したが何もしたくなく、色紙の整理や筆墨で勝手な時間とした。

2月予記

昨年の前田氏、今年は関和虎氏、県議の死亡もショックだ。寒いので風邪が大変流行しているらしい。風邪がもとで死とつながる病気になる人も少くない。一月の検診入院につづいて胃カメラをとの指示で検診をしなおしたが、胃の異状はなかったようで一安心。吉村氏が来て松の手入れをしてくれた。昨年しなかったので、今度はさすがしくなった。彼は自分の好みで松の手入れができるようになったといっている。息子が勉強せんで就職もせんで、ぶらぶらしていると歎いていた。いずれわが道を見いだすだろうとなぐさめておいた。

2月1日（月）晴

九時退職者辞令交付のあと、二月定例議会提案の年度予算案のうち、総務部長内示分について財政課からのヒヤリングがあった。延々とつづいた。あとは保留分。何だか今回は私にとって説明は判りにくかった。あとで又きこうとの気持もあつて聞き捨てることにした。午後はレクやら決裁やら。早目に仕事は終って病院へ。注射を週一回つづけるという。点滴も薬の内容をかえてつづけるという。専門家の説明があつても私にはよくわからない。肝臓の治療より糖尿の方がこれから大切になるとのことであった。注射はひどく脱力感を与える。夜は揮毫にあてる。

2月2日（火）晴

庁議・記者会見。篠栗線電化複線化の会社設立を決定。十二時半からアメリカ領事館で主席領事夫妻の招宴があつた。返礼をせねばとの考えがおこった。帰り全日空ホテルで不動産協会の四〇周年記念祝賀会があり祝辞をのべた。あとレクがつづいた。決裁も。午後六時から牡丹閣で永田氏と民生部の二人の次長とで久しぶりにわいわいの時間をすごした。レクは議会を前に議案やら陳情やらがつめかけているので、その説明である。北九州市は五項目ほど県予算支出をあてに市の近代化を目ざした要求をつきつけている。何年もかかるが大変。

2月3日(水)晴

十時半から県女性史編纂委員との懇談会があった。武野さんら八人の執筆者から女性史研究の仕事をつづけたいので予算措置をとる要望があった。女性センターの建設までつなぎをという意味である。十二時前全労連、県労連の役員の来訪あり。一時半から末吉北九市長の陳情(四件)をうけた。三時から福岡筑豊都市鉄道開発株式会社の創立総会、つづいて記念パーティがあり、知事が社長ということで、関係市町から困難だが重い仕事を引きうけることになった。篠栗線の電化複線化が柱になっている第三セクターだ。山ノ上ホテルに行って夕食を済ませ、七時から二月議会予算案をめぐる与党懇。帰宅は九時半だった。

2月4日(木)晴

朝九時から夕方5時まで知事査定ヒヤリングにあてた。時間どおり午後四時半には済んだ。総額一兆三千三百億円、金額にしてはどれほど大きいか想像もつかない。横須賀の野村久基氏(美可君の父)がカゼをこじらせて死亡したとの知らせ。年をきくと八十八才というから、まずまずの年である。早目に帰宅して一寸筆をもったが意欲が退いている。自分も年をとったのかなと思う。何だかあれこれダセイでやっているようにも見たところ受けとられそう。今日のように一日中同じ部屋で同じ姿勢でひとの言葉をきくばかりだと姿勢まで固くなってしまふ。横須賀の葬式にどう対応するか気になる。

2月5日(金)晴

昨日のつづきだが、当初算査定に関連して北九州の空港につき漁業補償を一〇〇億ほど見積り県負担分を計上する件につき、ああでもないこうでもないということで九時半から思案に終始した。漁業組合がいたづらにねばっているように思える。当初予算に入れざるをえない。にも不拘現在最終段階で折合がなかなかつかない。当方去就に困惑である。五時半から恒例の西日本新聞社の新年祝賀会。一時いて次の会すなわち睦会に出席、山ノ上ホテルで六時半から。奥田県政秘書室勤務の会である。おそくまで楽しんだ。

2月6日(土)晴

明日の野村久基さんの本葬のため、みゆきが横須賀に行ってくれることになり、車で空港まで共にし、私は県議助信氏の母堂の本葬出席のため水巻町中央公民館に行った。十二時から一時頃まで列席し帰途宗像市近くで食堂に入って中食。嶋津氏との約束があって三時に問研で落合った。彼の話では賛助会員の募集を始めるので、知事周辺の人達によろしく頼んでくれとのことであった。「月報」の廃刊をいい出すのかとの私の予測は、まだがんばってみるとの逆のことであった。四時前に帰宅し、筆を執って色紙を書いて時間を費した。二〇度という異状な暖かさであった。独りでその辺のものを食べる夕餉になった。

2月7日（日）晴

曇り勝ちだがなかなか降らない。たまの日曜を宿題の揮毫にあてた。西の枝垂れ紅梅、南面の紅白梅今が盛りといえる。東側の梅林も白、まっさかり。安田伊三男氏が連絡してきて三谷一二三氏というコンサルタントを連れてきた。JRや九電のような公共企業と県など公共団体の行う大きな開発事業に投資を世話するという話、内実があるわけではない。花屋からシンビジューム鉢物が届けられた。博多会からという。幸の誕生祝と書き添えてあった。誰が世話しているのか知らないが、よく気がつくものだ。八時すぎ幸は帰宅した。父の葬儀が立派で啓二も直美も来てくれてよかったとの電話があった。

2月8日（月）晴

九時半から三役レベルで新北空港予算計上に不定要員あることを論議。結果は掲げることとし、十時すぎから約一時間で各部局に知事査定結果を申渡した。午後は甘倉青年会議所、商工会議所青年部らの平塚川添遺跡について徹底調査及び保存を住民に理解できるように決着づけてくれるよう、そのためには早く現地視察に来てくれるようとの陳情があった。午後の余の時間はレクつづき。重要行事がつづくからである。明日の記者会見もある。決裁のち警察本部長ら部長クラスを招待して六本松の「しばこ」で懇親会を行った。当方は三役、警察と意思を通じ合うようにしておくのはいいことだ。予算査定は終わったし、今年は四月の皇太子警備もあるし彼等には緊張がつづく。

2月9日（火）

九時から恒例の庁議、記者会見、つづいて公共事業施行対策連絡会議と女性行政推進会議。十時から合併処理浄化槽増設の陳情（久留米、八女などから）。十一時半に県企業立地推進委員の方たちが来室され中食を共にしての後、筑後視察に出でいただいた。花村仁八郎、斎藤武幸、江崎、阿部、もう一人の五人。八女、広川、久留米が視察先。私の方は中食懇談会のあと、甘木の平塚川添遺跡、工業技術センター、林業センターの両建設中の現場視察に出かけた。甘木の視察は寒風のなかきびしかったし、報道陣にとりかこまれて大変だった。二つの建設現場は寒かったが希望ある大施設ができる。午後五時すぎ帰福。六時から企業立地推進委員諸氏とニューオータニで夕食懇親会になった。

2月10日（水）曇

北九州市政30周年記念式典が厚生年金会館で行われ、十時からのに出席した。あと講演にうつったので来賓たるわれわれは引揚げた。十二時頃に福岡に帰れたので龍ホテルに東定君を呼んで中食し、問研の運営委員会の足しにと二〇万円を手渡しておいた。二時帰庁し、「対話のつどい」県盲人協会の人々を相手に一六人、総合福祉センターについて盲人用施設配慮をするよう注文があった。重複障害の人が困るケースが多いようだ。あと四時半から九

響ニュース関係で兼川さんとインタビュー、レクと決裁。六時に病院に行き注射をしてもらって帰宅した。やはり注射のあとは力が抜けたようでもあり、寒さも強かったので入浴後何もしないで入床。

2月11日(木)曇

休日。十時から黄檗の美術展が県立美術館でオープン式を行うというので出席した。黄檗禅の美術と題して長崎、佐賀の両県美術館と三者の共同事業としたところに今回の特徴がある。見てくれる人がどのくらいあるか見当はつかないが、私が見せてもらい、学芸員から説明をきいた限り、立派な又とない試みである。隠元禅師生誕四〇〇年記念ということになっている。仏教美術として一きわ特徴をもっているのではないだろうか。本山萬福寺の宗務総長内藤文雄氏その他出品協力者がみえていた。達磨大師の姿がよくあらわされていることにも気がついた。

2月12日(金)晴

雲一つなく晴れわたり暖かい一日。休務で三日つづく。揮毫の宿題がたくさんあったので、どこまで果たせるだろうかと思ひながら筆を執った。色紙三〇余枚、半截もの条幅七枚、その1/2のもの一枚を書くことができた。明日押印することができる。洋蘭の鉢物が多いがこれらを陽の当る限り当ててやった。蕾をもったのも何鉢かあって、よい思いをさせてやったかの如くであった。昨日は伊三男氏ら原田家一統が葬儀のお礼ということで来たのだが、彼が融資の口を探すため県に話をもちかけようとしている。

2月13日(土)晴

快晴がつづく、休務もつづく。旅行に出たら、という意見もありうるが動くのが面倒、じっとしていた方が気分として楽である。朝から昨日の作品に押印した。午前中かかった。午後しばらくして、河野・上田の両氏を呼んでマージャンをすることになった。二つ返事でどちらも来た。思うに時間をもて余していたのかも知れない。スシを取って夕食とし、夜更けまで遊んだが疲れを感じた。旅行するよりも、このように時間をつぶす方が私に今は向いている。後悔はない。

2月14日(日)晴

連休の三日目。吉村氏から電話で今日、西の庭の松の手入れに行くという。これで私の三日目のすることも決まった。一本の松の手入れは彼にまかせるにしても庭木は荒れ放題にしてあったので、私達二人も庭に出てあれこれ庭木の手入れをし、最後に水撒きもした。六時すぎまで。どんどん働いたら疲れてしまった。おかげで荒れた庭もきれいに散髪したように形がととのった。中食も彼に提供したが、途中の休憩茶菓は西陽をうけながら縁側で庭をな

がめつつ、まるで遠足に行ったように感じながらの楽しみが味わい得た。よい一日だった。

2月15日（月）曇

気温がかなり上った。八時四〇分出発。十時半から大牟田文化会館で九州新幹線福岡県建設推進総決起大会が行われた。熊本県の沢田参議、鹿児島県の小里衆議ら、県の衆参、県議らも重責にある人達も多かった。一般席には荒尾からも多いようで、一〇〇〇人近い人の集会となった。十二時すぎ終わり、帰庁してから決裁をたくさん済ませ（議案関係がほとんど）あと、三役会。県の文化財保存審議会専門部会の意見集約があつて平塚川添遺跡保存の意見集約があつたばかりなので、県はこのあと、この問題にどう対応するか（保存と開発とのバランス）について話し合った。

2月16日（火）曇後雨

午後になって慈雨。水源地はどううるおっただろうか。あと数日で県南は水の持ち分をなくする所まできていた。中食をはさみ社会党県政懇。午後はレクのつづき、そして決裁。病院に行って注射と点滴。夜は信用保証協会役員と県三役の懇親会かわさき、この不景気の中でよく頑張っているらしい。福岡の状況は全国水準より良好らしいが中小企業は協会を大いにたよりにしている。夕食がすんで近藤会長などとマージャンで十一時まで。雨が降りつづき有難い天気だ。二月議会の用意が大変な時期になってきた。

2月17日（水）曇

めぐみの雨が朝までつづき、「水飢饉」はのがれることになった。明日の記者会見に備えてのレクが二度。県政懇が県民ク、農政連、公明と、三回あつた。十時四〇分に春の甲子園出場の東筑紫学園高校の知事訪問をうけた。みんなすごい体格だ。五時半から魚新で公明党県議団との懇親会を開き、八時前に帰宅できた。ともかく水枯れがストップしただけでも朗報だった。二月一ぱいもてまいといわれた県南では大いなるよろこびだ。いよいよ明日から二月県議会の緊張期にはいる。いくらでも問題があるから大変だ。体力がもてるか否か大きな心配、自愛以外に答はない。ひる休み時間に県職労定期大会に出席して挨拶。労働時間短縮にふれた挨拶。

2月18日（木）曇後晴

大変な一日と思ったのに、過ぎてみるとまざまざ。二日のびでの庁議、記者会見、そして代表者会議。二時から県政懇二つ（共産、自民）そして自民の場と同じホテル日航で自民の残った可能な人と夕食懇談会。六時半には帰宅できた。看板書きの宿題を明日果たそうということで下書きに夜の時間をあてた。大変な一日というのは記者会見。二月議会提案の当初予算の説明のほかに予想される質問、平塚川添遺跡保存、和白干潟とアイランドシティ、それ

にゴルフ場許可の制限。いずれも追及と思われる事実なく記者会見は終わった。

2 月 19 日 (金) 晴

中小企業問題全国研究集会が電気ホールで九時半から (第 23 回、一四五〇人)。この集団は以前から馴れた人が多い。登庁後は叙位叙勲の式レクその他あり。一二時半頃一たん帰宅、宿題になっていた中小企業センターの看板書きをすませた。三時半に又出発しニューオータニでの全日本ロータス同友会 19 回総会に出て挨拶。終って久山町山田に関和虎氏の死去で通夜に行く。元気な彼が六五才で亡くなったのはショック、県議現役なのである。副議長をした人、農政連。無理な日常があったのかも知れない。夜は二月議会の提案理由 (原案) 読み (校正) で時間をとられてしまった。春らしい暖い一日。

2 月 20 日 (土) 晴

一寸肌寒い時もあるが、ひる間は陽気そのもの。休務ながらどこにも出ることなく、一日中部屋にこもって墨筆に携わる。色紙も少しあったが、宿題を済ませたあとは俳句と漢句をどんどん書いていった。別に何のこともないが、ただそれだけ。費用がかからぬ時間の使い方であり、それで満足するわけだ。身の整理に暇がないのも事実だが、よく考えてみると、その気が湧かなくなっている。あとに大変な迷惑を残す状況である。考えるだけでもゾッとする。

2 月 21 日 (日) 晴

中小企業センター準備室の看板かきに手間どったが、やっとできた。板に書くという仕事は書き直しができないので嫌だ。自由時間が多かったので、俳句や漢句をどんどん書いた。午後になって是松氏に電話したら内田氏に連絡がついたということで夕食をはさんで延々マージャンを楽しんだ。彼の帰りに中国の方から土産にいただいた書の表装をしてもらうお願いをした。全部で六枚あったが、大型のものもあって大変な仕事量だろう。軸にしてどこかに寄贈するしかないほどに大きい。費用もかかろう。

2 月 22 日 (月) 曇

ひる間は汗ばむが、朝夕は寒い。十時に済生会病院に着いて胃透視 (胃カメラ) をしてもらい、あと注射と点滴をしてもらった。胃カメラは嫌と思っていたのに、以前の経験とくらべ比較的楽な機器になっている。検診の結果はとくに指摘するべきことはないようで安心した。あと登庁して、「知事説明」原案の再点検、中食、そしてつづいてレクが三件、その後決裁。五時前には帰宅できた。あれこれの仕事があるので書斎で電気ストーブをつけて一部身辺整理をしてすごした。

【欄外記入】内視鏡

2月23日（火）曇時々晴、風

九時から庁議、記者会見と通例の日程が進められた。十一時半に参議院の国民生活に関する調査会の視察団が来県。高齢化問題を中心に県の各部長の説明、県社協などの問題提起、特養など施設視察もあった。私は挨拶ののち別用に入り、一時から「二月補正予算」の説明を受け、二時半から三役会に臨んだ。春日市に建設予定のセンター（福祉、女性、人権）について様々なネックがあるので論議を呼んだ。林団長ら県三役には六月議会に向け、女性副知事実現へ努力するから了解してくれるよう提起した。夜はホテル日航で参院調査会の人達と夕食会。

2月24日（水）曇時々晴

十時五〇分から朝の放送収録。十二時半宮内庁から下調査来県あいさつ。一時土地用審辞令交付、あと特別職報酬審の答申があった。三年ぶりの引上げ答申である。今議会に条令改正を提案する。引きつづき桜井医師会長と面談、健康論議を始めたいという。ぐっと寒く雪もちらつくが平地では見込みなし。早めに帰宅できたが、三件のお礼状を書いて精一ぱいの一日となった。東京の田麿毅から生母みさをさんの五〇年忌法事を刀出で三月二十一日に行うとの連絡があって又一个事がふえることになった。出席するしかないからである。福岡市と県南の水不足はなかなか展望が開けず、県に大きな重荷として残りつついている。

2月25日（木）晴

八時半から岩田屋横で湯水対応 PR 行動をした。十一時すぎから二月議会本会議知事提案理由説明は六八ページもの、五五分かかったという。四時半にテラーカナダ大使離日の挨拶に来県。在福領事も同行だった。他の時間はあれこれ予程行事に関するレクがあったが、平塚川添遺跡保存問題についての説明は興味深いものであった。弥生後期卑弥呼のことも重なって念頭に浮んでくる。保存には県市が三〇億円は負担せねばなるまいとのこと。工業団地造成推進派をどう説得するか課題も残っている。今議会でも問題となるであろう。寒い日がつづき、六時半帰宅。和代と法事のこと電話連絡。

2月26日（金）曇

第三回産労懇が十時からグランドホテルで開かれた。今回は女性労働がテーマだった。中食を共にして散会。二時すぎ松浦氏が八年間の女子大学長をひくことで来室、辞令と記念品渡しをした。四時すぎ福岡空港将来構想検討委員会からの委員会発足についての事務報告があった。私見をたくさん述べておいた。未解決の問題があまりにも多い。二十一世紀初頭にはパンクするという見込み自体、まだ変動要因が多い。現空港についても全くふれないで一年以内に結論を出す委員会である。政府側もこの委員会発足を十分納得してない模様。六時半帰宅。寒さがつついている。

2月27日(土)曇後雨

午後から小雨になった。これまた慈雨、力強く降ってほしいが春雨というものか。例によって休務には揮毫の宿題が出るので朝から取組んだ。色紙二五枚に加え超大の扁額。これには時間、手間がかかる。是松氏が連絡してくれて森山も来宅、午後はマージャンになり、揮毫の仕上げは明日にもちこさざるをえなくなった。「努力」の二文字を半截で横書きというと特に太い筆が必要。この筆が割れぐせのついたものになっていたため、仕上げに到らなかったといってよい。高価なものだから捨てたくなく、使い方を工夫した。

2月28日(日)晴

ひる間は暖房なしの在宅ができた。午前中、昨日の揮毫の押印など、仕上げにあて、午後は久しぶりに書斎に入って「身辺整理」をした。でも何かができたとはいえず思えない。無限だし、困難なことばかり。写真の整理が例となる。捨てるのもいいと思いつつ捨てるにたがうということが、「身辺」の全てにあてはまる。誰しもそれに近いらしく、残された家族が不平をいうのをきくことが多い。だが、そのようにして時代は過ぎていくのであろう。休みは二日つづいたので、ゆったりした気持。植木鉢の花も扱った。

3月予記

県議会で半分はとられる。他面議会有ればこそ他の行事に関与しなくても済む面もある。しかし議会のあい間を縫って出番を求めてくるスケジュールもある。福岡及び県南の水不足、和自人工島の環境問題、甘木の平塚川添遺跡保存と資金問題はいかにも解決がむずかしい。田川の社保短の最後の卒業式がある。県立大学がよい印象を残して田川の浮揚の引上げ役を今後果たしてくれることを祈る。三月三日の福岡地下鉄の空港への乗入れ開通は交通問題に大きくプラスしそうだ。空港の膨張が止んでくれればよいと思う。

3月1日(月)晴

一たん登庁。レクのあと十一時二〇分から収用委員、女子大学長辞令交付。十二時から天神で緑の羽根募金。アザレアの花をさし上げる代わりに募金三〇余分、寒い。午後連合福岡から要請の会とくに最賃全国Cランクの二二位が問題である。二時四五分からサンヒルズで児童健全育成総会、センター基本構想策定検討委員会(第一回)。三時半から福岡空港将来構想検討委員会専門調査委の発足式。同ビルでデザイナー松永真氏と「知事と語る」収録。つづいて発会式、パーティ、さらに花村氏を呼んで同ビル地階で執行部(県市)との夕食会。ハードな一日。

3月2日(火)晴

全く雲なく晴。それでも風があつてすごく寒い。福岡地下鉄博多空港間の開通式。東比恵ま

で試乗。帰庁して北九州市正副議長の表敬、就任挨拶をうけた。二時に障害者網の目キャラバン実行委員の表敬があった。市町村の後盾となって県も障害者対策に一そう力を入れてくれということである。決裁のあと散髪に行き、そのあと済生会病院へ。注射と点滴。体調はあまりよくないと思うこの頃である。帰宅して後、色紙書き損じを含め処理すべきものがあって筆を執る。宮崎川南の藤野氏にホテル電話連絡。

3月3日（水）薄曇

桃の節句、その気配はどこにも感じられない。今日から福岡地下鉄の博多空港間が開通する。朝八時半に出発、九時から代表質問勉強会。テレビ放映のため三日間の代表質問は午後一時十分から。今日は自民の早麻、社会の長谷川。早麻は品の悪い態度をむき出しにした。テレビ放映を意識したのかも知れない。六時から防衛議連の自衛隊幹部を招いての名刺交換会がレストランキングで行われた。議会そのものは四時四〇分閉会になったが、前後一時間余の答弁に立つのは疲れさせられる。七時すぎ帰宅。刀出の勉さんから旬のものソーメンバチを送ってきた。

3月4日（木）晴

代表質問の二日目、テレビ実況放送がある。九時から答弁資料の勉強会。一時十分から本会議。昨日同様四時半に終了。農政連の西原、県民クラブの高岡の二人。議会のあと、商工部長ら企業立地の者を相手に三役会議。甘木市の平塚川添遺跡を保存するとした場合、具体的にどう対応するか五案をめぐって説明をきき、三役側の意見をのべた。国指定を取りつけるか否かで用地の買戻しなど県市の負担具合が違ってくる。市側にも消極論——工業団地に戻す——がかなりある。市は県への依存を願っているようだ。十億円は覚悟せねばという。

3月5日（金）晴

二月補正提案理由説明と代表質問公明一人で今日の主な行事は終わった。テレビも今日で最後。質問の分量が多く早口になり聞き取りにくくもあって弱った。議会では議員が思ったように振舞うのは品位が低いのではないだろうか。福岡県だけのことなら是正したらいいと思う。お互い人間だからこういう場では誠意をもって対面するのがよいと思う。気取った態度は好ましくない。

3月6日（土）曇後雨

休みがつづくが特別の日程は用意してない。例によって筆を執り宿題になっている部分を消化。あとは紙片を利用して俳句や漢句を思いのままに書いてみる。こんなのがかなりたまってこれ又整理をせねばという気持ちになっている。一度より二度の方がよく書けるから、もう一度書けばいいのに、次々に前にいってしまい、たまるばかりとなる。外に出てみようか

と思うが、梅の終り頃、特別魅せられるものがなさそう。洋らんが縁に居座っている。

3月7日(日)曇

雨は昨夜、今日も時に、ところによって降った。僅かではしかないが。まとまった時間を考えることのできない休日。一時から久山の体育館で行われた関和虎氏の告別式に出席。弔辞、特別焼香、浄土宗のお経、千人ほどの参列者だったろう。余の時間は小筆をもったり一寸した身辺整理をしたりで何となしに一日が終った。夜になると空気が冷たくなる。出席を要する葬式が多い。よく考えるのだが自分は葬式をしてほしくない、ひそかに世を去ることができないものかと。

3月8日(月)晴

知事室から見る東公園は晴れのもとほんとうに春だ。八時半から答弁の勉強会をし、十一時すぎから本会議一般質問の初日。五人が質問、スムーズに運び早く終った。帰途済生会病院に寄り、注射、点滴。今日は皮膚科の先生からもみてもらい、新たに薬をいただいた。帰宅は五時頃。表の庭には八重樫が咲きはじめている。夕食後、毅の母の五〇年忌のことで九一に電話した。刀出にお邪魔することになるから。ヨモギ餅を搗く用意をして待っているとのことであった。兄弟三人がいつまで生きて会えるか、もうわからんといっておいた。

3月9日(火)晴

昨日と同じ、八時に出発、半から答弁勉強会。十一時一〇分から一般質問五人。三時半に議会日程終了。今日はあとレクと決裁で帰宅できたのは六時。質問の中で、農業の危機、中小商業の融資、高齢化対策、介護休業問題などがポピュラーながら関心が大きいことが示された。又教育では高校中退、不登校、入試競争の弊害がかなり大きくあらわれていることが指摘されていた。日本社会今日の負の面がうつし出されているように思えた。

3月10日(水)晴

昨日と同じ、今日も一般質問五人。ひるやすみの時間に松岡県議が息子を伴って来訪。要望は水巻町でやっている特別養護老人ホームの入所余地の拡大を考えている件でショートステイやデイサービス施設を兼備するとのことであった。福岡県として満配の特養につき、どう対応するのか私には今よくわからない。四時前に議会が終り、天神福銀本店の地下ホールで開かれた裁判劇ジオ・カタストロフィ福岡公演の終幕挨拶を行い、五時半少し前に帰宅できた。問研月報への寄稿が気になっている。適当なテーマを思いつかねばならぬ。

3月11日(木)曇

昨日より半時間おくれの勉強会。一般質問の最終日、森田氏ほか三人。甘木の平塚遺跡が当

然問題になった。特別職の報酬の額について条例を今日新たに提案した。あとは議会日程請願付託など。三時半に閉会となった。これ以降は常任委員会活動がしばらく続く。帰途、六時すぎからニューオータニで開かれた全国経済同友会に出席しパーティー席上挨拶した。一区切りついた安堵感もあってか、近頃の傾向として余の時間を読書にあてず小筆を持って手なぐさみを九時半すぎまで、入浴就寝となるパターン。

3月12日（金）春雨、曇時に晴

県議会は常任委員会入りで、初日比較的に早く終わったようだ。午後は決裁のほか朝鮮総連から補助金引き上げの要請団が白石県議同伴で来室した。先日の代表質問では高体連加盟への努力を約束したので、その点は感謝してくれた。ホワイトデーは日曜にあたるため、今日川上氏が奔走して三件につきお返し対象を処理してくれた。六時過ぎ約束のハッター会のメンバーが来宅して十時すぎまで飲み語り楽しんだ。ごちそうはみゆきが準備して待っていてくれた。高木、葉玉、原口、川上、山口、橋木、斉藤。

3月13日（土）晴

連休である。朝から宿題の揮毫をしたが、午後は是松氏が松尾さんを連れて来た。南京で書家である莊希祖氏の書をいただいていたのを彼に頼んであったのだが出来上ってもってきてくれた。壁に吊る形の扁額に仕上がっていた。書家は来福のときにもってきて来たように思う。まだほかに表装を頼んでいるがゆっくりでいいといっている。ひまができたらという意味で彼の負担にならないように私も気を使っている。それにたくさんあっても、うちには飾る余地もない。マージャンをして十時頃まで楽しんだ。

3月14日（日）晴

十一時に迎えが来て香椎花園に行った。連合福岡が主催して「ほのぼの家族」の集会をしていて、それに一幕挨拶のチャンスが与えられた。春闘の山場は三月二十四日、自動車の労使が押し出されているという。不況がつづき、ゼロ回答のうわさすら出はじめているこの頃の空気。解雇さわぎもあちこちにある。消費の落ち込みも問題にされている。不況もやっと峠に来たという声もある。香椎花園に行ったのは三〇年ぶりだろうか。遊園地となり観覧車のあれこれが回り、うららかな休日だった。

3月15日（月）雨

ゆうべから雨音が枕許にさかんにきこえ、県庁に行くにも帰るにも傘の中に入れてもらった。水問題は若干好転するだろう。県議会では二月補正関係の早期議決の必要があり、飯塚土木の不祥事謝意表明が必要となり、若干あたふた動きに包まれた一日だった。五時頃済生会病院で例の注射と点滴。六時から博多弥生で社会保険庁長官（末次氏）を迎えての夕食会。

若宮の健康スポーツセンターの完成式に来てもらったの知事招宴だった。グリーンヒル若宮という。家長民生部長ら全員十人であった。注射のせい気力なし。

3月16日(火)曇

九時に出発し、十時一五分からの国民年金健康センター「グリーンヒル若宮」の開所式に行った。昨日の社会保険庁長官に会った。われわれが主賓。式が終って中食し、帰庁した。三時 TVQ の報道部長新任挨拶。三時半からボーイスカウト県連の富士章の人達一二人の表敬、教養部の時代知合いの石川氏が役員として同行していたのには驚いた。私は名誉連盟長の肩書き。高校の者一二人は大きい体格。決裁がかなりつづき六時に帰宅。約束していた済生会の永田常務、高原が来宅し、夜なかまでマージャンを楽しんだ。

3月17日(水)曇時々晴

十時半からの田川の社会保育短大の卒業式に出席、祝辞を送った。二五回卒業式で、県立大学に引継いで短大としてはこれが最後になる。百人余の学生で中に男子が七人ほどいた。後継の県立大学の発展に期待が寄せられる。帰庁し、三時からグラフふくおかの取材として TNC と FBS の馬場、木村の両アナウンサーとの鼎談を行った。五時四五分から平塚川添遺跡保存のことで三役会を開いた。甘木市の出方を待つという立場であるが、この数日のうちに市と県の出方を対外的に明らかにせねばならぬ時点にきている。議会でも論点となっている。十一ヘクタール保存の方向である。

3月18日(木)晴

十時に AFS 学生の表敬十数名の表敬があつて玄関に出て写真撮影もした。二時五〇分自衛隊員役員の挨拶。今日は予算常任委員会の成り行きに関心を払いながら休憩待合の時間が長かった。午後六時嵯峨野で明治屋産業の谷尾会長就任祝賀会を秘書系で行った。室長、副室長、樺島部長、林副知事も参加し、びっくり市や肉の話でにぎわった。明治屋産業は本店を福岡に移し、西新の岩田屋以外にも福岡近郊で新規開店を考えているようにみえた。市南部がよかろうに思う。

3月19日(金)晴

九時半に中島甘木市長が来県、注目の平塚・川添遺跡部分保存について正式合意し、この旨記者団会見を行った。工業団地の計画変更はやむなしということだし史跡整備には費用がいるが、県は市と協議しつつ、必要経費の支援を行うことを約束した。県議会の動きは予算特別委員会がなかなか進まず、午後九時十五分から知事保留に入り、十時半に閉幕に至った。保留質問項目がたくさんあり、時間をかけてではあるが、自民の三人、公明の一人にしぼり込んで一時間余ですます運びとなった。お礼巡りをして帰宅は十一時すぎになった。大

きな荷物が一応一つ降ろされ連休に入るわけだ。

3月20日（土）晴

春分。連休だが、自分の時間はない。十一時に中国総領事館に行き王震さん（中日友好協会副会長）の死に対し弔問。一時小郡文化会館でのライオンズクラブ二〇周年大会に出て祝辞。三時二〇分博多発新幹線（岡山のりかえ）で姫路へ。出迎えのすれ違いで刀出に着くのが一時間半おくれた。弟妹はもちろんその子の家族も約一五人集まり、にぎやかな夕食会となった。よもぎ餅も食べさせてもらった。若い人、子供達に面接ができ、活気に満ちてよかった。明日は東京にいる毅の母「みさを」さんの五十回忌をするので、毅一家も全員来た。晴久のうちは、ごった返しになり迷惑だろう。一時まで騒ぎが続いた。

3月21日（日）晴

十時から法要。読経がすんだあと、墓参りをした。菅生川の堤防など土木工事が進んで、幼き頃経験した川、道、などすっかり変わってしまっていた。毅の長男は大学を卒業し就職をひかえている。晴久の子二人もすいすい伸び親より背高くなっている。時代、世代の激変に驚くばかりである。二時五九分の新幹線（岡山のりかえ）で帰福。小倉で下車、黒崎のプリンスホテルで高校テニス大会関係で来られた秋篠宮両殿下を迎えての記念レセプションに出席。小倉から公用車がついてくれていて、八時半に帰宅できた。同行のみゆきは相生佐方へ。

3月22日（月）晴

日中はうららかな春色一ぱい。十二時秋篠宮の長崎ゆきを博多駅で見送り、帰庁後は委員会の成行きに应ずるため待機。その間一つ四月の「知事朝の放送」の録画を行う。三時すぎから総務常任委が開かれたが吐切れがち、午後八時半すぎてやっと終わった。高齢者福祉基金を身障者にも拡大する条例が朝令暮改に等しいという点が見つかった。結局は富永副知事の国の方針に添う旨の説明を了として総務委員会も終点となったようだ。帰宅し、入浴、就寝。

3月23日（火）晴後小雨

今日は休務になったので、久しぶりに来翰新聞の山を崩して整理してみた。でも嵩はもと通りで依然机辺はごたごただ。余の時間は筆を執って手なぐさみにあてたが、五時半から六時半まで公用車を使ってだが、福岡斎場に井手悌氏の通夜に行った。教養部化学部門担当者で円満な人格。少々太り気味で夜半に異状を訴え、救急病院に移るときダメになったという。心筋梗塞みたいで、家族の方も死因はよくつかめてないようだ。六十二歳だった。

3月24日（水）曇 時々晴

一時に出発し、レク（今後予定の行事関係）が三件、あと三役会。ここでは新年度の人事異動の原案について審議した。課長級以上が対象。マスコミが早く記事になることを望んでいる。五時から検診、点滴注射なしという形。依然糖尿が問題。肝臓対策はしばらく中止してよいとのこと。今日は四月末ほどに気温が上昇、吹く風はなま暖かで異常を感じた。みんな新年度に向けた雰囲気になっている。人事が関心のまとのようだ。

3 月 25 日（木）晴後曇

十一時から代表者会議（人事提案）つづいて本会議。すべての案件が可決され「二月議会」は終わった。調査特別委員会の報告は青少年、空港、高令化の三部門。県が当面する重要課題である事が示された。お礼まいりと部長会。三時から三役会、合所ダム完成検査の問題。決裁案件がたくさんあってこれを消化。五時半から秘書室の皆さん慰労会。今議会の焦点は水源確保問題で印象的であり早速国に対し働きかけることになる。七時頃帰宅したが、何かしよとの意欲もなくなっていた。

3 月 26 日（金）曇

前原料金所路上で、新たにできた西九州自動車道の開通式が一時半から三時すぎまで行われた。最後は周船寺までパレード。四時半済生会感謝状贈呈式（知事室）・・・大牟田病院長は定年のあと引きつづき非常勤でつづけてもらう。決裁がたくさんあった。午後六時からサンヒルズで県女性史発刊記念祝賀会が行われた。武野要子さんが主役である。三年かかったが五〇〇ページをこえる大きなものが完了した。ただこれはまだ一步をふみ出したばかりであとどのように後継事業を残すかが宿題。七時半帰宅。

3 月 27 日（土）曇

春らしくなった。庭の花もそれぞれに咲いている。ちょっぴり寒いですが特別に手当ては不要。休務なので朝から墨をすって宿題の揮毫に取り組む。色紙二〇枚のほかドンタク松ばやし傘鉾三枚があった。夕方までに全部終えた。他から要求される仕事がないと退屈を感じず。こんな時間を利用して昨日の県女性史に目をとおすことにした。はじめのページから徳川時代の封建制の社会規範の中におかれた女性のことが、今の目からポンポン批判的に書いてある。厳しい身分制だがなぜそうなったかを考えてみたい。

3 月 28 日（日）曇 小雨

特別に目標を持たない休日。外に出る気もせず机のまわりをごそごそし、筆や紙を相手に時の経過にまかせた。外はレンギョウその他花が咲いている。洋蘭もそれぞれに花をつけている。が何か手をつけねばならぬことはない。雑草もこれから生い茂る準備をしているかに見える。久しぶりに午睡を一時間ほど。南下のマンションがあればそこから街の騒音が伝わっ

てくる。静まればシーンと春の働きを包んだ世界になる。小雨が近頃多く適当におしめりになって自然亦好である。

3月29日（月）曇後晴

年度末のあわたたしさ。課長級以上の人事内示があった。十時から県防災会議、十二時から吉塚合同庁舎落成式と祝賀会、一時半から総合計画審議会、三時半に韓国総領事崔氏の離任あいさつ、四時五〇分にダイエー中内会長の表敬をうけ、五時半明日の記者会見レクと続いた。六時に牧坂五郎氏の面会雑談五〇分、帰宅は七時半すぎている。ダイエーはドームのオープンで儀式がつづくらしい。球場にみんなの目が向いている。北九州空港をめぐる漁業補償の話が大詰めにきている。牧坂氏は帰りに中洲に寄って飲むという。

3月30日（火）晴

九時から庁議、記者会見。十時五〇分福岡銘酒会の役員の表敬があり、冷蔵の「須々許里」を売り出すとのこと。午後一時ツルタバレエ団中国中央バレエ団の「鴻臚館」共演（日中国交回復二十年記念）についての表敬があった。あと、サンヒルズで科学技術振興財団理事会（理事長知事司会）があり今年度事業報告、来年度方針と予算を審議決定した。五時半サンパレスで文化懇話会の懇親会があり、それにつづいて福寿飯店での財政課中心の予算関係職員の慰労会にも出席、八時半頃帰宅した。年度がわりで人事異動の話でもちきり。次の随行秘書は小串氏ときまった。川上氏は広報へ。

3月31日（水）曇

九時から退職辞令交付二件、ついで講堂で各部関係計三〇〇余人の退職辞令交付を行った。十時半から福岡ドームの竣工式披露パーティに出席した。すごく大きく立派豪華なダイエータウンだ。二時半から上有木村づくり中学生達八人が来室。三時から対話事業「レディース・トーク福岡」の報告会。それから決裁、始球式の練習、そして中洲てら岡で部長の送別会。田口、南、家永、^マの四人が対象。送る方は一〇人の部長たちの出席。六時から八時半までにぎわった。退任部長らみんなほがらかなのでよかった。九時帰宅。

4月予記 晴

九時から十一時まで辞令交付式連続六回。最初は三三一人対象で講堂で行い知事訓示、十一時半から一時間研修所で新採用者四〇〇余人を相手に知事講話。帰庁してから中国からの二組の来客に対応した。一は国の農業部水産司長一行、一つは勤労者対外交流センター一行であった。四月人事は課長クラス以上だが新任者を加えて今日は七〇〇人以上の職員に面を合わせた事になる。新しい気持で県政が進む。五時から診療（点滴）そのあと六時から巳千代でマーじゃん。富永、森山、高原が相手。十時半打上げ。若干疲れた。

【この項 4 月 1 日の記事と記述が重複している】

4 月 1 日 (木) 晴

桜はパッと咲きだし既に三分咲き。十一時頃まで辞令交付がつづく。課長級以上の人事異動だ。又ひる研修所で新採用者への知事講話。講堂では三〇分、研修所では六〇分の話になった。今日午後は中国から二つの訪問団があった。一つは農業部水産司长一行、一つは労働者対外交流センター代表団。これは元の県評、今の連合福岡自治労関係だ。中国が日本との交流を重視していることをここでも示している。それぞれの視察計画があっている。五時から病院に行って点滴を受けた。その後巳千代で十一時頃まですごした。

4 月 2 日 (金) 晴

ここ数日黄砂がひどい。朝又辞令交付式がいくつかあり、決裁その後十一時二〇分から四時半までプロ野球パリーグトーナメント試合オープン常陸宮両妃ご観覧関係にたずさわった。十一時五〇分出迎え、午餐会、オープニングセレモニー両殿下お見送りである。福岡球場にパリーグ六球団選手が進まり六人での始球式。私は球は低く外れざまなかった。しばらくロイヤルボックスで両殿下と観戦もした。空港見送りのあと時間つぶしに問研に寄り、六時から小西平太郎議員の藍綬褒章受章祝賀会につき合い、七時半頃帰宅。

4 月 3 日 (土) 曇

中小企業振興センター準備室の看板書きを失敗し板を削りかえて十一時頃、内田、山口の二人がわが家に再度の運び入れをしたので、夕方まで彼等とマージャンをしたあとで、板に書く仕事をした。大変な手数だった。板に書くのは失敗が許されないのが気が重い問題だ。宮田西中学校の子供たち八人に対しても約束していたので色紙を書いた。もう桜は急テンポで満開にせまっている。われわれの行動はその桜をよそに見てということになってしまう。体調にも気をとられ、運動に心がける。

4 月 4 日 (日) 小雨・曇

小雨もあったが、曇りの日。何するとはなく、その欲もなく、一日をすごした。十二時半に川上氏が迎えに来て結婚式に出席。馬渡淳一郎氏の長男太郎 (二五歳) が新郎。九大医学部を卒業してすぐの結婚である。私も三人の挨拶のうちの一人として指名された。昨日の色紙を川上氏をもってきてくれた額に入れて、化粧直しの後カップルに贈呈した。二時半ごろ中座して帰宅した。明日から三日間の東京。美可の親もとに行つて弔意の予定。

4 月 5 日 (月) 晴

出張があるため、庁議の日となった。十時半福岡女子大同窓会長らが大学院設置の礼にみえ

た。そのあと弁護士会長らの挨拶来室があった。決裁や上京関連のレクがあり、二時二〇分のANAで上京。一たん東京事務所に行き、六時半から河庄双園で九州新幹線鹿児島ルート建設促進懇談会があって出席。鹿児島の小里代議員、熊本の沢田参議、鉄道局次長黒野氏には私の方から特別にお礼を述べる課題があってこの会でそれを果した。新幹線を北の端から南の端までという基本問題と残っている部分ほど投下資本と収入とが合わないという矛盾があり、住民負担をせまるのが政府のねらいのようで、これも矛盾。

4月6日（火）晴

八時朝食、九時公用車で送ってもらい横須賀の一彦宅へ。一彦は休暇をとっていて、美可と三人で車でずっと南の西川家に行く。野村久基氏の墓にも参詣し、二月四日だったか死去のお悔みを述べた。祖母（美可の母）はひとりになって淋しそうだったが元気だった。西川家を辞してのち湘南海岸をドライブした。葉山のシーサイド田中亭でフランス料理の中食をごちそうになり、七里が浜を西へ、藤沢市江の島に行き植物園にも行った。弁天さんの山は立派だが、山又山、どの山も桜花満開でぜいたくなドライブ。五時帰宅、久美、麗衣も帰り全員で夕食。八時に公用車迎えに来てくれて、ふくおか会館へ。

4月7日（水）晴・風

八時朝食、九時から今日の日程について打合わせ。十時すぎ東京事務所を出発し、国土庁、建設省、厚生省と「水陳情」。二省には福岡都市圏に加え県南地域の水道企業団関連の首長ら総勢二五人ばかりの陳情団になった。ポイントはダム建設促進である。別に国会にも行って両省大臣にも陳情した。午後一時日比谷公園の松本楼に岡田教授（空港将来構想調査委員長）に来てもらい、中食を共にしつつ、専門委員長としてあとよろしくとの挨拶をのべた。交通経済専門の成蹊大の先生。福岡空港の代替につき来年三月までに構想づくりをすべく、この三月一日に発足した調査委員長。極めて困難な課題だ。四時発のANAで帰福、六時半に帰宅。眠く疲れがひどい。

4月8日（木）晴

十時にトヨタ九州の社長らの来訪がありマークIIの目録贈呈の式があった。十一時にサンヒルズで環境保全公社の理事会があり、年度方針を決定した。午後二時から広報の仕事として知事と語るRKB平成五年度予算を語る収録に応じた。あと決裁をすませ、検診に行く。五時頃に終り入院中の鬼木県議を見舞に行った。心臓が悪いとか。姫路旅行をするに付、戸谷市長を紹介したのだが、市長は丁寧な対応をしてくれたと喜んでくれた。市長公室の人がよくしてくれたようだ。早目に帰宅したが、何もせぬ時間の過ごし方。気力が衰えたのだろうか。

4月9日(金)晴

十時から死亡者叙位叙勲伝達式(一六人)。十二時から城山ホテルで鹿児島の上屋知事の再任祝賀会(披露宴)があった。決裁やレクのあと、四時半空港にマレーシア国王出迎えがあって参加、東京で国賓として迎えられていたそのあとの福岡への立寄りである。昨日からぐっと冷えこんで今日もつづく。桜花は満開のままひきしまった感じだ。ひるま、以前の建築都市部長だった長谷川現新潟市長が訪ねて来てくれた。健康状態が気になる。頭が重いし、睡眠不足のようだ。でも行動する分にはさしつかえはない。何とかもてそうでもある。用心つづけよう。

4月10日(土)晴

連休のようなのに、二日とも日程が入っているので気分的にはさっぱり落付かず机辺の仕事を手当り次第にして過ごした。五時すぎ迎えの車が来てドリームライブインフクオカドームに行った。三千六百の入場券がパッと売切れたとか。一九時、マレーシア国王夫妻アズランシャー及びトゥアングバイヌン王妃一行をニューオータニに迎え、「謁見」という儀式のあと両陛下歓迎晩餐会があった。後者には在福岡著名人一五〇人ばかりが迎えてくれた(芙蓉の間)。謁見では知事市長も夫妻、大分知事、佐賀知事も列席してくれた。先方は接待大臣、大使の夫妻だった。九時半に終わった。

4月11日(日)晴

終日机辺にいるのは勿体ないような天気だったが、吹く風は冷たく、ストーブを放すわけにはいかなかった。問研の原稿を書きあげることができ一安心。四時すぎから六時すぎまでマレーシアの両陛下を空港に見送るための時間となった。市長も夫人同伴で来た。警備はやはり緊張していた。一般の人はそれほど気にしてない。桜は満開のまま。甘夏柑を少し取る。モクレンが咲きはじめている。それよりも藤の房がどんどん伸びて四月下旬には見頃になる程だ。長いのは二〇センチもある。

4月12日(月)晴

十時に出発し、平尾台視察に向う。十一時二〇分から一時すぎまで直方行橋線道路を経て平尾台センターに着いたら十二時頃だった。平尾台がバイクの乗り入れでいかに荒らされているか、その対策はどうかというのが視察課題。今木環境局長が車に同乗して説明してくれた。美しいカルスト台地、鍾乳洞は保護されねばならない。二時半に帰庁、レクや決裁があって午後四時から検診、五時半には帰宅できた。平尾台の観光開発が荒廃を防ぐのに役立つのではないかと思った。

4月13日（火）朝朝、東京曇

九時から庁議、つづく記者会見。あと、「交流の窓」オープンセレモニー。国際交流みやげもの貴重品をまず展示。十一時四〇分北九州商工会議所からFAZに関する支援の要望。二時二〇分発のANAで上京。機内からみゆき同行、明日の「桜をみる会」に出席のため。直美が出てくるというので七時近くまで東京事務所で待たされ、霞が関ビル東京会館でフランス料理による夕食をとりながら近況交換。ゆったりした夜になった。東京ビル街の夜景が美しくとくに印象に残った。直美は調布に住むことになったという。どこか自由につとめているようだ。

4月14日（水）晴

八時前から食事、九時半総理主催の桜を見る会へ新宿御苑。いろいろ桜はあったがソメイヨシノは散りはじめ他に満開もあって日本晴。苑内を一周して楽しんだが外国からの客のため総理の姿みえず。われわれは十一時半には東京事務所に帰った。林団長も参加してもらって二時から自治次官、官房長、市長会事務総長の小林氏にアポイントどおりの面会を進めた。主題は富永副知事が七月上旬に帰任の予定なので代る人選をという点のお願いである。夜は予想を立てている斎藤氏と林氏、私と三人で当の話をすすめているとの事情報告の食事会。七時のANNで九時福岡着。

4月15日（木）曇

十二時に出発し、一時からトヨタ自動車九州（株）の宮田工場完成記念行事の神事と工場見学に参加した。一たん帰庁し休息して休憩して後四時二〇分からの日航ホテルにおけるトヨタの披露パーティに出席した。このあと検診に行ったのだが十二日の採血検査の結果たいへん悪い数字が出ているので対応が必要という見解が院長から示された。週に四回ぐらいの点滴すらも必要という。又食餌管がまだまだ足りない、さらに食後は三〇分～一時間横になるようとの注意をうけた。そわそわした生活に向かぬ事が多い。

4月16日（金）晴

トヨタの九州社長ら御礼に来訪、十時。十一時から福銀本店で中小企業振興募金推進委員会。あとは庁内でレクが何件もあったが、二時半に姫高時代の村上来氏が業務（スポーツ会場づくり）の関係者を伴って来訪、県で仕事があればという用件である。決裁をいくつか済ませて六時すぎに帰宅できた。予め連絡をしていたので、是松氏、随行の小串氏を相手にマージャンの夜となって夜半まで遊んだ。久しぶりの長い遊びで若干疲れた。新しい人事体制下で動き出した感じ。

4 月 17 日 (土) 晴

少し色紙書きの仕事をしていたら、秘書室の松田氏が迎えに来た。一時半から西鉄の共済会館で社会党の竹村書記長を励ます会があるので出席をとということである。世界、国内、それから各政党、どれもが揺れに揺れている昨今である。選挙制度もまだどうなるか見当もつかない。そのような中で社会党の今後はどうなるのか、共に考えてみたいといえる人達が集った。いわば古き党友達が竹村氏六六歳記念という口実で集まり雑談の一時を過ごした。帰りはフランス菓子店に寄った。森山と松田。

4 月 18 日 (日) 晴

うららかな春の陽ざしがつついている。色紙書きの仕事があったので在宅して打込んでいったが、四時半公用車の迎えが来て甘木に行った。福岡センチュリーゴルフ倶楽部コンベンションホールでスターカップ九州 93 チャリティゴルフプロアマ大会が明日第一〇回目の展開となるその前夜祭である。宴席でチャリティ寄付金贈呈、感謝状授与式があったが、会場一五〇〇人ががっつけかけていた。スターの顔を一目みる願いをこめた人もいる。明日はギャラリー一万二千人が予想されるという。第一〇回というのも記念になるが、時代の変化を痛感する。

4 月 19 日 (月) 晴

プロアマチャリティゴルフはセンチュリーで快晴よかったろう。和智さんがドイツ大使、大阪神戸総領事夫妻も出席のもとに名誉領事任命式、そのあと中食懇親会 (於ホテル日航)。私はあと済生会病院の週四回という注射に行き、直ちにリーセントホテルに行って県鹿児島ルート建設期成会第二回総会年次計画決定を取りしきった。鹿児島ルートの中、博多八代間フル規模案を六月予定の政府方針見直し決定に組込むよう運動することだ。帰庁してレクと決裁、あと又リーセントホテルで崔夫妻の韓国への帰任歓迎会に出た。

4 月 20 日 (火) 晴

今日も朝からはしりまわった。記者会見のあと、大濠での第 23 回健称マラソン一部のスターターの役で出席。一時から全労済協会主催の九州シンポジウム (ソラリア) に出て挨拶。二時半から三役会議で環境局からアイランドシティに関する知事意見書原案につき説明をきき原案決定にまでこぎつける。討論に時間がかかった。五時から検診、次いで九州シンポジウム記念パーティ (ソラリア)、次いで六時からの県警幹部との懇談会 (和田伴) に出席で、一日が暮れた。明日福岡市にアイランドシティの環境意見書を出すことが注目される。

4月21日（水）曇

休務。雨を待つのだが降らない。のんびり休んだ。色紙その他筆とる時間をとった。食後の休みもとった。夜七時すぎ、アイランド・シティ問題について環境影響評価準備書に対する知事意見書が明日市側に示されるので記者レクを行った反応報告に二人来宅した。記者会見が求められ明日三時半に受けることになっているという。何とかして知事発言の穴を探そうというのが報道側の興味を向ける点で、それ以外事の上は彼等にはどうでもいいのだ。無責任と思う。

【欄外記入】平、松藤課長

4月22日（木）曇後晴

昨夜は一時雨、今日夕方は晴れ。十時半から小竹高等技術専門校落成式に出席。二時半から本庁舎前でトヨタ自動車竣工記念マークⅡ四輛の贈呈式があった。三時半から和白浜関係のアイランドシティ環境影響評価準備書に対する知事意見発表についての記者会見があった。影響懸念という筋の意見が出たことに報道陣は驚いて一せいに夕刊にトップ記事として反応した。まれにみる反響を呼んだものだ。市側の反応が今後の問題になる。あと、日程関連のレクがつづく。環境関係の局長課長らと坂をこした事を祝しねざらい乾杯して帰宅。

4月23日（金）曇

十時半からリーセント・Hで玄海レク・リゾート地域整備推進協議会があり、会長として議事進行にあたった。十一時五〇分アクロス福岡愛称入賞者表彰式、県政モニター委嘱状交付式とつづいた。二時から「朝の挨拶」録音、決裁とつづき、三時からJC福岡ブロック協議会との懇談会、これは一時間大急ぎでかけ抜けた感じの対話であった。四時半ニューオータニで職労裁判闘争終結集会レセプションで挨拶。処分反対の闘いを終結にしようという集会だから被処分者を中心とした集りだった。五時半点滴。六時半帰宅後、ひるまの録音取り直しとのことで要員三人が来た。七時半まで。

4月24日（土）曇

両陛下は昨日から沖縄へ、新聞が戦後史との関係で書いている。われわれは十一時半ANAで一三時五分着。那覇ではオーシャンビルで中食。福州園を経て三時半にハーバービルホテルに。第四五回全国植樹祭前夜祭、中央地方の要人が集まり両陛下は四〇分個別懇談され、後同じホテルで夕食会がやり直しように行われた。騒ぎがあるかも知れぬので警備は厳重だった。沖縄、宮崎、兵庫の各知事と話すチャンスはあった。県庁舎をはじめあれこれビルが建て代って那覇市街も大きく変わっているようだ。大会々長は桜内衆院議長、つづいて内閣官房長官河野洋平、田名部農水相、森山文相、小泉郵政相等々も。

4 月 25 日 (日) 曇

七時前に起き八時朝食九時ホテル出発で十時から第四四回全国植樹祭沖縄摩文仁丘で行われた。昨年の福岡の場合と殆んど変わらないが琉球舞踊のアトラクション、音楽など沖縄色ははっきり出ている。青少年が出なかったように思ったが、教育界で問題があるのかも知れない。私の役員は大会旗引継ぎであった。雨が心配されたが、風が少々あって他の異状はなく、午前中に両陛下も退席され平穩に終わった。あとひめゆりの丘、福岡県の墓地、中食、新しく復旧された首里城を見学、県立博物館も一巡し、六時三五分発、八時十分着の JAL で帰福した。県職知念氏が終まで案内してくれた。

4 月 26 日 (月) 晴

代休。骨休めすればいい。自分でも課題があるわけではないので、のんびりした一日になった。ただ揮毫の宿題が残っていたので、半截条幅二枚のんびりと仕上げる事ができた。陽光が美しく藤花が散りはじめリラが六枝花を開かせている庭に一寸出て雑草を取る心のゆとりがあった。甘夏柑がたくさんぶら下がっているのに、新芽には白い花がつきはじめている。鈴蘭の花は弱ってきた。アジサイが花芽を準備している。両陛下は今日首里城を視察の上東京に向かわれる。事なく多くは胸をなでおろしているだろう。

4 月 27 日 (火) 曇

十時から岡垣サンリーアイで第 44 回県植樹祭があった。広場で記念植樹のあとホールで儀式。福岡に帰って検診をうけた後登庁したのが午後二時。グラフふくおかの「対談」(樹木医)(原田一彦氏)のほかは明日の記者会見や明後日の海の中道海浜公園での「みどりの愛護」のつどい(皇太子来場)その他のレクがつづいた。六時半に帰宅したら約束どおり牧坂五郎氏が来訪していた。姫高 70 周年祭(4 月 25 日)の様様を中心に雑談二時間余。土井仙吉氏の住宅改造に関連して奥さんの精神的疲れのことなど。とくに彼は「かな習字」に余暇を費し、満足そうであった。

4 月 28 日 (水) 雨

久しぶり終日の雨、ダムの貯水量がふえてくれることを祈る。福岡都市圏自治体広域行政事業組合の発会式があり、一つの自治体で行い難い行政(対高令者など)をみんなで処理することができるようになって全国さきがけともいわれている。職員組合井田委員長と中食しながら歓談したが、まずは従来の闘争方針をかえたこと、中央人事に不満が残っていること、次の選挙基盤が固る方向がみえないことなどを主な話題とした。検診までレクがたくさんあった。決裁も。六時半からグランドホテルで井上建設大臣雲仙視察の帰りを待って九州レベルの主として道路陳情会が行われた。八時終了。

4月29日（木）曇

海の中道海浜公園で第四回みどりの愛護のつどいが皇太子の臨席のもと、おこなわれた。昨日の雨で今日は降らず幸いだった。済生会病院で注射ののち空港に殿下を出迎え、公園ホテルのキャピントップで中食会。パークエリアで二時から集い（功労者表彰、記念植樹など）。終って公園内視察随従しマリンワールドも視察。午後五時すぎ市内ホテル日航着、六時すぎ公式の記者会見をすませて帰宅した。沿道各所に市民が列をつくって皇太子歓迎の意をあらわしていたのが印象的。「ご婚約おめでとう」と横断幕、叫びが各所にみられた。雨の心配が消えて何よりだった。関係役職者一同やれやれとよろこんでいた。きびしい警備も裏にあった。

4月30日（金）曇後晴

八時すぎ自宅出発。皇太子の宿所日航ホテルに出迎え、九時出発。九時四〇分から一時間余筑紫野の県立養護学校つづいて十一時半すぎから十二時五〇分まで久留米リサーチパークを視察いただいた。このあと萃香園ホテルで中食会に陪席した。久留米の市長議長も参加だった。高速道で空港に向い三時二五分帰京に向われ見送った。一旦帰庁し、長期連休の間の日程を話し合い四時半新韓国総領事禹氏が着任挨拶来訪があった。決裁もあった。近頃は週四回の済生会病院での注射を励行している。町並みはどこもどんたく準備でにぎわい始めた。二十八日からの有田の陶器市は六万人、景気の陰があるという。

5月予記

あわただしく過ぎ去った五月だった。『夏も近づく八十八夜』から始まってこの一ヵ月、改めて若芽青葉を改めて楽しんで。雑草が伸び、蚊が出てくるのも仕方がない。それだけの対応はやむをえない。花がそれなりに美しく青葉に交って咲きほこる。これを意識するだけでも幸せといえる。世界、国内の政情がいよいよ曇って見えるが、どうしようもない。不況もまた光が見えにくいという。冷戦構造の解体という意外に大きな影響をふりまいている。アメリカも軍縮に入らざるをえず、不況をこじらせている。ドルが今や一〇七円台を示した。どう対応するかだ。

5月1日（土）曇

例年どおり、メーデー集会。北九州と福岡の二つに出て挨拶。新幹線を使う。北九は勝山公園、緑が美しかった。福岡はメーデー行進のあとの集会、今年とはくに同盟系が前に出ているように見えたし、雰囲気もこれまでと違ってお祭りの色が強くなっていた。政治改革のあいまいさを反映して、労働者の意気込みは感じられなかった。十二時すぎに終り、済生会病院で点滴をし、あと、ソマリアンに行つて例のカレーで中食とした。帰宅したのは二時すぎ。佐方から和子、玉枝の二人が来訪していた。世は長い連休という空気になっている。筆をと

って時間をすごした。

5 月 2 日 (日) 雨後曇

昨夜から朝にかけてかなり降った。のんびりできる時間があったので午睡などした。四時すぎ勝野さんが来てドンタク衣裳を着せつけてくれ、公用車が来て会場国際センターに行った。雨が降っていた。五時から七時まで、RKB 主催の前夜祭に出席したのである。若い人達がきびきび動くので、若者の気持が改めて認識された。恒例の神田紅さんが道真と藤原のもつれについて一席やった。オークランドからも来た。明日は降らないだろう。みゆき、和子、玉枝の三人も来ていたが、九時半すぎにみんな帰って来た。二八〇万人の人出はあろうと報じられているドンタク前夜祭だ。

5 月 3 日 (月) 晴

まず済生会病院で注射し、午後一時からの憲法集会に出席した。今年は社共両党が顔を出さなくなき、憲法施行四六周年は様変わりしたことがはっきりした。改憲、護憲という言葉も中味は入り混っている。九条、自衛隊についても議論は、どこがどう言っているかはっきりしない。今の憲法を何とか変えたいというのだけが共通し、この集会は護憲を貫こうとしている。私は挨拶の中で「決意」という箇所が大事で理くつで変えてはならぬ、子や孫に之を伝え現行憲法を守ろうと述べた。あと県立美術館へ寄り柿右衛門展をみた。平副所長が案内してくれた。夕方勝野くんがドンタク衣裳をとりに来た。

5 月 4 日 (火) 晴

休日つづきで、どこもレジャー地は人の山。昨夜有田からの電話で、急遽公用車をやめ特急で有田に行くことにした。渋滞で車は時間の予測が立たないという。九時に出て十一時に着き中西氏の迎え車で VOS (ポーセリング・パーク) で「海を渡った古伊万里展」を見せてもらった。(小串、橋本が随行) 一七世紀の古伊万里、柿右エ門などやや理解が深まった。竣工成ったツヴンガー宮殿を陽光のもと輝く中で三〇〇年をこえる輸出美術品に魅せられた。このあと九州陶芸美術館に案内され、ここでは現在人の陶芸秀作の数々をたんのうした。五時すぎの特急で帰福。駅近くの八仙閣で三人だけの夕食会をゆっくり楽しんだ。和子ら三人は七時半頃陶器市から帰ったという。

5 月 5 日 (水) 晴・曇

今日と明日、全日在宅の休業。和子と玉枝さんが帰郷するのでみゆきが博多駅まで送って行った。早目に駅に行って買物するという。午後一時の新幹線。私は庭仕事で久しぶり、疲れた。藤の花房切り南側だけで残りはもち越した。甘夏柑を全部摘果した。上の土地の所有者が畑仕事に来ていたので夏柑のお裾分けをした。又小菊の新芽を植木鉢に挿したら十二鉢

になった。まずは大きな仕事ができる。二時すぎ森祐行氏、是松氏が来て、みゆきも帰宅し、夜半までのマージャンになった。森氏が来宅したのは一年ぶり以上ごむさたしていたわけだ。

5月6日（木）小雨

九時頃朝食のあと西側の藤棚につき昨日のつづきの仕事をした。仕事量は南側の二倍というまい。洋蘭など、棚下に花鉢をたくさん置いていたので、サボテンを含め、藤花が降りかかったのを整理したら思わぬ作業量があった。小雨の中、梯子を作業に使った。周辺を片付け終わったのは二時頃だった。藤は花も美しいが夏を越して蔓の伸びに煩わされ手間をくう植物である。課題だった頼まれ色紙を夕方から消化したが、十数枚。終わったのは夕食をはさんで午後九時であった。早目に床について休める。終日小雨だった。

【欄外記入】寝る前に〇〇夫妻がやってきて一時半まで離婚ばなしをきく。

5月7日（金）曇

十時半から一日児童課長辞令交付。十一時十五分から社会党県本部からロシアの日本海核廃棄物処理につき対政府要望をしてくれとの要請の会があった。そのほかは日程に関するレクが数件（筑後川下流土地改良事業地元負担軽減、社保短閉校式、水の文化村開業、鯉の会国際交流など）、決裁。病気見舞（松岡県議、上杉佐一郎氏）、そのあと点滴をすませ、六時すぎ帰宅。秘書室の者三人（橋本、小串、花村）が来てマージャンの夜となった。連休明けだが、土、日とまた連休、そのあとが本格的に忙しい日程になるだろう。

5月8日（土）曇

一昨日来た〇〇夫妻が、今日は早朝に裕子さん、午後二時すぎに〇〇さんと、別々に再度の来訪となった。離婚ばなしがエスカレートしているようである。疲れているのに対応する立場もあわれである。数日後にはケリがつくのではないか。夕方庭に出て気分ばらしをした。レモンの実を摘み取ってしまった。もう花が咲いている。柿もたくさん花を準備している。テッセンが垣網にからみながら順次咲く用意をしている。新緑は心をなごませてくれる有難い環境。鳥もかん高い鳴声をひびかせる。邪魔なのは下のマンション庭のバイクを含む車の高音、そしてもう蚊が出はじめている。庭仕事にも限度がある訳だ。

5月9日（日）小雨

「ひよりつづきの今日此頃は」と歌った五月上旬、今日も小雨、しめり勝ちである。降雨でダム貯水量がふえてくれることはいいことだ。昔と違い、今は田植の最中だといえる。水に敏感。とくに目的のない今日ひる間は書斎で身辺整理にあて、アンマ機によりついでに午睡もした。連休でもかえって疲れが積ったように感ずる。五時からニューオータニで「鯉の

会」国際交流の集いがあり出席挨拶。花村仁八郎氏が特別ゲスト、西川鯉近さんの主催。今日午後九電ホールで日本舞踊の国際公演があり、その打上げ会である。有名人が多く来席、三〇〇人程度。七時まで。

5月10日(月) 雨後晴

はげしい雨、それに風、午後三時頃から打って変って晴。十時半から田川の社会保育短期大学の閉校式。帰庁中食後一時半から三役会議。二時半から福銀ホールで「さわやか行政サービスフォーラム」、四時までで中座。四時半から久留米市長ら四市三町の陳情、筑後川下流農業開発事業の地元負担軽減について。県からは地元要請に沿うよう答えた。このあと明日の記者会見レク、数件の問題があるようだ。文化振興ビジョン、ゴルフ場許可の取消訴訟、新北空港漁業補償交渉、カンボジア派遣など。六時すぎ病院にゆき注射、帰宅して沖縄での植樹祭の時の荷物解梱。どっと仕事がふえた感じだ。

5月11日(火) 晴

やや暑いほど。庁議記者会見、春の褒章伝達式そのほかまたレクが続いた。三時には佐賀の井本知事が来訪。新幹線長崎ルートについての陳情大会について、更に平成八年の焱の博覧会についての要請があった。三県サミットも今年は嬉野ですするという点、韓国との交流会についても話合った。一時五〇分からRKBの録画(宝くじについて)があった。早目に公用は終り、点滴をして帰宅した。上杉佐一郎氏が済生会病院で切開手術をしたというが見舞うのは遠慮した。平良衛生部長が入院しているので見舞った。緑はいい、晴天もいいが青葉に一ぱい虫がつきはじめた。ヒモのような蛇も見た。もう夏とってよい。

5月12日(水) 晴

十一時から春の叙勲伝達式十八人。七〇才をこえる人が多かった。自治省、厚生省の分である。午後は上京陳情に関するレクがつづき、決裁と点滴検診、グランドホテルでの全国監査委員代表会議に出て挨拶、四時三五分発のANAで上京となった。東京についたらカンカン照り、美しい新緑の豊かさを感じた。夕食は東京事務所の人達と福岡会館ですませた。検診の中で肝臓、糖尿の数値がなかなかよくなる点指摘された。食後できるだけ横になるようにと注意をうけた。夜、問研向け原稿を少し書いた。

5月13日(木) 東京晴、福岡曇

八時にみんなで共に朝食し、久しぶり横になる時間(食後)をえた。十時五〇分から文化庁への陳情(国博、国民文化祭、平塚川添遺跡)、午後は自治省に副知事人事につき御礼(官房長)、河本敏夫事務所に御見舞。三時半労働省に久留米職訓校についての陳情。終ってANAで帰福したが、機内では井本佐賀知事と隣合わせの席をえて、県際交流などの側面を中心に

話合うことができた。七時すぎ帰宅。残った仕事いろいろあって、原稿書きなどおそくまで机に向って仕事した。真夏を思わせる東京の暑さであった。三〇度をこえたという。

5月14日（金）雨後晴

十時半に出発。原稿に手を入れて登庁前にとまって問研に原稿を渡した。朝から降っていた雨も午後三時ごろにあがり、あと完全に晴れてきた。四時半福島県知事佐藤氏一行の来訪をうけた。福島空港が開港し、福岡との間の便も始まったのでそれを祝う。披露する気持である。一時間半で結ばれるのだし、首都圏の第三空港として将来が期待されている。五時から点滴、六時二〇分からサンパレスでアジアメディカルショーのレセプションがあって挨拶。朝日新聞が三〇年前の「社会主義」に寄稿した私の原稿、北九五市合併批判を問題にしたので、その号を探し出してコピーをあげることにした。

5月15日（土）快晴

ひる前に公用車で出発し、姪浜にある西市民センターで行われた共同作業所全国連絡会の集会に出て挨拶。次は田川に行く。市民センターでの「女性フェスティバルたがわ」出席挨拶した。神奈川案でもらった元女性センター長金森トシエさんが講演された。そのあと私の登壇。このあと伊田の風治八幡宮川渡り神幸祭に行きまず神社参拝、次に料亭稚加栄で休み懇談会。市長、白石県議、安藤学長、商店連合会長など多くの著名者に会い（三～四時の間）五時まで川渡りのおみ輿の実技を観覧した。六時半に帰宅。強く照りつけられ、疲れた。

5月16日（日）晴

休務、ゆったりした一日。体操もできた。余りの時間は筆を執って過ごした。色紙一〇枚と条幅一枚の宿題を消化したのだが案外ひまが要した。意のごとくならずだったのだろう。外に出てはびこる枝を切り、草抜きもした。アヤメのほかいろいろ花が咲いて燃える青葉とともに気持がいい。老いと暇が増すとどうしたらいいのだろうか。早朝から高音のテレビをかけていた高柴さんはまもなく出て行った。いい暇つぶしを保有しているのだろう。息子の家族も遠くないという。そのような立場がうらやましい。

5月17日（月）曇

新幹線鹿児島ルート早期建設という要望をもち上げるため、まず朝から久ル米百年公園で福岡県決起集会を開いた。バスを連ねて六〇〇人規模。雨を心配したが降らず、ひるまでに終ってそれぞれ中食。午後は熊本水前寺公園での九州四県（鹿児島、熊本、佐賀、福岡）のバスがぎっしり（熊本の者が中心だろうが、体育会には一万人は集った）。国会議員、知事、その他首長、地方議員も実行会も、地方職員も。この六月に予定される「見直し」期に博多・

八代間のフル規格を明確化をたたかい取りたいという決起大会だ。五時半帰宅。あと広報のレクあり。

5月18日(火)曇

例の庁議、記者会見。武漢総工会李梅芳一行の表敬。午後は江蘇省から代表団の来訪あり。にぎやかだった。姉妹関係交流の一つ。玉屋で一連のショーを企画している。六日間。二時半三役、末吉市長の固い指導で固っている北九州高速道路の料金値上げにつき改善委員会で山路ランプ新設を機に四五〇円引上げで押すと決った。四時半から荻田町長ら、日産の座間工場引揚荻田投入の受入れ援助の要請があった。検診のあと六時半から記者クラブと広報秘書室の懇親会があった。(中洲大阪屋)

5月19日(水)曇

まず十時から大手門会館で行われた県部落解放同盟年大会に出席あいさつし、次いでアクロス福岡工事現場を視察、あと職員たちと東急ホテルで中食。一時半に都市高速道路公社経営会議(山ノ上ホテル)。帰庁して散髪。四時半から高教組大塚氏が来てしばらく歓談(新入組合員講座の件)。あとレクなど数件あり。病院に行って注射。あと三光園で後藤農林漁業金融公庫総裁を迎へての夕食懇談会。県の農政部、農林中央会、公庫支店の人達が参加してくれ、楽しい懇談の時間になった。(検診注射は中食後)農産物の流通が話題になった。

5月20日(木)晴

十時から税務職員に対する報酬金を各所長を通じて授与。一時半から県内主要道路、重要河川、拠点地域都市(久留米)についての重点施策について説要望をきいてもらい、記者会見した。決裁のあと県弁護士会創立一〇〇周年式典に出席挨拶した。一たん済生会に行って又H日航に戻りこんどは一九時から衆院の政治改革に関する地方公聴会特別委四人を囲んでの夕食懇談会。政治改革地方公聴会は新潟札幌など全国で明日四箇所で行われるという。熊本一区の野田氏が団長でなごやかな一時を共に過ごした。当方は富永副知事、総務部が応対。

5月21日(金)曇後雨

今日は県議会で一日暮れた。新年度、議長、副議長、議運理事長、各委員会委員長副委員長らの決定である。監査委員の交代の承認、皇太子結婚祝詞の決定もあった。それにしても表面に出ない人選劇が大変で正式議会の日程にもくい込んできて、時間延長にもなった。新議長は吉村、副議長は武藤、どちらも自民党で四〇歳代前半の若さ。でも年ふるにつれて迫力のない議員にならないよう祈る。帰途病院に寄り注射をしてもらった。和代から野菜イチゴを送ってくれたのはいいが、荷いたみがある。先日川南町の川越初枝さんからのものと同じ。

5月22日（土）雨・曇

何かとしているうちに午前がすぎ、午後一時から四〇分ほどデパート玉屋で開かれている江蘇省「観光節」（PR 展演技）を視察、つづいて岡垣の安田伊三男氏宅にゆく（幸同行、随行小串氏とわかれる）。三時から梅本伊之吉 33 年忌法事に参加。富山から伊昔子さん、田川から原田兄らがまいてくれたので小規模ながら意義深かった。五時頃みんなで野々庵に行き、十人での夕食懇親会が行われ、八時頃按摩を呼んでいてくれたので応じ、ここで宿泊した。久しぶりに大衆浴場にいった。夜小雨もやんで、気持よく休養できた。

5月23日（日）晴

八時半野々庵食堂でみんなと朝食。八幡屋の主人とブドウ苑【※欄外記入】で写真にうつった。伊昔子さん同行で伊三男氏の運転する車で福岡に十一時頃着く。スシをとって四人で中食。彼女らは福岡見物に出発した。大坪氏の連絡で全国評議会を終った協会の主要メンバーが来宅した。熊本の小野、北海道の鳴海氏ら五人が久しぶりにビールを飲みながら語り合うことになった。打ちとけた歓談だった。四時ごろ引揚げたので、色紙など宿題に取り組んだ。すごく高温、緑がいよいよ濃くなっていく。クジャクサボテンが大きな蕾をもつ。鉢数が多いのでにぎやかなこと。

【欄外記入】ぶどうの樹（バーベキュー）

5月24日（月）晴

一時一〇分出発し、半から看護センターで青少年育成県民会議通常総会に出席、三時二〇分まで一時間五〇分臨席。あと大手門会館での県評センター定期大会に出席挨拶。秋にはこれも解散になるという。総評時代の終着である。四時検診、そのあと登庁。レクや決裁を何件か消化。六時から議会の新役員らと懇談会、嵯峨野で。井手前議長は酔っぱらってしまった。助信前副議長、それに新宮、白石議運委員長、副委員長も招いた。吉村、武藤の議長副議長、二人とも四〇歳を少しこえた三期目、珍しく若手である。友好的な県政運営を約束し合った。九時少し前に帰宅。当分天気は続きそうだ。

5月25日（火）晴

朝七時半に出発し、大牟田へ。九時半から四山三池港を中心に総合防災訓練が行われた。総監として本部席に坐る。やはりヘリコプターの粉塵巻き上げにはまいった。何回も飛ぶ。自衛隊、警察、福岡市のものが何機か。一時頃終り港クラブで中食、あと市長の案内で一昨年竣工のカルタ館見学。珍しい施設で、勉強になった。四時すぎ県庁に着く。レクやら決裁やら、いくつも消化すべきものが待ちうけていた。六時すぎ帰宅の途についたが、途中で済生会病院へ。血圧はいいが、自覚的には体調不安、頭がぼんやりしている。六月上旬刀出（五郎五〇年忌法事）に行く件で電話連絡。和代が野菜など何回か送ってくれるのでお礼も。

5 月 26 日 (水) 曇

一日おくれで庁議、記者会見。十一時半から月例知事挨拶の録音。二時に三鷹ホールで交通事故をなくす県民運動本部通常総会。三時半ハワイのヘレマノプランテーションと県嘉穂あかね園の姉妹締結で、先方からチュン園長ら八人の表敬があった。高橋県議夫妻が当事者として同行。あと 20 箇国駐日大使館武官団一行の研修旅行での表敬があった。自衛隊主催で夜はグランドホテルで歓迎レセプションがおこなわれた。早目に引揚げることができた。駐在武官は熊本、福岡、長崎の三県を視察して帰京する。三県と韓国沿岸道市との交流も近まり、西日本新聞からその点くわしく取材したいとの申入れをうけ、明朝行う予定。

5 月 27 日 (木) 曇

どんより霞がかかった日がつづく。総会シーズンといわれるだけあって、あわただしい日程。九時四〇分から西日本新聞インタビュー、日韓知事サミットにどう対応するかがテーマ。国際交流センター理事会 (都ホテル)、石油協会総会 (日航ホテル) が中食の前とあとにあった。後者は石油三団体の全国通常総会で私は初めての出会いであった。五〇〇人も列席していて多いのに驚いた。間を縫うようにレクがあった。五件、いずれも日程上の説明である。夜は六時から日航ホテル二階の「弁慶」で花村仁八郎氏を囲んでの夕食会。明後日の日程のことでわざわざ東京から来てもらったので林副知事、佐々木商工部長らと共に懇談の席を設けた次第。円が高騰し一〇七円台になったと夕刊が報じている。

5 月 28 日 (金) 曇

高齢者ケアについての社会党調査団に対し、ライオンズホテルで挨拶。このあと九時四〇分環境 (廃棄物公共関与レク)、十時半から総合関関促進会議県南総会。中食のあと梅香会総会に出て挨拶 (大手門)。三時からグランドホテルで九州北部学術研究都市整備構想推進会議総会が同ホテルで行われ、高橋前学長の議長下で中核センターを作ることまで決められた。一旦退席して検診、そのあと、この総会のパーティと老松における主要メンバーでの懇親会に出席。帰りは九時すぎていた。

5 月 29 日 (土) 雨後曇

飯塚研究開発センターの竣工式が十時半から行われた。九工大情報工学部の前、産官の利用で IC、FAZZY など先端技術利用で産業に直に役立てばとの願い。式のあと祝宴を途中で引上げ八木山中食、箱崎リーセントホテルで行われた高教組新入組合員オリエンテーションの講師として役を果す。一時間二〇分程度、三〇人ほどのメンバーであった。雨後晴後曇の天気だった。生き物は水が欲しかったのだ。五時すぎ帰宅したら松永、是松の二人が来ていてマージャンで夜が更けた。NHK 姫高七〇年祭放映、五時。

5月30日（日）曇

揮毫の宿題があつて朝から午後五時まででようやく終点。色紙の書き損じがたまって来る。今日も三枚、不注意なのである。墨が十分乾いてないと、右小指に墨がついてダメにしてしまう。為書きの姓名に見損じがある。何回かあることだが押印の押し違いもある。わかっていながら注意が足りないのである。でも宿題が終るとやれやれという気持ちになってせいぜいする。周辺の緑には小鳥が啼き交う。曇りだし、ほかに何の音もない私の世界、静かに暮れていく。

5月31日（月）曇

九時半から検診（注射）。十時六月議会向けの補正予算説明。田中松月氏叙位伝達。一時半からグラフふくおか「知事と語る」（文学者村田喜代子さん）。決裁が何件かつづいて、四時に出発、嬉野へ。和多屋別荘内の水明荘、もみじ宿室に投宿。随行は橋本洸氏、公用車。六時から日韓海峡沿岸知事会議の前夜歓迎レセプション。全羅南道、慶尚南道は副知事の出席。事務系もそれなりの夕食交歓会をしていた。大きな旅館を用意してくれたので驚いた。夕食会はざつぱらんな歓談となり、みやげ品の交換をまじえ、午後八時までつづいた。実務交流が今回の課題として注目される。夕食後、白石課長、橋本洸氏が抱負を語る相手として十時すぎまで雑談した。

6月予記

日韓知事会議にはじまり、五郎兄の五〇年忌法事、皇太子の結婚式、その饗宴、中京県人会、九州新幹線陳情、同和交渉、高教組大会など行事がつづき、この間に県議会の諸日程がたくさんはいつてくる。県政懇からはじまり、代議者会議、代表質問、一般質問とつづく。このたびは衆院の解散があり、県議員もそれぞれ忙しいらしく、県議会は順調に経過して、助かったようにも感じられる。ただ衆院の解散は異常だったので、次なる政治の姿が見えない。テーマよりむしろムード、改革への期待のカケ選挙のようになりそうだ。社会党にシンが見えないので全く残念。

6月1日（火）晴

和田屋別荘八時に朝食。小休ののち十時二〇分から日韓県市道知事交流会議十二時まで。予め準備された原稿どおりの発言で経過、自由発言交換は約三〇分。同館で中食ののち車で有田に向い、一時から四時までの時間でポーセリングパークを視察、中西忍氏も迎えてくれた。再び嬉野に返り、記者会見、五時まで三〇分。六時少々前に車でハウステンボスへ。六時半から八時まで日韓協力委員会との合同のレセプション。一〇〇人余りの参加だったと思う。ホテルヨーロッパで特級である。終って橋本、白石らが私の部屋に来て一しきりおしゃべりして九時半までいた。ヨーロッパ風の施設ばかり案内したので、韓国の知事らびっく

りしたに違いない。

6 月 2 日 (水) 強風雨後晴

梅雨入りとのこと。ハウステンボスは風が強く雨まじり。日韓シンポジウムがユトレヒト会議室で行われ、はじめの二〇分ばかりの出席で退去。帰途中西忍氏宅に立寄った。淡路に嫁いだ直子さんが長男出産で帰っていた。窯元近くに行って町長らも来てくれ会食。窯元では(利久窯) 楽焼の何枚かに筆をそめた。販売者の中西にとってはいい取引先らしい。たいへんお世話になったが五時すぎ帰福した。済生会病院に立寄って点滴をして帰宅した。六時半頃。留守中の来輸物など整理するのに時間がかかった。二夜の留守だったが。日韓知事会はいい成果をあげたと思う。みのは今後ぼつぼつ出ると思うが努力を要する。韓側の固定観念がかわることを期待する。

6 月 3 日 (木) 強風雨後晴

昨日と全く同じく不安定な天気。風のため、古い住家に被害が出たらしい。午後一時に出発し、登庁決裁がたくさんあった。環境保全公社の理事会があったが、新宮町に設立予定の産業廃棄物処理場が地権者との交渉で行詰っている件報告があった。一人だけ頑固に土地を手放さぬ、一年がかりだのとのこと。四時半福岡空港発 ANA で上京。東京も似た天気だとのこと。夕方は立派に晴れていた。明日は新幹線陳情と決起大会で一日が暮れる。採算見込と予算の点で容易ではないとの予想はつく。とくに長崎ルートが問題だ。しぶい。

6 月 4 日 (金) 曇

八時から赤坂プリンスホテルで新幹線長崎ルートの総決起大会(朝食後)、五時から新高輪プリンスホテルで新幹線鹿児島ルートの建設促進期成会総決起大会と二つの同様の大会に出席(あと夕食)。その間中食をはさんで、総務庁、運輸省、官房庁長官、自民三役など重なる対象もあったがどんどん陳情に走りまわった。今日から「見直し」が始まっている。鹿児島ルートは博多・八代間を具体化する要望もあり、大会も二千人規模で熱意にみちていた。かなりの動員だ。夜おそくなったが厚生省県人会(ふくおか会館)に出席。

6 月 5 日 (土) 晴

九時すぎの新幹線で下る。新大阪についたのが十二時すぎ。大阪事務所から迎えが来て新旧関西県人会長伊藤、江崎の両氏と伊藤氏の息子、大阪事務所長の五人でホテルインターナショナルで中食懇談。そのあと、伊藤父子と別れて江崎氏も加わってシンホニーホールを視察した。シンホニーホールとはいかなるものか、福岡の国際会館を念頭に特徴を説明もいただき、大阪事務所に帰り、進藤母子のお礼来所をうけた。TBS、MBS どちらかへの就職につき娘さんが江藤、伊藤両氏にお世話になったからという。五時半に姫路につく新幹線で、九

一夫妻が出迎えてくれ、塩田温泉知新荘へ。食事を共にし、九一も来てマージャンもした。
【「整備新幹線着工へ地元決起」（掲載紙不明、1993年6月5日）の切り抜き挿入】

6月6日（日）曇

八時に朝食。九一が迎えに来てくれた車で刀出晴久宅へ。十時から五〇年忌（五郎兄が十九年六月十五日ビアク島で戦死）佐方の章が五郎兄の写真額入りをもってきてくれて見栄えがあった。僧の読経が終ってから墓まいりをした。本家の和夫氏もきてくれてよかった。靖国積英秀と法名がかいてあるので彼もきちんと仏籍をもっていることを感じた。五〇年といえば、いよいよわれわれお別れということでもある。中食をみんなで楽しくすませた（三組夫婦、晴久夫婦、和夫氏の九人という簡約した法事なのだ）。休息雑談しばらくののち、九一、和代らの車で姫路駅午後四時二十八分発新幹線で帰福、八時頃帰宅。荷がおりた感じ。

6月7日（月）晴

ゆっくりした朝。十一時すぎ迎えの車が来てニューオータニで行われた日経新聞の会長社長の就任祝賀会に出席した。何のスピーチもない新しい祝賀の会といえるものであった。十二時すぎ登庁し、農政部長から福間町の農地売買問題の疑惑について説明をうけた。知事印不正利用という問題。松田初善秘書に大坪氏のいう知事選対応について私の代弁をしてくれるように頼んでおいた。二時すぎ帰宅。宿題の揮毫（是松氏、刀出橋など）について取組みの決心をした。夜八時すぎにすべて終わった。梅雨の中の晴という感じ、ぐっとむし暑くなる。右の鼻穴が少々痛む。何だろうか。

6月8日（火）曇・雨

何するとなく午前中は終り、十二時四十分発で点滴、その後登庁。十四時二十分から労働省の婦人労働誌「すくらんぶる」の取材をうけた。女性就業援助センター所長が問いかけるという形式で十分余りのインタビューだった。雨が本降りになった。決裁ののち上京、四時半のANA。東京はまだ雨の気配はない。明日は皇太子の結婚の儀なので、東京事務所の周辺は祝賀と警備が交り合った雰囲気。警備を厳にする必要があるのであろう。特別に休日となるが皇太子のパレード街並みは何万人と人出があり、店も休業になるとのこと。街並みのビルは閉ざされる。

6月9日（水）曇

予定より一時間前六時半に目があいた。七時半朝食、八時東條会館貸衣装に行き、九時皇居に出発のスケジュールだ。雨にならぬよう祈っていたのに本降りになった。賢所にゆくのバスと歩行のいずれも雨の中傘をさして。皇太子の結婚の儀は四分おくれたが十五分ほどの列席者八〇〇人余の見守る中予定どおり終わった。十一時すぎ東京事務所に戻りふくおか

会館で中食、一時五五分の ANA で帰福した。帰宅は四時すぎ。六時半まで筆を執る。今日の随行は所長と小串の二人。福岡は朝から晴れていた。四時五五分から赤坂東宮御所まで新婚二人のパレードがある。その頃東京の雨もあがると思う。

6 月 10 日 (木) 曇

晴れているようでやはりどんより曇。まず病院に行き注射、それと鼻の検診、レントゲン。終って登庁。レクなどあって十一時半から六月議会に向けての県政懇。今日は社会、公明、農政、そして最後の県民クラブは夕方から三光園で行われ、あと夕食をかねて同会派との懇談会。六時から八時すぎまで二時間余の懇談となった。こんどの議会は宿題は大きいのがたくさんあるが、質問のあれこれで躓きが予測されるものはなさそうだ。皇太子結婚記念のコインを福銀が世話してくれ入手できた。いい思い出になると思う。たまるばかりだが。

6 月 11 日 (金) 曇

不定期ながら定例の庁議記者会見。十一時から代表者会議、六月十八日招集と提案した。生活文化課からのレクで県文化賞制度を設け選定委もきまったが実際は来年二月授与の運びになる予測という。決裁をすませ、午後は県政懇。共産党、そして自民党はサンヒルズであるとは夕食会とした。忙しいらしく県議らは夕食の段になると少々抜けていく。新幹線や篠栗線電化複線化は多くの公費を要するので簡単に進むまいとの話題が出た。国費でなく地元負担をかなり入れた計画だから容易ではあるまい。福岡空港の代替を求める話は更に大きな困難を伴う。言うべくして難しい。

6 月 12 日 (土) 曇

中食後すぐ出発し、伊都文化会館でおこなわれている福教組第六回定期大会に出席し挨拶し、空港に引きかえして名古屋へ。国際ホテルまで名古屋県事務所長が送り届けてくれ、小休息ののち同ホテル地階の銀坐という店で安部県人会々長らと夕食懇談の時間をすごした。六時から九時まで話し合ってくつろいだ。愛知県には全国三〇余の県人会があるということでもあった。知多半島沖に計画中の国際空港のこと、福岡県の躍進ぶりが注目をあびていること、等々、話題はつきなかつた。小牧の岩本桂氏と電話連絡の結果このホテルで朝食をともにすることになった。名古屋の天候は晴、もう夏を思わせる。美しい市街。

6 月 13 日 (日) 小雨

八時半に小牧の岩本桂氏がホテルに訪ねて来て、共に朝食歓談した。戦後の苦しい時代の勉強を思い出す話が主流だった。十一時から三時間第 24 回中京福岡県人会が千種区の東山会館で行われた。百人をこえる出席者で賑わった。少し早目に退出して愛知芸術文化センターの視察に時間を費した。新しい施設だし様々の情報とサービスの工夫がこらされていて、福

岡で建設中の国際会館はとても届きそうにない立派さだった。コンサートホールも代表的だしスペースも十分とってあった。十六時十七分発の新幹線で東京へ。ふくおか会館で夕食をとって休む。今日は橋本氏が随行だ。小雨模様で終始した。

6月14日（月）曇・雨

八時から朝食会を伴う新幹線建設促進決起大会（キャピトル東急ホテル―鹿児島ルート、長崎ルート）。終って十時から自民幹部、自治、大蔵、総務庁に陳情（別班が運輸、鉄建公団などに陳情）。一時五五分羽田発 ANA で帰福。福岡は昨夜かなりの降雨があったらしい。待ちかまえていたように、明日の定例記者会見などのレクがつづいた。新幹線の新たな建設には資金的に無理という声がかきこえてくる。六時から博多弥生で約束のマージャン会があり、十一時頃まで遊んでしまった。疲れたというしかない一日であった。問研や協会からたのまれた原稿書きの宿題が気になる。少しおくれるが責を果たそうと思う。

6月15日（火）雨 曇

庁議から記者会見へ。レクのあと、三役の中食会。一時一〇分に駐日ペルー大使が、そして二時に江蘇省副省長ら一行が来訪されて応対。三時にはゴミ散乱防止対策協議会の委員委嘱状交付式があり、決裁ののち病院検診に行く。県評センターの山本氏が入院ということだったのでついでに見舞う。六時から山ノ上ホテルで連合福岡の会長らとの懇親会。県からは労働部長も出席、八時半まで歓談した。帰宅ののち、佐方の章の息子のことで田麿和夫氏、戸谷姫路市長に電話でお礼を述べた。グローリー工業就職世話の件。蒸し暑い日がつづいている。

6月16日（水）曇

十一時からサンヒルズで科学技術振興財団の理事会が約一時間。登庁して中食。一時二〇分から吉塚合同庁舎で解放同盟の、例年の対県交渉が開かれ挨拶と基本問題の答弁をして退出。二時からまたサンヒルズで筑豊都市鉄道開発会社の株主総会と取締役会が行われた。ここは社長という立場で議事次第をとりしきった。帰庁して決裁を何件か行った後、四時半の ANA で上京。皇太子結婚祝宴（明日ひる）に出席のためである。ふくおか会館にチェックインしたあと東條会館で所長たちと中華の夕食を共にした。東京は晴れだが、さすがに暑い。体力の衰えを感ずる。

【欄外記入】朝車で行くとき、問研に原稿を渡す。

6月17日（木）朝晴

八時に朝食をとり、ゆとりをもって東定会館で着替え十一時すぎ皇居に行った。しばらく待って皇太子結婚祝宴の儀第三日一回目に出席し、厳粛の中に五〇分ほどの間に祝宴は終

た。天皇皇太子など主な主催側はみんな来てあった。知事、事務次官クラスの来賓らしかった。県会議長らも、花村経団連相談役にもあった。乾盃の発声は横道知事だったが賀詞ははっきりしなかった。雅子妃がやつれてみえた。一時五五分の JAL で帰福。帰宅ののち小串、城戸、広末氏ら集まり、五人でごちそうを開き見ていただいた。

6 月 18 日 (金) 雨・曇

十時に北海道オホーツク沿岸漁連のホタテ貝キャンペーン隊が来訪。20 日父の日に先立って園芸連からバラ花束を贈呈してくれた。十一時から六月議会本会議はじまり、井手宗夫氏感謝状を渡す。一時半から吉塚合同庁舎で産炭地域振興協議会総会が開かれた。あとレクや決裁をへて四時すぎから点滴に行った。帰宅したのは六時頃であった。不用意に点滴後の血止めが悪くカッターシャツを血に染めたのが印象的だった。今日も大坪氏からの来翰が二通、あれこれ思いつめている様子がわかる。宮沢内閣不信任や衆院解散の声が大詰めになって日が暮れた。睡眠が不十分のため疲れの状況がつづいている。足許のふらつきも。(午後八時頃不信任案可決された。午後十時に議会解散の決定)

6 月 19 日 (土) 曇

一時から教育会館で高教組 51 回定期大会に臨み祝辞をのべる。十五分も費す演説になった。二時すぎ帰宅したら是松氏が来宅。彼に依頼していた軸の表装六本ができ上がったとして持参してくれた。家庭の床にかけるのに似合わず大きなのが二本あるが、どこか公的な衆会所かホテル和室用に寄贈するしかないだろう。連絡していて河野和正氏が来て、あとはマージャンになった。考えてみれば、みんな年老いたものだ、若さはかえってこない。是松氏は息子家族が改築した同じ棟に住み、適当に趣味を生かし、収入の心配もなく、平穏な楽しい毎日を送っているようだ。

6 月 20 日 (日) 曇

若木枝があまり伸びすぎるので思い切って朝から木鋏をもった。まずツツジ、そこら一ぱい枝切りの必要を感じず。一日ではできないが少しでも思って手を延ばす。吉村氏が昨年につづき、松の芯を摘みに来てくれた。一日では終らぬという。少し木の勢いが回復するのを待って又上部の芯を摘むということで途中で帰った。夕方、田川原田氏が孫の教員受験で頼むという。安田伊三男氏ら五人で来宅した。枝切り仕事をしたために、手がふるえて揮毫仕事ができなくなったのが残念だ。

6 月 21 日 (月) 曇

十時四〇分から上杉昌也氏の贈呈によるスターカップゴルフ大会を経ての社会福祉団体への寄贈式があった。つづいて叙位叙勲伝達式、午後は一時半から身障問題についての「対話

のつどい」が開かれた。あとは明日の行事関係のレクと決裁。五時すぎ検診に行き、ホテルリユースの喫茶室を使い、橋本、平の両氏と田川の県立大学の将来問題をどう取り上げるかについて雑談を交わした。帰宅は七時前。直美が父の日（昨日）に挨拶代わりにピーナツなど送って来てくれていたので食べ、後で電話で安否を話合った。

6月22日（火）雨

夕方までかなり雨が降った。午後一時から小倉のニュー田川で西瀬戸内総合開発促進会議の年次総会が開かれ、議長を務めた。朝から出発しここで中食を済ませていた。時間があって県商工事務所に立寄ったが、三時半から小倉ホテルで東九州自動車道建設促進期成会が開かれ、ここでも議長を務めた。この二つの会いずれも中央予算陳情の要望原案を審議するのが目的だが、後者には建設省からの来賓もあった。衆院解散のため代議士の出席なく、「前」をつけての祝電となっていた。六時に帰宅、余の時間は筆を執って遊びとした。

6月23日（水）小雨

ツユ空つづき、小雨止まず。普賢岳の火砕流が被害をもたらし、各地の山崩れもあり、日向神ダムの倒木流に警戒心が集っている。今日は代表質問の第一日。八時半から勉強会、十一時すぎから四時頃まで内田（自）、榊（社）、林（県民）の三人が質問に立った。みんなこだわりのない質問にきこえた。終ってから県議田中、陣矢の両氏に監査委引退に伴う感謝状の交付。六時からソラリアで中小企業家同友会の三〇周年祝賀会、挨拶祝辞をのべた。何だか頭にボケが来ているかに思えてならない。姫高史を新たに編集するから協力をという有志からの通知文が来ている。

6月24日（木）晴

気温は高くなく煙っているが晴れてすがすがしい。代表質問の二日目、重野正敏（農）、岩佐光徳（公）の二人。順調に進んで二時半に散会。三時十分から七月分「知事朝の挨拶」の録音。早く終り三時四〇分から学事課のレク。これは明日陳情がある県立大学の整備と地域振興の問題についてであった。大きな構想をもって当るべきであるとの意見を述べもした。あと決裁何件か、そして検診に行く。血圧が高い点、心配が残った。六時すぎ帰宅。まだ明るいので梯子を使って南側の植込みの枝切りをした。少々疲れた。

6月25日（金）小雨

今日一般質問四人、木野（社）、後藤元秀（農）、高山日出徳（県民）、藤崎（公）の面々。二時半すぎに終わった。三時四五分に西日本リビング社坂井氏が「思出の一枚」シリーズの取材に来てイギリス留学時代についてしばらく語った。四時半に田川市長添田町長ほか首長たちが来訪、県立大学の将来構想をふくめ陳情があった。私学局長がびっくりするような大

きな夢を私の口から解答したので、後始末が大変だろう。夜川端の玉家ずしで夕食の後、山村謙一氏紹介のアメリカ映画ジュラシック・パーク試写会に行った(七~九時)。恐竜の出てくるびっくりするほど恐怖に包まれた。

6月26日(土)曇

休務の日。宿題になっていた揮毫にとり組む。押印のところで失敗にはわれながら腹が立つ。印が横向きになる不注意である。時に外に出て伸びすぎている枝を切る。どんどん茂る。職人にまかせばとも思うが、小さな所は手なぐさみになるから楽しい。クチナシが咲き終わったら伸びる枝をつむこととの新聞記事を思い出す。時に晴、時に小雨で暮れた。夕刊には雲仙普賢岳の火砕流が国道を越えたとある。被災者ふえるばかり。どうしようもない自然の猛威がつづく。

6月27日(日)曇 小雨

筆の手なぐさみ。十時半に出発し小倉のノッポ新ホテルへ(リーガロイヤルホテル)。12時から北九州ルネッサンスライオンズクラブの認証状伝達式。これが一時二〇分までかかったが終って、つづくレセプションには欠席して帰宅した。午後四時から城戸さんが来てのマーチャン会になった。暗い部屋でむし暑かった。外は一時晴れていたのに、でものんびりした夕刻を楽しくすごすことになった。肩の調子がよくない。身体のあちこちが不調、誰に訴えるわけにもいかず自重しかない。

6月28日(月)雨、雷

かなり降った。山崩れの心配さえある。一般質問の二日目だが、先日の私の答弁のなかに「大騒ぎ」という部分があり、その取消し扱いについて各派各委員会のやりとりがあり副知事も仲に入り、議長発言により処理することが決まり、開会は午後一時五〇分になった。瀬川(共)、横溝(友)、井上澄和(自)の三人が一般質問に立ち、スムーズに議事は進んだ。検診点滴をうけたが血圧が少々高い。八〇と一六〇。六時から山ノ上ホテルで白石県議をまじえ、県立大学の将来について語り合った。大学側から荒牧、清水、豊田の各教授、県秘書側から橋本、平の二人。九時まで。

6月29日(火)雨

今日もかなりな雨だった。八時半に出発し、九時から勉強会。十一時一五分から一般質問、古川忠、藤田陽三(自民)の二人。二時前に終了した。決裁のあと、グラフふくおか取材の対談。医人・岳人の著書を前にして脇坂順一氏が相手。世界の有名な高山を一〇〇回以上のぼった外科医。八十歳になるという。四〇ぐらいの若さを保つその秘訣は毎日の自己鍛錬、腕立てふせは一八〇回できるという。根性・継続の人だ。五時から問研で月報読者の集い敏

談。諸岡、中西、島津、今吉、福留ら十人ほどの集いだった。誰しも世界・日本のゆくえに特別の意見をもっていないようだ。知事の息抜きというが、否。

6月30日（水）小雨

あちこちの幹部異動のひんぱんな時で午前中二件、元副知事永井さんと空自司令官の宮竹さん。午後英国大使館夫妻一行が来訪。英国は東京はもちろん関西にしか事務所をもたず福岡は名誉領事程度。今後交流を進めていこうという思いがある。夜はホテル日航に一行を招き当方十数人の要人で先方六人の客をもてなし歓談した。技術・資本の交流が主流の思い。近代化過程で石炭鉄の比重が重く、そこからの脱却に骨が折れるらしい。思えば狭軌レールや左側通行も英国の技士の残した遺産だといっている。明日はイギリスに進行している九州松下に見学に行くらしい。

7月予記

あつという間に七月は終わった。各分野の総会、中央の人事異動（富永副知事から斉藤氏へ）。曇天がつづき梅雨明けが一週間も伸びた。台風が七月には何度も上陸するのは記録的とのこと。十八日に総選挙。自民党が権力の座から降りることとなり、社会党の議席が70に激減、五五年体制の終焉といわれる。でも他の小党でどんな政治が行われるのか未知数のまま。景気低迷、水の心配はないが予算の見透しが見つからない。老化を日に日に感ずる。

7月1日（木）雨・曇

八時二〇分から天神で同和問題啓発強調月間の街頭活動。八時五五分から辞令交付式、そのあと地労委辞令交付式も。次は市民会館ホールで警察官永年勤続等の表彰式。九州通産局の転任あいさつもあった。十二時半からガーデンパレスで荒牧・大坪の二人と中食しながら当面する政治諸情勢を話題とした。総選挙に入って、自民党は大きく割れているのに、社会党は全くまとまりもなく、勝利に向かうどころかどこまで退歩するか知れない。県下もその影を蔵しているという。ゆううつな話で噴まんを晴らした形。

7月2日（金）小雨

一時半から点滴。血糖値、血圧が心配のからだである。三時から三役会議。議題は宮田工業団地に送水する事業の赤字をどうするかであった。明快な結論を出すまでに至らなかった。五時からアメリカ領事館へ。独立記念日をくり上げ実施だが雨模様で客は屋内を利用すべく指導された。乾盃のあと早退し、くいだおれに寄って牧坂氏に合い、姫高七〇年祭のビデオをいただいた。六時から三光園で富永副知事の送別の意味のマージャンを楽しんだ。山根室長と池田出納帳が相手。十一時すぎ帰宅。

7月3日(土)晴

久しぶりに晴。休みの時間を利用して裏庭の木の枝切りにはげむ。午後二時から青年会議所の四〇年大会に出席、電気ホール。数分間の問答の形式。梅の枝切りの時、梯子の操作を失敗して落ち右脚にすり傷ができ、元気を失ったが、切った枝が大きすぎたので小休の後、夕刻切った小枝の整理に努力した。他の時間は筆を執り自由がきに費した。夏の日ざしは強く切った枝の葉は早くしなんだ。山笠見物人が多かっただろう。

7月4日(日)雨

休務の一日。小粒ながら一日降り続いた。また水禍が生じたかも知れない。筆を執ったり眠ったりで特記の行動なし。六月十八日解散で今日が総選挙の公示、七月十八日投票。どの政党も政治改革をかかげ政権維持に執念をもやすが今回は新たに、さきがけ、日本新党、新生党など小分派も新設され、民社、社民連など分裂した新勢力はかなり国民の注目をひくかに見える。国民の注文は多いが、どの党派なら大丈夫との判断がむずかしいようだ。雨の中連呼の車が走っているのが聞える。連立政権になり、自民一党支配が崩れるとの見方が強く、財界が献金に迷っている。

7月5日(月)曇

島原が雲仙からの火砕流で両側面断たれ孤立の状態という。まずは食料に困る。朝から転任新任の挨拶があれこれあったがメインは県議会。十一時すぎから一時前までに全て終了、可決された。各派への挨拶などに時間をさき、記者会見レク決裁ののち六時から社会党連県連、県議連を中心して魚新で富永副知事の送別会があった。総務部長時代をふくめ前後七年県に勤務し、県政のために努力してくれた富永氏の功績を高くしての四〇人からの集りであった。総選挙の告示があり、話題の多くはそれ。

7月6日(火)曇

一日何とか降らずにすんだ。庁議・記者会見、八幡製鉄所長副所長の新任挨拶、辞令交付へとつづいて、あと杷木へ。泰泉閣に着いて中食会に臨み一時半から九州商工会連合会婦人部連絡協議会総会に臨席。九州各県から商工婦人部役員が集つての研究会でもあった。帰庁して四時から明日の町村長会との交渉に付レクがあった。国保、産廃など困難な問題が多いがとりわけ老人医療は緊急だ。話は一応終って検診、そして三光園で三役レベルでの富永副知事の送別会。あとがマージャンになり帰宅は十一時半にもなった。

7月7日(水)曇後雨

旧暦タナバタ。十一時から青年海外協力隊出発の表敬。一時半から町村会役員らの陳情。散髪。六時からグランドホテルで地労委新旧委員(今回は二九期に入る)の懇親会。片山、原

田ら、そして新たに市村、井上、川上、菊池、宮川の九大時代の面々も参加していた。弁護士黒田氏が会長になった由。昔の地労委の苦労とは違い近頃はまだしも楽だろう。このあと三光園で富永副知事の三役レベルの送別会。社会党の林団長も顔を出したが、選挙のことで頭が一ぱいのような感じ。宴のあと残ってマージャンになったが、十一時すぎまで遊んでしまった。富永氏は水資源公団に行くらしく、挨拶まわりも大変のようだ。

7月8日（木）晴

久しぶりの晴天だが真夏がきたようだ。辞令交付式や転退任の挨拶。午後二時から日本生命財団の助成金贈呈式、青少年の健全育成に貢献している団体一四が助成対象だった。三時に県職労から昼休み休憩十五分延長について陳情があった。四十五分では短いということ。昨年九月から週休二日制導入に伴い昼休み時間の短さが問題になったわけ。今すぐの解決は困難。決裁、点滴のあと、三光園で富永副知事、平良衛生部長、五十畑労働部長の送別会。中央人事異動がひんぱんに身边に起ってくる。九時に帰宅。右足のすり傷がなおらず困っている。

7月9日（金）晴

はじめ辞令交付、永井浩輔氏の労働福祉公社へ、新たに富永氏のあとに斉藤恒孝氏を副知事に。そして十一時から宝満川上流地域下水道促進協議会設立総会。一時半から交通安全対策会議、これは新年度の対策を決定する会議。三時すぎ、甘木の水の文化村の本館及びマスコットキャラクターの愛称選考結果報告。江川ダム周辺に設立される施設。第三セクターで運営する目途を立て、十一月オープン予定。四時から中洲の博多エクセルホテル東急で新京都福岡県人会々長の高岩淡氏の東映社長就任の祝賀会があり出席挨拶。みゆきは総選挙遊説つだい。

7月10日（土）晴

昨日につづいて晴、高温。休務。部屋の中でも三〇度をこえると汗ばむ。昨夜からの揮毫課題にとり組み中食までに仕上げる。半截三枚、色紙二枚だが、失敗が多くて、我ながら腹立たしくなる。南正覚文枝さんがキビナゴを氷詰めで送ってくれ、夕食によい味覚をたのしんだ。うちにいると犬の吠える声、マンションの子供のかん高い声、車の出入でのエンジンの音がうるさい。小鳥の声は愛らしい。総選挙の時期なので、候補者の車もたまに来る。マンションのタクシーからの呼び出しクラクションが一番いけない。

7月11日（日）晴

湿度高く気温も高し、室内で32度。揮毫課題があり、昨日夜の努力に合わせ、今日ひるすぎに終る。ほかにすることもなく又自在に筆を執る。夕方近く吉村氏が来て、仕残しの松の

芽摘みをしていると思ったが終って黙って帰ってしまっていた。夜も相かわらず筆を執る。何でも紙片に書きまくるだけ。退屈しのぎに室内を一寸模様がえしてみた。夜は大きな西瓜を切っただけ。足にバンドエイドを貼らなくていいようになった。一週間ぶりだ。筆とりも漢字ばかりなので、これからひらがなも思っている。涼しくならないと書齋が使いにくい。特に午後のひざしが強く。

7月12日(月) 晴 時に曇

十時半に迎えの車が来たが横になって眠っていた。こんなことはじめてだ。着服に十分あまりかかるのに。昨日用意していた和代あてソーメン贈り物リストを今朝の郵便で送った。登庁してから観光がかりの齋藤、城、それに秘書の橋本、小串が加わって七年予定の佐賀の焱の博覧会に対する県の対応につき意見を交わした。二時から商工会議所連合会の対県要望を受けた。ほとんどが既にどこかの要望に入っている項目である。六時から地労委の懇親会(ガーデンパレス)に出席、早目に引揚げた。今日もすごくむし暑い。

7月13日(火) 曇

まだ梅雨空。庁議、記者会見。一時半から農協婦人部協議会対象での対話のつどい。決裁、点滴で終わったが、今日は山笠等々で町は終日にぎわった。他方昨夜十時すぎ日本海の地震で北海道南西部の奥尻島の被害が刻々大きく報道された日であった。死者は二〇〇人をこえ、行方不明も多い。津波による島の間人施設が壊滅に近い惨害、四〇〇〇人規模の町が全滅なのだから。夜は帰宅後おそくまで「月報」の原稿書きでへとへとになった。日程がつまって弱った。地震の余波はシベリア、北鮮にもといわれる。大問題になるだろう。

7月14日(水) 大雨

昨夜は原稿の都合で就床が12時近くになったのに今朝は五時に覚め、もっとねるよう努力したがダメ。九時二〇分出発の途上、研究所に原稿を手渡した。朝からひるまでは豪雨。十時五〇分に県庁を出発して下関の四建へ。下関についてから河北空対局長らと「満珠」で中食後一時に四建局長に陳情。新北九州空港のこと。一五分ぐらいで退出再び県庁へ。雨もようやく小降りになった。大阪の高田氏らがモスクワの清田氏の帰国に関し便りをくれたので、国際課長の白石、一般としては大坪に何か講演会でもするよう電話しておいた。四時半の便で上京、林副知事らと七人で南龍で中華の夕食会。東京も小降り。

7月15日(木) 曇・晴

八時朝食。九時半全国知事会事務総長(砂子田氏)と面会。都道府県会館改築の件。十時半から各省庁に来年度予算について陳情。国土庁、文部省、文化庁、中食後運輸省、建設省、自治省の順。中食は神田のソバ。昨夜は十一時頃県の秘書室長から、共産党の私の名を使っ

た選挙ビラについて電話があり、又邪魔された。睡眠不足のうえに役所陳情まわりで疲れた一日だった。一八時二〇分 ANA で帰福の途へ。二日間の暑い夜だったが、福岡に帰ると二六度以下の涼しい夕べであった。疲れた上、ひどい便秘に悩まされた。藤江君から桃を送ってくれていて、おいしくいただいた。涼しい夜眠れるだろう。

7月16日（金）曇 雨

九時に登庁して副知事、室長の共産党公報に関する不平をきいた。十一時から辞令交付、十一時半から農業会議委員への感謝状贈呈。一時半から PHP の取材（住友生命支店長）に応ずる。あとは決裁ありレクありだが、いろんな所用が済んだ。新しい旅券も受取った。五時頃点滴に行ったが、団長（林）も異変があつて検診室に来ており、あとで共産党の件は山内が勝手にしたという話で片付いたとの話を私との間で交わした。自民党などが後で疑念を出さないように党が勝手にした事で了解がついたというのである。帰宅後伊三男氏が来宅、大庭由美子教員試験の件。

7月17日（土）雨

実質は休日なのだが公務でない事を二件消化した。午後一時半からのローフレンズ第十五回定期総会。これは辻本氏が力を入れている。出席して会長としての挨拶。終って中央区役所での不在者投票をすませた。あとは揮毫ばかりで一日が終った。条幅三枚と色紙二十六枚。風強い中夕立があつたり、豪雨やら小雨やらで一日中荒れていた。雷も鳴った。そろそろ梅雨はおわるだろう。北海道の地震被害がだんだん大きく報道されている。死者は三〇〇人を数えそう。地震、津波は恐いことを改めて知る。選挙運動も今日が最終、雨にたたられて消化不良の運動になった所も多かろう。暑い暑い。

7月18日（日）曇

しつこく降った翌、今日はどんより曇った一日。総選挙の投票日、人々の行動は鈍そうに予感される。別段することもない。昨日の作品に押印、あとは先日着いた姫高時代の柳原彊氏の句集を開いて短冊に書き進めたりして楽しんだ時間とした。二時半頃斎藤新副知事夫妻が来宅挨拶。あいさつまわりも大変だと同情した。一寸外に出てみたが、蜘蛛の巣だらけ、雑草ぼうぼう、蔓も伸び放題、蚊がすかさず襲ってくる。雷もあつたことだし、これで梅雨はあがるだろうと期待する。選挙結果は夜中十一時には全国的に判明するといわれる。

7月19日（月）晴

うってかわって快晴、緑が生き生き光る。休務なので雑草取りに力を入れたが、すぐ疲れる。ツタが伸び上りすぎている。選挙の結果は自民（⊕一）、社会（⊖六四）、新生（⊕一九）、公明（⊕六）、共産（⊖一）、等々。日本新党 35、さきがけ 13、新生 55 など新しい勢力が

社会党の票をかつさらって叢生した。社会党は 70 でほぼ半減、自民は新生が割れて過半数に達しなかったので内閣構成、政局方向、次年度予算、経済運営などこんとんとしてきた。これら諸問題についての見通しをいえる人はない。付き離れに時間がかかり政局の行方は混沌、すぐ又総選挙が必要となる。

7 月 20 日 (火) 晴

総選挙の質問があるうとのことで二〇分早く出発。庁議につづき記者会見があったが、これはかんたんに終わった。十時半から「ふくおか経済」取材の「思い出の一枚」(ヨーロッパ旅行)についての取材に応じた。ひる前江蘇省派遣教師の訪問あり、省長あての手紙も渡した。午後は今後の日程についてのレクがつづき、最後は北九州へ。千草ホテルでの食事こんだん会。明日の九州地方開発推進協議会総会北九市長招宴であった。帰宅は九時すぎ。両政令市のトップ及び各県トップ、大分、宮崎、熊本からは知事出席あと副知事、副議長らであった。

7 月 21 日 (水) 曇一時晴

九時五〇分エネルギー石炭部長市川氏の新任来訪。十一時から国際交流センターの留学生奨学資金交付式があった。住宅方面などもっと力を注ぐべきだ。一時半から老人クラブ連合会役員たちと「対話のつどい」を行い、無限の問題が提起された。あと済生会に林団長を見舞に行ったが過労のためこの数ヶ月よく彼は仕事中倒れる例がある。教訓にもなる。四時から部落解放共闘県民会議の結成総会。同盟と連合福岡が県評時代を引きついで共闘しようという集会である。挨拶のあと帰って点滴、帰宅は六時ごろ。又又疲れた一日で何もせず寝た。

7 月 22 日 (木) 晴

佐世保ハウステンボスで全国知事会議。九時半に出発十一時半到着受付。ユトレヒト館内中の茶屋で中食。知事会議はユトレヒトプラザで行われる。昨日から分科会で行われた事が中心。報告、政府要望としてまとめられた。北海道沖、及び普賢岳災害については特別要望となった。又、今日問題になっている地方分権論については特別に知事会としてもまとめた意見を用意すべきだとの声が出た。各府県からイベント報告 PR 要請発言があった。六時半から七時半までクルーギーによる海上夕食懇談会。他の時間は付近を見物買物をした。旅行はやはり疲れるので早目に寝ることにした。八時半からレーザー光線、花火もみたので。

7 月 23 日 (金) 晴

ルームサービスの朝食。八時半から県関係の職員ばかりでこのハウステンボスのインフラとくに水と下水、電力に関する設備を見学した。多くの者が気づかないこれらインフラが、どのような気配りで運転されているのかだが、まずは周到な配慮と思った。大量の投資を要

するだろう。スーパーゲンブルグの「天狗」で天ぷら中食、その後買物などして二時ホテル発福岡へ。一たん帰宅小休の後検診、ガーデンパレスでの赤嶺利文氏勲五等叙勲祝賀会、三光園での斎藤副知事三役歓迎会（七時～九時）に帰^つら^た。九時半帰宅。何もしないで就床。

7月24日（土）晴後曇

二日連休みたいな日程の中で今日は午後四時に出発して十時まで戸畑の祇園提灯大山笠につき合うことになった。市民会館前の公園が主会場。洋服を脱いでシメコミ姿で出ていった。藤田茂令県議が会長で取りしきっている。四〇周年記念というので沖縄の龍踊りも特別参加。これは中国風の影響をもっている。これ又勇壮。四〇周年の表彰式もそえられた。中学生の山笠がよかったと思うが、途中で帰ってきた。台風四号は上陸しないで幸い風もあり冷^ましかった。天気が幸いしたので大行事も進行した。

7月25日（日）曇 小雨

藤蔓がぐんぐん伸びるので摘み取ったら、それだけで疲れる。体力が衰えている証拠。余った時間は自分の好む習字練習に使うのだが、今日は是松氏と連絡したら近藤栄次郎氏が伴って午後早目からマージャン会になってしまった。そんなに暑くなかったが台風の影響か小雨が降り比較的^ま淋しかった。まだ梅雨明け宣伝が聞かれない、夏休みになったので土、日は子供らが予定を組んで出廻る最高の時期だったようだ。子供達のはしゃぎは平和にきこえて我が心もはずむ。

7月26日（月）曇

十一時から厚生大臣感謝状の伝達式。十一時半からアジア太平洋こども会議代表一〇人の表敬をうけミヤゲをとどけた。みんな十一歳。午後二時半から玄海の家で緑の少年団との「対話のつどい」に出席。六時からガーデンパレスで、二世紀の会の主催で私の知事就任十周年祝賀会が開かれた。小柳勇氏が代表、具島先生のほか社会党、労働組合、九大教養部時代の友人、県職員の現役やOBなど、約三〇〇人が集ってくれた。私も謝辞表明に立ったが、珍しい集りでほとんど知った人、助けてくれた人の顔顔が並んで、うれしいやらおもしろいやらの夕べであった。大濠の平和楼で夕食をすませ十時頃帰宅となる。

【欄外記入】アトラクション、八幡陣太鼓

7月27日（火）曇

九時から庁議、記者会見、ライオンズクラブガバナーの表敬、死亡者叙勲伝達式とつづいたあと玄海少年自然の家に出発。途中立ち寄って中食をすませる。一時半から「ひびき」国民宿舎で企画監を主体とした政策研究会議。これは夏の勉強会だ。福岡一極集中と今後の福岡はいかにあるべきかが主題とされ、これで午後と明日の一ぱいが充てられている。非公式自

由発言、企画調整課がコーディネーターになったが、21 人の参加で活発な意見開陳が行われた。私は田川の県立大学の二〇〇〇人学生体制による人間学研究にふれた。

7月28日(水)曇

政策研究会の第二日目。甲論乙駁にみえたが、考えることはみんないっしょだといえる。中央の情勢も激動してきている。福岡県の九州、国内代表としての対アジアの位置、経済状況も激変をしてきているので、私は長期計画「二一世紀へのプラン」を見直していい段階に来ているとみるべきではないかと発言した。企画監レベルでは集って討論するチャンスはあるようで、このプラン見直しは議論の対象となるだろう。今はやりの地方分権論も論じられたが、まとまりは未熟であった。市町村、広域、県、中央のつながりや財源配分問題は何ともいえぬ。

7月29日(木)曇一時雨

午前中三日目の政策研究会。今日は新たに主査クラスの若い職員十一人が討論に集った。九時半から十二時まで。中食後帰庁。毎日新聞記者が県とゼネコン関係、指名入札制につき、追及の面接(茨城県知事関係)。あと水、交通、商工、空港、高校教育答申につき、次々と関連のレクがあり、決裁を一〇件程度すませ、点滴をして帰宅となる。三日分の郵便がたまっており一々開いてみる。台風六号が九州に上陸、北に向っていて、午後強い雨がいった。明日早朝福岡が危いようだ。七月に三つも台風が来る、なんでこんな新記録なのか。梅雨明けて晴がない。

7月30日(金)曇

昨夜のうちに台風は少し爪跡を残して過ぎさった。九時にうちを出たが交通渋滞で登庁が少々おそくなった。労働部長帰任の辞令交付のあと、飯塚へ。ソフトウェアセンタ(株)の社屋竣工式に出席。帰庁して、九州一周学生献血キャラバン隊の表敬をうけ、あと韓国総領事の来訪で大田エキスポの宣伝についての委嘱状を受領した。決裁ののち、ソラリアに行き、航空シンポジウム(航空政策研究会主催)関連要人の懇親夕餐会に出席。(山本雄二郎事務局長ほか運輸省航空局長平野氏ら約三〇人の会食)知事挨拶を行い二時間懇談、帰宅は八時になった。嵐のあとに日延べした大濠花火大会。

7月31日(土)曇

十時から久留米市中央公民館で東瀬原引堤工事竣工式が行われた。昭和41年から着工二七年目という。48 災からかぞえると四〇年目ということになる。四八災を体験した人はもう少くなっている。九大第二分校横の小森野橋が流れ、小舟で渡していたが、学生一人死亡という事件を思い出す。引堤によって大增水に耐えうる筑後川になったといえる。松原・下笠

ダムは早くから防災の役割をはたしているのだ。帰福して点滴をうけ、ソマリアンで中食して帰宅、二時頃。あとはゆったりとした土曜。中元挨拶に対する礼状を六枚綴る。まだ必要はあるが追付かない。

8月予記【記載なし】

8月1日（日）曇一時晴

休務で在宅。セミが命をかけて鳴いている。子供達が多方面に夏休み利用をしているのが目立っている。わが家の門前にはサルスベリが快い色を誇っている。そのような夏に接することなくまた筆墨の一日となった。色紙と条幅、なかなか思うようにいかないのは注意力の不足と材料選択の粗である。室内でも汗が出るむし暑さ、二八度ぐらいなのに湿度が高いのだ。遊びほうけていた子供の時の夏休みは暑さは気にならなかったのに。老化が進んだためだろう。身辺整理が気になる。

8月2日（月）小雨

止むことなく降りつづいた。朝刊にも夕刊にも鹿児島、宮崎の土砂崩れ被害があり報道のトップを占めた。十時から収用委員、教育委員、労働部長の辞令交付式、レクがあって一時半から福岡ドームでの「アジア太平洋子ども会議」の儀式アトラクションがあり祝辞をのべ帰庁して決裁。直ちに三時からのサンヒルズでの地域交通体系整備促進協総会に出席。議長として対政府、交通事業者への来年度要望書を取りまとめた。田川、大野城、太宰府から要望が出た。検診して帰宅五時。学徒動員五〇周年の事業カンパの通知が出されていて感動した。

8月3日（火）曇一時晴

夏の高校甲子園大会出場の東福岡高校チームが校長とともに出発の挨拶に来訪した。十一時から連合福岡の政策制度要求来県に対応した。恒例の要求行動である。十二時関西県人会長江崎氏が来室挨拶。一時半から「つくし荘」で県職労ユニオン塾が開かれていて知事講話四〇分、思いつくままに知情意など織込んで話をした。「ふるさと対話」（城島）につき広報課のレク、そのあと決裁。今日から県美術館で「青い目の人形大使」展が始まる。十五日まで。七時頃帰宅すると伊三男夫妻が来ていてスシを食べながら雑談の一時を過ごす。

8月4日（水）曇後晴

九時から岩田屋のところで節水キャンペーン。今年の今、水は余っているのに、水の週間だから、予定より三日をおくらせて敢行した。十時半日赤功労者表彰、十一時叙位叙勲伝達式。早目に中食、十二時四〇分県美術館で行われている「青い目の人形大使」展視察。その足で

一時半から福銀大ホールで行われる「異なる文化の理解と共生を旨としての」国際シンポジウムに出て挨拶。青い目の人形を題材としての講演とパネルディスカッションである。県と国際センターの主催。六六年前（昭和二年）の人形大使の意味が大きな指針を与える。歌もよみがえる。一旦帰庁、四時半から検診、帰宅。

8月5日（木）曇

梅雨明け宣言取消しかと新聞に出ているのでびっくりした。全く天候不順。九時半から県少年の船出航式、港にゆく。十時すぎ散髪、大野城の研修所に行って中食、一時半から一時間の知事講話を果たす。たまっていた資料も使い十年をふりかえる話の内容。課長クラスが対象。帰庁し国会の成りゆきに注目しつつ時間をすごす。富山大学の桂木氏が環日本海のテーマで来福、三〇分余歓談した。国会はこの初日、野党となった自民党の抵抗で今日は遂に開会されず議長首相その他国会ポストの決定がなされないまま時間が過ぎた。七時まで在庁して記者対応を待ったが動かぬ国会のため帰宅。テレビで自民の対決の一部を知った。

8月6日（金）曇

議会の結論が自民の追求で長びいているが、マスコミが私を追っている。出発して直に城島町にとんで、下田渡、河川敷、大橋の工事進行状況と酒の製造工場を見学。料亭に案内されて中食後、公民館で「ふるさと対話」に臨んだ。町づくりにちなんで農業や中小商業のあり方、川原の利用について補助金要望がなされたが、割とスムーズに進んだ。帰宅の時も高速の入口が渋滞し五時半からの「かわさき」の夕食会には遅参した。近藤、永田、家永ら元秘書室長三人らとの非公式な夕食会であった。あとでマージャンとなり帰宅は十一時半。首班と議長は決まったようだ。

8月7日（土）曇一時雨

鹿児島市で洪水の大被害がでている報道何度目か。しつこい雨。昨夜非自民派により国会で細川首班、土井議長が選出され自民の三八年支配に一つの区切りがみえた状況は今後なお流動をかさねるに違いない。新時代が来たといえる。朝から色紙書きに追われた。今後月末まで不自由な身がつづきそうで揮毫の宿題も後にまわすわけにはいかない。午後四時半出発してオイスカに祝辞（ニューオータニでの祝賀会）をのべに行く。あと夕食会、春駒、カラオケ。

8月8日（日）雨

八時半発、九時に空港に集合。十時発大韓航空でソウルへ。駅から列車セマウル号で大田へ（金浦着十一時二〇分、一時間半で二時半大田到着）。沿道のムクゲの花の大輪が美しかった。テジョンエキスポの会場の大きさ、近代的諸展示におどろかされた。とくに見物したパ

ビリオンは政府館と日本館。エキスポ組織委員会も表敬訪問した（本部といえる施設）。六時半頃近くの教員大学慎総長の招きで夕食会が開かれ短い時間だった。七時半ソウル行き
のセマウル号で、ソウル、ホテルロッテに直行。三二七七号室（新館）。特記すべきは終始
大雨だったこと。藤本企画次長らは日本館に行けず濡れっぱなし。就寝は夜半十二時少し
前。疲れた。

8月9日（月）曇 時に雨

ソウル中央官庁歴訪。保健社会部、建設部、農水部がその対象。お礼やら雑談やいろいろ
対話した。それぞれ次官が対応してくれた。三時頃から水原の民俗村にゆく。六時頃帰館（昨
日のホテル）。びしょり汗をかいたのですぐシャワーを浴び、同じホテル内の「弁慶」で
夕食会。県からの同行者が中心だった。昨日同様しっかり運動して疲れた。私らが政府各部
を訪問し、次官が対応してくれた裏話が出た。地方の者がなぜ隣国の中央長官らに会うのか
疑問だったが、そういう珍しい時代になっていることも事実。九時すぎ別の会場、地階のバ
ーに移り、博多会の人達と十一時前まで雑談にふけた。

【欄外記入】細川新内閣の発足日

8月10日（火）曇

台風七号の接近で情報に注意したが、まずは荒れずじまい。韓国JC幹部たちと朝食、あと
空港に向う。予定の日航は欠航で臨時便が五〇分おくれでこれに代った。帰福は二時、直ち
に検診のため二泊の入院生活に入る。細川内閣の認承式、発足が新聞の一面を飾っていた。
反自民三八年目ということだ。昨夕刊のこれに対し知事コメント、アンケートがマスコミ側
から求められるので橋本氏が早速に病室に来た。新内閣に期待するものは当然に政治改革
だが、心配なのは結束力である。病院での一番の検査は胸部腹部のレントゲン、特別に指摘
すべき異常はないと病院長所見。

8月11日（水）晴・曇

病室からは久しぶりに陽光が感じられた。今日はたくさん人間ドックを消化した。エコー
一、心電図、CT、胃透視鏡、眼底検査など。午後には皮膚検診もあった。心電図のとき段
箱上下運動に足がもつれたのには驚いた。午後秘書室からの連絡で柳川の海洋研究所職員
の潜水作業中の事故死が伝わってきて心配事が一つふえた。新聞は細川内閣を疑問視した
ようにどんどん書いている。昨日までの疲れがやっと戻ったようだ。日程の詰めが伝わっ
てきたが、休みらしい暇はとれそうにない。病状は依然血糖値高く、皮膚の痒斑が進んでい
ることになる。白内障も進んでいる。

8月12日(木)晴

すべてが終り、十一時に退院、帰宅した。糖尿病が依然心配。うちに帰ってみると台風による鉢物被害、落葉のちらかりが目をおおうばかり。少しは元に復させたというが、まだまだ残っている復元の仕事をし汗をかいた。落葉などはしばらく放置しておいた方がよい。仕事せずいぶん蚊の襲撃をうけた。藤のほか蔓草が伸び放題。暑さと蚊のため、仕事の意欲がそがれる。夏はそうしたものと思えば汚れは気にならない。京都の安田氏に敬老の日に関し電話した。

8月13日(金)曇

どんより曇った一日。八時出発で夕方五時すぎ帰。初盆まいり。まず田川へ。原田鹿三、次は助信ミユキ。十一時に初盆ではないが高宮義諦(西台良)弔問。十二時から一昨日潜水殉職の渡辺裕介葬儀に出席。めかり山荘で中食後小田弘治氏(門司)。一直線で帰福、久山の関和虎、地行の塩屋義之氏、寺塚の進藤一馬(前福岡市長)、最後に中川正輔氏(樋井川)。これらは関西と違って初盆を大きな家族行事としている。親族一統が今日霊前に集りていねいにとむらいをする。

8月14日(土)曇・小雨

まだ一日中曇が覆い日射がない。一日休務。何もせずに過ごす事も必要だと考えつつ、やはり机辺から離れられない。韓国慎三範に約束していた扁額は早目と思い、これに当たった。他に一幅、それから短冊型の用紙に他の時間を全部注入した。仕事と思えない遊びである。句集誌をくっていると季節感が出てうまく表現しているのが多く感心するばかり。何故か近頃は読書欲がなくなっている。若さの足りないせいかも知れない。野菜が高騰していると伝えられている。

8月15日(日)曇・小雨

正午に黙禱、全国各地で一せいに。県では例年同様大濠武道館で県主催の戦没者慰霊追悼式がおこなわれた。三〇〇人ほどの招待者の集いであった。新聞など報道機関は一せいに戦争終了四八年目にちなんだ題目をとらえ、報道していた。ただ、どうも新しい時代に来たという点の指摘が目につく。政権もかわったので、平和に今後どう貢献するのか(即戦争)論理を弄ぶようになっている。平和の名のもとに、戦争で貢献するとの声が出はじめている。

8月16日(月)曇・雨

休務で在宅。外に出ようにも、びっしょり濡れている。蚊もおろう。小雨も時に降る。ひる前から上田、河野兩人に来てもらって久しぶりのマージャン会になった。国会動き、甲子園野球の結果について知りたいとの希望も、自分の遊びへの熱中で果たせなかった。六時すぎ

遊びを終えて我にかえったが、みな年をとりすぎていることを実感した。体を休めることが先決と思って書いていた筆も洗って早目に休むことにした。いやというほど降っている。

8月17日（火）雨・曇

午後一時に出発し、一時半からレクが五件つづいた。企画、消防防災、職員、広報、農政の各課である。明日の陳情は中央の情勢が前と違うので大変な用意が必要。佐賀県職員との交流の話が実行案までできている。小郡でフラワーパークの構想が形を整えてきた等々の問題である。県職員が自から労働時間短縮の努力をして定時退庁を実践すべきであるとのことを奨めねばならぬ。来月の「知事あいさつ」についても出来上がった原稿の点検があった。六時帰宅。

8月18日（水）曇

ひる前に病院で点滴をうけ、空港へ。十一時四五分発の JAL で上京。中食は機内食で足りた。ふくおか会館で小休憩したあと、国会議員で県関係の人に挨拶まわり。五時頃まで衆参両院の議員を訪ねた。県選出者のほかにも宇野、島崎、伊藤（茂）諸氏の部屋も訪れた。衆院議長の土井たか子氏の部屋にも行った。島崎伊藤の両氏には会うことができた。ふくおか会館で夕食会をし、七時半に宿泊部屋に帰投した。汗まみれになったので早速シャワーした。

8月19日（木）東京曇 福岡雨

ふくおか会館七時四〇分発、キャピトル東急での朝食会につづく「九州はひとつ」開発推進大会に臨んだ。これは九経連と九州地方知事会共同で来年度政府予算陳情をする会で関係国会議員も多く参会してくれた。大会が終って大蔵、運輸、文部の各省など陳情活動、細川新首相にも官邸であることができた。十二時すぎの JAL で帰庁。決裁など済ませ、四時からの全国優良消防職員表彰式、つづくレセプション（ホテル日航）に出席、来賓祝辞を述べた。レセプションは早目に退席して帰宅した、六時ごろ。雨が降りつづき何だか無気味ですらある。

8月20日（金）曇晴

八時半に出発、九時から第22回全国消防救助技術大会開会式に出席。あと近くの福岡市博物館で開かれている倭国展（邪馬台国と大和王朝）を一覧し、高宮別館で中食、つづいて「対話のつどい」を商工会連合会の婦人部を対象に行った。五時には到着すべく対談後の検診も大急ぎですませた。五時に嬉野大正屋に着き、まずは佐賀福岡の両県職員の意見交換の結果をきく会に出席した。佐賀からは知事、副知事、出納帳も出席した。六時から両県出席者約二五名による懇親会が行われた。珍しい企画だったため、みんなよろこんでくれた。

8 月 21 日 (土) 晴

七時半朝食。佐賀県に一部豪雨禍があったので井本佐賀県知事は急ぎこの大正屋を出発した。私達も同様に早目だが野芥経由で帰福。まずは帰宅、十時半頃だった。少しゆっくりできる時間があったので色紙のたのまれ分を整理した。三時すぎから雷を伴う豪雨があり、せっかくの久しぶりの晴日もこれで吹きとばされ、これで又湿度の高い気象に戻った。午後六時から堀川県警本部長の送別会を和田伴で行った。県側は三役と室長が揃った。八時すぎまで和気と和気。

8 月 22 日 (日) 晴

久しぶりの晴れである。休務だったので、何もしないようにと思いながら午睡も入れ、横になる時間をかなり取った。しかし条幅二枚と短冊型句書きにもかなり時間を費した。気温は照る割には低くすでに秋めいていることに気がついた。夜、是松氏が来て武漢の李梅芳さんからもらった揮毫の掛軸に仕上げたものを持って来てくれた。型が大きいので拙宅には掛ける場所がない。夜には外でこおろぎが盛んに鳴いている。どうしてか体調がおもわしくない。

8 月 23 日 (月)

鮮かに晴れ渡った。一〇時半から弁護士会から法律救助に関する要請をうけ、次いで交通安全キャラバン隊の表敬をうけ総務庁のメッセージを受けとった。更に二時から北海道地震、鹿児島水害への災害見舞金伝達式。日赤一亀岡氏からも入っていて、これを一括して日赤福岡支部長として日本支部にいただくことになっている。決裁が何件もつづいた後四時から東急ホテルで第一回福岡県文化賞選考委員とその懇親会があった。文化賞選考会の運営は困難な問題をはらむ。

8 月 24 日 (火) 晴

九時半に出発。十時から九月議会の補正予算の説明あり、保留を除き総務部長発表までにこぎつけた。三時に中国青年代表 8 人の表敬をうける。八月末に九州青年の船で共に船便で帰国する数日間、福岡佐賀を視察する人々。決裁を消化し、四時から山ノ上ホテルでの与党懇がありあとで夕食会。心配がでてきたのは今日までの長雨禍、台風禍に予算が対応するひまがなかったということである。どう対応すべきかが未だ十分に把握できてないからである。フラワーパーク構想も問題。

8 月 25 日 (水) 晴

十時半からニューオータニで都市高速道整備促進期成会通常総会があり会長、議長をつとめる。あと中食をとり登庁。一時半から九月分の朝の知事挨拶の録音。二時半からグラフふ

くおか十月号の「知事と語る」対談（中村哲医師）を行い、収録される。パキスタンでボランティア衛生活動をつづけている人でライ病対策に打ちこんでおられる。三時四五分から農政連要請に対応（特別会議室）。冷夏、多雨、鳥獣被害対策が要請内容であった。検診のあと三光園で私達夫妻、秘書室五人（広末氏を含む）夕食会となる。

8月26日（木）晴

八時半発、九時から来る九月議会提出の補正予算の知事査定。延々つづくので途中で打切り大牟田へ。市文化会館で行われている社会党自治体議員団九州ブロック会議政策研究会に出席して挨拶ののち引返し、決裁をしてあと予算査定を消化した。六時前に駅うらのクリオコートに来福の姫路の広田正義夫妻とホテル内の食堂で夕食懇談の時間をとる。小串氏もつき合ってくれて四人の夕食会。広田夫妻は姫路の古陶会の九州旅行グループのメンバーとしての来福という。七時半すぎまで四人で歓談できた。

8月27日（金）曇後晴

九時に検診、九時半から九月補正予算案の各部への申渡し、あと決裁。さらに明日からの「青年の船」を前にしてのレク。一時から全国剣道大会優勝者尾塚幸治君の表敬をうけた。一休みして三時すぎ県庁を出発、今津の水産海洋技術センターさらに西の浦の加工場の視察に行く。水産試験場が改組統一され、新たな方向で再出発する様子が見られたし、西の浦では「めんたいこ」の一次加工の現場をみる事ができた。カワハギの加工現場も見た。漁協に立寄り激励の気持をこめて生魚を前に杯を傾け、しばらく歓談した。漁業の将来も工夫すれば決して暗いものではないと思った。七時前に帰宅できた。

8月28日（土）晴

昨夜につづき朝から旅支度。一週間もとなると心が大げさになる。四時門司港岸壁の新さくら丸に到着。九州青年の船団員他県からも二時半までに到着。明日出港の予定。中国徐大使らと中食会、小倉のリーガロイヤルホテルで。出港大会は船の役員ら樺島副団長ら副団長、杉山事務局長、斎藤新さくら丸船長、松村進日本旅行開発社長、近藤隆治（東京福原フィルム）専務その他、小串随員も。門司小倉間は公用車で、中国徐大使ら参加の出航式は六時半から八時すぎまで。九時一〇分には乗船就寝準備。これから八月三十一日まで秦皇島向けの船旅だ。安全を祈る。出港式ははでやかだったと思う。リーガロイヤルへのサービスか。

8月29日（日）晴

静かな海をすべり出したら船内生活一色になる。七時に朝のつどい、朝食、十時半から出航式。式は団旗渡しや今回は特に中国青年訪日団が共に旅するのでその挨拶、船の役員紹介など下船した広場で行われた。オイグルコンを忘れてきたので日曜という悪条件下小串氏に

市内病院に手配、届けてもらい助かった。出航式には中国大使からの挨拶ももらった。大勢の見送り、OB の激励、感動の中十一時半出港、船は静かに進む。七時半夕のつどいのあと、副団長らと八時～九時打上げパーティを開く。月は昇るし陽は沈むという大洋ならではの風光は忘れ難い。船旅のよさを味う。

8 月 30 日 (月) 晴

船中二日目。日課どおり七時朝のつどい、七時半朝食。九時から団長講話になり一時間、私と因縁というテーマで講話した。中食はデッキでの自由食、あと操舵室を見学。私には自由時間があつたので仮眠した。船内視察。「海は広いな大きな」の童謡がうかぶ。夕のつどいのあと七時から団長招宴という形で中国青年八人を加えサロンで夕食会 (二二人)。明日は下船となるのでその準備も。入国手続きは一切旅行会社がやってくれるから、それにまかせる。朝夕のつどいでは副団長が短時間講話する。操舵室も進んだ情報化時代に応じたものとなっている。

8 月 31 日 (火) 朝

朝のつどい、朝食、船長講話、とつづき中食後二時までに下船した (秦皇島)。現地時間は日本より一時間おくれ。船長は奥尻島地震についての話だった。現地のブラスバンドの盛大な出迎もあった。団長の車、通訳の用意あり。劉副市長、白雪通訳。ベントで鳩巢公園、老虎石 (海浜浴場) など見学、四時四〇分北戴河の金山賓館に着いたが保養地を見るのに汗ぶるぶる。夕食は西餐厅で陳来立市長劉副市長らの歓迎夕食会、五時から七時半まで。秦皇島は始皇帝ゆかり地とされ、近くに山海関万里長城の始点がある。大きな港をもつ近代開発地区。人口二五〇万人もあるのは驚き。

9 月予記

秦皇島での気功の見聞、半信半疑というのが事実。中国では公認の存在らしいが、誤った公認ともいえない。人間が自然科学だけで割り切れるようになってない今日、「気」というものに考えが向くのはむしろ当然といえる。九州青年の船で秦皇島に行きはじめて「気」について注目させられた思いであった。病は気からという言葉が思い出される。しかし、足腰が弱くなつては実際上ダメと気付いて近頃は足を使うことに特に注意するようにもなった。エルゴサイザーをどんどんこいでみる。

9 月 1 日 (水) 晴

朝風呂、朝食七時二〇分、出発。八時半、山海関 (老龍頭・天下第一関) 長城の起点である。史跡の意味がよくわからない。秦皇島に帰り天開大厦で中食、二時に出発して気功関係療養所、北戴河中外医学気功研究会 (シンポジウム) (於気功教育センター) を一寸のぞいてみ

る。団員は一〇班に分れてそれぞれ現地見学している。五時から金山賓館でわれわれグループの答礼宴。九時に新さくら丸に帰船、ここが泊所。団員は青年間の立食会や浜でのキャンプファイアーの夜食だった。樺島氏がいうように、わが班の気功は半分信じたいが、あと半分は「半疑」である。〔団長には特別車がつけてあるし、宿所も一室〕

9月2日（木）晴

秦皇島市内見物のあと、午後は一時十分発で北京五時四八分着。これが主たる日程。五時半に起床、荷物まとめ、九時半下船。市内参観は秦皇求仙人入海所がメイン。徐福が思い出される。中食は早目に天開大厦で。北京に着いて早速人民大会堂での歓迎夕食会。チベットホールという部分。八時半まで。あと友誼館へ。列車の窓からトウモロコシ畑が延々とつづく光景がみられた。山羊や自家用野菜畑もちらほら。農業労働する人がほとんど目にとまらなかった。中国の農業がどうなっているのか。農民の暮しは悪いときくが、実情はどうなんだろうか。このような旅行をしては判るはずがない。雨の少ない国の農業のことも。大豆畑、キビ畑もみられたが。

9月3日（金）晴

団員は班別に組織し中国青年百人も分れて配属。「北京ウォーキング」、九時から四時まで。そのあと夕食交流会、故宮見学も私は休み、むしろゴロ寝して。あと中食は首都大酒店内蒼芳閣、これには副団長ら幹部も加った。二時半から三時まで中日友好協会で孫平化会長の引接ざっくばらんに話し、一応蒼芳閣に休み、次は市役所（旧日本大使館）で表敬、段強副処所らが会ってくれた（五時半～五〇分）。あと北京前門全聚德烤鴨店で夕食会。北京ウォーキング一同らも同席、挨拶した。大へんはしゃいだ歓楽の会。九時半に就寝できた。青年達が大き過ぎるのはよいことだ。北京は何もかも大きい。

9月4日（土）晴

団員は万里の長城、頤和園、友誼商店など忙しく動きまわる一日。私はこれと離れることとし、朝のうち友誼商店に行って買物。十一時半釣魚台で、政府代表銭其琛さん等への答礼宴に出た。副団長らとあとで中食会（京澳大酒店）。副団長らはこのあと団員のあとを追って長城頤和園に行ったが私と小串は貴賓楼（宿所）に二時半に入って洋服も脱いで休んだ。北京は全国体育祭やオリンピック招致運動のため、祭りのような夜のにぎわいになっており、当方の答礼宴貴賓十階では国家旅游局長程文棟氏らが来てくれた（六時～八時）。屋上で電光輝くライトアップ北京夜景を楽しんだ。日本側参加者は副団長ら天津へ。

9月5日（日）晴

六時半に貴賓楼を出発、八時四〇分発十時二五分上海着の便。小串の外、旅行社から盧さん

康さんが随行してくれた。弁当まで用意してくれていた。機内食もあったし、上海では日航ホテルまで行って「弁慶」で和食も食べた。上海発一四時福岡着一六時二〇分（時差一時間）、楽な旅だった。同じ晴でも福岡は雨後の日本晴、中国は霞んだ晴ばかり。帰福したら秘書、広報、空港対策局長らが出迎え、貴賓室を借りて一時間ほど新北空港漁業補償決着などレクを受けた。明日からの心構えのために。帰宅は六時二〇分。みゆきは啓二一家、直美と東北旅行を^マして^マ明日夜帰宅したと^マい^マて^マお^マり、二人とも週間留守だった訳。

9月6日（月）晴

昨夜は早目に就床、今朝は五時に起床。何彼と日記をつけたり等々。八時五〇分発、九時四〇分から福岡空港第二ターミナルビル増築竣工式、テープカット神事視察をすませる。立派な大ビルができたものだ。十一時二〇分から明日にそなえての記者会見レク、主な内容は新北九州空港のことで漁業補償が八月末に決着した件について。——渡辺二郎参議が来て環日本海知事会の開催について提唱をと^マい^マて^マか^マえ^マった。一時半に点滴、三時に帰宅できた。半分休みだ。旅行中の日記など気になって記録をたしかめ、のんびりした半日をすごした。台風 13 号の鹿児島被災など気になる。今年三度目の被災だから、どう見舞するかだ。

9月7日（火）晴・曇

ゆうべは枕許でコオロギ、鈴虫の交響楽団だった。しばらくこの調子がつづこう。九時から庁議記者会見は思いのほかすむ^マ一^マず^マに進めえて、たまっている決裁の数十件を消化し、最後に高令化対策の高山、森山が来て高令化プランの作成について論議を交わした。行政哲学ともいえることに頭を使って達観するのがよい面がある。中食事はカレーライスの三役会、しばらくのごむさたの中で残っている数題、海外出張について確認し合った。是松氏が頼んでいた扁額をもって来て私は没。あとマージャンになった。

9月8日（水）晴

特別の休務。例により揮毫の宿題があり、色紙二〇余、条幅六枚下書きなど精一ぱい能率をあげることができた。東京方面には台風 14 号が影響を及ぼしている。当方もやや風があつて涼しい。外に出てみると雑草や藤蔓伸び放題だ。まだ蚊が見守っている。家の中どの部屋も掃除をしたいががまんしつづけよう。県評にいた坂本隆幸氏が引退して政治経済研究所を開設したと知らせて来た。引きこもるのも嫌ということらしい。心境の違いを感ずる。条幅の仕上げは後日にしよう。九時ごろには就床したいと思っている。

9月9日（木）曇

九時四〇分に門司港についている九州青年の船「新さくら丸」に一たん乗船、団員と共にタラップを降り、十時半から帰港式に臨む。みんな別れを惜しむ、涙する者もある。一時四〇

分から県庁業務。二時から三時まで県職労との意見交換会（特会室）。レクが何件かつづき、途中新日鉄社長らの表敬をうける。決裁のあと五時から農協五連県会長らとの懇親会が三光園で開かれ、七時からニューオータニで土木学会全国大会懇親会に出席、祝辞を述べた。五〇〇人ほどの出席だったが九産大での学会には六〇〇〇人も出ていたらしい。帰宅は八時前、十二時間の外での仕事である。疲れるが何とか体力がもてているので感謝している。

9月10日（金）晴

シーサイドももちイベント広場で十時半から二つの行事があつて出席。マナーアップ福岡九三交通安全フェア開幕式と、シートベルト着用キャンペーン出陣式と。前者は県主催、後者は損保協会主催。午後はアメリカンセンター館長着任表敬及びファイトピース中国人社員帰国挨拶。次いで雇用審議会の建議（永井滋輔会長より）をうけ、決裁がつづき、日経新聞の地方分権についての知事アンケート点検。早目に引きあげて病院に行き、採血、点滴。帰宅してから夕食後、先日からの揮毫宿題残りの条幅の仕上げに時間を使う。半截五枚、1/2もの二枚の七枚を仕上げた。多忙な日がつづく。

9月11日（土）晴

十一時に出発し、鞍手町中央公民館体育センターで挙行された元県会議長山本義隆氏の合同葬儀に参加した。消防の側の主催する葬儀と合併の形になっていた。午後一時から約二時間、県議現役の方も多く参加されていた。七八歳。正五位、勲三、瑞で盛大であった。前段で叙位、叙勲の伝達式もあった。四時帰宅。葬儀の時に約束していたので吉村議長への毛筆の手紙を書いた。いろいろ用件が多いので休むこともままならない。山本氏は糖尿病で目を病んであったが、他にもいろいろ併発したらしい。近年静養してあったが、八月三十一日に逝去。少し早いなと思う。わが事のようにも…。

9月12日（日）曇・小雨

朝四時半すぎに起き、志摩の朝市に行った。広報の者も来ていた。小串氏が私宅に迎えに来てくれ、現場では是松氏が迎えてくれた。五時半から一時間ほど朝市を一巡し、あとは是松氏の車に小串、われわれ二人が利用させてもらい、志摩の海岸の光景を楽しみつつ、結局は横浜海浜の是松氏新宅に行き、朝食を済ませ、あと四人でマージャンに打ち興じた。広い新居、庭があり、表装の仕事部屋をもち、優雅な引退後の生活を楽しんでいる彼であることがわかった。三世同居で安楽そうだ。夕方、彼の車で私ら二人は送り届けてもらい、序に表装一件を頼むことになった。万事終って五時。小雨となる。

9月13日（月）雨

夕方は強い雨になり、川は一気に増水した。十時半に久山町長ら、健康田園都市財団の対県

要望があった。大きなプランである。十一時半から今日一日、九月議会向けの県政懇が各会派別に行われた。社会、公明、県民ク、そして「かわさき」での夕食会をかねて農政連の順。景況の低迷がつづいているだけに、景気対策、雇用問題、それに冷夏多雨の農作への配慮が背景にある。経済指数は全国的に対前年九一%、福岡県はまだましで九八%といわれるが、実感は七五%程度との声もある。夏日が数日しかなかった今年、消費は全分野でぐっと落ち込んだ。消費欲も冷却した。その上、野菜、果物のできが悪い。米は今後わかるが、ぐっと悪かろう。

9月14日(火) 晴

庁議、記者会見。十一時から代表者会議、九月議会の招集について提案。終って韓国民官合同投資誘致団(朴龍学団長)の表敬をうける。団長は従来の日感情を一部修正したいとの意見をのべた。橋詰県議がこのあと訪ねて来て、彼なりの意見をのべ、次の議会で質問するという。日韓合併について、学校の教科書は正しく述べてないから教育長に意見をただすといい、質問原稿をおいて行った。また県の行事として県の僻地にも大事な遺跡など歴訪するツアーを組んだらどうかと提案してきた。賛成だといっておいた。二時から共産党、四時から自民党の県政懇。後者はニューオータニで行いあと夕食会にした。途中病院で注射、先日の採血検査(十日)の結果、血糖値が二八〇、高すぎるので自省の要。

9月15日(水) 晴

八時から南極探検砕氷艦(自衛隊)の博多港入港歓迎式。艦内視察を行い次いで西鉄電車で久ル米にとび、リバーサイドパレスで仕事上の村井若太郎さんに合って敬老の日の祝辞祝品の贈呈式を行った。舞台照明の仕事であった。終ってJRを使い博多へ、それから京都往復の新幹線旅行による旧姫高文甲二のクラス会に出席した。往復車内で中、夕食。同窓会は駅前南口の新都ホテルで十四人が参。三時二〇分頃におくれて会場につき、七時すぎに京都を出発したので、ホテルでの茶のみ雑談会に六~七人がつきあってくれた。随行の小串氏と共にわが家に到着したのは十時二〇分だった。旧制高同窓はまずは元気だが、病気の話ばかり。軍隊時代の話も。

9月16日(木) 曇 小雨

十一時半からホテル日航での電通会長・社長の就任披露宴に出席、まもなく退室した。登庁して執務。午後二時に南極観測艦「しらせ」の艦長らの表敬をうけた。参観に来る市民は多かったようだ。各課のレクがつづく。予定行事が多いため、決裁もたくさんあった。地方行政の改革についてのアンケートがあれこれあってうるさいくらい。細川政権の当面する大きな課題で、基本法が制定される方向で大勢が動いている。五時から病院で点滴をうけて帰宅。体調がよくないので心配だが、当面なすべき具体策も見出せない。自粛いつてんばりで

いくしかない。眠りが浅いのが現実。

9月17日（金）曇一時晴

十時半県ゴミ散乱防止対策協議会からの提言をうけ、引きつづきグラフふくおか関係の対談があった（提言側代表の浅野直人氏とゴミ対策について）。午後サンパレスで交通安全県民大会だった（第九回、主たる行事は交通安全上優良者に対する表彰式だったといえる）。二時二〇分に終わってから甘木松屋ガーデンパレスで行われる甘木地方行政連絡会議に出席。若干時間のゆとりがあったので、秋月の町並見物をし、葛もちを食べた。バスツアー客が多かった。地方行政連絡会議では二〇分話し質問に答へ、あとはテーブルを囲んでの立食懇親会。出先事務所長たちがメンバー。冷夏多雨がやはり問題になった。それに高齢化、後継者など。七時半帰宅。

9月18日（土）雨後晴

ゆうべ今朝かなり強い雨だったが午後は完全な秋空。休務だが小西平太郎氏から頼まれた原稿のために時間をさいた。色紙も依頼分六枚を書き上げた。晴間をみて一寸外に出て草抜きをしたが蚊の襲来をうけ引きあげるしかなかった。雑草があってもいいなとは思った。夕方から時間ができて久方ぶりに筆をもって句を書いた。さわやかな自分の時間だと思った。机辺が汚れ乱れているのは納得するほかはない。夜は机辺にも虫の音が届く。むし暑いひるまだが、夜はさすが涼しい。夏がなくて秋が来たという声がある。

9月19日（日）曇（小雨あり）

七時四〇分に出発して小倉へ。市の総合体育館で第36回県民体育大会の総合開会式がおこなわれ、入場チームの行進の時、中央壇上に立役を果たした。優勝たでの受取りも。各種目は各会場に分かれて行われるがそれに先立っての会式だった。正午前に帰宅できた。午後早目に是松氏が頼んでいた扁額をもって来てくれた。土井氏新築祝の品物である。あと森山氏との連絡により、四人寄ってマージャンを三巡楽しんだ。森山氏には「月報」の原稿今月分、高齢化問題について代筆してくれたので、お礼を述べておいた。やわらかい原稿だった。

9月20日（月）曇

十一時以降、死亡者叙位伝達式につづき、勤労（者）青少年福祉推進功労者知事表彰。十二時四〇分から一時間福高前の「とり香」で衆院の嶋崎氏と会食しながら環日本海フォーラムについての県の対応を話題に雑談をした。二時、福祉審議会委員の辞令交付式（於吉塚合同庁舎）。三時四〇分北原県議同伴で韓国の金在徳氏に面会。あとレクと決裁。それから病院での点滴。六時四〇分からハイアット・ホテルでオーストラリア貿易促進庁 G・10 と日本側対応者の夕食会。これが長時間で、十時に帰宅できた。

9 月 21 日 (火) 曇

九時半から地行中央公園で開かれた交通安全県民運動初日行事に出席。帰庁後故山本義隆県議遺族が三木県議に伴われて会葬お礼に来訪された。十一時すぎから九月議会提案理由説明中心の議会本会議だが久留米の宮崎県議急逝で若干とまどった様だ。午後は広報課と障害福祉課のレク (明日の対話の件)。決算ののち三光園で県政推進対策会議の県幹部との懇親会。県議幹部ほか地公労、県評センター、県三役がメンバー。斉藤副知事就任紹介、山本氏の連合への転出が主たる話題。次の知事選についてもちらほら出ていた。もうその頃だ。

9 月 22 日 (水) 曇

晴れは夕方から。十一時二〇分からももちパレスで働く障害者激励大会があって出席。企業、労働者に表彰。帰庁して中食。一時半から「対話のつどい」。対象は県下の離島といわれる八島からの若者の代表一〇数人。教育、医療、交流に話題が進んだ。離島といっても県下のそれは恵まれた方だ。努力すれば満足な点に到せられるだろう。決裁のあと魚新で六時から県警本部長ら執行部五人らとの夕食懇談会があった。特別の議題もなくなごやかに、県政推進の心で語り合った。八時すぎ帰宅。

9 月 23 日 (木) 晴

休務。何の課題もない。九月議会にそなえ心身を休めおくべきだろうか。何とはなしに筆を執って机に向う時間が長かった。そうした中で旧満州時代の梶原区隊長に、清田氏の帰日について手紙を書いた。昭和六十年発行の「白雲悠々」を取り出して関連記事を読んだり、経理学校時代のアルバムを取り出してながめてもみた。昨夜は清田氏への遊説依頼の予定を作るよう大坪氏に電話した。この件がどう進むか気になるところだ。今ロシアの政治が問題になっているだけに気がかりである。

9 月 24 日 (金)

九時二〇分、豊田英二氏が九州トヨタの会長をひいたと挨拶に来訪。十一時に特一会議室で企画の職員を相手に地方分権についての研究会の一部時間をさいて私の考え方を講話した。中食は三役会議をかねて、一時間半ほどかかって当面の問題を論議した。他はレクが多かった。文化課、リゾート室、職業対策課、社会課。決裁をすませ四時すぎから点滴、血圧が少々高いのが気になる。県民文化祭、甘木水の文化村のオープンなど順調に運んでいるようだ。九月議会の代表質問の項目が上ってきた。国立博物館建設に手間どっている点が追及される。冷夏、長雨対策も。五時すぎ帰宅。

9月25日（土）晴

すばらしい秋晴一日。九時半に出発、赤池町、二時すぎ帰宅。町民会館前広場で故田中六助氏顕彰像建立竣工式があった。十一時から一時まで。銅像公園ができたのである。自民党重鎮、死去後八年になる。田川市郡にとって栄誉といわれている。三〇〇人ほどの参列。序幕、祝辞の役を担ってあとの祝賀会には欠席した。帰宅後は例によって筆を執る。夜も済生会病院小川院長の奥さんが来宅、おみやげをいただいた。すっかり秋の陽ざし、涼しさも感ずる。筆をもつ楽しみを覚える。

9月26日（日）晴

秋晴がつづく。筆を執ったり、庭の藤蔓を切ったり、伸び放題の枝は少し散髪。十一時に迎えが来て久留米草苑で行われた県議宮崎強司（公明）の創価学会葬に出席。現役であっただけに議会、行政双方から多くの会葬者があった。焼香と弔辞の役まわり。日蓮の南無妙法蓮華經の大きな音が耳底に残った。創価学会の人達も多かったようだ。公明党県議総出で役割りを分担していた。61歳の死だから少々早かった。昨日の田中六助氏は62歳ときく。

9月27日（月）晴

十二時二〇分に出発。一時から全日自労など失対事業関係組合との会談が特開で行われた。見舞金を現金としたあと、その金額の明瞭化、他県なみの引退金など諸要求を受けた。二時すぎから電気ホールで福祉関係功労者表彰を中心とした大会が行われ、表彰状渡しや挨拶を担った。老人福祉法ができて三〇年になるといわれる現在高齢者問題への関心が益々高まっている。大会が終わってから点滴、そして帰宅は五時すぎであった。小川先生から糖尿関係数値が心配との指摘をうけた。食と休がなお必要。

9月28日（火）曇後晴

代表質問第一日。九時から勉強会で十一時一〇分開会、午後三時五〇分三人終る。自民井本宗司、社会竹田信一、農政三田村統之の三人。天候不順のあとだけに、農業問題、次は景気対策、それに県債依存財政不安など共通の関心事が当然ながら質問に揃って出てきた。国立博物館建設、地方分権の実現、考え方も当然の指摘点である。終了後朝鮮学校県費助成の陳情、珍しく正副両議長も同席。五時から県ILO協会設立二〇周年記念パーティ（ソラリア）があり出席挨拶。

9月29日（水）小雨

代表質問二日目、県民クラブの井上幸春、公明党の藤崎充子の二人で議事日程は三時ごろに終わった。あとあれこれ、決裁もすませ四時五〇分退庁。社問研で大坪康夫氏と会う話が成立し、清田彰氏がモスクワから帰ってくる件で、より具体的な情報を彼に提供し、ついでに彼

を伴って、六時中国領事館での四十四周年レセプションに出席した。四五〇人の来客があるといわれていて、館内一ぱいになっていた。総領事呉治安氏の挨拶のほかはそれぞれ言葉を交わし合って時間がすぎた。県の幹部も多数出席していた。余興に入る前に退出、帰宅は七時半。大坪氏は天神で別れ。

9 月 30 日 (木) 小雨後晴

代表質問は終え、一般質問に入る。四人、順調に運ばれた。後藤元秀、広田誠一、高山日出徳、塩塚茂喜の諸氏の質問、高山日出徳氏の質問はさすがに良かった。三時二〇分には議事は終了した。あと決裁、又橋本氏が清田氏帰国の件で打合わせて来た。早目に業務が終わったので帰宅。五時半から自宅マージャンになった。来客は秘書室花村小串の二人。十時半まで楽しみ気分転換になった。終って帰りは秋の名月のすばらしさを見ることができた。いいおみやげだ。金木犀の匂ひもブンブン。

10 月予記

九月議会が終っても、日程は一寸も楽にならない。詰めて詰めて日がくれる。会議や儀式の好きな日本人だと思う。どこかに引き出されるので隙間はすぐ詰まる。ところで今年の秋は学徒出陣五〇周年、われわれの結婚も五〇年、金婚式になる。おだやかにおだやかにと思ひ念ずるこの頃である。議会もだが夫婦関係もである。〇〇夫妻の別れ話が行きつく所までいったようだ。高崎氏が仲に入ろうとしたが修復はできなくなったという。この夫婦もまだ若いのだと思う。我を通したら駄目になるし、損になること必定である。控え目の中に福を見出すことが大切ではないだろうか。

10 月 1 日 (金) 晴

八時半からゴミ散乱防止条例施行街頭啓発のため岩田屋前でビラくばりして後登庁。辞令交付のあと勉強会をし、「赤い羽根」伝達式をすませ、十一時二十分から一般質問二日目、吉安、藤田(茂令)、若狭、西原、酒匂の五人。三時前には終ることができ、決裁のあと検診と点滴。五時半には帰宅できた。夕食後、一彦、啓二に電話して、十四日にはわれら二人が上京するので夕食会をしようと伝えておいた。十月も十一月もすごく日程がこんでいる。健康が保持できるのか心配である。六本松から我が家まで金木犀が至る所にあるのに驚きだ。

10 月 2 日 (土) 曇

休務。揮毫の宿題があり、朝からこれにかかった。色紙三十枚余、条幅二枚を仕上げることもできた。〇〇夫人が来ており、例の別れ話がいよいよ行き詰まりまで来たという。別れるという発想は可能だが実行に移せばより苦悩が加わるに違いない。でも生き方いかんでは

幸せを新たにつかむ可能性がないではない。未練をもってはその可能性は逃げてしまうだろう。改心するか決行するかは本人にまかせるしかない。自分しか頼れないのが原則である。夜は又筆を執っての自由な揮毫の時間となった。

10月3日（日）晴

二時二〇分から久留米市民会館ホールで第一回県民文化祭総合フェスティバル開会式があり、午後すぐ出発した。議会側もこれには力を入れており、浜中さん（文化議連会長）も同席してくれた。元県議江頭慶典氏も大野九電社長代理で祝辞に立ってくれた。福岡県は文化に冷いという批判がこうした形で一面こたえられたわけ。国民文化祭の県への誘致の引がねになるならよい。四時頃帰宅。気になっていたアロエの植替え五鉢を夕方までにすませた。強い植物なので更に成長するだろう。余の時間は全部墨筆の遊びにあてた。

10月4日（月）晴

議会答弁の勉強会が終って十時半から県人事委の給与勧告をうけ、そのあと一般質問の第三日最終日。内田壮平、藤田一枝、藤田陽三、江口吉勇の四人。スムーズに進んで三時前には終了した。このあと三役会議で九州国立博物館の建設要望につき、当方側の若干譲歩した案を作成してこんどこそ実現にこぎつけることが先決との意見の集約があり、十一月中に地元もかなり資金を出すのでという原案を文部省に了解させることに決った。一般質問終了を祝って夜マーじゃん、室長、小串ら来宅。

10月5日（火）曇

九時四五分に「あまぎ水の文化村」アクアレディース六人が表敬来室。十時一〇分全国身体障害者技能競技大会参加選手壮行の儀が知事室で行われた。九州工業大学々長細川氏の就任挨拶、決裁のあと県立大の城島室来室、受験生募集仕事の苦労ばなし。二時半大手門会館で県評センター解散の臨時総会に出て挨拶。このあと病院で点滴、そのまま帰宅、四時半である。夜室長から電話あり、議会の常任委員会は総務以外全部議了とのこと。

10月6日（水）曇

九時半に出発して小倉へ。駅前東区再開発ビルの竣工式。神事のあと直会で知事挨拶。乾杯のあと別室で中食をすませ、三時からカンボジア農村環境調に行ってきた職員宇根豊氏の来訪をうけ知事室で現地模様をきかせてもらった。あと竹田信一県議が篆刻家師村妙石氏を伴って来室、中国西冷印社からのおみやげを添え師村氏の作品集もいただいた。レクと決裁ののち、信用保証協会の招待で杷木のビューホテル平成に行った。幸も行ってた。協会々長近藤、総務白石、商工部長佐々木、それに小串。夕食、あと遊び。

10月7日(木) 小雨

八時半みんなで朝食。近藤氏は会議があるとのことですぐ宿を退出。九時すぎ小石原に行こうという事になり、小雨の中柿狩は諦めて梶原△窯元に行った。社長夫妻は気持よく迎えてくれ、野上義浄前村長、梶原昭国現村長も呼んでくれ、中食、おみやげまでいただく事になってしまった。窯元というのは大きな投資蓄財を要するものだと実感した。仕事現場もざっと見せてもらった。佐々木商工部長は八女に所用ありとのことでホテルで別れた。帰宅は二時すぎ。あれこれ宿題もあり、荷物を解いたあとは書斎にこもった。

10月8日(金) 曇後晴

寒さが一段と加わってきた。九時すぎ出発。十時から上海中医学院長表敬に対応、漢方医学への関心が高まってくる。二時にニシキ多川会長の来訪をうけ、ゴミを出すな声声をもっと高くとの要請をうけた。一時に国際交流課長白石氏が来て江蘇省南京での中日友好会館建設助成について語る。早目に県庁を出て点滴、あと四時から県立美術館でのアジア文明交流展開会式に出席知事挨拶。テープカットのあと展示場を一巡、イネ、ムラ、織物、鐸、ホコなど「邪馬台国への道」を考えさせる文物。韓国、中国との連関を感じさせられた。五時から社会党の議員など政策懇親会(金剛園)に出席。七時に帰宅した。

10月9日(土) 晴

休務。みゆきが天草地方二泊三日の旅に朝八時すぎに出発。揮毫やらする事は少くなかった。伊三男君が一時~三時ごろまで例の何億か使ってほしいと提案している人を伴って来宅、話し込んでいった。夕方は市の職員(嘱託)の住宅調査が来て、前の家空き家状況をしらべて帰った。ぎらぎら射す西陽の縁側で押しし、夕食用意の台所に立った。妙なことだが、台所に立つなんて久しぶりである。原稿を書こうかと思ったが、のんびりがいいと思って遊びの墨筆の時間とした。涼しすぎる一日だった。

10月10日(日) 晴

スポーツの秋でこの日を十分楽しむ人が多かろう。三日連休の中日、何か物探しのよう抽出を点検したり、外に出て草を抜き伸びすぎる枝を切るなどしたが、夕方天草に行っている幸から電話があつて鉢物に水を遣る仕事が残っていた。秋の陽はやさしいからカラカラにはなつてなかつたようだ。いくら抜いても次々に生えてくるからこそ雑草なのであるが、人間が、又個人が名を知らぬだけで草も亦それなりの役割を果たしていると思いつつ抜くのである。まだ蚊が襲ってくる。唯一の花ホトトギスが咲きほこっている。ほかにも、クロッカスはもう遅いが永つづきする。

10月11日（月）晴

連休の三日目。やはり筆をもったり裏庭に出て草を取ったりだが、土井仙吉氏から電話で、新居に来て焼肉でも食べながら語ろうというので、みゆきの帰宅との関係もあるといったのだが、彼女が五時頃帰り着いたので、揃って行った。徒歩で往復、六時から九時一五分までお邪魔した。久しぶりの語らいの中で一番印象的だったのは、旧居解体のため五〇年近い生活用具や蔵書の整理の苦勞である。書物など五分の一ほどに減らしたという。アルバムの整理、それから廃棄の仕方も。奥さんはために病気になった。聞いてわが身を思うわけだ。わが身边はどうなるのかだ。

10月12日（火）曇

九時からサンパレスで東アジア産業技術シンポジウムの開会式あり挨拶。県議宮崎氏死亡叙位叙勲、陸上自衛隊への県旗贈呈式（第四師団幕僚）、県本部長の要請。十一時から代表者会議、本会議は中山孝助選挙違反除名（共産党提起）と政倫決決で代えようとの勢力の間で調整にもたつき、長い待機の後三時半から採択を含む本会議が開かれ三〇分足らずで九月議会の締めは終わった。知事保留の質問がでなかったのがはじめてのケースで実にスムーズに事が運んだ九月議会といえる。お礼挨拶、決裁ののち病院に行き注射、あと三光園で部長会。細田総務部長の送別会をかね。終って九時半帰宅。

10月13日（水）晴

あわただしい一日業務。十時半から三役会、南京の中日友好会館建設補助問題その他。十一時差別ビラ配布対策本部会議（県の事務姿勢を改めてたすこと）。中食は三役で、その際知事選挙公約進捗状況点検をすることが大事とされた。一時半江蘇省外事弁公室の呉冬華氏来訪。二時、小郡市長、井手県議らによるフラワーパーク推進につき陳情。来年に建設する構想への牽制。あと、レクが何件かつづき、決裁もあったが、五時半に帰宅。色紙を何枚か仕上げた。又兄弟の十三回忌法事につき姫路の甥裕一に電話、和代にも。明日は上京だ。秘書室から金婚式祝い会の通知をもらう。

10月14日（木）曇

九時すぎ出発。総務部長（細野）退任辞令交付。十一時四〇分 JAL で上京。グランドパレスでの県企業立地セミナーに出席。出入しげく間をぬって児嶋正博氏に面接。モスクワ帰りの清田彰にもあう。数ヶ月滞日の予定ときく。歯の治療など予想をきく。企業立地セミナー懇談会乾杯ののち、東條会館南龍で家族会を開く。一彦の生誕日でもある（47才）。全員出席。たのしい時間をすごし、ふくおか会館に戻ってコーヒータイムをすごしたのち散会。あわただしかったが、気になっていた日程消化は順調だった。一段落といえる。

10月15日(金)曇

十時に衆院議長公邸に土井たか子議長を訪い、就任の祝意を伝えた。東京事務所長、小串の二人も同行。お祝いの博多人形を届けた。ずっしり入った日程の中、ねぎらいの言葉を一寸交わしただけ。会館に戻ったあと、貸衣裳屋にいったのち赤坂御苑での園遊会に出席。一時から三時すぎまで、多くの知人とも会ったが、中で嶋崎譲夫妻、ずっと立ち待ちにつき合ってもらった。両陛下から声をかけてもらった、皇太子も。雅子妃にははじめて。六時羽田発のANAで帰福、八時半にわが家に。雨が降らなかったのが助かった。

10月16日(土)晴

東京ゆきの二日間は曇り、福岡は晴がつづいている。八時四〇分に出発し、若宮小学校での同和教育研究大会に出席して挨拶。帰路八幡宮(36歌仙原画の出たところ)、竹原古墳、犬鳴ダムを視察してきた。ダムが周辺の公園化に力を入れているのをみて驚いた。ゆっくり時間があったが、三時から始まる「くいだおれ」での福岡若松会総会にうまく出席できた。会には四〇人ばかりの出席があり、ここでも挨拶だけで退出した。あれこれの集りに出るのなるべく独りになる時間が欲しい。今日の車の走行では沿道のコスモス花が印象的。犬鳴ダムは緑を楽しむのに適しているとの感想だ。

10月17日(日)晴

秋晴れがつづく。虫の音がことさら美しくひびく。健康状態もまずまずというところ。机辺の自由時間を気持よく過ごし、午後四時から「ももちパレス」二〇周年祝賀会に出席、祝辞を述べた。元副知事永井滋輔さんが労働福祉の会長の立場で出席していて彼も一席述べた。あとの祝宴のとき話が出て、随行の小串氏を入れて永井氏同乗で帰宅。六時頃からマージャンをする運びとなった。ももちパレスが文字通り勤労青少年のための福祉施設でなく、一般市民から実によく活用されているようだ。労働運動史資料もきっちり保存されている。

10月18日(月)晴

十時から職員研修所で一時間の知事講話。一時半から部落差別身元調査規制についての要請会に出席。二時一五分から中国銀行の役職員訪日団の表敬訪問を受ける。主要大都市の銀行役員である。三時からグラフふくおか「知事と語る」の収録(ザ・フライング・エレファント)あり、三人の演奏者を相手に意義深い語りとなった。田川郡川崎町出身者でカーネギーホールで公演したという素人たちがながら気取らぬ対話になった。やる気になれば傑出者となれるということだ。大阪の高田保治氏と電話連絡で清田彰氏来福。歯科治療について寺田教授との連絡の結果を話しておいた。

10月19日（火）晴

久しぶりの庁議・記者会見。総務部長が新たに牧野氏にかわった。十一時死亡者叙位叙勲伝達式。午後病院で注射をすませ、二時ソラリアでの全国衛生部長会に出て知事挨拶。三時すぎ新幹線で小倉へ。駅北の新しいホテルで三時四五分から新北九州空港建設促進期成会総会と五時半からの同じく建設促進大会に出席した。漁業補償の課題がもう少し残ってはいるが緒についたという気持ちが充満していた。七時ごろには終り、24Fの部屋に入る。リーガ・ロイヤル・ホテルは結構客を集める名所になっているように思われる。四建や北九州、苅田からたくさん要人が集った。今年度中に空港建設着工を必ずやらねばならない。市と町の持分境界の決定はまだみえない。

10月20日（水）曇

ホテルに公用車が迎えに来て、出発は九時。九時半厚生年金会館で公衆衛生学会総会が始まり、知事挨拶。福岡にとんで帰って全日空ホテルで福岡大連未来委員会設立調印式があり大連市長ら参加する中、祝辞の役目。登庁して公安委員会の辞令交付。二時にアークホテルで開かれた第44回九州地区緑化推進大会に出席して歓迎挨拶。帰庁してレクが何件かあり、決裁も。四時四〇分から「朝のあいさつ」録音をすませ、このあと、元九電会長永倉三郎氏宅（鳥飼）に弔問。車中でパンをつまんで七時からの試写会に出席、九時半帰宅。於福岡松竹、山田洋次監督、「学校」、二時間余。秘書室からも数人参加、山村謙一氏が案内してくれた。数少ない夜間中学校のドラマ。よかった。

10月21日（木）曇

清田氏のことで広報から取材をうけ、世界柔道選手権大会メダリスト田村亮子さんらに感謝状の贈呈式をすませたあと公用車で長崎へ。中食会ニュー長崎ホテル一時五〇分。二時二五分間港南方伊王島に着き、ルネッサンス長崎視察。一五時から三県知事懇話会あと記者会見と進んで一七時四五分に終る。会見はラルゴホール、あとの夕食懇親会はアリナという部屋、八時すぎまで。宿泊はフロール館八五五号室。石炭島からリゾート島にすっかり生れかわった伊王島、数年前から海岸を利用してのセットになったリゾート施設が並んでいる。テニスもコンサートもという具合に、全国的に珍しい生れ変わりをみせてもらった。夕日が美しいという。

10月22日（金）晴

九時すぎ長崎大波止に着き、急ぎ帰福。一二時から韓国大使歓迎祝賀会がニューオータニで行われ祝辞をのべる。帰庁して一時五〇分から薬事功労者知事表彰式（一四人）、三時アメリカ領事の表敬（業務者紹介の件）。決裁のあと四時に孔魯明韓国大使一行の表敬をうけ若干懇談した。地方交流などについても話題が出た。四時四〇分から「九経エコノス」記事イ

インタビュー (九州の顔)。終って病院に行って点滴検診。七時から駅南のハイアット・リージェンシー福岡で九州政財界が招かれて豪州クインズランド首相ほか貿易促進庁の人達十余人での夕食懇談会。福岡県はターゲットだという。

10 月 23 日 (土) 晴

すばらしい天気、衣替えの必要を感じず。是松さんと連絡をとると来てもいいという。上田幾彦氏が来てくれることになり、一時半すぎから麻雀をはじめ徹夜になった。さすがに疲れを感じた。是松氏は私が具島兼三郎先生の米寿の祝賀会に贈呈すべく頼まれた扁額「天地澄」を仕上げてもってきてくれた。もう一つ藤江康之氏の新築祝いの書「縦横自在」ももってきてくれた。われながらまずまずの出来と思った。遊んでしまったので、書の宿題は明日にもちこしてしまった。秘書室の者はたいてい金の夜、土、日を自由にしたいようだ。

10 月 24 日 (日) 晴

いい天気ながら、九時すぎまで就床していて、宿題になっている揮毫にとりかかった。十時すぎから午後四時まで色紙二〇枚近く、加えて扁額用の条幅三枚と取り組み押印まですませることができた。晴れの外気に存分に接したいのに残念だ。でも宿題が片付いたのですきっとした気持ちになれた。街に出て雑踏の中を体験するのと大変な違い。「万燈」句誌十一月号が着いた。また新しい楽しみを友としたい。鳥や虫も九月と十月下旬では違ってくることがよくわかる。鳥の楽しみも変わるだろう。

10 月 25 日 (月) 晴

十時から農水大臣の表彰伝達式。十一時から講堂で納税表彰式。そして十二時から「とり香」で清田、高田を招いての中食会、新幹線で来県してくれた。五時半から「協会」員相手の講演をしてくれる。一時半ライスガールの表敬。三時四〇分から農業系の人達の予算要望 (土地改良問題)。六時から教育委員 (佐藤、緒方) の新任祝いの夕食会 (三光園)。途中で退席して清田氏を囲む夕食こんだん会の席 (西中洲こうけんプラザホテル) にも顔を出す。熊本の小野氏ら十五人ほど、清田講演の流れで出席していた。県議の白石、横溝の二人、大坪、衣笠、馬原、諸岡らも。九時すぎに退席帰宅。

10 月 26 日 (火) 晴

九時からの九州歴史資料館での「日本の鬼瓦」展開会式テープカットに出席。十時半から定例記者会見、一時半小倉にとんで厚生年金会館での暴力追放県民会議に出席し、感謝状渡しと挨拶。又帰庁し、四時すぎから日韓海峽沿岸環境技術交流会のため一市三道から来福者の表敬訪問をうける。夜六時半からこの訪問者歓迎レセプションが都ホテルで行われた。この間六時から読売新聞社の社長歓迎の九州一円から重要賓客を招いての懇談会があった。

夜三回目の行事になるがステーションプラザで新京八期生など清田氏を囲む会をどうするか
の相談会が羽原さん中心に4人集って行った。

10月27日（水）晴

九時一〇分に出発し、午前中志摩町視察。フラワーセンターなど活気ある町をみるこ
うができた。エメラルドパークで中食、一時半から志摩会館で予定に従い、ふるさと対
話が進められ、成果も大きかった。四時半から済生会病院で点滴、六時から秘書室のフル
メンバーで私たちの金婚式祝賀の宴をもってくれた。学徒動員五〇周年とわれわれの結
婚が重なるわけだ。秘書室長山根、副室長平ほかみんなの心づかいが有難かった。ラ
ッキーな人生だったと私の気持もきいてもらった。戦争、九大、そして知事、さまざ
まな思いがよみがえる。その日その日を大切に生き抜くしかないというのが今の心
境であり、努力のあるのみと
思っている。

10月28日（木）曇

八時半に出発。八女市町村会館で開かれている県職労大会に出て祝辞を述べ、十一
時四〇分のJALで上京。二時四〇分から大蔵省陳情（道路予算増額の件）、四時から
県企業立地推進委員会東京部会（あと懇親会）で挨拶をした。このあと六時半から
八時半まで県の女性副知事候補の件で鎌倉の金森トシエさんと面談（於内幸町富
国生命ビル内聘珍樓）、彼女は驚きもあったが素直に私の話をきいてくださった。
この件これ以上前進するか否かは今後の手の打ちようにもよるだろうが、彼女
の反応をしばらく見守ることにしたい。当方での根まわしも問題だ。

10月29日（金）雨

八時四五分に、佐藤観樹自治大臣を訪ね地方消費税について要望を伝えた。地方
六団体の要望でもある。十時に建設省に行き東九州自動車道着手の件数ヶ所まわり
陳情した。十一時四五分ANAで帰福。二時すぎ、まず点滴、次いで大手門会館で
の連合福岡の第四回大会で開かれている場にとびこんで祝辞。一たん帰庁し、四
時から開かれる九大名誉教授の懇談会に出席。又帰庁し明日、明後日の行事につ
いてレクをうけ、何件かの決裁をすませ、六時半に帰宅した。次から次への日程
で疲れてしまう。福岡は久しぶりの慈雨だった。名よ教授の会には現職学長ほ
か各部長も出席していて久しぶりに会う人が多かった。

10月30日（土）小雨・曇

九時半から福岡中央卸売市場東側の広場で第九回県農林水産まつりが開かれ、
テープカット・賞状授与などの式典に参加。幸い降らなかつた。二日間でどの
くらい集客がえられるかが問題。十二時頃帰宅した。みゆきは兄よめ絹子さん
の十三回忌（明日）に八時頃出発した

ので、昼、夜はひとりの食事になった。又野菜の煮物を作った。午後の時間は宿題になっていた揮毫にあてた。色紙や条幅を仕上げたら午後八時になってしまった。ひとりの時間もいいものだ。高崎氏からの電話で〇〇夫妻の離婚ばなしで拙宅に来て話したいとの事だったが断った。離婚不可避という。数ヵ月前からの話、いよいよ終着だ。

10 月 31 日 (日) 小雨・曇

大変なひえこみで最低の気温。九重では雪がみられたという。九時すぎ出発し、寺内ダムに近くできた「あまぎ水の文化村」落成式典と内部視察を行った。人間と水をよく理解するためのリゾート施設ともいえるべき複合体である。法人経営になるという。県の支援もつづくだろう。終って帰福、二時から教育会館で開かれている第 52 回社会党県本大会に出席して祝辞をのべた。帰宅は四時。教育会館で大会出席の林県議に、東京での金森さんとの面会につき報告したが、消極的な姿勢であった。68 才という高齢が難点という。自炊で夕食をすませたあと、七時少し前、みゆきが姫路(法事)から帰ってきた。甘木では寒さにふるえたが、明日も寒いとのこと。

11 月予記

10 月末から十一月にかけてほとんど休みなしの多忙な日がつづいた。満州時代の清田氏の来日、福岡ドームの日米野球、江蘇省一週年記念行事、両議長^マの就任祝賀会、十二月議会の準備、大相撲千秋楽、東京から姫路から客が来福、われわれの金婚式、学徒動員五〇年、十月の三県サミット(長崎の伊王島)はリゾートへの生れかわりにびっくりした。朝鮮海峡沿岸環境会議は地方の国際化に新方向を見出した。甘木水の文化村も開園されリゾートという目からは一つのポイントができた。九州寮歌祭は一寸淋しく感じた。経済・政治は一寸先みえない。

11 月 1 日 (月) 曇

八時四〇分に韓国京畿道地域労働組合からの訪問客に対応した。連合福岡と今後交流をするという。九時半から重点施策について各部のヒヤリングをうけた。今日は農政、教育、水産林務、労働の四部から、残りは後日。三時にホテル日航で一〇都道府県議会議長会議が開かれ、地元知事として挨拶。五時半から七時半まで同ホテルでその懇親会にも出席した。三時半済生会病院で注射をうけたが、ぎっしりの日程できりきりまいの一日だった。満 73 歳になる私の誕生日、別にめでたいわけではないが、歳月の過ぎる早さに驚くばかり。リュウさんから祝品をいただいた。病院では血糖値がいぜん高いとの指摘があった。

11 月 2 日 (火) 曇

庁議つづいて記者会見。あと、ぎっしり詰った今後の日程について「レク」があった、八件。

三役中食会では昨日龍さんからいただいた誕生祝のケーキ各一片をともに食べた。一時半から三時間余重点施策ヒヤリング（建築都市と商工の二部）に出席。六時から駅南の八仙閣で県地方課会（第一〇回）があつて挨拶に行った。市長会、町村長会からも、地方課OBもあわせて一五〇人は来ていたろう。挨拶が終つて福岡ドームへ。ダイエーの招待で来日のアメリカ、メジャー、ドジャースとホークス・ジャイアンツ合同チームの試合観戦に招待されたのだ。試合の途中だが、四回から八回まで観戦、八時に引きあげ帰宅した。みゆき同行。

11月3日（水）晴

十時から田川文化会館で田川市制施行五〇周年式典があり、祝辞をのべた。昭和十八年で、伊田、後藤寺両町合併にはじまる。戦時中の石炭ブームのあらわれといえる。今、田川市の活性化が論議されており、産炭地問題の代表とみてよい。帰途上岡さん宅に立寄つたが留守だった。一たん帰宅。四時ごろ又迎への車がきて清田彰氏ともども大濠の市美術館に行き「上海博物美術館」なるものの展示を見学。五時に退去し福岡ドーム近辺を公用車で一周し、大濠の平和楼で夕食。（美術館以後はみゆきも同行）七時すぎ清田氏を黒田荘に送り届け、七時半帰宅。清田氏は明日から九大歯学部寺田教授のもとで歯の治療をはじめることになる。

11月4日（木）晴

今日も終日きりきり舞いだつた。

八・四〇 全国身障者スポーツ大会結団式（合同庁舎）

一一・〇〇 青年の船出航式

一三・一〇 フランス大阪総領事ら表敬

福岡名誉総領事交代の件

一四・〇〇 米市場解放阻止総決起大会（須崎公園）

一四・三〇 水産海洋技術センターにつき答申

一六・〇〇 医師会長、衛生部長九州大会

一八・〇〇 同右懇親会（サンヒルズ）

そのほかレクやら決裁やら。公用車で三回は庁舎を離れた。済生会病院に行き、ひる前、点滴もした。からだがいくつあつたら満足できるかわからぬほど。秘書室の者の案内で清田氏は歯の治療に行った。初日だったが寺田教授の所見では思いのほか軽症のようだ。金森トシエさんの手紙、前向きの返事。

11月5日（金）晴後曇

九時から重点施策ヒヤリング。午前中は企画、土木、総務、午後は保健環境、警察という各部順番。長時間掛けていると足が妙に動きにくくなる。正午、連合福岡の新旧役員交代の挨拶

拶来室。午後四時から町村長会役員と県の各部長などとの協議、つづいて懇親会、三光園で。林副知事は青年の船で中国に、斎藤副知事、牧野総務部長ほか部長又は次長が出席。町村側からは廃棄物処理、農業災害対策、林業振興策、中山間地振興の諸問題が提起された。他の数十項目の要求は文書回答することで今日の町村長会との協議会は終わった。七時半帰宅。

11 月 6 日 (土) 曇・小雨

午前中揮毫。条幅は失敗したので後日にまわした。一寸の油断で押印を横にしてしまったのだ。我ながら腹立たしい。一時半からステーション・プラザで石田正信氏をはげます会、古い知人が一ぱい来ていた。早目に退出し、グランドホテルでの第二七回九州寮歌祭に出席した。姫高は十七番目で出場の折に知事挨拶をさせられた。その流れで五時から「くいだおれ」で同窓会を開いた。五人しか出席者はなかった。長野、山近、野村、並河のみ。あれこれの理由はあるようだが、九大教養部がなくなると同様、寮歌祭への熱意も急にさめてきたように見える。帰宅は八時。小雨になっていた。

11 月 7 日 (日) 雨

八時に出発、飯塚競技場で筑豊さわやかマラソン大会 (九時二〇分から) に出席挨拶。昨夜からの雨は今日も止まなかったが、マラソンは予定どおり行われた。競技場はどろんこになっていた。スターターの役を終えて帰福。一時から歯科医師会館で「八〇二〇」歯科保健大会が行われ、出席。百三歳で二八本の歯をもつ小山さんには知事特別賞が贈られた。カメラの前に共に立つなど、百余人の参加者の注目をあびた。私に対し質問が出た。十五本と答えたが、帰宅して点検してみたら十七本あった。自戒が足りなかったので十本余りは失っている。

11 月 8 日 (月) 曇

八時すぎ出発し、詰っている日程処理。まず八時四〇分から民生部重点ヒヤリング、九時五〇分から共産党議員らと懇談、小郡中校長死去に関連して同和教育追及。二回にわたって秋の叙勲、褒章の伝達式。午後時間をさいて点滴。夕方、九州バレーボール大会優勝の福岡学園選手達が報告来訪。決裁のあと五時五〇分中国省長訪日団代表らの表敬をうける。全国各地をまわるが、福岡県がトップになった。博多織、トヨタなど明日見学してくれる予定。夜七時半から宿所のホテル日航で歓迎レセプションの宴。十時に帰宅。

11 月 9 日 (火) 晴

午前中、日赤紺綬会総会に時間を費した。出席していただく高円宮妃を出迎え、九電ビルで総会 (感謝状など授与)。中食はニューオータニで共にし、見送りもし、一旦帰庁。レクと決裁を消化したあと、こんどはグランドホテルに行き、第五回産労懇。テーマは今後長期的

にみた労働力需給についてであった。三時半から五時半まで熱心に意見を交わし、あと七時半までホテルの地下食堂で夕食懇親会。少産、高齢化、国内企業の空洞化の将来労働市場はどう変化するかをめぐり意見をかわした。八時すぎ帰宅。「千秋」の案内が来ていた。

11月10日（水）曇後雨

一日おくれで今日が庁議、記者会見。ここで九州国際空港につき、知事会と九経連で議題になった候補地に関し、発言したことが夕刊各紙にとり上げられた。十一時半税務職員への報奨金交付式つづいて出席所長らと中食懇談会、徴税の苦勞が話題になった。一時半から十二月議会補正予算案につき知事説明。政府の景気対策と公務員の賃上げ（勧告）関連経費が補正の主流をなしている。私学助成も例年とほぼ同様。散髪ののち、山ノ上ホテルで、関連の与党懇があり、夕食懇親会がつづいた。帰りは雨になっていた。七時半帰宅。睡眠不足でねむい。

11月11日（木）曇

八時十五分に出発。亀岡さんの腎バンクへの寄贈式に立会う。あと決算委員会への対応レクをうけ、午後一時すぎから委員会知事保留質問に入った。高山日出徳、畠中仁の二人。共通は県立病院赤字問題、後は地域振興についても言及があった。三時前には終了し、日程の中に散髪と点滴、決裁を入れることができた。午後六時から清田氏を囲んでの三光園で夕食懇談の場を設けることができた。彼の歯の治療は順当とのこと。みゆき、室長、橋本、小串も参加。八時すぎまでロシア事情などきくことが出来た。浮羽から来た柿をむく。

11月12日（金）曇

九時から十二月補正知事申渡し。あと、九大移転について報告をきく（樺島部長、斎藤副知事ら）。午後 JR 九州専務との話合い。高田湖山から古希祝茶盃贈呈、日赤腎センター棟建設寄付申受け、国道二〇八号バイパス陳情（大牟田市長ら関係市町長）、志井医療刑務所移設反対陳情、そして四時半大連市長ら武藤副議長伴いで表敬。福岡・大連委員会の今後の活躍、双方の発展が話題となった。決裁のあと比較的早目に帰宅。室長、小串両人が来宅してマーじゃん遊びで時間を過ごす。渋柿又届く。

11月13日（土）曇

十時半から市民会館で戦没者遺族大会があり挨拶及び表彰状、感謝状の授与の立場に立った。自民党代議士の出席もあり、会長は遠藤元参議。二時から黒田荘で自治労傘下の活動家たち二五人ほどで政策研究会をしているのに参加、私の方から問題提起もすべく要請があった。奥田県政十年を顧みてという気持で五〇分ほど話し、あと自由討議という形式で五時頃まで。自由な発言懇談であった。帰宅して後、是松松永らが来ていてマーじゃんで時間を

すごすことになった。

11月14日(日)曇

すがすがしいめざめだったが朝食後、中西忍氏からの電話で休務の日を又別途使うことになった。大丸八階で開かれている沈寿官展への参加である。十時すぎ参上し、本人にもあい息子さんから陳列品の説明をきき、本人サイン入りの図録もいただいた。中食は中西氏とわれら夫妻、近くの「てら岡」でとってくつろいだ時間をすごした。三時前帰宅。たくさん用事がつかえていたので揮毫その他の消化につとめた。図録のサインには

土に祈り火を畏れつつ

と記してある。近頃の私の心をつかまえたような言葉なので、おそれ入った。

11月15日(月)晴

十時から講堂で年度職員表彰式が二組に分けて行われた。永年勤続や研究功労者が対象。ひるの中食は三役揃い、一時四〇分から同じ顔ぶれで三役会。ひるは九大の移転問題、篠栗線電化複線化計画が議論された。中食後有明地域振興会議からの年度陳情をうけた。三時に黒川紀章・馬場璋造両氏の表敬をうけ、四時からこの二人を中心とする日本デザイン会議(来年十月)福岡の実行委員会設立総会がサンパレスで開かれ、つづいてその記念パーティが行われた。来年の開催に向け、県市の努力はもちろんだが、青年会議所が推進してくれることとなった。役員、予算も決定。

11月16日(火)晴

庁議につづき定例記者会見。十時四〇分に上海普陀区からの教育視察団の表敬をうけた。大木町との交流をすませたという。注射と三役会の重点施策調整会議のほかは県議会正副両議長の就任祝賀会に時間を費した。十二時半から北九州小倉リーガロイヤルホテル、午後六時十分からホテル日航福岡の両会場。吉村議長は小倉、武藤副議長は福岡と出身地がわかれ、双方とも九電会長川合氏がトップスポンサーであった。改革を旨とする選挙法改正案が衆院特別委を通過した。小選挙区制が動き出す。来年度予算陳情で夜上京。九時二〇分頃羽田着、ふくおか会館泊り。

11月17日(水)曇

省庁予算陳情の一日。自治、運輸、建設、文部の順。冒頭郵政省を訪い、県選出の神崎大臣に就任祝辞をのべに行った。又四時すぎには伊藤茂運輸大臣にも就任祝意を表明した。細川内閣で社会党が与党になって一〇〇日になったし、伊藤氏に合うのは久しぶり。時間がなかったのも、ゆっくり話せなかったのが残念だった。五時頃陳情おわり、東京事務所小休のち、全国知事会主催の第四次中国省長訪日代表団歓送パーティー(ニューオータニ)に出

席した。十日間の日本視察を終え明日帰国予定の一〇人。この八日に彼等は福岡県に第一歩をしるし、山口、鳥取、福島各県を歴訪し東京が終点という。

11月18日（木）曇

昨日につづき予算要望は午前中国土庁。羽田空港ビルで中食。三時ごろ福岡着。帰庁してレクが数件待ちかまえていた。五時すぎから新福岡空港構想につき中間答申の輪郭説明があった。沖合にしぼられそうだ。手順が肝要でもある。六時半からニューオータニ地階の大観荘で来県の江蘇省代表団と県議会両議長ら主体の歓迎夕食会が開かれた。十九日から二十三日まで友好締結一周年記念事業がつづく、忙しさは最高。中西忍氏にドームで開かれる観光博について、又千秋楽について電話をかけた。今年の千秋会に私は顔みせするだけになる予定。ここ数日ほんとうに忙しい限り。

11月19日（金）晴

八時に出発。まず三役会、県文化賞のこと、国立博物館さらには国際空港建設にどう対応するかということ。限りなく困難な問題である。午後一時来県の江蘇省代表団の表敬訪問を受け、「朝の知事挨拶」の録音どり、中洲水上公園でハンスト中のJA県青年部の諸君への激励にゆく。政府が「米の自由化」やむなしの傾きを明らかにしてきたこのごろである。農政連の県議も数人現場に来ていた。三時半、ニューオータニで江蘇省との友好提携一周年記念式典があった。済生会病院での点滴をはさんで南京小紅花の公演及び一周年記念祝賀宴に出席した。子供たちの公演はかわいい、すがすがしい。昨年の南京訪問を思い出す。八——〇歳の少女たち二〇余人が福岡ドームでも続演することになっている。

11月20日（土）曇

十時半頃出発し、済生会病院へ入院中の小川院長を見舞（花鉢をもって）。小西平太郎氏が危篤ということで社会党県議が同病院に数人見舞に来ていた。林県議と院長室を借りて女性副知事について話合い、否定の返事をえた。中食は病院レストランでとり、ソラリアでの「松の実会」に出て挨拶。二時半から五時まで柔道世界選手権メダリスト五人を相手に、県広報新年企画の収録に応じた。テレビとグラフふくおかと県外広報誌と三件、RKBスタジオとタカラホテルの二箇所。六時からステーションプラザで柔道メダリスト祝勝会が開かれ出席祝辞をのべた。七時帰宅したら姫路から和代が来宅していた。

11月21日（日）曇・小雨

九時に出発して「九三国際観光交流博福岡」（於福岡ドーム）の開会式に出席。準備は大変だったろうが、まずは成功だろう。江蘇省との友好提携一周年もかねたもの。二十四カ国をはじめ九州各県も、観光関係や交通機関からも参加、イベントステージはプログラムがぎっ

しり詰っていた。式典の後場内を一巡してのちレセプションにも参加。十二時すぎ帰途につく。中西忍氏が来宅していて二時すぎ九州場所に参観のため退出。私は四時頃千秋楽行事に備えて行動。三〇分近くスモウが長びき六時半から例の千秋会、私を入れて十一人参。坂梨、中川らははるばるはせ参じていてくれた。

11 月 22 日 (月) 曇

十時から検診(点滴)を行い、十時半ステーションプラザでの環日本海交流フォーラム・イン福岡——県社会党ホストに出て挨拶。この会には中食会及び夕食レセプション(六時から)にも出席した。一時すぎソラリアでの第二回九州国際サミットにも出た。ドームでの国際観光博とのつながりもある。二時五〇分西冷印社副社長の一行が来訪。これは今北九州市で行われている日中韓国際友好書画展呉昌碩流水展(八幡市民会館)に来福の要人、竹田県議の紹介でもあった。夕方つくし荘で行われた「社会主義センター」のセミナーに出て旧友たちに久しぶり顔をみせた。

【欄外記入】 日程 一六時「知事と語る」録音収録あり 「エアロビックスをめぐって」

11 月 23 日 (火) 曇一時雨

風強く昨日につづいて寒く(廊下 12°)一時、かなり降った。気になっていた掛軸依頼ものを一枚仕上げた。休みは久しぶり、いろいろ礼状など書かねばと筆を走らせる。自由な時間がとれるとは久しぶり、心身が休まる。外は荒れるにまかせよう。昨夜九時前伊三男氏が二人の男を伴ってやって来て例の巨額の資金を使えという話。エンドレスだが一応引きとってもらったが、今もって気になる。林副知事にその話を持ち込むようだ。きれいに分れた。強風と雨は国際観光博の入場客の往復に迷惑を与えよう。

11 月 24 日 (水) 曇

昨日の休みに代えて今日が定例の庁議・記者会見。十一時から代表者会議で十二月県議会の招集を十二月一日とした。一時から和田九大学長らが来訪、西区への九大移転につきはじめて申入れがあった。決裁をはさんで県政懇二つ。農政連と自民、後者はホテル日航で夕食を伴う。六時ごろ帰宅。秘書室系のハッタ会の人達が集まり、われわれの金婚式内祝い夕食会を行う。冗談がとび出して笑いこけるシーンが何度もあった。啓二が六時頃に帰京したらしい。十二月県議会は平穩に進ませないぞとの声がきこえてくる。苦にしないのが良策であろう。

11 月 25 日 (木) 曇

ここ三日間ほどかなり冷えこんできた。九時から議会対策の一環として「国博」についての勉強会。今日は四つの県政懇、社会、共産、県民ク、公明。最後は魚新での夕食会を伴い、

そのまま日航で上京。ふくおか会館に着いたら九時半を過ぎていた。今日は午後二つの葬式に対応、小西平太郎氏と永倉三郎氏。私は予定をかえて永倉さんの方へ出席。積善社一時半から。全国レベルの参会者で会場一ぱい。議会の国博特別委で県の対応を迫られ、教育長がフォロー困難な施策を答弁した模様で、今後一そう紛糾しそうだ。九州国博誘致がわかってないようだ。

11月26日（金）晴 福岡小雨

晴だった東京。朝のうちゆっくりして十一時半からキャピトル東急でひきつづき二つのグループに分けての六年度政府予算要望の県出身国会議員への説明。県、両指定都市、県南及び西瀬戸内の四つの区分で、第一回目は政府与党七党、二回目は自民である。今年は事情が変わったので一回でと試みたが自民が分けるよう要求したので二つに分けた。質問も少なかったが中食を二度つき合うことになった。終って三時すぎのJALで帰福。点滴に行き、七時からクリオコートで労働党幹部と面談。次回知事選について態度決定の必要がでてきたようだ。連合福岡は自民と提携する方法を模索しているようにみえる。

11月27日（土）晴

よく眠れないままに起きることになり、朝食後体調すぐれずとみて又就床。寒さがこたえたようだ。年賀状のアドレスをととのえて時間がたち、二時四〇分出発、二つの集会に出て挨拶。一つは三時からパークホテルで開かれた社会党自治体首長議員定期総会、次はライオンズホテルでの県中立労連解散レセプション。これには中西、龍（松本）、三重野、淵上と四人もの国会議員をはじめ、中央レベルの運動家も多く出席していた。県労働部からも三人来ていた。二五年の歴史を閉じた。感慨ひとしおのものがある。春闘にはなくてはならぬ組織だった。安川の石口委員長をトップに福岡連合に期待することになる。労働組合の今後はいかに？

11月28日（日）晴

寒さが一段と加わってくる。昨夜はふとんをかえたのでよく眠れた。休務でのんびりした朝だった。十時頃是松氏が約束どおり来宅。前に頼んでいた扁額の表装仕上がりをもってきてくれた。中国との交流のなかでいただいた書画である。この種のものも多く蓄えられることになるが、後日、公民館のような所に寄贈すべきだと思う。拙宅には大すぎるものが幾つかある。河野さんに連絡して彼とマージャンをすることになった。五時すぎ公用車の迎えでニューオータニへ。ペルーのヨシヤマ議長夫妻歓迎夕食会。駐日大使も同行。楽しいひととき。

11月29日（月）曇

十時から二つの儀式。一つは青年海外協力隊出発、二つめは海外技術研修員の修了式。前者

一二人、後者は三人。海外派遣はアフリカが多い。ODA 関係、二年間大変だろう。後者三人は中国水産系である。十一時半に企業立地推進委員五人来庁。あいさつのあと中食、そして苧田の日産、北九州のテクノセンターを視察してもらい、六時からホテル日航で夕食懇談会。花村、斎藤、江崎の諸氏疲れられたことと思う。一時半女性の翼（十月）団員対象の「対話のつどい」。これはオーストラリア・ニュージーランドの旅十二日の体験を中心とし、話題は農業、教育、福祉、ファームステイなど盛りだくさん。皆さん元気で嬉しそうな顔が印象的だった。

11 月 30 日（火）曇後雨

庁議、記者会見、NHK インタビュー（県評センター解散について）につづき、本年産米献穀の報告をうけ、米粟を受納した。宮田町の農業者夫妻からである。十二時から中食をかねて中小企業者組織の役員との懇談会がソラリアホテルで開かれた。検診点滴に一時間かけ帰庁し、三時半から五時すぎまでふくおかボランティアの集い実行委員会メンバー二人を相手に「対話のつどい」を行った。「有償ボランティア」がふえつつある事への問題指摘から始まって話は尽きぬ思いであった。今日の庁議のあと「九州国立博物館設置促進会議」の発足の決定会議があった。ボランティア活動は今後ますます広範に問題を提起するであろう。

12 月予記

一日から十七日までの県議会代表質問に入る前に二日間、篠栗線電化複線化と九州国立博物館誘致体制の問題で県議会の「空転」があったのがとくに大きな問題だった。更に来年度政府予算案の編成が細川新内閣の下での国会の「空転」で、われわれ県レベルの年末陳情が年明けに延期されるという事態に立ち至った。十二月中に新北九州空港の漁業補償が結着する事を願っていたのに、杳尾漁協内にまでまとまらずこれ又越年してしまった。「補償」依存意識はよくない。

12 月 1 日（水）曇

十時にブラジルの派遣者受入農家に対する知事感謝状交付（対象四人）、つづいて国際芸術文化賞の平島一子さんの受賞報告。十一時すぎから県議会本会議、提案理由説明に立つ。二時監査委員との質疑懇談の時間となる。四時すぎ九州工業技術研究所の中溝新所長の就任挨拶。当方の工業技術センター長と共に対応できた。五時半から三役会議、議会と執行部との不適合が問題になった。国立博物館誘致、篠栗線電化複線化その他議会側の指摘は、いずれも計画どおり事態が動いてない、さらに議会への連絡が不十分など諸点が追及され、明、明後日の特別委で強く追及される予定である。

12月2日（木）曇

九時四五分、平和センター代表ら挨拶に来訪。これは県評センターが十一月末に解散したあと引きつぎの仕事をする団体を昨日発足させてのこと。蒲池、松田、速見の各氏。それに、社会党と連帯する労働組合会議も同じく来訪、橋口、岸の二人。十時から死亡者叙勲式、山門郡有志（板橋県議ら）の社協への寄付金贈呈式。終って中食をはさんで三役会、十二月県議会对応（国博と篠栗線）についての苦悩がつづいていて協議に時間がかかっている。二時四〇分韓国観光公社社長の表敬（テジョン・エキスポの礼）があった。決裁ののち済生会病院点滴、のち帰宅は五時半だった。書斎でゆっくり。

12月3日（金）曇・小雨

県議会は、来週からの代表質問を控え、水面下でのやりとりがあっても、どころがしていくかの目途が立たず、昨夕からの出張は私は取り止め、出納長に代わってもらって待機をつづけた。今朝早く江口竹亭師の逝去の知らせで、五時半出発して飯塚の市民会館で行われる通夜に出席することにした。二時間往復の時間をかけたが、出席しておかねばならぬ。読経が七時から始まるのに六時半に着き関係者としては息子さんだけに会って弔意をのべ早々に帰宅した。享年九三歳。私の場合、帰宅後何をする気にもなれず、九時すぎ、就床してしまった。

12月4日（土）曇 小雨

久しぶりの連休。揮毫の宿題があるし、二日で終るとは思えないが、午後になって森山、是松の二人が来てマージャンの日になってしまったので、色紙二〇枚ほど書いて終るしかなかった。是松氏のもって来た掛軸五～六本、巻いたままではシワになるというので、狭い座敷に吊る所を捜すのに苦心している。秘書室から答弁要旨原案をもって来てくれた。自民党が質問内容を明らかにしないので困っているという。かなり冷えてきている。明日が正念場と思って、十一時就寝。

12月5日（日）曇

昨日もってきてくれた答弁原案に一通り目を通し、休務を利用して昨日からの色紙三六枚と揮毫（掛軸用と扁額用、一枚と二枚）を仕上げるのに精を出し、五時少し前に全部仕上げることができ、精々した夜を迎えることができた。一寸日ざしがあつたが全体として重く曇った空である。仕事のためにストーブをつけてはいるが、なくても何とかできそうな気温である。体力が気になるので、自転車踏み機と按摩器をなるべく使うよう努力しているこの頃だが、衰えは隠すべくもない。しかしペダル踏みで足許の不たしかさが幾分克服できているようだ。

12 月 6 日 (月) 曇時々晴

八時から議会答弁原案の勉強会。十一時から始まるはずの代表質問第一日だが、なかなか始まらず、例の国立博物館誘致と篠栗線電化複線化の課題を関係両特別委でどう扱うかが、本会議代表質問より先決という空気で裏面での駆引に終始した。一時頃本会議はすぐ休憩に入り、駆引は延々とつづいて先がみえず、午後五時弁護士会が暴騒音条例制定反対の知事要請というので応接室で対応したが、そのまま知事室で待機。特委は二つとも開かれ両副知事ら夫々出席したが、両方とも明日に結論をもち越した。待つこと久しく、弁当で夕食し、見切りをつけて帰宅したのは九時だった。

12 月 7 日 (火) 晴

八時半から県議会対応について勉強会。今日も代表質問に入らぬまま時が流れ、待機して議会裏の流れをみる。住宅管理審議会の答申をうけた。家賃の悪質滞納者に対し明け渡し訴訟をせよとの内容が柱。二時から二つの特別委員会が開かれ一旦休憩、四時からいずれも再開し知事答弁で一とまず終息した。四時四五分本会議、コメの自由化反対意見書など採択、日程変更を決めて散会。五時半からレストラン・キングで国際化推進議連の親睦会。外国公館からの来客も多かった。六時からサンヒルズで清田彰氏を囲む会 (九州地域緑園会の人々一〇人)。あと、随行の高田氏共々二日市大観荘に公用車で送り届け、十時少し前帰宅。

12 月 8 日 (水) 晴

九時から県議会勉強会。十時四五分小西平太郎氏死亡叙勲式。十一時から本会議。二日ずれの日程で今日は代表質問初日、森田 (自民) 木野 (社会) 後藤 (農政) の三人で終る。農政連の後藤質問でトラブル。五時半頃病院で注射ののち黒田荘へ。六時から清田彰氏のロシア情勢に関する講演会。五〇人ほどの聴衆、その中心は羽原氏をはじめとする福岡若松会の面々、約三〇人、あとは県職員ら。大阪の高田氏が随行してくれていた。現在のロシアにつき各方面から開けてみるといえる興味深いスピーチであった。主催は国際交流センターと県国際課。講演のあと一〇人ほどで夕食会をもち、おわかれとした。

12 月 9 日 (木) 晴

八時半から答弁勉強会。十一時から始まる予定の本会議が昨日の後藤 (農) 発言がらみで自民党が怒り出し、もつれ、開会は午後二時になった。代表質問は高山日出徳 (民ク) と広田誠一 (公) の二人。引きつづき一般質問は勝野芳明 (ク)、藤崎充子 (公) の二人。四時半近く議会は散会。五時から小倉の FAZ 出資について商工部説明の三役会。この時期にこの問題は論議できないとの議論が続出、態度決定は先送りになった。何百億円の事業なので都市高速支援と絡んでダメとの声。明日からの新北空港橋との関係もあって今は不可能という。決裁ののち三光園で六時半から報道責任者会と県幹部との懇親会。九時帰宅。

12月10日（金）雨

県議会本会議代表質問は今日五人。順調に進み、一般質問は今日で打ち切りになった。終了後永年勤続表彰があつて散会、四時半頃。あと決裁とレク。広報レクは十二日（日）に行う正月用のテレビ出演に関するものである。やれやれと思う暇なく今晚は韓国総領事主催夕食会が領事館で行われた。ドームができて領事館も一躍まちの中に没したかの感がある。エコノスの最新号に、表紙を私の顔、中にも四ページをさいて私に関する記事があつて適当だと思つたので、余部を六冊、刀出、佐方、一彦らに発送し届けて記録としてもらう事にした。県議会が一段落したが、とても暇にならぬ。

12月11日（土）晴後曇

午前中久しぶりにゆっくりした時間を私することができた。三時四〇分に出発し市民会館での「広がる希望のつどい」に出席。四時からの身障者など体験発表、コンサートを前座挨拶、表彰状授与の役を果たし、新幹線で往復の小倉ゆき。六時から小倉飯店で中西績介議員を励ます会に出席、挨拶。中西氏は衆院予算委首席理事、社会党議員会長に就任したので、その祝賀会でもあつた。夜八時頃帰宅した。ごむさたしていた中島敏子さんが訪ねて来た。九大のアニマル・センターに元気でOBとして勤めている。自作短歌集を出版したいと話していた。

12月12日（日）晴

十時半からの小西平太郎合同告别式に出席、弔辞献花（於粕屋町中央公民館、町、後援会、社会党郡支部）。十二時にKBCに到着、新年用テレビに対応。中味はまず例のごとく三首長会談、中食、広報番組収録、朝日新聞佐賀支局の取材と、四時半まで続いた。ラジオ録音も他社用を混えておこなわれた。新年マスコミ用は大山を越えた感じ。広報室の職員がたくさん来て手伝ってくれたし、当方は着せ換え人形のように服をかえネクタイをかえて独り舞台演出の緊張づくめの日だった。五時前に帰宅でき、あと、やっと、わが日曜日となった。

12月13日（月）曇後雨

十時に県サッカー協会や福岡青年会議から陳情あり。プロサッカーJリーグの誘致について、前向きな回答をした。Jリーグをと五〇万人署名が持参され、武藤副議長が案内してきていた。熱気沸くという現状がよく反映され、プロ野球をしのぐほど。議会の常任委員会は順調に進んでいるが、待機の姿勢。その間をぬって歯学部寺田教授に治療を願った。下前右の歯の金属冠の部分、下最右歯のしみる点、上前右歯のぐらつきなど、あれこれ故障あつて二時半のアポイントをとっていた。応急措置として金属冠のところだけ手当、甲斐先生にも会う。六時点滴、七時帰宅。比較的温高く、午後雨となる。

12月14日(火)

十時から農協中央会、農政連の合同陳情。農業諸対策、中でもコメ市場開放阻止の意がこめられていた。今日未明中央ではガットウルグアイラウンドでのコメの部分開放合意やむなしの方向が打出されたばかりである。記者達がこの時とばかり知事発言をメモしていた。十時半全国駅伝に出動する高校男女三チームの来訪があり、激励の言葉、色紙を渡し握手で送る。県議会常任委員会の日程に当るが途中グランドホテルでの木曜会に出席、県の対政府新年度予算概要を説明、中食にもつき合った。新年対職員挨拶原案を論議。帰途問研に昨夜書いた月報原稿を渡す。五時半帰宅。

12月15日(水)曇

午前中在宅できたので気になっていた手紙を書いた。歳暮の札が主、5通書いた。一時出発登庁して県議会常任委員の動きに対応できるよう待機。コメの部分市場開放について昨日の記者取材での私の発言が各紙でかかれています、秘書室や農政課でざわめきがあっている模様。「コメ部分開放」となれば県もそれなりの新しい対応が迫られようからその準備をするよう秘書室の者に話しておいた。又昨日「月報」原稿を渡した内容についても論潮が悲観的であるとの見解が寄せられた。常任委員会は「土木」だけが進捗なく残された。北九都市高速料金のこと。六時帰宅。

12月16日(木)晴 曇 小雨

十時半出発。土木常任委員会は十一時すぎ通常の審議に入ったが、どこかで又ストップしたようだ。午後七時になって私は議会棟の控室に移り待機。すり合わせが終ったため八時常任委での知事答弁となり、二〇分ほどで結審。予定が狂ったが、このあと金剛園での社会党県議団懇親忘年会に出席。おそくまで待っていてくれたのでゆっくり付合うことにした。その代わり山ノ上ホテルでの「一期の会」には欠席せざるをえなかった。通常業務としては二時に甘木朝倉市町村の合同陳情を受けただけ。九時半帰宅したら一期の会の流れか、森山らが来てマー جانをしていて、後で私も加わり、夜が更けた。

12月17日(金)曇・晴

九時二〇分発。十時から死亡者叙勲式。十一時二〇分から代表者会議、しばらくして本会議、縮めの議決などあり、終っていつものように議長、各会派へのお礼まわり、記者クラブにも。部長会はばらばらになってしまった。二時半から広報課レク、これは次の日曜に報道四社の新年取材予定の諸課題について四時半すぎまで。途中公明党の予算要望を受ける。五時からリーセントホテルで福岡高教組の四五周年記念誌「時代を超えて」出版祝賀会。立派な本を衣笠氏が監修、タイム社から出版されたわけ。六時半済生会病院で注射、七時帰宅。冷え。

12月18日（土）晴

議会が終って休み。龍野中学校の同期会（サンキュー会、於神戸六甲荘）は欠席とした。その代わり揮毫の課題がたくさんあって一日中それに没頭した。色紙六枚、茶掛三枚、掛軸と扁額それぞれ半枚六枚。字を選んだり、書き損じ、不出来など時間がかかる。二倍色紙一枚はどうもうまく納まらない。それが又荷を大きくする。終って日記をつける。午後九時ジャスト、でも満足できる一日だった。何かをしたという満足感である。六甲荘に電話してみようかと思ったが、皆それぞれに楽しんでいるに違いないと考えやめた。

12月19日（日）曇

十一時から高宮別館で新聞四社の「新春インタビュー」が行われた。溜め記事のお手伝いということである。日経、毎日、西日本、朝日の各社。五時前には終わったが最後の朝日のあとは雑談になり、帰宅は六時すぎになった。空港構想の質問にははぎれよい答ができなかった。新北あり、現福岡があってその上に新福岡と九州国際空港の話が重なってくるからである。国会が延長され来年度政府予算案は今年中にできなくなったので、年末の日程にも変化がでてきた。新年ははじめから多忙となる。次期知事選について質問されたが、まだ何ともいえぬと答えた。

12月20日（月）晴

九時二〇分出発。十時に環境緑化懇話会からの要請を受ける。このあと年末の寄付金贈呈式、二件。石橋幹一郎氏と生命保険協会と。十一時半歯科治療で寺田教授に診てもらう。先日の応急処置のまま、暫時様子をみることになった。午後 NHK メディス社の新年放送応答。三時に書道賞に輝く築上中部高校から校長、書道部長が受賞報告に来訪。生徒たち手造りのカレンダーをいただく。後藤県議同行。あと明日の記者会見レク、次いで出先で放送する知事年頭挨拶録音、決裁そして済生会病院での注射を経て帰宅六時すぎ。今日からオイグルコンに代わる新薬服用となる。

12月21日（火）曇

庁議、あと福岡県緊急農業農村対策本部の設置による初の会議。記者会見ではこのことを主題として報告。農政部長室での看板かけをした。十時半日本精工（株）の浮羽町立地の件でこの会社の取締役と鎌水町長とが報告に来訪。又ツインドームシティ中内正社長が年末挨拶に来訪。企画部から明日の上京陳情につき説明。決裁をすませ、中食して帰宅。室長と小串の二人が来宅し、午後のマージャン会となる。かなり冷え込むだろうとの話。今日庁議で対策本部を設置することにしたのはタイムリーだった。

12 月 22 日 (水) 晴

十時発の ANA で上京。十二月県議会の積み残し課題に対応の省庁陳情。二時から五時まで、エネ庁、文部文化庁、自治、農水の各省、加えて自民衆議員古賀 (正)、山崎拓、太田の三人。国立博物館誘致、三池炭鉱稼働継続援助、農産物市場部分開放対策など重い課題への対応への支援を陳情したわけ。農水省では大臣、次官、官房長みんな努力を重ねた結果やむなくそうなったのだから理解してもらうしかない、かえって開き直りとすら思えた。当局の苦労もよくわかる。夜景を絶讃しながら東條会館南龍の一角で中華料理の夕食をとり、早目に、ふくおか会館での休眠となる。

12 月 23 日 (木) 晴

八時に朝食。時間のゆとりがあるのでサントリー美術館に見学。平泉金堂ほか付属仏像など新たな思いでみる事ができた。東條会館で貸衣裳を利用しての皇室ゆき。天皇誕生日祝賀宴席に加わった。知事クラスの人も少くなかった。私の隣が奈良、前が鹿児島、その横が兵庫というように。細川首相が祝辞、土井議長が乾杯のことば。外では三度にわたり、一般参賀の対応をされた天皇、今年は区切りよく還暦を迎えられたわけ。東北、北海道は大雪らしく帰福の空の便がこれとつながり一時間遅延した。福岡も晴れてはいたが、冷え込んで、東京同様きりりと締まる。羽田空港で茜の夕空に突き出た富士が何とも荘厳に目にやきついた。

12 月 24 日 (金) 曇

九時半から一時間病院で点滴。十一時すぎから連合福岡の幹部の来訪をうけ、緊急雇用対策要請書を受領、県の対応を概略答えた。決裁ののち中食、終ってすぐ年末挨拶に出発。対象は、三木、助信、住吉、浜中、吉村、松尾の六氏、室長が同行した。クリスマス・イヴのせいだろうか、平素よりも渋滞する道が多かった。一時前に出発、帰宅は六時半を過ぎていた。老人ホームを経営している松尾氏は例により、予想をこえるみやげ物をいただき、かえって恐縮させられた。曇ってぐっと冷え込むここ数日である。今朝は寒すぎて残り時間眠ろうとしたのに眠れず、北部県域をまわる車の中では眠かった。疲れを覚える。

12 月 25 日 (土) 晴 (休務)

朝から夜まで筆を執る時間にあてた。気にくわぬことばかりで労多くして果少しといふところ。自分の手が信じられぬわけ。時間ばかり経つ。天気がよいのに外にも出ない。空気は冷たい。昼前は松氏が来て、以前にできていた茶掛がき三枚をもって帰った。藤本、丸本らに贈るものようだ。今日の成果は色紙三枚に条幅もの四枚、こう出来が悪いと嫌になる。松山の田窪さんが又鯛の浜焼を送ってきてくれた。あれこれ歳暮が来て、さし当り礼状を出すべきものについて四本の手紙を書いた。まだまだ何枚も書き残している。啓二が二十七日

に来福するという。

12月26日（日）晴後にわか雨

連休二日目。部屋にいて時間を自由に使ったが、周辺何となく暮れ忙しそうである。快晴だったのに風が出て雨が伴った。それほどには寒くない。「万燈」句誌が届き少々筆で書いてみる。竹亭さんが逝去され、あと一月号から井尾望東さんが編者になってある。小島隆保さんは別の句誌を創刊されている。時間があるので部屋の掃除でもとは思いつながら「きりが無い」と思うので、平素のままで新年を迎えることになりそうだ。動きたくないほどに老化したといってもよいかも知れぬ。

12月27日（月）晴・曇

九時半に出発。感謝状贈呈につづき、辞令交付、そして国立博物館誘致対策室設置看板かけ（一〇階）。十一時から西日本新聞社小野記者との懇談を一時間、次の知事選は？という問いも出た。あと明日の記者会見レクと決裁。中食後残りの年末挨拶まわり（福岡市など）。武藤副議長は来室のついでにすませ、訪問は林県議、上岡さん、上杉佐一郎氏、多川博氏、それから九電・九経連の川合会長宅。年末なので、いつもより交通の渋滞がひどい。南区は道の状況がよくない。でも五時半には帰宅できた。待ち気味だった啓二一家の来宅は夜の十時すぎ、就寝は十二時をこえた。

12月28日（火）晴

冷い中にも気温は高く、どことも年用意の気分。八時五〇分出発で九時半から庁議のち博物館設置促進会議、年末記者会見はそのあと。レクやら決裁があったが、午後一時に県の自然環境保全審議会小野勇一会長の来訪をうけ、イノシシの話題などを混えてヤマと生き物について県の対応に関する意見をきいた。六甲山の例をひき県はもっと、農業のあり方猪狩について配慮すべきだという。尤もな注意だと思った。二時半松本英一氏宅に行き年末挨拶。三時病院で点滴、院長から血液検査の所見をきき、四時すぎ帰宅。あと自由時間。

12月29日（水）晴

いい天気。おだやかに暮れた。今日から一週間ほど公休となる。年用意の気持はあるが特別にすることは無い。書齋の整理にかかってはみたが、無限、処置なしとみて途中でやめた。ひる少し前に直美が東京から帰ってきたので、総勢六人になった。連れ立って外出したので、私は窓の掃除の残り部分（上方、梯子を必要とする）を片付けたり、気になった刃物磨きを試みた。こんなことで迎春の気休めとなる。机辺には来輸物が山ほどあるので、新年までには何とか整理できないかと思っている。筆をもつ時間もあって気休めとした。退職したら掃除に時を過せたらいいと思う。

12月30日(木)晴

連休の中にある。朝はみんなが揃うのが十時近かった。中食に代わるものとして正月前を意味する餅を食べることができ、気分満点。オロシ、キナコ、小豆餡の三種類。みんな大よろこびで、やわらかい餅をいただいた。電気もちつき機が活動したわけ。夕方まで書斎の中、乱雑に積んであった一年分の来翰物を気の向くままに整理し捨てるべきものを取り出し、分量を少なくするのに役立った。全部捨てる気持になれないわけで、十数年はこうした保存の仕方を守って来たと思う。他人からみると無駄に積んであるとみえる以外の何ものでもないが、私には今、それが許されないわけ。

12月31日(金)曇一時雨

とうとう年末。朝から風やら雨やら気になる所は掃除。便所の窓枠もきれいに拭いた。ゴミも焼いた。午後は宿題にある揮毫にかかり、六時頃に終了した。気分がいい。古手紙類で無用と決めたものを焼いたので置き場所がすっきりした。台所もいそがしそうだが、ライヤがいるので適宜手伝うだろうと思って放任。正式に越年のつくりをしているようだ。配慮はあれこれ大変だろう。昨夜も啓二、直美らとケーキをたべて雑談し夜半をすぎ、就寝は二時を過ぎていた。不摂生が少し積りすぎているのではないか。

補遺

一月十四日。わかっているのだが、ついでに検査といわれるで拒否もできず、実にいやな腸の透視をうけた。次週には胃の透視が予定されている。実に嫌な感じの中で耐えねばならぬ三十分だ。これが今日の医学、医術の先端なのであろうが、目的のためには手段はあとにつくといった具合である。胃は毎年でもいいが腸はそうたびたびしなくてもいいといわれている。透視レントゲンの働いている時間は二〇分程度らしいが、痛いのではなく嫌悪をもよおす。苦痛地獄におとし入れられる。嫌といって拒否できるなら、二度とこんな目に合いたくないと思う。床の上で目をつむり、人間の生命について考えてみた。

十一月十七日。長らくこの補遺のページに手を染めるゆとりがなかったのだろう。昨日は午後の議長副議長の就任会で小西平太郎氏が脳いっけつで済生会病院に入院の報が入ったことを隣にいた松岡県議に知らせたらすでに知っていた。太りすぎのせいだろうか。まだ若かろうに。今日は北九州、福岡の両会場で両議長が四一、四才という若さは全国で初ということが祝辞の中でさかんに来てきた。議員が若くから志して抜んでいくべき時代に来てるので賛成。自民社会両党ともいつ割れるかわからない政況にきた。「進歩と改革」にのった清田彰のモスクワ事情は読んだ。混乱と様が変わりの展望だ。

十一月十七日つづき。新北九空港建設にからむ一七漁協の漁業補償問題が、未だ二漁業について話合いの妥結がえられないとか（昨日朝）。がんばるのも紛れあうのもいいが、いい加減にしたらどうだろう。補償をたくさん取って孫子の代まで遊んで食っていこうとするならとんでもない態度である。福岡空港についてもどっさり地主が残り土地を手放さぬ人が多い。孫子の代までそうだろうが、それでは立派な孫子は育たない。炭鉱の就労生活保護、鉱害復旧も似ている。補償は一代限り、五年限りというように期限を切り、代案を継ぐべきだ。

十一月十七日。昨日の正副議長の就任祝賀会はあれこれの挨拶をきいていて、今国会で論議されている政治改革の一環としての小選挙区制成立、次なる改選への出馬をにらんでのことであろうとの推測は多くのゲストの間ではほぼ一致している。今から名を売っておく絶好のチャンスで単に儀式好き日本人というファクターからだけはなさそうだ。国会での小選挙区制討議には社会党の中にも反対が少くない。共産党はもちろんだ。支持母体の状況からみて当選の自信ある人が激減するからである。住民一人一人への日常的な政治サービスを再考すべきだろう。

十一月十九日。一〇〇日前細川内閣が発足して自民党は野党になった。政治改革が叫ばれながらそれは選挙区の改正に絞られている現状。小選挙区になるようだが、国民が候補者に接しつつ投票できる議員数は二七〇程度。どの選挙も一騎打になりそうだ。背景の人口は四～五〇万人、佐賀県は五人から三人へ、福岡県は二〇人とか。従来の地方代表の数がかわってくるし、顔色もかわり、党代表を選んでいくのに各党内では比例に適する大物を順に並べておくために大混乱がおこるに違いない。誰にきいてもこの先どうなるのか見えてこないという。

睡眠薬が絶対必要なんだろうか。近頃なかなか入眠しない。入眠したあとで、つまらぬ嫌な夢をみる。幻想でもない、眠る体力が弱まったとしかいえない。くよくよ考えごとが多くて眠れないのとは全く違う。私には心を累たぐわす何のものもない。すがすがしい心で毎日動けるし、入床の瞬間は無限の大小や「色と空」などを去来させているにすぎない。人間を極小に、宇宙を極大に考えこむのも面白い。中国人客を迎えはるばる訪日、あれこれ視察してもらおうが、つまりは私どもと少しもかわらない。しかし全く違う環境の中で生きて今だけ同一の機会、合うこと、同一性にいるのだと思うだけである。

十二月十四日。師走の月も半分しか残ってないのにこの補遺のページがたくさん残っている。毎日の記帳が余りにもあわただしい環境心境なので、せめて日々ページを埋めようとするのが精一ぱいである証拠であろう。ともかく就床するしかないところまで時間を使う日

が多いのである。今年も余すところ僅かになった。でも老化現象とも解せる忘却がひどく、一体今年はどういう事だったのか試してみても、あまり多くは浮んでこない。そうした中で自民党38年の政権が細川連立政権に代ったのは国民の意識の変化を含め大きな時代転換を意味する画期的なことであったと思う。それとの関連でモスクワから帰国した清田氏の話で、ソ連邦の崩壊をもとにかえそうとしてクレムリンで砲撃騒ぎになったロシアの変わりようもドギモを抜かれる事項であった。この夏のいつの日だったろうか、清田氏はロシアの保守派の社会主義回帰—共産党独裁への回帰の志向がもはや通用しなくなったとの指摘には少々驚き考えさせられるものがあった。時代は大きく地球的規模で変わりつつあるようだ。日本での自民党の野党化も、その一環として考えてもいいと思う。もしそうだとすれば、このことに気付いている人は少いと思う。今の若者には自民党も社会党もほとんど意義を感じさせない存在のようだ。

戦後五〇年とはまだいえないが、学徒動員五〇年、私共金婚式がやってきたわけだ。半世紀が過ぎたのである。変化するのは何の不思議でもない。その間日本は理性なき国政から理性ある国政へ転換した。戦争なき五〇年という、明治以来はじめてである。自衛隊に経費がかかるとしても過去の戦争にくらべるとはるかに国力蓄積に貢献している。経済成長はあってしかるべき結果といえる。われわれ五〇年の平和を享受でき、有難い限りである時に戦時中の苦難の話題がでるが、どうしてあのような非理性的国状に甘んじてきたのか不思議なほどである。しかし他方、この平和の享受が時代の人々に他面での毒を与えている。特に若者は苦の数々を知らない。3Kとか5Kという言葉が堂々とまかり通るのである。心の試練にも弱い時代の人々が増えつつある。これでは異変に耐え抜くことはできまい。異変にあえば瓦解するだろうし、あとは廢墟となるしかない。その前に社会の安全が乱れる、無秩序がはびこる。日本は世界的に見て安全社会であるが、それが壊れるに違いない。麻薬、凶器、暴行、詐欺など、知恵と力づくの社会へと落ちて行くかも知れない。これからの社会を担う人達に孔子や釈迦の教えなど通用すまい。無秩序を経て後正常にかえるしかないとの予感がする。

十二月十五日。昨日の議会の質問で次の統一地方選に再立候補するかと質問され仕残した課題も多いので支持があるならやりたいと答弁した某市長がいた。少し早いとその類の質問が出る時期になってきた。県でも十二月はじめの本会議でそれがあつたが、私は残された期間全力を注ぐとただただで出馬云々には言及しなかった。まだ少し早いと思う。でも腹の中ではいい加減にしてほしい、今でさえ辞したいのにとの気がある。奉公というのは滅^マ死^シに通じ特別職だからといって何でもやらされる。自分に帰りたい。生き甲斐を失わぬことに注意して帰りたい。

十二月三十一日。いよいよ暮れる。一年がだんだん短くなる。今年はとくにいうべき事があったか、ふりかえるが、江蘇省友好一周年の国際交流博（於福岡ドーム）や清田氏のロシアからの帰国、来福がすぐ思い浮ぶ。冷夏、長雨、円高など日本経済へのマイナス作用、細川内閣の成立（自民党長期政権の終焉）、そしてコメなど（部分）輸入自由化という新しい世紀、時代のはじまりともいえる大きな変動があったのも特筆すべきであろう。細部にわたっては人それぞれに判断が違うのも妙だといえる。賛否両論ともいえるし、評価があまり一致しないのも事実である。不況は三年もつづくが、新年後半には回復との声がある。昨年も同じだったが、いつまでも底がつづくように思われる。バブルの崩壊というのだが、立直り不可能なのではないか、経済大国も終りに来たのではないかとの意見もある。安易な判断はできないというのである。第二次世界大戦後、英蘭など西欧諸国は落ち込んだが、それなりに発展時代の負の部分克服している現状ときく。日本も発展のテンポを気にしないで環境とか高齢化社会を重視する段階に入ればよいと思う。不況からの立直りという面よりも、処置し残した部面にコストを投じる国になってほしい。日本国の体質改善だ。

1994年

年頭の所感

半世紀ぐらいのタームで考えられる変化の時代が幕明けしたように感じながら迎える新年ではあるが、多くの課題を抱えたまま中央の動きに先行きを見届けぬまま明けてしまったという感じの新年で、来年度予算陳情は年初のあわただしい諸行事の中に無理に入れ込むことになる。国会は政治改革につきAでもないBでもないといって停迷しているし、国は大蔵原案も出さぬまま、政府原案はきびしいとの予見だけで姿みえず、地方自治体は憶測で次年度予算編成作業に着手せざるをえない。1月1日の西日本新聞は奥田知事四選出馬断念かというような一面記事を出し、県民に新しい注目をひいたが、当紙を一部とする福岡の経済界の希望を十分に取り入れての前ぶれ記事に違いない。福岡の政治、経済の主流をなす人物はこぞって奥田知事の存在に賛意をもたず、早く代わってほしいと思っている。西日本新聞はそうした雰囲気や代弁しての記事を作ったのである。もちろん当てずっぽとはいえない。私は記者とも語ったのは確かだが、何もこの正月の一面記事になるような問題ではあるまい。今年六月頃にはわかる問題である。

1月予記

年末二十八日に西日本新聞の記者に語り、一月四日の記者会見でも語った私の「四選不出馬」問題が身辺で終始問題にされたこの一月であった。西日本新聞は社の希望する方向でこの話題を活字にした。私に出馬してほしくないという気持が、出馬しないと言っていると読めるように念入りに報道している。一月一日朝刊トップに書き、その後二回ほどその方向で書き、さらに県議会決算委員会でも「知事保留」で質問された。私の言葉づかいも悪かったと思うし、誰にも相談せずに言ったので周辺に大いに迷惑をかけることになってしまった。

1月1日(土)晴

九時ごろ元旦朝食となる。別段課題がないのでふとんの中に入り、眠るとはなく時間が過ぎたがテレビの音が雑音に聞こえて仕方なかった。午後コウ・テム・リム氏が年賀挨拶に来てしばらく話し込んでいた。彼がかえってから夕食、すきやき会、少しばかり習字の時間があったが、夜になって気になっていた年賀状を一通り見る順になった。対応すべきものを選び抜いたが全体の三分の一ほど。三〇〇枚はあろうか。ゆっくり考えてから対応しよう。年賀状の中に失対事業への注文を内容とする統一ものが何十枚もあった。高橋正雄先生入院中とかの知らせもあった。

1月2日（日）薄曇

ほんのりと寒いほど。朝風呂にはいり、朝食後は又ふとんにもぐりうとうとした。毎夜啓二たちとつまらん雑談で就寝がおそいから。午後啓二らは動物園にといつて出かけた。私は書齋で習字をして初筆そのもの。作品を作るつもりはない、何か書いているとそれが満足なのである。今日も就寝はおそくなった。健康が心配だが、ここ正月数日はおそくなくても自分で許そう。追加賀状は同じように整理した。チリ籠にたまる紙屑は集めて灰にしたが、あと味がよい。

1月3日（月）晴

また筆をもった。年始挨拶をまとめて受けるため、一時から山ノ上ホテルで席を設けた。三〇人は来てくれただろう。ごく親しく、又基本的に世話になった人達だ。四時頃までそれぞれに語りながら飲んでいたが、散会后マージャンをすることになり、やめて帰宅したのは午後九時半であった。中西忍氏の要望で電話したが、窯業大学校設立の件で川口町長と共に訪問したいという。佐賀の知事がどう対応するかにもかかっている。又田川原田（敏）氏とも連絡として依頼揮毫はできているからと伝えた。

1月4日（火）晴

八時二〇分発仕事始め。庁議での挨拶、記者会見、養護施設卒園者激励の会（色紙贈呈も）。その間にいろんな所から新年挨拶の来訪をうける。平和センターの役員の来賀は応接室で、あと十二時ごろ近くの平和楼で彼等が新年会をしている席にも一寸顔を出した。県立の三大学々長はじめ、春日、八女、三輪の市町長も来賀、銀行、国際交流センター、多川博氏らも。又傷痍軍人会、母子寡婦会、信用保証協会からも。四時から点滴をうけ五時半には帰宅。あれこれ身辺整理の仕事がたまっているので対応した。

1月5日（水）曇

十一時から農協をはじめとして、十数箇所新年挨拶まわり。最後がグランドホテルでの西鉄主催の新春祝賀会。五時四〇分に帰宅できた。まんなかに福岡商工会議所の新春祝賀会がニューオータニで開かれ、この両者には三百人をこえる来客があった。みんなの共通話題は長びく不況であり先が見えないという観測であった。又マスコミ界などでは、私の四選不出馬報道が話題の一環を占めた。只、言うのが一寸早すぎたとの批判が主流で不出馬をどうこういう人はなかった。身辺ではしばらくこのことが話題となろう。覆水盆にかえらずで、あと処理をするしかない。

1月6日（木）曇後晴

10時からドームで県警察年頭視閲式が行われ、挨拶視閲。十二時からグランドホテルで舞

鶴ライオンズクラブの例会に出席し講話を引受けた。他の時間で年頭挨拶数箇所を消化したあと帰庁。レクやら挨拶うけ、決裁をすませ、六時から博多弥生での解放同盟と県幹部の懇談会、八時すぎに帰宅することができた。二時から二時間ほど三役会があり、私の「四選不出馬表明」をめぐる波紋の問題点修復の部分について論議があり、これは八時半帰宅から夜半四時まで啓二夫妻をまじえ延々と七時間ばかり語り明かす種にもなった。私の感情が許さぬ周囲との感じは拭えず。

1 月 7 日 (金) 晴

啓二たちは午後四時の便で東京に帰った。私は一日中新年挨拶まわりで、これで一段落(あと労組系が残る)。グランドホテルで十一時から解放同盟の旗びらきに出席、参加者は党派をこえ多かった。挨拶まわりは福銀ほか新生党、日本新党をふくめ、主政党全部、NHKほかテレビ社、西部ガスや九電工など十六団体に及んだ。多くのところで、私の四選不出馬表明が話題にのぼった。五時半に帰宅。六時過ぎから室長、城戸さん、小串を入れ夜のマージャン会になった。

1 月 8 日 (土) 曇

冷いというほどでない、風もなく曇。休務なので宿題になっている揮毫で時間を費す。臘梅は満開少しすぎたところ。音もなく静寂。揮毫には夕方までかかった。僅かな不満がどうしても去らない。いい加減でよかろうと切り上げる。1/2 の半截もの二枚に思わぬ時間がかかった訳。あとは問研月報の毎月の寄稿につき荒書きしてみた。米・日の自動車産業の景況逆転にふれてみた。米国のもり返しの力は強い。早目に就寝、薬のおかげだろうが近頃寝苦しいという日はない。

1 月 9 日 (日) 晴

10 時から福岡市消防出初式。福岡ドームで行われるのは初めて。今日は快晴で風もなく春のようだ。ドームの中はかえって寒かった。十一時半に帰宅でき、中食後は西側の陽当りのよい場所を選んで枝切り鋏を研磨した。平素使っていない六本が赤錆びで固くなっていたのをほぐしたかったのである。ほんとうに勿体ない天気だ。三時頃から上田河野の二人を誘いこんでマージャンをやりはじめたら十二時間も遊び熱中して疲れがひどかった。二人とも疲れているようだ。長時間の遊びはいけないということなのに……。

1 月 10 日 (月) 晴

すばらしい晴天がつづき、寒さもそれほどではない。十日えびすで県庁前東公園はごった返している。一時半からレク、決裁のあと、今日は労働団体への新年挨拶。自治労、西鉄労館、そして大手門会館、労金、共済、連合、ゼンセン、地区労、全国一般などをまわった。四時

からは七階で連合の新年交歓会があつて挨拶、社党など関連県議の出席も多かった。五時半から点滴、七時から青年会議所新春例会で十五分の長い講話（ニューオータニ）になった。七時半間研事務所に行き、秘書室の松田、小串を伴って、衣笠、大塚（高教組）計四人の前で「四選不出馬」問題を語り合った。

1月11日（火）曇・小雨

久しぶりの曇り。九時から庁議、記者会見。あと日程に関するレクが続く。一時からの三役会では小倉に設置計画の流通センターFAZへの助成が問題になった。福岡の同種のものとの均衡も念頭にあった。三時からサンヒルズで産業廃棄物協会の新年名刺交換会に出席挨拶。帰庁、決裁のあと「かわさき」へ、信用保証協会と三役の懇親会。つづく不況のなか、協会はよい成果をあげている。八時頃から社会党林団長を含めマージャン会となる。十二時頃まで疲れながらも遊んだ。早く寝るのが大切、薬のおかげで入眠できている近頃の日々だ。

1月12日（水）曇・小雨

十時から警察棟大会議室で新年署長会議で挨拶。十一時から両筑土地改良区から代表市町長、三県議らの地下水問題などの陳情（小石原川ダムによる濁水を含む）を受ける。二時から高松光彦氏との対談（地域気質をめぐる）—グラフふくおか三月号用に。決裁ののち、五時からの自治労県本部の旗開き（ライオンズ博多で）に出席、テーブルを一巡して杯を合わせ、あと六時半からサンヒルズでの県警新年懇親会にも出席挨拶。OBの人も多く出席していて学園紛争時代の思い出を語り合ったりした。七時すぎ帰宅。久しぶりの家での夕食をえた。体力の自信がだんだん薄れてきた。気温は高い（三月下旬なみ）。

1月13日（木）曇・小雨

十一時半からグランドホテルで恒例の沿岸漁業代表者との新春の集いが行われた。挨拶、激励、中食こんだん。午後は検診（点滴）、皮膚科診断。あと登庁、散髪、そして朝鮮総連からの新春挨拶来訪、決裁がつづき、六時から三鷹ホールで例の共産党旗びらき。七時から九時すぎまで三光園で三役を含めた県政推進会議の懇談会。ここでは社会党県議代表、主要労組代表、小柳氏（後援会代表）ら二〇人ばかりが集り、四選不出馬問題発言の陳弁が求められた。まずは成行きを見守るほかないと思っている。十時前帰宅。

1月14日（金）曇

十時に福岡商工会議所に山下会頭を訪ね、ペルーに小学校建設の募金活動について意向打診をした。ノーの返事ではなかった。一時半アルゼンチンのコルドバ大学の日本語講座学生の表敬をうけた。二時中西氏が川口有田町長を伴って来訪。陶磁窯業大学建設構想について

意見を交換、国立の大学を目指してのこと。決裁のあと六時から東中洲の第一ホテル地階の車屋で高橋県議招聘の会食に出席、明日のハワイ州との友好調印式に関連しての集客である。精薄者施設間の姉妹関係のこと。七時頃帰宅したら、直美らが金婚式の祝品として送ってくれたベッド二組が届いていた。

1月15日(土) 晴

十時から高宮別館であかね園とヘレマノ・プランテーション(ハワイ州)の姉妹施設提携調印式があり、立会人として出席した。あかね園は県議の高橋氏の夫人が経営する精薄施設、始業して二年しか経ていない若さである。五〇人は入園している。精薄児者には大そう手がかかるだろう。国際交流の実践の中で効果があがることを期待する。調印式のあと和室に移り列席者二〇人余で茶会を開いてもらった。十二時前に帰宅。ゆったりした気持で「月報」の原稿を書き、夕食まで有効に働くことができた。

1月16日(日) 曇後晴

休務。揮毫の宿題さばきに没頭した。色紙三〇枚はかんたんすすんだが、半截、四分の一截それぞれ気がすむように届くまで時間がかかった。夜の九時までかかって四枚の軸物、残片付が終った。骨折りばかりで満足できた訳ではないが、まずは宿題全部おわってやれやれといえる。問研の原稿も読みかえし、明日渡せるようになった。右の腋の下がどうかしていると思う痛みが時にある。

1月17日(月) 雨

十時から天皇誕生日御下賜金の伝達式(対民間社会福祉施設団体)を行ひ、あと大濠高校バスケット・ボール選抜大会優勝の報告会があった。十一時すぎ臨時県議会(粕屋郡二議席補欠選挙当選者の紹介、所属決定)。二時から農業大学の視察と「対話のつどい」があった。若いせい出席者は固くなって発言が不十分だと思った。農業後継者難の今日、その部門で生計を立てていこうとの意気は買ってやりたい。帰庁して明日のレク、五時半からリーセントで「いきいきライフ」懇談会があった。

1月18日(月) 曇

ようやく寒さが本格的になった。定例の庁議・記者会見、あとは日程上のレクがつづいた。午後一時豊前市の後藤県議が案内で山の住民数人を伴い、金柵でとらえたという猪の肉一片を持参、猪害の話にわいたひとときを楽しんだ。三時から朝の挨拶録音、つづいてペルー有富大使が来訪、学校々舎建設募金が話題となる。五時すぎタカラホテルで中小企業家同友会の新年祝賀会に出て挨拶、あと検診。六時から「かわさき」で連合福岡の議長、副議長、事務局長らと県幹部の新春懇親会。九時半帰宅。

1月19日（水）小雪・曇

本格的な冬の冷たさになり、朝から小雪がつづいた。十時半から御笠川浄化センターの視察、いつか見ておきたいと願っていた事が実現したのだ。中食も含めよく世話してくれた。防寒コートの用意されていた。六〇余万人の下水処理施設である。午後は道路公団管理局長、日産自動車社長の来訪をうけ、四時から五時まで保険医療福祉職員海外派遣研修団員を対象とした「対話のつどい」があった。二〇人（うち男二人）の民間施設職員たちだがカルチャーショックを受けたようだ。話の内容は大きな参考。六時少し前に帰宅できた。

1月20日（木）曇・小雨

十一時半県警本部長来室、定員増の要望があった。日本電装常務の挨拶来訪のあと一時四〇分から講堂で特別講座の前座知事講話四〇分。このあと共産党大阪府議表敬、姫高の後輩浅野氏、国博対策室レク。決裁のあと一時間点滴にゆく。血圧は最近低目である。五時から、かわさきで、二一県民の会の集会、懇談会があった。県評センターから平和センターに変わった件と、先日からの知事四選不出馬がテーマであった。この会は知事推薦母体、西井、土井、具島、秋枝、応地、石村、市川、中村など、松田留さんが平和センターで取りしきっている。

1月21日（金）曇時晴

休務が三日つづく。例により揮毫の宿題があったのでそれに取り組み夕方五時すぎ完了。色紙は少く条幅が多かったので時間がかかった。疲れたので床の中で休んでいたら秘書室橋本から電話があった。夕刻参議院で注目の選挙制度改革法案が否決された。報道対応があれば慎重にとの連絡である。小選挙区制の導入に社会党も反対という内部分裂の投票が多かった。政治腐敗への対応が小選挙制で対処する法案への抵抗である。

1月22日（土）曇

休務二日目。一日中筆墨の友となる。昨日仕上げた条幅六枚は墨汁に書きかえ、墨が薄いのが気がかりだった。半切れ用紙にあれこれ書く。新聞昨夕の参院で政治改革四法が一一八対一三〇で否決されたことを大きく報じた。議員たちは続々地元に帰りそれぞれの立場で選挙民に事の重大さを訴える行動に出ている。12票の差、与党である社会党から反対票18が出たのが決定的。造反—分裂—再編が問題として沸く時代を迎えたが、改革自体どうなるか。不況対策、税制、新年度予算など山なす課題をどうするのか。

1月23日（日）曇時に晴

厚い雲がたれ込んで風も強く、寒い一日であった。三日間の休務も今日で終る。三日とも墨筆を友とした。ひとに会わず孤独の毎日であったがやっと時間が経った。紙片に中国古典の

句を書き、さらには俳句も書いた。どんどん筆跡の紙片がたまってゆく、それも亦楽しい感じだ。ひとりの遊びでありひとりの時間つぶし、書の弄びでもある。書道講座の本を手本にしようと思い古いのを引き出してみるが、以前から思っていたように、私のはいくら書いても書道に類するものでない。類しようとは思わない。

1 月 24 日 (月) 晴

快晴は久しぶりのように感ずる。十一時に新日鉄から新年挨拶にみえ、十二時からニューオータニで国立博物館誘致の財団として民間関係代表四人(川合会長ら)と懇談・中食会をもつ。あと病院で点滴、帰庁して種々レクがつづいた。決算特別委の知事保留が四期目不出馬にふれるのでその答弁が中心。五時からの三役会も、この点をめぐっての打合わせであった。夜七時から九時すぎまで中洲の大阪屋で記者クラブとの新春懇談会。席上やはり同じ問題が盃を持ち寄っての話題となった。帰途小串氏の言うには、西日本新聞以外はこの問題にそんなに関心はないですよ。「後援会不出馬了承」と書かれたこと。

1 月 25 日 (火) 曇後晴

庁議、記者会見。一時から決算特別委員会が開かれ、総括質問と知事保留採決というコース。注目されたのは知事保留で田中久也氏が四選不出馬発言と報道を組み合わせた質問に立ち、私が答弁した。執行部三役、秘書室はこの件で大変努力し、事をまるくおさめる方向に動いてくれたし、社会党林団長ら成りゆきを心配し奔走してくれた。田中氏の質問はひどく紳士的で、私の要を得ぬ答弁にも勘弁の心で事を運んでくれた。二時すぎから三時までの時間帯だった。三時から五時ごろまでレク、決裁。早目に帰路につき五時半帰宅。夕方から晴れた。

1 月 26 日 (水) 曇後晴

十時半から吉塚合同庁舎で、環境教育県民会議(設立総会)。十一時半元国労の JR への切替時差別採用に関する女性たちの対県要請をうけた。一時半から四時までリーセントホテルで青少年問題協議会、非行、暴走族その他問題が多かった。レク、決裁のあと五時すぎから病院で点滴。六時半からホテル・ニューオータニで檜崎弥之助代議士の叙勲祝賀会に顔を出し、祝辞をのべたあと空港にかけつけ、七時四〇分発の ANA で上京。ふくおか会館に着いてから軽く夕食、宿泊となる。あわただしい一日。青少年問題は荷が重い。親の方に問題があると思う。

1 月 27 日 (木) 晴後曇

まずはゆったりした日程だった。八時に朝食、一時間ばかりルームで眠り、十一時に大蔵省への陳情。大臣、三次官、主計、財務など道路予算の扱いを来年度も重視してほしいという

趣旨のこと。あと議員会館に岩田議員を訪問、国鉄労組員差別不採用（JRへの切りかえ時）問題への対応について、北海道と歩調を揃へて当局に再考をうながすという動きの了承。神宮外苑で中食。一たん東京事務所に戻り、休憩のあと、三時から新高輪プリンスホテルで開かれた「田川・京築地域企業立地セミナー」に出席。レセプションまで在席、五時半頃退出。七時五分発 JAL で帰福、九時半帰宅。何だか疲れを感じずる一日だった。福岡夜外気四度寒い。

1月28日（金）曇後冷雨

九時半から当初予算の知事説明。中央の政況の乱れから地財計画が示されないまま来年度予算を組まねばならぬ事情を反映した当初予算案となったが、収不足、財調基金取崩し、交付税減額は不可避、厳しい数字あわせとなった。途中韓国エキスポ委員会からの感謝状をうける式が割りこんだが三時ごろまで当初予算説明は続いた。決裁と点滴をすませ、五時から山ノ上ホテルでこの当初予算説明の与党懇が行われた。夕食会を含めて八時に終了。風も少し出て小雨ポツポツ、雪になるとの予報。中央の政局がどう転ぶか、ギリギリだ。

1月29日（土）晴

小雪がちらつくこともあったが概して晴。休務。宿題の揮毫をしていたら全部終らぬうちに是松・松尾両氏がやってきて夜おそくまでマージャンの日になってしまった。是松氏が掛軸と額を一個ずつもって来てくれた。中国江蘇省代表が来福したとき宛名がきでいただいた絵と書である。書ににじみが出るのは墨が悪いせいだろう。橋本氏からの電話で二件。新北空港漁業補償で沓尾総会失敗、中央の政治改革、議長幹旋ぎりぎり成功とのこと。

1月30日（日）曇時に晴

朝刊は大見出しで、小選挙区導入の政治改革法の成立を報じた。細川首相と自民河野のトップ会談の結果による、施行期日抜きの内容。衆参両院本会議が可決したのは昨夜、減税・経済政策が絶対解決を待っているという追いつめられたからである。明日から通常国会が開会され、ここで対応が次々決められていくであろう。休務がつづくので今日は昨日やり残した掛軸など揮毫を仕上げるのに時を費した。午後三時には仕事は終了、あと紙片に句誌を読みながら筆を執った。テレビは全国的な極寒降雪交通難を報じていた。

1月31日（月）薄曇

12時から山ノ上ホテルで自治労の村上、橋口の両氏と中食しながら歓談したが、主たる内容は来年の知事選に関してであった。二時ダイエーの中内功会長が新年挨拶に来県され応対。三時、予約のとおり、九大歯学部寺田教授から下前歯の冠治療をお願いすることができた。予期したように短時間で治していただいた。いつまでもてるかわからないが、しばらく

これでいけるであろう。六時半から中洲の老松で福銀の幹部と県幹部と、招待をうけての新年会。だんだん宴席は軟化しくつろいだものとなった。この不況下、銀行も難儀している。バブル崩壊の影響はそれでも福岡九州は関東、関西より幾分ゆるいようだ。

2月予記

今年の冬は暖冬と予報されていたのに、実際は雪や氷もみられ四～六度の日がつづいたが、私の行動は自宅、公用車、暖房部屋の連絡で、コートなしのいでたちばかり。細川内閣下の議会が躓つき勝ちで地方財政計画も予算(来年度及び補正)がごたついたため県の六年度当初予算も、見越し推測で編成、「県政懇」に臨んだのであったが、二十八日提案理由説明の時には全国レベルも透明になっていたが、収支を合わすのに大変無理が生じ、地方財政の将来見とおしは暗い。

2月1日(火)曇・小雨

八時二〇分発で、庁議・記者会見と日程は進み、三時から高宮別館で「国際化を考える」懇話会を消化した。アメリカ、中国その他外国人に対する県民の対応ぶり、県の施策のおくれが、参加した六人の外国系の人達から、あれこれ指摘され、私がそれに答えるという形で、一時間のこんだんだった。三菱銀行若井頭取及び水資源開発公団馬場副総裁の表敬があった。その他レクと決裁、そして六時から千代町の「とり香」で21Cの会(奥田後援会)の新年会があって私の弁解のチャンスになった。小柳、諸岡、山本、松田…の出席。

2月2日(水)晴

だんだん忙しくなってきた。年度が変わるまで忙しさはつづこう。今日は九時から午後五時まで来年度予算の各部長らからのヒヤリング、腰かけてばかり聞くばかりの一日だった。外を一寸見ると久しぶりに晴れている。帰る直前に農政部長を呼び込んで、査定予定からはずされている項目について、明朝までに一肌ぬがんかといっておいた。外気は意外と冷たくない。三寒四温をくりかえして春になるのかなと思った。立春は二月四日というのに、まだ春を考えるのは早すぎる。新聞でも盛んに小選挙区制、県下十一人選出の制度がどう展開するかが論じられている。

2月3日(木)晴

九時半から昨日につづき特1で来年度当初予算知事査定(全項目討議)の仕事をつづけた。中食は特会で三役で。査定の仕事は三時すぎ終了、予定原案はほぼ固まったわけ。決裁のうち、病院に行き点滴。六時から都ホテルでの県医師会新春懇談会に出席、祝辞をのべ帰宅は七時すぎになった。医師会は例により県下四大学医学部長から近況報告があった。火曜の定例記者会見のとき、来年度の予算編成が大赤字なんだと私が言ったことが新聞記事になり、

赤字だのにいろいろ支出するのはおかしいとの批判があり、私の発言が不当だと、林県議から林副知事に連絡があったので、発言は慎重にと副知事が来室忠言したので一寸頭にきた。例のババ抜き発言も同じと思った。多くは攻撃側にまわっている。

2月4日（金）曇

休務。風もなく曇天。新聞には国民福祉税七%という細川首相並びに大蔵省の方針表明により又又各党とのもつれが昨日からつづいている点に報道関心が集っている模様。社会党もここでこそふんばって汚名ばんかいと勢い込んでいるかのようだ。消費税が三%から七%へと吊り上げられると解釈する向きが多い。朝から宿題の揮毫にかかり色紙二〇枚ほか、ひるまでに片付けることができた。紅梅の蕾がだんだん大きくなっていく。六時から都ホテル、朝日新聞社の広瀬氏らと懇談、十年ぶりである。橋本氏が随行。

2月5日（土）曇

朝から筆をもつ。気ままな休務。夕方、是松、藤江の二人が来てマージャンに耽った。藤江氏は私が書いて仕上げた新築祝の扁を半年も取りに来てなかったので電話でそれを要請したら是松氏を誘って来たのである。二人の子供を育てるのに、適当な暇が取れないとっていたが、かなり子ぼんのうらしい。奥さんに弱いのかなとも思う。下の子が二歳というから一番手がかかるのだ。夫婦共働きなので奥さんも教諭で忙しく教育の仕事を家庭にもって帰るのだろう。

2月6日（日）曇

午前中机辺の整理。午後一時からハイアットリージェンシーの一室で知事選関係の非公式会をし、中食会を兼ねた。相手は林団長、社会党竹村書記長、手嶋選対部長県議、松田平和センター長。この四人は次の地方選の重鎮。私の出馬問題に絞られ、候補のうちに保留してもよいということで会議の目的は達した。私が立候補を否定せず彼等の選択にまかせた訳。四時三五分発のANAで上京、予算対策本部開きのため。七時から東条会館で夕食。随行橋本氏と東京事務所元村、井上の二人、八時半帰館。

2月7日（月）曇

八時半ふくおか会館で朝食。のち部屋に入ってしばらく休憩。十二時を目途に事務所入りして政府予算対策本部設置の行事を進める。看板掛けが主軸。政府の予算編成はまだ混迷して読みにくいだが、十日に大蔵原案が出る見込みで進めることとする。一時半頃のANAで帰福、そのまま登庁してレクや決裁。東京も福岡も天気上々、春が来たようだ。紅梅が急に開いた。夜、秘書室の女性を含む有志で、「てら岡」でみゆきの誕生祝をしてくれ、私も同席、八時半すぎまで。ハッタ会からコチョーランの鉢が届いていた。

2月8日(火)曇・小雨

気温は高め。九時から庁議、記者会見。十一時から共産党県委員会の要望うけ、三〇分間。中食後散髪、決裁。四時から点滴、五時半帰宅。それぞれの日程の間に十分な時間があって休み休みの消化。中央では減税問題に概要合意が成り、国会がようやく動きだし、予想の通り十日に大蔵原案、十五日に政府原案というのが可能のようで、これに向けてわれわれの上京陳情も日程編成ができるようになった。細川首相、大蔵省が国民福祉税七%を引きさげ、減税案だけを先ず出すことに応じたので連立与党内がまとまった。通常国会動きだす。

2月9日(水)曇・風・雨

午前中休務で問研の原稿を書きあげた。風強く雨も降っていた。午後登庁する頃はアラレがはげしく降った。一時から三役、財政、総務で当初予算査定の調整会議、四時すぎまで、その後決裁を。帰宅は六時。気温は三度までさがり街ゆく人はふるえる姿、雪が降ればと思ったほど。当初予算の原案がようやく決まったが、中央も地方も大幅な赤字予算となっている。来年はもっと厳しかろうとの話。地方は一年おくれの収入が基礎になるからである。三・五%増の予算を組んでも果して景気が快復するか疑問だ。

2月10日(木)晴

一日多忙。九時前に出発し、まず久留米市長を訪う。ペルーに小学校建設の募金の件。十一時から吉井町の勤労者体育センターで国営耳納山麓水利事業完工式・祝賀会があって出席。二十二年間かかっただけあって関係者の不満が結集した工事だったことが印象づけられていた。二時半から県庁で当初予算の知事決裁申渡し。四時半からANAで上京、明日の陳情活動だ。七時から東条会館南龍で夕食会。できるだけゆっくり休み時間をとることにした。

2月11日(金)晴

早起きして七時二〇分から予算対策本部会議。予算のつき具合の報告会。九時からキャピトル東急で連立与党国会議員対象の中食懇談会。十時半から三役手わけして各省庁への陳情まわり。私は文部文化、文相、午後は建設運輸の両省、最後に国立博物館のことで二階堂代議士を訪う。夕食は近くの「半蔵門」ですしとする。下書きの原稿(月報)は夜の時間を使って浄書することができた。二〇〇×一四。気力も衰えていて他に読書はしなかった。

2月12日(土)雪

起床、8時半からみんなで朝食の頃は薄化粧だったのに全く降り止まず大雪は記録的になった。夜九時頃までつづいた。12時から一時間自民党国会議員との中食会、午後は両国の江戸東京博物館の見学に行った。ご迷惑をかける結果になったが事務長がよく案内してくれた。巨費を投じ、きわめて水準の高い施設で、われわれよくよく勉強してかからねばと反省

させられた。レジャー要素がたくさん取入れてあった。連休大雪で他に行く所もなくみんな夕食会。ゆっくり休んだ。

2月13日（日）晴

八時半朝食会。十一時から予算対策本部会議、まずまずの予算のつきようと判断。早目の中食会（本部職員）。三時に自治省次官など訪ね予算についてお礼、あと羽田空港へ。ゆっくり時間を使った一日だったが、ANA ビップルームで四時間待った。空のダイヤが昨日の大雪のため大混乱、六時発の予定便が七時四〇分発、福岡に着いたら九時半、帰宅は夜の十時すぎ。羽田で欠航もきかれた。大雪と連休最終日と重なり動きがとれなかった。安着したのがせめてもの慰めだ。なるべく目を閉じて時間のたつのを待つ姿勢、あせらないこととしていた。夜の外気4°C。

2月14日（月）晴

十二時半、食後の出発。日程に関係したレクがつづき、三時から記者会見。新北空港の漁業補償が一段落したことと、新年度予算陳情の結果について、この二件が話題の中心。三時半から五時まで「レディース・トーク福岡」の報告懇談会。少産化と女子労働条件がテーマだった。近年子供が生まれず二人夫婦で一・四七人というのが県の状況で全国一・五より少ない。働く夫婦が産みたくない、育てられないという傾向が強まっている。晩婚、ひとりじまいという女性がふえている。私は物的豊かさに馴れ、甘えているとの印象をもっている。育児休業も論じられた。

2月15日（火）曇後雨

九時半済生会病院へ入院、二泊三日の予定で「ドック入り」である。空腹のまま腹部エコー、心電図、CT、胃カメラと検査がつづき、採血、採尿、点滴なども大要済ませ、中食後胸部腹部のレントゲンもしてもらった。残るは眼、皮膚で、これは明日にもちこす。小串氏が日経新聞夕刊をもってきてくれたが、円高一〇一円台というのがトップニュース。又来年度政府予算案の閣議決定、一般会計で規模73兆円余対前年比一・〇%の伸び、財投は48兆円弱四・六%増、国債依存度が強まり一八・七%、残高二〇〇兆。

2月16日（水）小雨・曇

十一時四〇分に病院を出てサンヒルズHに行く。十二時から福岡県産炭地域振興センター（財）の設立記念式典に出席し挨拶、あと登庁して中食。一時すぎ、このセンター理事でもある三井石炭社長の訪問をうけて暫時懇談。三池炭鉱の社長でもあり、閉山問題が話題の焦点であった。三池炭鉱閉鎖にからむ諸問題の解決が閉山の鍵でもある。二時半すぎ病院に帰り、眼科と皮膚科の診察をうけ、四時すぎ今回の人間ドックは終了。血液と尿の検査がつづ

く。体調が予期に反して悪い。薬のせいかも。

2月17日(木)曇時々晴

病院三日目。定例の検診をうけ、十一時半に退院。あと通例の多忙な日程に入る。まず農業会館での県JAかんきつ危機突破生産者大会激励。一たん登庁中食、二時からの九州北部学術研究都市フォーラムでの主催者挨拶。理化学研究所理事長有馬朗人先生が講演して九大学長らをパネラーとするフォーラムが都久志会館で行われた。私は中退して三時から公明党県政懇、決裁などを消化し、夜七時から有馬氏を囲む夕食懇談会、世話は企画振興部。研究学園都市構想に大きな参考になった行事の日だったようだ。九時帰宅。

2月18日(金)晴

陽気で春が来たのを肌で感ずる。九時半に出発、レクがあつて十一時から共産党の県政懇。中食休み時間に県職労本庁支部大会に出て挨拶。一時半に障害者対策推進県民協議会委員依頼状交付式、三時から農政連の対県要求。これはコメの部分自由化をめぐる農協中央会が加わり、県議も多く陪席し、応接室も満席となった熱気を生む。三月末に早場米のモミ蒔きが行われるのに減反方針が決まらぬでは困るとの問題も出された。五時から「かわさき」で農政連県民クラブ対象の県政懇、八時すぎに帰宅できた。土日も出勤で関連レクがあつた。

2月19日(土)晴・小雨

外気が一四度、三月末の気温という。晴れていたのに夕方には小雨すら。午前中は休務で宿題になっている色紙十数を仕上げ、午後一時すぎから出かけ、都久志会館での第一回福岡県文化賞贈呈式の役を消化。対象は野見山暁治(創造部門)、ペシャワール会(交流部門)、嘉穂劇場伊藤英子(社会部門)、篆刻書道家師村妙石(奨励部門)、九州交響楽団(特別部門)の五件。四時半から六時まで祝賀レセプションをガーデンパレスで行った。初回なので先ずは道を開く意味で成功だった。六時半帰宅。

2月20日(日)曇・雨

大濠で第一七回県民マラソン大会、十時から挨拶と最初のクラスのスターター。十一時から大濠会館で松永伍一氏と「グラフふくおか」対談、すごく博学な文士で県文化振興の観点から地方色をとらえつつ語ってもらい、中食もつき合ってもらった。午後は雨になった。県民マラソンもあとのクラスは雨に逢ったようだ。二時帰宅。あと勝手な執筆時間とした。松永氏が磐井のこと、キリシタン、信長、秀吉、鉄砲伝来のことなどあれこれ語ってくれ、よい勉強になった。いつどこで勉強できたのだろう。農民詩史をスタートに対話した。

2月21日（月）晴後曇

九時から庁議、記者会見。（これは議会都合で一日くり上った形）十一時から代表者会議、二月議会招集について提起。一時五〇分江蘇省旅遊局長の表敬をうけた。九月末のワールド・トラベル行事が南京でおこなわれるという。二時五〇分春の選抜野球に出場することになった小倉東高校の選手一同の出場挨拶訪問。教育長、県議正副議長も同席での知事室行事となった。四時からホテル日航で自民党対象の県政懇、夕食をふくめてであったが、六時過ぎに帰宅できた。黄砂降る強風、夕刻には止んだが曇ってきて寒戻る。

2月22日（火）晴

十時から福岡新空港構想に関する調査状況の報告をうけ、十一時から「朝の挨拶」録音。あと青少年育成県会議の役員と懇談、中食、活動経費県費助成の要請が強かった。一時半海外技術研修員修了式（12人）、次は築上中部高校第二回国際高校書道展優勝報告（校長、部員生徒ら）。決裁、済生会病院点滴をすませ、六時から八時半まで「和多伴」で県警本部長らと県三役の懇談夕食会。忙しい一日であった。築上中部高の書道部活動は敬意に値する。

2月23日（水）晴

十時から開かれた県、国土利用計画地方審議会で冒頭の挨拶。企画調整課のレクのあと、十一時半から死亡者叙位叙勲伝達式。午後はアクロス福岡の管理役員人事素案について三役会、一時半から「二月補正」についての知事報告。このあと前崎南嶂夫妻の来訪あり、書集への原稿の依頼をうけた。三時半から五時半までソラリア八 F で福岡空港将来構想検討委員会への報告につき中間的情勢をきく会（トップ会談）——知事、市長、山下商工会議所会頭——があった。樺島部長が中心になって調査概要中間報告があり、質疑を交わした。——第七次空整に向けて——

2月24日（木）曇

昨日点検した「二月議会」提案理由説明の原案につき、朝のうち財政課に再点検を指示し、夕方退庁前に修正を終え印刷にまわす迄に至った。十一時半からソラリアで福岡都市圏広域行政推進会議懇談会。一時半から福岡市長との会談、これはグランドホテル、そのあと引きつづき知事市長の記者会見となった。水源、海水汚濁、空港将来構想、九大の西区への移転、ユニバシアード、アクロス福岡などが話題となった。四時半四建局長来訪、新北空港連絡橋有料構想が問題になった。決裁を了えて帰宅は六時半。福岡和牛肉を購販連からいただいた。明日の話題。

2月25日（金）曇

十時ドイツ大阪・神戸総領事来訪。十四時半韓国々会議員安武赫氏来訪。十七時二〇分林業

作業士、青年林業士、高性能林業機械作業士資格認可後の知事表敬式。十六時から一時間こんどプロ野球西武からダイエーに移転した秋山幸二氏と「グラフふくおか」用の知事との対談を行う。ふらんくに対談できた。肩幅はじめ体格が抜きんじて大きく感じられた。色紙サインを交換した。福岡牛の肉も贈呈した。検診のあと山ノ上ホテルで六時半から睦会（秘書室勤務経験者）89 人中 57 人が出席、にぎわいだ。

2 月 26 日（土）晴後曇

休務。朝から宿題の色紙の消化に努力した。三〇枚近く。午後三時秘書室の松田氏が迎えに来て、黒田荘へ。森山と三人で、具体的な県下政治情勢分析を話合う。竹村書記長や林団長の考えや動き、連合福岡、自民党など、知事選問題も含めてである。五時天神てら岡に集っての放談会。秘書室橋本も加え、川上、浅野、福留、河野、石川の五人の学者。これはランダムに私が拾った人物でグループではなく個人、もと研究会をした仲だが別段関係はない。話題は県政の諸問題、九時すぎまで延々。また同様の集まりをすることを約して帰宅。

2 月 27 日（日）曇

夕方陽ざしがみえた。朝から条幅書き（四枚の半截）そして昨日かいた色紙もふくめ押印。これらを済ましたあと、明日の県議会の提案理由説明原稿に目を通した。なすべきことをすませたら七時半になっていた。そのあと夕食。ゆったりした気分になれた。条幅の押印に失敗して書きなおしたのが痛かった。小道具は一旦片付けたのに、又店開きしなおすのだから手間ひまがかかる。一寸した不注意による押印失敗で、わが身を責めて頭に来ること甚だしい。こんなことが何回かある。外は春近しである。

2 月 28 日（月）晴

十一時十五分本会議、提案理由説明。長い時間立つと足が引き吊る。三時にタイ国商務副大臣の表敬があった。地方自治について質問された。四時豊前海漁業振興基金の設立発起人会が全日空ホテルで開かれ挨拶。この基金は新北空港の一つの代償である。点滴のあとフクニチ元社長の密葬にゆく。筑紫野の自宅でのことで車をとばしたが、福岡斎場のまちがいで、自宅までの往復二時間が結果的には無駄に使われることになった。連携のミス。本会議では何箇所か原案の読み違いをした。失点といってよい。

3 月予記

二十九日まで県議会の対応で三月はほとんどそれにあてられる。がそのため比較的に多忙とはいえぬ日々であった。平凡に対応すれば、かえって楽だ。平年になくこととしては三十日に九大教養部の廃止記念会に出席したことだ。四十五年の歴史を鎖じるのである。勤務のなかで学生部長、教養部長の体験があり、なつかしくいろいろの思い出がある。日記を見直

すと深い語りの種もでてこようが、今はそれを見るゆとりもない。県議会が先ずは日程どおり終ったことに感謝しなければならない。但し、たくさん重荷を残している。

3月1日（火）晴

九時半、連合福岡の最賃要請をうける。十時半、町村議長会総会（町村会館）に出て挨拶。十二時博多駅で緑の羽根募金に立つ。二時特別会議室での県総合計画審議会（特会）に出て挨拶。四時半富士スカウト受章者の来訪をうける。決裁のあと博多駅に中国副総理朱鎔基一行を出迎え。県側も両市その他関係者多くが出迎えに来ていた。一行はニューオータニへ。七時すぎから当方各代表の表敬及び歓迎晩餐会が行われた。県下の要人八〇人ばかり、全体で一〇〇人ほどの宴席となった。中国の主賓は朱氏ほか九人、わが方も主な者十人。解放的経済政策の推進のための訪日団である。九時半帰宅。

3月2日（水）晴

朝八時発で北九州へ。厚生年金会館で部落解放同盟の全国大会に出て祝辞。すぐ福岡に帰り、十二時からグランドホテルで産労懇、中食弁当をとって三時まで自由討議。続く不況も底がみえてきたということ、女性労働の進出の社会的意義などが問題になった。三時過ぎ病院に行き検診点滴、血糖値その他の指標が異情に高いので入院再検査が奨められた。議会が控えているので四月上旬にしか入院はできないと予測されている。血糖 319、GPT65 とか。老衰も加わってか体調のよくない（とくに口腔が乾く）との自覚はある。五時半帰宅。書に関する原稿が気になる。

3月3日（木）霞

曇りかと思ったが全く春霞におおわれた一日であり、夕方は陽ざしがみえた。十時すぎ出発、三時半に帰宅というゆったりした日程だ。日経の支社長新任挨拶来訪のあと十一時すぎ労働福祉功労者知事表彰式。連合福岡の幹部ほか労働共済の幹部ら OB の人達五人が対象。あとアフリカ教育基金の会の幹部活動家の表敬。東部アフリカ（タンザニア中心）の教育改善の募金運動をしている。この仕事の意味が私には十分に理解できないのが残念。国家など秩序がどうなっているのか、植民地支配していた欧州の諸国はどんな責任を果たしているのかなどなど。まだまだ国がよくわからない。

3月4日（金）晴

昨夜八時福山に出張してきていた一彦が帰省し、二泊するという。今日の私の日程はゆるやかだったので、午後早くから一彦を案内しながら若干の視察日程を入れた。福岡ドームから始まり、甘木水の文化村と歴史資料館、六時ごろ帰宅と、うまく時間が振り分けえた。みゆきも随行、中食は甘木 IC を降りたところの一品香で。歴史資料館には国指定になって間も

ないこともあって発掘物の整理は未だ進行形というところだった。文化村は建設半ばでこれ又まだ客寄せ魅力が十分とはいえない。両施設の今後の奮闘を祈る。夜はゆっくり歓談。

3月5日(土) 小雨、曇後晴

休務。朝ゆっくりして起床。降っているようだったし、ドンと春雷が一発。朝食のあと一度ふとんにはいって一眠り。中食というので起き、二時半ごろ、二泊した一彦が帰途についた。朝食のあと松田氏からの電話で滝井田川市長の奥さんの急逝の知らせがあり、今日夜通夜となるとのこと。五時に出発、七時半に帰宅という日程で田川ゆきとなった。曇り空のもと、そう寒くない筑豊を突っ切った。奥さんは七八歳、脳けっせんで今朝亡くなられたわけ。ひとにはいえないが煩悶なく他界できるのは幸せといえる。佐方の義母が躓いて寝込んでいるとの通知があっている。

3月6日(日) 晴

朝から宿題の揮毫にとりかかり、順調に進んだと思ったが、押印の段階で満足できぬ条幅にとまどい、又道具を揃えなおして揮毫し、結局終わったのは午後四時頃。快晴なので庭に出て草木の春待ち情景を感じたらと思った。しっかり芽を準備しているのがわかる。雑草も目につく。鉢物を何とかしたいが、本格的に気に入るようになるには時間不足だから、今日は眺めるに止めた。梅はいよいよ終りであるが、実をつけるかどうか気になる。洋蘭が何鉢も花の枝を伸ばしているが、素人の作品の域を脱するものではない。勉強しないと立派な花にはならないことがよくわかる。

3月7日(月) 小雨

春雨、ずっと夜も、降ったりやんだりの一日だった。八時出発、代表質問が今日から始まる。十一時すぎに開会、中村明彦(自民)、中食後は豊島正章(社会・友)の二人。宇美町長と日赤病院長が来訪、前者は改選されたばかりの新町長、後者は病棟腎センター建設助成の謝辞のため。五時から議会棟キングで防衛議連による自衛隊と関係団体代表及び県行政側幹部の名刺交換懇談会があった。引きつづき、その又幹部たちが七時から三光園に集って懇談会を開く。帰宅したのは九時半だった。代表質問で中村氏はいやぐちをたたいたが、相手と思わぬが勝だ。

3月8日(火) 曇

本会議の二日目、代表者会議で「二月補正議案」を提起、代表質問に入る前に、その提案理由説明に立った。代表質問の伊豆氏(農)と藤崎充子(公)の二人には議事がすらすら運ぶよう配慮してもらって有難かった。終わったのは三時半。このあと決裁が何件かつづいた。五時から「とり香」で県議と各部主幹課長及び三役による懇談会が開かれた。県議の会派は農

政連県民クラブの全員が対象だった。二つの会派の統一を行政側がお祝いするという形である。両者の和合の仲をもつ意味だった。

3月9日（水）曇

八時半から議会レク、そして十一時一五分から本会議。今日から一般質問、岩佐（公）、下川（共）、藤田（自）、木野（社）、古賀（農）の五人。古賀氏が少しねばったが、他はすすい進めてくれた。三時半には終り、あと決裁、そして帰途、病院に寄って点滴。どうも頭のすっきりしない時がつづき、口腔が乾く。六時には帰宅でき、夕食後は俳句書きの時間がえられた。日記の上段をみると、毎年似たような日程になっていることがわかる。

3月10日（木）晴

八時半に出発し、一般質問の答弁原稿について、例のと通りの勉強会を行い、十一時からの本会議に備えた。今日は二日目、休憩前は酒匂（公）、蔵内（自）の二人、午後は村瀬（社）、井上（農）、横山（自）、藤田（社）の四人で、予定よりも若干早目に日程は終了した。是松氏が来て色紙や条幅について、仕上がり注文追加の話をした。早目に退庁することになったので小串氏を誘って家庭マージャンをすることになった。明日の議会もあることだから夜九時以前に遊びは打止めとした。

3月11日（金）晴

八時半から議会レク。一般質問三日目、林裕二（農）、橋詰（自）、古川（自）、三船（農）、内田（自）の五人。常にそうだが、古川と内田は知事に対する人身攻撃に類する文言を並べ立ててくる。問題の分野と突込み方に注意してくれればまだしも答弁を一寸まちがえと、県民を敵にまわし、国の不信を買うような失言をすることになってしまう。今日は特に内田の東九州自動車道と九州国際空港の実現の困難さの問題で内田の再々質問で、県民や国の怒りを買う答弁をさせられてしまった。後悔、後悔。

3月12日（土）曇 小雨

休務で終日宿題消化の墨筆の仕事に没頭した。色紙二〇枚はすぐできたが、条幅ものがなかなかできなかった。半切三枚と1/2半切五枚。気が済むまでにいかないので書き直しばかりで、もう疲れたという程度で止めることになる。問研月報の原稿が気になるが、頭の中がまとまらないので明日まで引っ張ってみることにした。昨夜おそく雨がどンドン降り、今朝まで続き今日は夕方陽がさしてきた一時があったが、又曇りになったようだ。天候不安定というべきだろう。寒さはそれほどでもない。

3月13日(日)晴

十時半から博多駅東にある KOKENBOIS という施設で福岡筑豊都市鉄道開発(株)の臨時株主総会があり、社長の立場にある私が議長をつとめた。運輸省も通産省も助け舟を出してくれなかったのに地域振興整備公団が出資してくれることになり、篠栗線筑豊本線の電化複線化という仕事が JR 九州への助成という形でしやすくなった。三月中に動き出さねば辻妻が合わぬ仕組みになっていたのが可能性ができ、関係市町長にも関与してもらえそうである。十二時までに帰宅、あとは月報の原稿書き。藤本、丸本立ち寄る。

3月14日(月)晴

一般質問最後の日、重野(農)、井本(自)、勝見(社)、井上(澄)(自)、前後二人ずつ、午後三時には終了。五人目の高橋(自)は教育長へ絞った質問予定だったのに、どうしてか質問に立たなかった。あとは予算委や常任委員会の日々。寒さはかなり強いが、それでも春が来たという感じがはっきりする。夕刻早目に秘書室長、小串二人が私と共に帰宅の車に乗り、家庭マージャンの夜となる。程よく疲れて十時すぎ遊びは終る。月報の原稿は今日のうちにコピーで送った。

3月15日(火)薄曇

九時半から三役会、新福岡空港構想への対応(姿勢)について打合わせ。一時から大手門会館で福岡日本語センター開設五周年祝賀会があり祝辞を述べた。二時から病院にゆき、带状ほうしんで入院中の渡辺四郎参議を見舞い、自分の点滴をしてもらう。三時すぎから新日鉄の副社長つづいて福岡高裁長官の来訪に対応した。四時から朝日新聞のエンプラ事件中心の九大紛争についてのインタビューにこたえる。五時からリーセントホテルで二一県民の会役員懇談会夕食会に出席、私の四選不出馬の言につき大方の同意があった模様。西井、金子、土井、市川氏ら。

3月16日(水)晴

十時半出発、十一時から毎日新聞の取材に応じた。「三池争議と向坂教室」が主たる内容であった。県議会は土木常任委だけが残ることになり、午後は三役室で延々五時間ぐらい成りゆきを見守り待機した。都市高速の北九州市分に対し、料金問題と県の助成予算に不合理という点が責められている。七〇億円余を援助するのに末吉市長が料金値上げを、選挙をにらんで応ぜず、福岡都市高速道との料金不均等を敢てしているのが県議会としては納得できないというのが焦点。七時すぎ漸く土木常任委が終り、早期議決を要する議案の本会議は八時一五分に始まり九時少し前に議了。帰宅は九時半。

3月17日（木）晴

午前中に行事二つ、十時から児童環境づくり推進協議会委員辞令交付（初）、十一時からは県費留学生留学証書授与式（ブラジルの三世など）。決裁と検診（点滴）、そのあと小倉へ。リーガロイヤル・ホテルで新北九州空港建設の政令指定祝賀会。これはこの新空港建設促進協力会が主催、期成会が後援、関係者三〇〇人ほどが集ってくれた。政府は着工予算六十二億円を計上してくれており、平成十七年度開港を目ざしている。発案があつてから二十三年目にやっとここまで来たという。この二月ぎりぎりに豊前海区漁業補償がやっと片付いたので。

3月18日（金）晴

十時からレク、職員組合との交渉の件。十一時から特一で死亡者叙勲。またレク、県議会予算特別委員会の審議の進み具合の報告。四時すぎアメリカのデミング（公使）の訪問をうける。決裁が何件か続く。夜は博多弥生で県警察本部長と懇親、林団長も加わる。池田出納長は途中退席。議会予特は知事保留が多いですよと報告があつてた。秘書室にいた「小松ちゃん」が亡くなったとの知らせ。弱々しい様子だったが、まだ若いのにと感じる。健康に自信がないだけに響きが大きい。自分がこわい。

3月19日（土）晴

休務。九時五〇分出発し、水産研究所内水面（朝倉）研究所視察。次いで吉井町観光協会で金子文夫氏に迎えられ、吉井町の各所ひな飾りの内々に案内してもらい、白壁の古い街並みを楽しみ、中食会は斎田町長にお世話になって、二時半吉井町にお別れした。あと浮羽町の清水湧水を訪ね、次いで「くど作り」平川家（田籠）に寄った。年配の女性がひとり住まいだが、この重要文化財をくわしく案内説明してもらった。車をとばしてグリーンピヤ八女に着いたのは五時五〇分。同行はみゆき、小串、途中から重松さん。

3月20日（日）晴

グリーンピヤ八女で八時半食事九時半茶室に招待され、ゆっくりした朝をすごした。耳納山を横断して田主丸に抜け酒造家「紅乙女」醸造所を見学。二代目林田副社長が案内して下さった。中食は近くにある石兆亭でとる。あと、久留米市草野歴史資料館を見学した。元銀行施設を改造したもので良永芳博氏がていねいに説明してくれた。古墳時代からの資料はよく揃え保存されていて耳納北麓、高良山の果たした歴史的役割を改めて考えさせられた。予定時刻をかなり過ぎたが五時前に帰宅することができた。意義深い二日間の旅行だった。農山村のよさをどう残すか改めて考えさせられた旅であった。

3 月 21 日 (月) 晴

春分の日で休務。誰しも春を感じず。桜の蕾もふくらみ、梅は若葉を準備している。今日の任務は揮毫。色紙二〇枚と条幅半切三枚を夕方までかかって仕上げた。そう重い荷ではなかった。昨夜の原稿書きも相手 (前崎南嶂さん) に送れるように仕上げる事ができた (一六〇〇字)。宿題が片付いたのでホッとした。二日間の浮羽八女の旅が印象深く思い出される。幕府時代からの民俗がよく残されているということだ。吉井町であれだけの雛人形を人々が保存しているとは驚嘆ものだ。近代の薄っぺらな民俗がとって代わらぬことを祈る。

3 月 22 日 (火) 雨

早目に目覚めてしまって終日眠かった。週がかわり準備仕事もあった。出発は十時二〇分。十一時から県職労交渉、ひる休みが四五分しかない点が特に問題になった。一時すぎ病院、注射だけにして二時一五分から一時間ばかり、建設が進んでいる跡地のアクロス福岡の工事現場を視察した。今年中にほぼ完工の予定で、今は六五%という。西日本地域で最大の容積を誇る。新技術が多々応用されているだろう。音楽ホール、地下階、入居テナントなど注目されるし、ステップガーデンには工夫が盛られている。帰庁してレクや決裁。帰宅は六時半になった。

3 月 23 日 (水) 晴 霞

九時半に出発して議会の動向を見守ったが、知事保留にまで進まずじまいった。午後五時すぎまで決裁のほかは公用もなかった。待つほどに秘書室の橋本、小串らが来室し雑談ばかりして過ぎた。話に出た問題はこの頃流行の地方分権論。私からは憲法 92 条にいう地方自治の本旨の究明が分権論の基礎になるべきだということ、欧米その他アジア各国で事実としてこの分野がどうなっているのかの研究、更に具体的には共同行動や合併を地方で進めるのが先ということである。六時少し前に帰宅、あと筆墨。

3 月 24 日 (木) 晴 一時雨

妙な天気で一時雨となり、寒さが戻ってきた。十一時に点滴をうけたが、その際看護部長手嶋ウラエさんの要望で色紙を出されたので、句をひねって記念に残した。今日彼女の退職送別会があるとか。十二時に国際交流センターに家永専務を訪ね、中食歓談の時間をとった。十四時から「朝の挨拶」収録。姫路大角小林雅明 (甥) の関係者山田某氏来訪。決裁ののち一五時四〇分から明日の議会に予定される「知事保留」についての勉強会一時間半ほど。強い風の中帰宅したのは六時半だった。社会はまわるまわる、送りがつ迎える。

3 月 25 日 (金) 曇

九時から勉強会、十時死亡者叙勲伝達 (堤広川町長)、一時一〇分から予算特別委員会の知

事保留質問。三時すぎに終る予定が途中休憩一時間余（空転）をはさんで五時少し前までかかった。トップの質問者藤田陽三氏の時私への答弁にぐいしが生じ藤田氏が立腹、委員長が休憩を宣して辻つま合わせに暇がかかった。他の保留者は議事を早く進める気持もあったようだ。あっさり質問を進めてくれた。六時から西公園鶴来見亭で国際化議連主催の観桜会があった。在福岡外国公館の人達も参加してくれ、八時少し前閉会。桜は三日程早いようだった。それでも花見会といえる空気だった。

3月26日（土）晴

昨日で委員会審議が終わり、新年度予算はあと本会議の採決を残すだけとなった。新北九州空港の架橋にどう対応するかが大問題として残っている。運輸建設両省、北九州市の出方がどうなるか、県がこれらにどう働きかけるかが次なる大きな課題である。飛行場建設と同じくらい経費がかかりその負担割合、有料にするか無料にするか投げかけられている問題は困難なものばかり。今日は晴れた一日だったが風が冷く春の木々を揺らしている。例のように終日筆を執っていた。揮毫宿題は三時に終わった。

3月27日（日）晴

八時に出発、城島の下田大橋開通式に参加。九時半から神事、十時からテープカット、渡り初め、跡碑除幕式。渡り納め渡船、祝賀式典とつづいた。橋長四五六メートルで六〇余の渡しがあった筑後川最後の「渡し」だったという。昭和62年度の国の補助事業として採択、七年の歳月を要した。二時半に帰宅したが、快晴、満月、大安と揃って正に春爛漫といたいところだ。三〇〇年の「渡し」というが、営業については情報はない。一般県道に引きつがれる前は誰がどうして運営していたのであろう。歴史が変わったら、それなりに流れを知りたい、探してみたい。

3月28日（月）曇

十一時半に出発、十二時に三輪町の解放子供会の表敬、三〇余人の中学生、父母たちも。二時半に共産党の高県議ら三人で最後の一年をとということで注文をつけてきた。部落問題、地労委員、非核宣言などについてくりかえし同じことをいっている。二時に公文書館設置について懇話会の提言を受ける（代表永井滋輔氏）。三時から西日本新聞インタビュー、九大教養部閉鎖の感想をきかれた。決裁、そして三役会、人事異動のほか新福岡空港問題検討につき、マスコミ対応をどうするかが主題、市と財界との調整も慎重に進める必要がある。

3月29日（火）曇・晴

十一時すぎ代表者会議で人事議案提起。しばらくして本会議、一時一〇分まで約一時間で議了。六年度予算が可決された。終了後例のようにお礼まわり、正副議長、各会派、記者クラ

ブ、そして部長会での挨拶。三時すぎ地域福祉振興基金の水野・鈴木新旧理事長交代の挨拶来訪。決裁がつづき、病院に行き点滴、又帰庁して特別会議室で秘書室職員の慰労懇親会に参加。いよいよ年度末がきた感じだった。帰宅は七時半を過ぎていた。坂口雅風氏の死去満中蔭の便りがあった。

3 月 30 日 (水) 晴

十一時からサンヒルズで科学技術振興財団の通常理事会、つづいて中食会があり、私は議長で議事進行。午後は一時半から県弁護士会役員の就任あいさつがあった。二時に特別会議室で青年海外協力隊 12 人の出発表敬あいさつがあった。ジャイカ関係、立派な国際貢献の一つである。二年間発展途上国でのボランティア体験を積みうるので本人達にとっても亦よき思い出の数々の体験となろう。散髪ののち四時から新一号館での九大教養部廃止記念式典があって旧部長の一人としてお別れの挨拶をした。あと、「KKR はかた」でのパーティには欠席。帰宅は五時すぎ、休養にいい。

3 月 31 日 (木) 曇

ようやく桜が開きはじめた。年度末の退職辞令交付あれこれつづき、十時から講堂で幹部勸奨退職辞令交付式が行われた。二六〇人、若干少ないようだ。決裁がかなり多くつづいた。新年度向けも含んでいる。四時半福岡南女子高校の剣道全国大会優勝の報告があって来訪、祝意を述べた。十七歳、二年、二段の選手が多かった。帰りに病院に行き点滴、手嶋看護部長、小山田副院長も今日限りで退職とのこと、ずっとお世話になってきた方々だ。アクロス福岡もあと一年で竣工、圧力を感じさせる。寒さも去っていよいよ明日から四月春盛りとなる。

4 月 予記

細川首相が国会で追及され、辞意を表明し、後の羽田内閣がさんざん難産の末にやっと成立したが民社党が、小党連立の仲間たる社会党を除外する行動に出たため、社会党は羽田内閣には参加せず野党にまわった。それで羽田内閣は少数与党、自民・社会は閣外で羽田内閣をゆさぶる形になった。こうした政変が四月一ぱいつづき、六年度予算は大型連休後に審議される予定という混沌ぶり。これが四月の中央政治激動の姿といえる。五五体制崩壊とはいえ新体制難産だ。

4 月 1 日 (金) 雨

八時五〇分出発。公社等々の新役員への辞令交付式がつづいたが、今日のメインは十時からの役付職員への辞令交付式(講堂)と研修所での新採用職員に対する知事講話であった。後者は一時間、三〇〇人余の前での話だがみんな緊張してしまっていて、内実はわかってもらえなかったのではないだろうか。県勢概要を入口として話したが、とてもはいれないだろ

う。県とは何か、市とは何か、両者の関係はどうかなどを知ることも大きな課題だといっておいた。二時半からセントラーザ（駅新幹線口）で労働党の大隈委員長と面談、知事選を心配してのこと。態度確認にとどめた。帰宅は五時、揮毫。

4月2日（土）晴

甲子園へ。新幹線「のぞみ」で新大阪まで二時間半、大阪事務所の車で新所長の高木氏が出迎えてくれた。四時から準々決勝の四試合戦、三重の桑名西高と小倉東高の対戦。五一三で負けた。ただし、ベスト8まで小倉東はよく勝ち進んだものだ。応援団と同席だったが、情熱のこもった若者の応援を直に見たのは初めてである。知事がかけつけてきたことを一塁側の応援者はみな知っていた。関西県人会長の江崎氏も来ていた。ホテル、ニュー・ハンキューで夕食。小串、深見新室長高木の四人。5Fの泊室に入ったのは午後八時。睡眠少く疲れた。

4月3日（日）晴

四月上旬に入院して糖尿を精密に見てもらっている。それで帰宅してから博多松囃子振興会から依頼されていた古代傘鉾垂（絹布）三枚を書いておかねばならなかった。

——・——

八時にホテル、ニュー・ハンキューで朝食。九時二〇分新大阪発の新幹線で帰福。十二時に着いて、那珂川町へ。一時から「ミリカローデン那珂川」の竣工、開館式典に出席した。内田文化庁長官も出席されていた。大久保町長のがらだろう。第三セクターで運営されるが、八〇〇席のホールがうまく回転するかどうか、公用車は二時半に拙宅に届けてくれた。中食をとり、そのあと揮毫に集中した。多忙。桜四分咲き。

4月4日（月）曇

桜花が急いで開いていく。夜桜を見つつ、そぞろ歩きする人も多い。朝九時二〇分に出発、高速道榎田一月隈北の開通式が十時から月隈で行われた。二・八kmだが、ぐっと便利さが増す。帰庁して午後、辞令交付三件につづいて決裁。二時半からブラジル等移住者の墓参帰国者、県費留学生の表敬訪問をうけ、次いでRKBの録画を消化。県予算成立と重点施策について広報の番組であった。三回録画に応じ、やっとOK。明日の記者会見レクのあと、中洲てら岡で引退の松田（民生）及び後藤（水産林務）両部長の送別部長会に出席、にぎやかに終わった。

4月5日（火）曇

昨日と同じく完全に霞ばかり。新年度初の庁議、辞令交付、記者会見、決裁とつづく。ゆったりした日程で、ロッカーを開いて資料をたぐってみたりした。十二時、三役中食会、斎藤

副知事が当面の県の課題を反芻してみようと自分で作ったプリントに従って意見をのべる。今後も同様のチャンスを作ることとなった。一時半大内田画伯関係で白石県議と渡辺好庸【※欄外記入】氏とが来室、遺作品を福岡県に寄贈する旨、はっきり連絡することになった。二時半から点滴、四時には帰宅。先月からの条幅三点(半切)を仕上げることができた。舞鶴公園は花見客が多かった。

【欄外記入】鎌倉孝史娘婿

4月6日(水)霞・小雨

濃霞、そして雨。十時から明治生命ホールで春の交通安全県民運動の行事。自動車事故が中心問題、中でも高齢者事故。午前中は水産(捕鯨)学事(女子大入学式)企業立地(花村氏を囲む会)のレク。三時からカナダ貿易大臣らの表敬、六時からはこの来客の招きで九州財界人らを交えてのレセプションがニューオータニで行われた。四時頃には九炭労のOB二〇人ばかりの来訪をうけ「炭坑節保存」についての陳情をうけた。七時頃サンヒルズで行われていた奥田知事三期目に関する記録の刊行についての話合いに参加した。橋本氏が中心に案を討議していた。九時帰宅。

4月7日(木)曇・雨

今日から一週間入院、糖尿検査と休養。九時半出発、まず谷公園の桜をみてから済生会病院へ。午前中に心電図とレントゲンの検査をすませ、中食後休養となる。小串氏が夕方再来。外は雨のようだ。彼と当面の政治の流れや新しい旗印の必要性などについて雑談してみた。五五年体制崩壊について、何か新しい旗印を掲げる必要がある。自民とか社会の政党色のアフヘーベンが必要ということ否定ではなく乗りこえるものを求めようということ、同根がほしいということである。福岡の地からその声をあげることを望む。夕食の頃足首治療の池田出納長が来室。

4月8日(金)晴

九時心電図室へ。昨日とは違い、運動と脈搏の検査。歩行機は苦しかった。九時半に注射。十時五〇分博多港へ出発、鯨類調査団母船日新丸入港式に出席。(中央埠頭)南氷洋で五ヵ月調査した船員の帰港。病院に帰り中食。細川首相辞意の話題ニュースとびこむ。二時半眼科検査、白内障が進んでいると指摘された。要手術という。細川問題は私的金融面のことだが追及されて議会審議が流れない事への責任をとるといふ。後継者は?がさわぎとなり、マスコミの私への感想要求は夕方には圧力をなくした。秘書室の者が病室に来て電話応対してくれた。諸検査の結果は先ずよい。

4月9日（土）晴

今日一日の病室生活には秘書室の橋本氏が付いてくれた。朝刊各紙を見せてくれたが首相辞任後の人選に与野党各派早くももつれ合っていることが大きく報道されている。病院の方は耳からの採血による検査のほかは何もなく永田常務が午前中一時来たほかは暇つぶしに、私が橋本氏に米ソ対立及び五五年体制の「崩壊」とその後今日の政治状況についての総括見解について「まとめ」を二時間ほど披露し、加えて「地方自治」についての基本的な見解を交換した。都市化の中で集合住宅地域においても、ムラ、イエの機能がそれなりに残り蘇生している点を彼はあれこれ説明した。

4月10日（日）晴

花見は今日が最後らしい。花散るだ。病室での一日、秘書室が午前松田、午後小串を出してくれた。彼等を相手に今日も駄弁で果てた。今日も外はうらやましい程の陽光。細川首相の後継者選びに各派意見まちまちに出ていて、容易にはまとまらぬ模様。いかにも政治臭い意見ばかりが横行している。権力欲の世界である。まだ一曲りも二曲りも必要のようだ。それにしても入院の案件、私の糖尿病の状況は執拗によくはない数値がつづいている。食餌制限を守っているのに、望ましい検査値は出ない。根本が変わらないのであろう。謹慎を続けるほかはない。原稿二本仕上げる。

4月11日（月）晴後曇

エコー検査をうけたあと、公用車で女子大入学式へ。十時から講堂で、武藤副議長らも出席。学長は徳本鎮さん。十一時ごろから知事室で記者会見レクなどに対応、病院に帰って中食。ところで桜花散るところか、まだ見るに値する花咲き誇っているのが多い。県庁の八階からは公園の若葉の勢い、すがすがしさがうつるし、既にツツジの花がぐんぐん見えはじめ、楠の新芽に劣らない。四時頃、秘書室の楠本氏も来室し、今の衆議院各派のポスト細川の動き、むしろ流動。先がみえずの混沌さについて話合った。自社両党ともますます分解していく、がその先の芯がわからない。あと数日待つしかないようだ。

【「さきがけの基本姿勢案全文」「混迷！政界再編相関図 再編にらみ思惑が交錯」（『西日本新聞』1994年4月11日）の切り抜き挿入】

4月12日（火）雨後曇

朝は大雨、あと曇となる。九時に退院、十時から記者会見。和白干潟の埋立について質問が出た。十時半、小倉東高校長が甲子園ゆきのお礼とあって来室。決裁がいくつかつづき、十二時には帰宅した。桜花のほか春を満喫している鳥とくに鶯、花山吹、チューリップその他、又うちの藤花も大そう房を伸ばしている。どこにも春がきている。しばらく時間をかけて入院中たまっていた身の整理をする。五時に迎えがきてタクシーで福岡ドームへ。西武戦の

ダイエー球団オープニングセレモニーが五時半から。四万五千人の入場といわれる。入場者応援席はびっしり、熱気に満ちあふれる。6F の特別席確保され秘書室の者など十余人貸切り、夕食弁当つき。八時に私は退場帰宅。三対二でダイエーが勝ちはじめて三連勝とのこと。

4 月 13 日 (水) 晴

休務。午後橋本氏が、私の著書のことでも訪するというので、裏庭や机辺で何とはなく時間を過ごす。四時半頃に太田氏を連れてやって来た。先日済生会病院で私が橋本氏にメモしてもらった当面の政局・県政をめぐる私の考えの概要を太田氏がワープロ化したもの、加えて著書に予定される私の「対話」部分の予想される項目の分類をこまかく概括してくれたもの、この二つを三人で語り合った。話が長時間に及び夕食を共にし、みゆきが昨日も帰った塩まんじゅうの一部を彼等に「みやげ」にもって帰ってもらうことになった。午後九時お別れした。橋本氏の作ったメモは詳しくよくできていた。私の言ったことがよくまとめであったので感心した。彼はぐんぐんやってくれている。

4 月 14 日 (木) 晴

七時半に出発してホテル日航で花村二八郎氏(経団連相談役)を囲む朝食会、九時一五分から点滴、登庁して十時四〇分から日程レク。来訪者九州管区行政監察局長、若林労働次官、海上保安庁から。三時からニューオータニで第二六回日韓韓日民間合同経済委員会々議開会式(今、明日、全国レベルの経済会の人が集ってフォーラム、講演、分科会などをする)。私は挨拶の後帰庁、決裁など庁内の日程を消化し、六時半からの日韓経済界会議のレセプションと懇親会出席のためホテル日航に行った。レセプションは四〇〇人といわぬ出席で大盛会、懇親会は主要メンバー夫妻同席もあり一〇〇人ほど。八時から九時半まで。

4 月 15 日 (金) 晴

十一時出発、十一時半から三役会。斎藤副知事が福岡新空港構想と三池炭鉱閉山という大きな問題を話題にあげてきた。当面する心配ごとである。二時から博多駅南のハイアット H. で社会党系の人達、竹村、松田(留)、橋口、それに県議の林、手嶋の五人が私を呼び、二時~四時の二時間、次の知事選出馬につき、どう考えたらよいかを質した。仮の表現だが百分の〇・五程度で OK といっておいた。正月以来一〇〇日余、まだ候補が名乗りがない。中央の衆院も目まぐるしく動いていて、それが知事候補にも影響を与えているようだ。一たん帰庁、決裁の仕事をし、六時から連合前事務局長鷲頭氏を囲む会に出席。

4 月 16 日 (土) 晴

うらかな外に目もやらず、休務の一日を朝から揮毫課題の消化にあてた。色紙と条幅と、予定どおり三時ごろまでに済んでひとやすみ。自家せいの甘夏柑もきんかんも食べた。四時

に松田氏が迎えに来て、JR つくし荘で行われている「進歩と改革」学習会に行き、五時から一時間四〇分の時間で自由題の講話を行った。「ポスト五五年体制」と自治とでもいえる内容を話した。六時すぎから来集者三〇人余と夕食懇談を共にした。久しぶりといえる人も多い。鎌倉、衣笠、前田（康博）が講演したあとが私だった。北鮮の核が問題になっていて興味深かった。

4月17日（日）晴

休みで初夏のような陽気、藤房もどんどん伸びてもう三分咲きだ。枯つつじができていので鋸で切った。よどがわが咲きだした。上の畑からもらったフキを副食とした。時間つぶしに筆墨の遊びをしているうちに信用保証協会から「基本理念」なるものの揮毫依頼があったのを思い出し、少しあわて気味だが夕方からその揮毫に入り、十時すぎに終えた。宿題があるとやはり気が重い、終わるとホッとすると、今日のような好天に籠ってしまうのはどうかと思うが他面、どこかに行こうという気も起こらない。老化現象といえよう。中央政治まだ流動がつづいている。

4月18日（月）雨後曇

朝小雨、あと本降り。午後曇、いい雨だ。二時半から国際交流センタに勤めているヘザー・キューリーさん（25才）とグラフふくおか用「知事と語る」対談。七月にはアメリカに帰国の予定という。四時から県及び市の体育協会から空港から先への地下鉄延伸につき陳情があった。高山県議紹介。博多の森、さらに篠栗線までつながるようにとの趣旨で、これには県費負担が伴う。四時半から明日の記者会見についてのレク、多々良川流域下水道の海洋汚染反対で下水道使用が止まっている問題、その他。住民の反対運動にはいい加減にしてくれといたい面が少くない。これも同様といえよう。

4月19日（火）曇

九時から定例の庁議、記者会見。十月下旬に予定されている文化デザイン会議に今後注目していきたい。あと散髪そして決裁、済生会病院で点滴。三時半のJALで上京、明日の総理大臣主催の「桜を見る会」に出席のため。細川首相は辞任のためその開催につき心配していたが、国レベルの行事なので中止にならないらしい。後継者選びで日々流動している政局だが、羽田外相に決まるようだ。新年度予算、税制改革など山積する課題がそのままになった状況下での流動だから、先がみえず、足元は暇があるように感ずる昨今である。

4月20日（水）東京曇、福岡雨

八時に朝食、九時半に出発、新宿御苑「桜を見る会」へ。八重桜とつつじ種々に花盛り。伊藤茂運輸相、後藤農林金融公庫総裁、石井JR九州社長、有賀一成代議士らに会い、楽羽亭

で立礼席の茶で休憩後、細川首相に会うことができた。高田長崎県知事も並んでのこと。随行は藤本新東京事務所長と小串氏。立派な公園であることに改めて感動。被招待者は五〇〇〇人といわれている。一便早めて四時すぎに帰宅することができた。福岡は雨、ラッキーな旅、花見だった。明日は東京も大雨になるとのこと。帰宅後は身の整理ごとが依然山づみ、これに就く。

4月21日(木)曇

十一時半に石原農政部長退任の辞令交付、一時半から講堂で県政モニター委嘱状交付式。あと日程関係5課のレクがつづき、決裁のあと来月分「朝の知事挨拶」の録音を行った。運よくうまくいった。連休入り前に放送するので今回はやや早目だった。比較的のんびりした日程だったので楽な一日で、六時には帰宅できた。政局がなかなか定まらない。間接税や北朝鮮の検査問題で、社会党が他の与党会派から追詰められているし、自社両党とも内部分裂が進んでいる。「五五年体制」がどこまで粉々になっていくのか、まだ先が読めない。

4月22日(金)曇・雨

ひるま雨がかなり降った。十時半川村新農政部長辞令交付、次いで読売新聞経済部長来訪、フォーラムの件。中食前後にレク・リゾートの玄海及び筑後川・矢部川両協議会の年次総会が、同じくサンヒルズで開催され、両方とも私が会長・議長の役であった。二時四〇分から指導農業士への感謝状(退任者)と認定証(新任者)の交付式(於吉塚合同庁舎)に出席。あと帰庁して広報課の者と「対話事業」の進め方につき論議、そして決裁。あと済生会病院での点滴、帰宅は六時であった。中食後ホテル日航で辛子めんたい福さ屋の新社屋竣工祝賀パーティに顔出しもした。

4月23日(土)曇・小雨

時々小雨、終日曇天。午前中休務を利用して宿題の揮毫をした。十分でき上ったとはいえない。午後は近藤、是松の二人が来てマーじゃんを楽しんだ。久し振りといえる。羽田外相の指名首班が昨日ようやく決まり、25日新内閣発足の予定であり、一応のしまりができた。勿論安定政権とはいえない。社会党が与党の中で依然攻められるであろう。社会党の中にも閣外与党でいいという人もいる。このような揺れはあった方がいいと私は思う。国連、アメリカ体制の中に入りびたしにならない人がいるのがよい。

4月24日(日)晴

今日も休み。残っていた揮毫宿題を終える。書斎で書の遊び事をしていると、外の陽気が勿体なく感じ、せっかくの満開を誇っている藤やツツジ(よどかわほか)をながめ、雑草が気になって草抜きをして日が暮れた。キンカンの残りを全部採取した。鈴蘭を小鉢にとり思って

試みたが、花をみるには少しおそいので中止した。君子蘭も盛りを過ぎている。エビネが咲き揃っている。甘夏柑は半分近くまで採取した。いつも思うことだが、雑草は無限、育て花は有限、人間とは自然に対し勝手なものなんだということだ。それでも草を抜く。

4月25日（月）曇

十一時から粕屋警察署庁舎落成式が粕屋町上大隈の新庁舎で行われ、祝辞をのべた。福岡東署からの独立署のスタートである。一時半から青少年育成県民会議年次総会が吉塚合同庁舎で一時間半かかって開催、終始列席した。四時前後高教組の大塚氏が知事選問題につき打合わせに来た。明日の日程に関連して生涯学習審と記者会見につきレクがつづいた。午後七時から海幸薬院店で記者クラブとの「花見」懇親会、九時半帰宅。中央では午後の衆参両院で細川後継首班に羽田孜氏が指名され、二週間ぶりに政治が動きだした感じ。これ亦前途多難とみるしかない。

4月26日（火）晴

羽田総理の組閣着手の一步前で、新生、公明、民社ら連立五党が社会党を除き「改新」なるものを結成、反撥した社会党が連立から脱退したので組閣は成らないまま、政局は又もや大混乱。小沢がカゲの役者という。今日は日程どおり庁議、記者会見、児童福祉審議会委員辞令交付、県防災会議と事を運び、決裁のあと三時半から点滴。時間がとれたので大濠花壇で開かれている末次和美個展を参観。そのあと六時から三光園での石原前農政部長の部長会送別の宴に出席。八時半に帰宅できた。それにしても、一夜にして組閣を投げ出しての社会党追出し五派統一劇には啞然という外ない。

4月27日（水）曇

八時二〇分に出発、十時から田川青少年文化ホールで開催された第45回県植樹祭に出席した。記念植樹、功労者表彰、中食会があった。八木山峠を経て帰福、二時から吉塚合同庁舎での青年農業士会に出席、感謝状・認定証の交付を行う。帰庁してレクと決裁をすませ、六時からホテル日航での「よみうり西部フォーラム」のレセプションに出て挨拶、六時半すぎに帰宅できた。中央政情は連立から離脱した社会党の復帰を要望する羽田総理の動きがあるだけで社会党は袖にされた事に強く反撥して組閣はのびるばかり。今夜中に復帰成るか否か。もつれ。

4月28日（火）曇

一時半に出発というので、それまでの時間に頼まれていた県立大学付属幼稚園の表札書きに踏み切った。案の定、成功作にはならなかった。二時からリーセントホテルで生涯学習審議会総会での諮問事項を説明、帰庁してレク（休み中のどんたく前夜祭、直方凧上げ大会に

ついで)、そして決裁、済生会病院で点滴。帰宅は六時少し前、そして秘書室長、平、小串の三人が来てマージャン会となる。十二時頃まで遊ぶ。今日は午後二時半やつのことで羽田連立内閣ができた。社会党の入閣は村山委員長が拒否したので新生、公明が主体。少数与党という形、短命であろうとの予想。

4 月 29 日 (金) 晴

八時に是松氏が迎えに来てくれ、苺狩と糸島海浜ドライブで楽しい一日になった。苺園は彼の息子の奥さん(教師)の教え子の親たちの経営するもので、立派なハウスで食べながらたくさん摘ませてもらった。西浦漁協に立寄ったら偶然、慶賀法要稚児行列に見物人として立ち、加えて漁協の奥さん達から味飯弁当もいただく幸運に恵まれた。一たん彼の家に立寄り、中食会ともなり、二時ごろ帰路についたが亦彼の車でわが家まで送り届けてもらった。市の運動公園も一巡したことだし、かなり疲れをおぼえた。楽しい一日、午後ゆっくりくつろいだ。直美が帰省してきた。連休だが、結婚式に出席のためという。

4 月 30 日 (土) 晴

よい天気。休務で自在の日となった。宿題の色紙など揮毫と、好き勝手な筆づかいで暮れた。外に出て草取りもした。藤花の散りがすごい。ジャーマンアイリスも盛りを越した。クジャクサボテンの花芽が勢いよく走って付いている。時計草が一輪だけ咲いている。県購販連から八女新茶が郵送されてきた。又横田健が姫路に新居を作り移転したとの便りがあった。われわれの若い時代を思い出す。似たような苦労だろう。由布院に別荘をとの誘いもあるが私自身、全く動きたくない。もう面倒だから。

5 月予記

中央政権が揺れてやまない。自民党も分裂がつづく中、野党として政局のゆさぶりに懸命である。やや醜態にみえる。これが政権というものか。議会の場が国民の目に「空転」とみえても議員たちは構うもんかと思ひ、真剣にたたかっているつもりのようだ。社会党は万年野党を返上したはずなのに。又野に下がるざるをえなくされた。そして思わず野にいる自民党と手を組んでみたり、この先どうなるのか全く見当がつかない。一そう混迷して五月がすぎた。選挙制、税制、景気のゆくえ、これら大問題が目みえた方向が出ないまま。大阪での関西県人会大阪見物はよかった。いい旅行だった。

5 月 1 日 (日) 晴後曇

今回のメーデーは、北九州の会場が八幡になったため林副知事にまかせ、私は福岡舞鶴公園での連合系の行事一ヵ所だけに参加した。中央の政治情勢が反映され、政治色抜きはあった。家族子供達が多く参加していてなごやかな空気ではあった。五月晴れといえるがカン

カン照りで暑かった。来賓挨拶は知事と市長のみ。終って信用保証協会の招待で巳千代での中食会、あと、マージャン会になった。若い人にとってメーデーとは何かを知らぬのが普通という時代になったとの印象が強い。変化の時代に突入したのは確かだ。

5月2日（月）晴

夏のような暑さが二日つづいている。八十八夜は今日だったかな！ 午後は三回着替えるあわただしい一日だった。二時に出発して病院点滴、帰宅して博多どんたく港まつり前夜祭、衣裳がえ。昨年同様勝野さんが手伝ってくれた。国際センターの会場で顧問の名で短い挨拶を行い、すぐ引き揚げて県庁へ。車庫の畳部屋で平服に着替え、小郡へ。井手宗夫県議の奥さん死去の通夜。帰り小郡市内の一品香で夕食をすませて帰宅した。八時半だった。どんたくは四〇〇隊、三万人がくり出されるという。二五〇万人の来客との前算用。ただ雨が心配だ。

5月3日（火）曇

どんたくは雨かといわれていたが、まずもちこたえた。やれやれだろう。他方、大手門会館では憲法集会があり、恒例のごとく私は午後の部の「憲法劇」の前段に挨拶に立った。昨年にかえて今回は地方自治も平和憲法の要件の一環として考えたいということ話を話した。戦争が行われるためには地方自治を圧殺せねばならないので、みんなで民主主義の学校といわれる地方自治を守ってほしい、国際貢献という言葉で軍事介入を論ずる人が横行しているが、地方自治の面で国際貢献するならいくらでもすることがあると述べた。挨拶のあと石村さん、随行の松田氏らと会館食堂で中食しながら懇談した。

5月4日（水）曇

天気予報では、三、四日も雨だったが今日も降らずにすんだ。どんたく隊は助かったろう。今日は完全休務のため気になっていた藤花の房切りを決意した。梯子を使うので、万一の事故を思うと私がしてはいけないと思いつつも、万全を期し用心を重ねればよいと思ったわけ。南と西の棚を二面に分けるのも一方法ではあったが、ついでにと思い、やってしまった。二時間かかったし、体力がすっかり消耗してしまった。庭にいろいろ花が咲いているのに名を忘れ勝ちで恥ずる所多しだ。クレマチスが六輪今を盛りと咲いている。装いが桜花より濃い桃色、やさしさの極点を示している。時計草が蕾をつけ連っている。あき時間は筆墨の遊びで果てる。

5月5日（木）曇・強風

県議野下昭宣氏のきも入りの第八回直鞍地区凧あげ大会に出席した。午後一時から二時まで出席、遠賀川河川敷で行われた。筑前ブンブン凧一〇〇周年記念でもあるという。三代目

石井正則はじめ、保存会の人々、鞍手各町関係者が関与している。雨は幸い降らなかったが強風で凧あげには無理なほどの風だった。あと明治屋産業の従業員クラブ明友荘に案内され焼肉中心の中食会をしてもらった。野下夫妻も木野県議も出席、帰宅したのは五時半だった。降りそうな重い雲がたれ込めて、暗くなった感じだ。直美は帰京していた。時間を近辺整理に使う。連休一段落。

5 月 6 日 (金) 晴

すがすがしい五月晴の一日。十一時から春の叙勲伝達式、自治省、厚生省関係者二〇人ばかり。福教組時代の町、豊島両氏がふくまれていた。一時から空港対策室のレク。新福岡空港構想についての検討委の中間答申にどう対策するかが課題。玄海々岸の二地区に候補地を絞っている、現空港をどう位置づけるかも問題。次期定例記者会見が待ちうけている。橋本氏が知事三期目の記録を作るということで種々骨折りにしてくれているが、主な出来事の年表ができた段階。関連して帰路西公園鶴来見亭に立寄り雑談した。知事語録もあれこれあるようだ。

5 月 7 日 (土) 晴

何はともあれ、全く自由な在宅一日を過ごした。床の間北窓際に無秩序に並べ置いてある小物花壺など一通り汚れを払ってきれいにした。今後ともこの種の塵払い作業を少しずつ進めていきたいと思う。先月下旬香春郵便局で広末氏の仲介で買い求めた記念切手をひとつおりながめてみた。すごく多いので驚いている。もってないのが殆んどで願望の一部がかなえられたことになる。書齋で時間をまぎらわせていて、七二兄の手紙がでできた。姫路で私の後援会づくりに動いている様子が出るしてある。今は何も無いが当初はこの種の動きがあったのを思い出す。夕方鉢物に水を遣る。

5 月 8 日 (日) 晴

永野法相が辞任、後任に民社の中井 (三重選出) の更迭がきまった。新聞記者との会見で「南京虐殺とはでっちあげ」云々といった事が、中国その他欧州各国、韓国にも非難の大反響を呼びおこしたからとのこと。今日は快晴、昨日のつづきとして床の間 (今の私の寝室) の置物ごみ掃除をした。それから宿題の色紙 17 枚を書いた。平凡に過ぎ行く休日、「万燈」の俳句を書いたが快い句が多い。午後六時から花村仁八郎 (経団連相談役) との夕食懇談会、ホテル、ニューオータニで。法相の不用意発言で羽田内閣は発足十日で早もガタ明白となった。訪欧中の首相とんで帰っての処理。

5 月 9 日 (月) 晴

十一時から、春の褒章伝達式、市議二人が対象。十二時から三役中食会、新福岡空港構想と

新北九州空港連絡橋経費負担などが話題となった。三時半から個人情報保護審議会委員辞令交付式があったほかは明日の記者会見に関連してのレクが続いた。産廃処理場に反対を唱えてきた町長（牛嶋氏）が新たに町長に当選し挨拶にみえた。この種問題の具体的対応は必ずしも容易ではない。県の対応も頼むといわれた。新宮町宗像市にも難題がつづいている。大型連休明けで、まだボケがつづいているという職員がいた。これから本番。

5月10日（火）晴後曇

八時に出て福岡ドームへ。九州各県議会議員の親善大会開会式始球式。九時四〇分から庁議、長寿社会対策推進本部会、そのあと定例記者会見。十一時半から福岡県環境保全公社の理事会つづいて中食会、終って検診それから決裁。午後の日程が少々楽だったので田川の県立大学から来室した城島氏から発足後の大学運営についてその苦悩をしっかりと聞かされた。多くは予算が足りないこと、校舎施設の貧弱なことに関係したことである。六時半からリーセントホテルで秘書室企画振興部企画監の懇親夕食パーティがあり、顔を出してもらへばとのことで出席。あとで小串ほか企画の二人（尾木、的野）とうちにきて深夜まで麻雀。

5月11日（水）曇 小雨

午前中身辺雑事、筆ももつ。午後二時迎いの公用車で出発、脇田温泉楠水閣へ。途中、犬鳴ダム事務所の案内で周辺公園を見学。楠水閣では私に割当てられた「富士」の間で橋本氏の用意した資料により知事仕事の総点検の討議。川上氏が夕食前後一寸参加したが、東定、太田の計四人が終始列席。ほとんど私が語ったことになるし、テープにも収録された。知事の意見総括について予め準備されたメモを細論したことになる。夕食をはさんで五時間、他の雑談などまじえ、就眠は十二時すぎになった。温泉周辺の緑は美しい。水音も亦よく環境絶好。

5月12日（木）小雨後晴

脇田の楠水閣で十一時まで、昨日につづき、話をしてすごし、迎いの公用車で県庁へ。多川博氏と梅ヶ枝餅の不老さんが知事室に来訪、ついでに11Fの喫茶室で軽い中食を共にした。一時半から税務職員への報奨金支付式、そのあと地方課、緑化推進課などレクが続いた。報道系が小選挙制区割りについて知事意見の方向をききたいと、面会を盛んに求めてきたが一切断わり通した。決裁のあと川端の福寿飯店へ、六時から八時まで財政課職員の慰労会。睡眠不足のため疲れを覚えた。休養をとらねばならない。明日までに回復したい。

5月13日（金）晴後曇

十二時すぎに車の迎えで登庁。一時すぎ山本添田町長（町村会々長）の来訪をうけ、ペルーからの小学校建設支援につきいよいよ組織的に動き出すのでよろしくと当方から依頼し

た。一時半から三時まで町村会各理事出席のもと、特別会議室で要望会議となる。道路は別の機会とし、今回は地方財政、産業廃棄物処理場、高齢化対策、農業問題の四点に絞っての問答となった。松くい虫問題も追加された。四時から点滴をうけて五時すぎ帰宅できた。あやめの季節になった。小鳥の啼き声は楽しいが、その世界での特別の求めを表現しているのだろう。

5 月 14 日 (土) 雨

小雨が降りつづく休務。やっとの思いでペラー五枚の原稿 (月報用) を書く。「国際化」に題を絞ったが、構想のまとまりがよくなかったので苦慮した。大阪の高田保治氏から「続・白雲悠々」への原稿依頼状がきていたので、その返事を書く。卒業五〇周年記念出版とのこと。何を書くか内容に自信がつかないけれど何かを書かねばとの思いは大きい。ひるまの時間を利用してコタツ部屋の雑然たる置物のしらっぼいゴミ汚れを拭き払う。努力した甲斐はある。ピカピカ光るのが目にみえる。部分なので、同じ仕事がまだ残ってる。

5 月 15 日 (日) 曇 小雨

十一時から夜須公園のオープン式、小雨降り冷い風が吹いた。一昨年の五月十日に行われた第 43 回全国植樹祭の跡地を県で公園化したもの。全部完成ではないが、やすらぎ荘も近く、今後、青少年はじめ、多くの県民に緑と自然を楽しんでもらえるよう今後一年かけて更に整備を進めていくことになっている。種々新しいアイデアを盛り込んである。人工的すぎるかなとも思う。一時ごろ帰宅。中食後こたつ部屋の清掃の残り (電話器付近) を行い、色紙書きに取り組む。高原にくらべ、福岡はまだしもゆるやかな風。

5 月 16 日 (月) 晴

からりと晴れたが、暑い暑い一日。緑に包まれるわが家だが虫が横行する。業者に頼んで消毒液をふってもらった。しばらく有効だろう。床の間の一部を塵払いした。二時に迎えの車が来て登庁、レクやら決裁やらを消化した。サツキが咲きはじめたが、裏庭のは数年来花があまりつかなくなっている。葉が伸びるばかり。鉄線が美しい。よく眠った筈なのに体調がよくない。持病に犯されているに違いない。より一層健康に注意しなくてはいけない。眠れなかつたり、肩こりを感じたり。

5 月 17 日 (火) 曇 小雨

霞一ぱいのようなだったが、後には霧雨も降った。定例の庁議・記者会見。「九州国際空港」構想について質問されたが、答えにくいことで、「新福岡」にしぼって答えた。十一時から大手門で解同、一時半から教育会館で高齢協二つの大会に出て祝辞をのべた。三時に散髪、あとレクと決裁で、四時半に検診に行った。血糖値チェックについて再指導をうけた。二五

〇の時もあったが、概して一〇〇台のケースが多く、まずはいいのではないかとのこと。自己チェックの医療器を今後とも使っていくことになる。頭が重いので若干心配したが、元氣をとり戻すべきだろう。明日からの一泊旅行準備。

5月18日（水）晴

九時半から県立美術館で一九世紀フランス美術の光彩、パリの人間模様画展（西日本新聞主催）のテープカットに出席。あと場内一巡し、十一時から平塚工業団地の企業立地協定立会調印式に立合った。県の特会立地は三和シャッターとCO-OP九州事業連合の二社。この景況の中でよくきてくれたものだ。午後三時半糸島郡志摩茶屋の梅屋旅館に行き前回につき三度目出版を目ざした県行政出版のいろいろ項目につけて話合った。橋本が中心、東定、大田がそして今日は森山も。客として農業ゴミ、高齢給食の中村、片山、松崎の三人のボランティアの体験とをきき夕食も共にした。

5月19日（木）晴

昨夜就寝は二時頃になり、今日八時の朝食はつらかった。十一時すぎまで勉強会つづき。公用車の迎えで佐賀鎮西町の名護屋城跡へ。県にも博物館にも連絡がしてあって、副館長樋渡氏ほか大変お世話になった。博物館内城趾の案内をこまごま承り、秀吉の朝鮮出兵＝文禄・慶長の役（壬辰・丁酉倭乱）一一五九二～一五九八年の概要、名護屋城三ノ丸・本丸そして近辺風光が快晴のもと、勉強にもなり楽しむことができた。鎮西町長吉田氏の世話で抹茶をいただいた。（博物館隣りの茶室）帰りに唐津鏡山入口のレストランで中食、帰宅は六時半。楽しく又新しい知識を一ぱい学んだ午後の充実を満喫。

5月20日（金）晴

一三時からホテル日航で十一都道府県公安委員連絡会議が行われ、冒頭の挨拶に立った。一八時半から同会の懇親会があった。ここでは役割りなし。一三時半から病院で点滴をうけ、登庁、レクが五件つづいた。いずれも明日からの日程に関するもの。終って決裁そして新産業ビジョン原案完成につき説明をうけた。もはや技術立県という段階をこえ、ハイテク、情報の時代に直面しており、これに対応しようというもの。田中孝氏一行のバスツアーが正午すぎ県庁に來訪していて、みやげを置いていってくれていた。御礼の対応が必要となった。

5月21日（土）曇・晴

降るかも知れないとのことであったが夕方晴間もみられた。休務といえる状況で朝から揮毫の宿題にとり組んだ。三時からガーデンパレスで高教組の新加入者オリエンテーションがあって一時間知事講話の役を果たし、一旦帰宅。七時から市美術館ホールでユニバシアード実行委員会歓迎レセプションに出席した。多くの外国人委員らの出席があった。私はウェ

ルカム・ドリンクの乾盃挨拶。二階テラスも会場で、福岡ドームもよく見えた。あと一年余の間に大会の準備は完了する見込みありという。夫人同伴。九時少し前帰宅。

5月22日(日) 晴

昨夜もよく眠れなかった。何が問題なのかわからない。夕方までゆっくりできるので、朝食後はつづきの塵払いに時間を使った。午後は好きなように机辺で遊んだ。四時四〇分迎いの車が来て、甘木のセンチュリー・ゴルフクラブのホールへ。第十一回スターカップ九州、94チャリティゴルフプロ・アマ大会の前夜祭。オーナー上杉昌也氏、来賓挨拶は知事だけ、中島甘木市長は歓迎挨拶、チャリティ贈与式は社会福祉関係の四者が代表。上杉佐一郎氏が乾杯発声、あと宴が盛り上がったところで三人出演の歌謡ショウ、このあとビンゴゲームに入るところで退出、帰宅は十時少々前。明日も晴という。

5月23日(月) 晴

朝、掃き作業をしていたら、探していた「白雲悠々」が目の届いてなかった書棚から思わず見つけた。これの続編をとということで大阪の高田氏から要請があり、数日中に四〇〇〇字の拙稿を仕上げねばと思っていたので今日、休務を利用して原稿を仕上げようと思って取りかかった。予定の三分の二程度素稿は進んだが無理すまいと思って途中で手紙書きをした。姫高史を編纂する人達から寄せられる手紙の一つにこたえる手紙。戦後五〇年ということで、種々なる試みが身近にきかれる最近である。自分の生命の方が心配。

5月24日(火) 晴

八時前に出発。中間市遠賀川河川敷で県総合防災訓練が行われ、知事は総監の役。九時四〇分から十二時五五分まで。ヘリコプターその他近代都市対応を中心に考えた防災構想の展開である。地味な地域防災も考えて欲しいと思った。一時すぎから市内「すし範」で市長らと一〇人で中食会。懇談の中で堀川保全がでてきた。石炭を運ぶ川ひらたが運行された昔のこと。帰庁して明日に備えた会見レクのほか J リーグ藤枝の誘致その他積る話題にいくらでも時間がとられた。四時半から点滴、血糖値は意外と低い。六時帰宅。身辺雑事がやはり山積している。

5月25日(水) 曇 夕方小雨

雨を待っていた。やっと夕方に小雨となった。今日は庁議、記者会見、あと、二つのレクがつづき、午後一時すぎ、監督者特別研修(於三 F 講堂)の知事講話、環境問題についてのべる。二時半から一時間、野口忠行画伯との対話(グラフふくおか)収録、次いで六月用の知事挨拶構想レク、そして決裁。四時四五分ニューオータニでの県観光キャンペーン推進協議会の懇親会と、三光園での韓日親善協会金守漢中央会長一行の歓迎夕食会を消化し、八時半

帰宅後、吉村議長との約束で彼への手紙を書く。忙しい一日が十時半やっと終わった。長い一日。

5月26日（木）雨後曇

久しぶりの雨でよかった。もう少し欲しいが。十時からレディス・トーク福岡の委員委嘱状交付、十時半からアクロス福岡コンサートホールのシャンデリア設置についてウィーン出張の結果報告をうける。十一時、金守漢会長ら一行の表敬訪問をうけ、十一時半から六月分知事挨拶録音。午後はレクのほか、特に故大内田茂士画伯の遺作品の遺族から目録の贈呈をうけ感謝状の交付をする。決裁と検診（注射）ののち、ホテル日航で日韓親善協会による金守漢一行歓迎パーティが行われた。その前に金会長は盛大な講演会講師をつとめられた。私は六時すぎ帰宅、明日にそなえる。

5月27日（金）曇

「知事対話」で星野村ゆき。九時二〇分発で五時すぎ帰宅。十一時に村役場につき高木村長の案内で池ノ山自然公園（星野焼展示館、星の文化館、お茶の文化館）内を視察。お茶の所では抹茶ひき、玉露すすり呑みなど新しい体験ができた。これら文化施設がよくととのっていることに感銘をうけた。対話はお茶の文化館の一室男女五人ずつが対話相手。茶作り業、これに隣接の菓子作りの試みが話題の中心。茶も二町つくらないと業として成立しないと主張、保安林緩和の要望がでた。それぞれ希望にもえて山村生活がんばっている。夜は宿題の揮毫などに就く。

5月28日（土）晴

九時二〇分の「のぞみ」号で新大阪へ。高木所長の案内で公用車にのり第三ビルへ。新京八期の高田氏と合流。河久で中食。あと朝日航空で八尾空港から新設成った関西新空港中心にセスナ機二台チャーターして湾岸やら視察。高度三〇〇m とのこと。快晴に恵まれ安全に帰着。八尾から公用車で北区に新しくできたスカイビル、ホテルをペアにした「空中庭園」に昇って大阪市内を一展、地上 170m というので足がふるえるように感じた。午後六時から南の心齋橋、大成閣、新京八期生を高田、吉田が十余人集めてくれ同窓会。九時頃道頓堀など見学。一〇時新阪急ホテルに帰着、投宿。今日随行は橋本氏、一切まかせる。

5月29日（日）晴

大阪東洋ホテルで関西福岡県人会総会が行われ挨拶。二十五周年ということで参加者も一八〇人とか。平年より多い。県下から福岡事務所、福岡、北九、甘木など諸市代表も出席していた。十一時から食事をはさんで総会。踊り、歌、福引きなど。早目に辞し、中之島の市立東洋陶磁美術館に立寄った。中国・朝鮮の十二世紀頃以降の名品を見ることができた。三

時二八分発の「のぞみ」で博多へ。急を要することもあって駅前(裏)の都ホテルで県職村上、高教組大塚二人に夫々つづけて面会し、知事選についての方針をきいた。夕食も村上と共にした。帰宅したのは八時半近く。過密なスケジュールがやっと消化できた。新幹線の揺れはひどい。ともかく眠い。

5 月 30 日 (月) 曇

九時すぎ昨夕のつづきで、今朝九時すぎ橋本氏の案内で県自治労の橋口氏が来宅小談した。十時に出発、十時半からニューオータニで福岡都市高速道路整備促進期成会があり議長役。十二時から三役中食会、新北空港連絡橋建設案について斉藤副知事から問題提起。一時すぎから国立博物館対策室長のレク、一時半から次期知事選対応につき林団長と要談。決裁のあと病院での点滴をはさんで、九州北部学術研究都市構想推進会議の総会(グランド H)及び幹部懇親会(ソラリア、花野)の二項目を消化。八時半帰宅ののち、孫娘久美に、国家公安委岩男寿美子先生紹介の手紙をかく。

5 月 31 日 (火) 曇

十時半から北畑財政課長退任の辞令交付。その前に、定例庁議と国博設置促進会議(基本構想展開素案づくり)。十一時すぎから臨時県議会の開会待機の姿勢で、予定の日程をくりあげて決裁やレクをすませていった。代表者会議が始ったのは二時、それ以降見える形で議会は動き、新旧議長、副議長選出交代など関係議事は進み、三時半に予定の議事終了。新たに新宮議長、長谷川副議長が選出された。四時すぎ黒田荘へ。社会問題月報廃刊について討議したのち一応続刊の方針に戻った。話合ったのは衣笠、大塚、高崎、定宗、松田秘書。定宗は早目に退出したが残った者で夕食会、八時すぎに帰宅。参会者はホッとしたようだ。

6 月予記

いつもの通りアツというまに六月も終わった。梅雨期順当な降雨で、コメのできも例年以上でないかと予測されている。議会はうまく回転しており、六月終りには閉会の本会議を残すのみという好調さ。中央の政界は混迷のあと、六月三〇日に村山新内閣の発足で一段落。揺れの予想は誰ももっている。社会党から首相がでるのは四七年ぶり。非難めいた意見が多い中、私は騒ぐに値しないと思っている。閣僚は自民 13、社会 5、さきがけ 2。どこまでころがせるか、それぞれ辛抱の限りをつくすだろうと思う。政治改革、選挙が待っている。

6 月 1 日 (水) 晴

十時、新財政課長林崎理氏辞令、次いで交通死亡事故抑止緊急対策本部設置の声明発表、記者会見。十一時から死亡者叙勲の式。午後二時からサンヒルズで「交通事故をなくす県民運動本部通常総会」。昨年比五月末で事故死が二九人増加しているのが大きなショック

だ。全国的にも一万人を越える交通事故死を数えた昨年、車社会化と無謀運転、高齢者の無自覚とが重なっている。交通「戦争」といわれる現象が重くのしかかる。レクと決裁。六時から料亭嵯峨野で新正副議長との懇談夕食会を執行部側がもつ。三役出席。十二時から一時間半、山岸ら「連合」三役との中食会（於グランドホテル）

6月2日（木）晴

降雨がなくて心配がひろがっている。十時から大手門会館で開かれた連合中央委員会に出て祝辞。一時半からリーセントで高速道路公社運営会議北九州部会が開かれる。万年赤字と料金値上問題。福岡市が延 km 短いのに料金が高いことと比較し、北九も値上げすべきなのに市長選にからむかのように低料金にこだわっているようだ。決裁とレク、それに病院に寄って点滴、六時すぎ帰宅。久しぶりにうちで夕食をした。近頃、就眠に困難あり、睡眠時間が足りず体力消耗を感ずる。血糖値はまずまずながらやはり高目と思う。体力保持に自由がきかない。クジャクサボテン一ぱい咲く。

6月3日（金）晴

ゆったりとした日程で、小倉での二つの定例総会を消化しての一日。十時四〇分発、ニュー田川で樺島部長と中食。一時から西瀬戸内総合開発促進会議、三時からリーガロイヤルで東九州自動車道福岡県建設期成会。両方とも順調に議事が進み、会長一議長をつとめた私には楽な会議、予定より短時間で終わった。五時すぎ帰宅でき松田氏から頼まれていた九大病院脳神経外科の先生への挨拶状を書く。山本連合副会長の奥さん入院手術の件。星野村長高木氏へも。今が茶摘みの最盛期とのこと。先日の対話の時のお礼も併せて述べる。

6月4日（土）晴

休務。何もしない一日といたいのが宿題の条幅三枚を仕上げ、昨夕の色紙とあわせ明日届ける。書いた手紙は4通。電灯の火屋ふきもできた。少しずつ塵払い仕事をしているので、光りが見えてくる。この頃藤棚両面に加え、垣根の緑葉も茂り重なって私をとりまくので、日中でも薄暗い感じだ。仕事をするには縁側がいい。外の仕事とて特にないので外にはほとんど出なかった。サツキの盛りも越した。紫陽花（ガク）が美しくなってきた。じっくり読書でもすべきなのに、近年根気がなくなったような気がする。

6月5日（日）曇

第67回福教組大会に出席挨拶。八時半に出発、十二時すぎ帰宅。先日高教組の大塚氏がいていたように福教組の指導部は頭が堅く、時代に応じて方針を変えていく柔軟性に欠けている点を大会議案書など見て感じた。社会党左派が共産党に通ずる体質をもっているといわれる点に似ている。なかなか降らないので道側の雑草がしぼんでいる。水道はまだ大丈夫

夫のようだが、午後はふき掃除や例のような筆墨の世界での遊びとなる。東上の船越さんが先日梅実をくれたお礼。

6月6日(月)晴

6-6-6の合う日。八時二〇分出発、九時一〇分発沖縄ゆき。着いて県企画の森山氏の迎え公用車で沖縄見物視察。まず残波岬ロイヤルホテルにとび、ここで中食(読谷村突端)。終わってスタジオパーク「琉球の風」、つづいて琉球村。三時すぎ夜の会場である万座ビーチホテルに着く。ホテル部屋に旅装を解いてすぐ県企画部次長らと打合わせ。六時半から九州地方知事会の沖縄大田知事招宴に出席(恩納村)。八時半から同ホテル広場の間で、琉球舞踊鑑賞会に出席。「四ツ竹」をはじめ「加那ヨ一天川」まで七曲の舞踊を楽しみ鑑賞した。あと小串氏が私の部屋に来て十一時頃まで雑談して時間をすごした。舞踊をみながら琉球という国の存在を実感した。

6月7日(火)曇

沖縄は梅雨明け、福岡は梅雨入り。七時半ホテルで朝食、九時から事前協議、四五分後九州地方知事会、十二時まで。中食後ちょっと記者面談、あと又視察に出発。南へさがって沖縄市南東植物楽園、大林オーナーが園内車で案内説明してくれた。このあと、三セクでできたばかりのトロピカル・テクノロジーセンター(株)を訪ね、バイオなどを基本とする技術開発事業(通産省系工業団地)研究施設を見学。最後に重要文化財古豪の邸宅「中村家」を見学(木造、平家本瓦葺、全石たたみ)。六時半発のJALで帰福、八時半すぎだった。今回の九州知事会旅行は沖縄を改めて印象深く見学という副産物があった。

6月8日(水)雨

九時半発。十時に西川鯉近さん来訪、舞踊活動で表彰をうけたことへの礼である。六月議会も迫っており提案議案についての決裁がたくさんまわってくる。十一時から県政懇、その第一陣は共産党となる。あと、かれこれレクあり、早目に病院で点滴をうけることになる。このあと、朝日新聞の青柳記者に追っかけられ、喫茶店【※欄外記入】に行き、次の知事選について意見を求められ、その結果について秘書室の橋本、松田の二人に山ノ上ホテルまで来てもらい報道対応、六月議会対応につき私のとるべき中味につき意見を求めつつ、夕食を共にした。支持団体などの意見どおり、確答を九月まで待ってもらう線を貫くしかないとのことで一致した。七時半帰宅。

【欄外記入】(千代田生命ビル地下)

6月9日(木)曇

正午頃秘書室橋本氏来宅、室長小串両氏も。私の「四選発言」につき西日本新聞記者も面接

を求めている件で、彼等の注文が私に要望されすぐ出発。アクロス福岡の工事現場視察のあと、さきの朝日と同じ千代田生命ビル地階で記者面接。十五分ほどで打切り、登庁、決裁や各課レクを受ける。アクロス福岡は七六%の工事進捗、ステップガーデンも見た。記者は中旬にも私の四選不出馬の表明を聞きたがっている。九月まで待つてほしいと話はいっている。それが問題になっている。夜六時から「やま祢」で商工中金児玉理事長を囲む夕食懇親会。関係者13人の出席、市長も。

6月10日（金）曇

降りそうで一日降らなかった。十時から信用保証協会の新役員辞令交付、十一時から「六月議会」招集について代表者会議。一時半から県政懇、一つは農政連県民クラブ、次は自民党。これはホテル日航で行う。あとで夕食懇談会。同じホテルで中小企業経営者協会の創立二〇周年会があり、これにも出席、祝辞を述べたが、祝宴には出ず、病院で注射をすませ、六時前には帰宅できた。ひるま林武彦団長が来室して知事選への対応について話し合う。朝日新聞が昨日今日二度に亘り、奥田の発言云々の記事をのせたので、周辺が若干さわぎ始め、近まる議会对応をどうすべきかが話題。より慎重にと要請あり。

6月11日（土）曇

月報の月稿につき思索の末さきの沖縄旅行の印象を綴ることとし、資料を点検、原稿を書きはじめのところで、午後早目に是松氏の連絡で、松永氏と共に来宅し、夜おそくまでマージャンをすることになった。松永氏もOBになったという。OB生活をどう送るかはそれぞれに問題だが、健康維持が何より大切である。是松氏は孫も同居、うるさいとはいっているが、ある意味では理想である。そのためには、子が遠方への就職を思い止まるのが先決で親の後継か近くの就職であるが殆んど思うようにはいかない。こうして家族は変質しつつあるのが現状だ。

6月12日（日）曇

重く暑い曇天。降らない。朝から昨日につづき原稿書き。午後は揮毫、六時半にはすべて終って解放された。途中伊三男君が例の台湾資本の話の人を伴って来宅。適当に引きあげてくれた。この人も知事引退ですかと話題を混えた。いろいろ意見はあろうがやはり引退を決意する方向で対応した方がいいと思える。後援会事務所をもったり、知事公舎に入ったりのをこえることがなかった点を自分で指摘しておいた。六月も後半にさしかかる。知事選候補の話が人々の関心を呼ぼう。

6月13日（月）雨

梅雨空そのもの。鹿児島では雨の被害がでたという。十一時から県国際交流センターの、一

時半からは九州新幹線建設促進期成会のそれぞれ年次総会。会場は都ホテル及びリーセントホテル。私が議長役。三時から社会党県政懇。六月議会は形式的には論点がない模様。予算議案もない。レクと決裁のあと、病院での検針(注射)自分でよさそうな時を見はからって血糖値をセンサーで測っているが、夕食前も大そう低かった。注射のせいだろうか。夜は墨筆に時間を使う。来年の知事選のことで報道陣は沸いている。明日記者会見だ。

6月14日(火)曇

庁議、記者会見。知事選出馬問題はあまり詰めた質問にならずにすんだ。あと、七件のレクがつづいた。三時から吉塚合同庁舎でペルー小学校建設援助募金会発会式があった。添田町から六〇万余円の募金の披露式にもなった。今年末までに五千万円の募金をして千人は入れる小学校を作ろうという計画が決ったのである。四時半から公明党との県政懇が和多伴で行われた。七時半まで。帰宅したら高宮俊諦氏から阿蘇のホームランメロンを届けてくれたので、礼状を書いた。大阪事務所高木氏からは先月二十八日上阪の時の写真を送ってきてくれていた。八尾空港の思い出になる。

6月15日(水)晴

「ふるさと対話」の事業、赤村の地域おこし運動をしている数グループの指導者が対象。九時二〇分発、十一時に役場につき、休憩後、村長、助役、議長ら挨拶、視察に入る。特産物センターDo You 農現地(合鴨)「源じいの森」視察、中食。十二時五〇分からグリーン・シャワー・ガーデン(農産物加工)、漬物扱いに手をそめ、あと対話、三時半まで。ホテルの話も出たが、残念ながら見る時間なし。四時頃川崎町畠中県議宅新築豪邸をゆっくり見物。帰宅は六時半近かった。ゆとりある清らかな一日だった。村の若者が地域を守っているのに敬意を表したい。

6月16日(木)晴

十時二〇分、海外技術研修員の表敬があった。中国その他一六人。日本語になれた後、企業、農試などに派遣される。会議が三つ、十一時から科学振興振興財団理事会(サンヒルズ)、一時半から交通安全対策会議(特九)、二時半から西日本農業共済組合連合会長会(グランドホテル)。四時十五分からグラフふくおか用の対談は知事室で、アマ・ボウラーの柴田知美さん(18才)が相手。二〇年前に頂上に達したのち衰えたボーリングが近頃また人気をよんでいる。柴田さんは第一経済大学、広島大会に出場のこと。決裁あり。六時半すぎ帰宅。

6月17日(金)曇

十時に蘆州会の人達が書展に出した「波」(色紙)の礼にと挨拶に来られた、恐縮。「父の日」というので果園芸連からバラの花束を贈呈して下さる式があった。十一時十分~六月議会

開会、提案理由説明。午後検診に行く前に産炭地振興促進協議会総会を合同庁舎で開く。点滴のあとレクが三件つづいた。都市鉄道農業振興課、商工部長、いい話はない。決裁ののち、リーセントホテルで福教組の前委員長蒲池氏、中村氏両人の第一線引退による「励ます会」が行われた。五五年体制のしめくりみたいに古い活動家が顔を出して約三〇〇人。きびしかった労働運動の話題が多く出た。小柳、林武彦氏らの顔もみえた。九時ごろ帰宅できた。何となく疲れた一日。

6月18日（土）雨

十時半から教育会館で福岡高教組大会があったので出席挨拶した。思うに先日福教組大会とはずいぶん雰囲気が違う。大塚委員長の挨拶でその概要が出ていた。終わってからグリーンヒル若宮へ。前秘書室長現民生部長が前から予約していたもので、一たん輝国に帰りみゆきを乗せ、犬鳴ダムサイトのレストランで中食をすませてかけつけた。山根氏も現室長深見氏も夫妻そろって加わっていた。明るいうちマージャンをし、夕食は小串氏入れて七人でゆっくり食べ、食後は深夜までつづきのマージャンになった。午前二時まで踏んばっていた。

6月19日（日）雨後曇

グリーンヒル若宮は朝食後出発し、十時ごろ帰宅（タクシー）。あと早速揮毫の宿題にとりかかった。色紙の残り十枚あまりと条幅五枚。後者は夕方赤嶺氏が来訪してきたので中断になった。彼は七八才、二人ぐらし。勲章ももらったし、固定資産も十分あるので生活の心配はないという。「県民の父」に「父の日」だからケーキをもってきてくれた。六時半頃お別れし、あと揮毫の課題を仕上げ、ケーキをいただいて就床したのは十時半。まだ雨の気配が残っている。忙しい一日だったといえる。二人で健康に注意しようと語った。直美から豆を送ってきたので電話で礼。

6月20日（月）曇後晴

九時二〇分に出て夜須町へ。カントリーエレベーター前で儀式のあと三〇〇メートル向うの現地で新稲「ちくし六号」の田植実施、一人二〇株ずつ、植手が県議・町長・農協など三〇人ばかり。終わって泥を洗ったあとリーセントホテルに引き返し筑豊都市鉄道（株）の定時総会。帰庁して散髪。多川博氏が西日本の記者を伴って来室、例の鉛筆削りにつき話の種として少し又おしゃべりをした。五時から自治労福岡県本部結成四〇周年記念式典（八〇〇人参加という）に、あと次いで門司倶楽部での「松永県議を励ます夕べ」に出席（七時から）。帰宅の途中古賀ICで夕食して、十時帰宅。

6月21日（火）晴後曇

休務。別段仕事があるわけでないので台所のパン焼機を磨いたり、鋏、ナイフを研磨したり、

加古川の足立喬氏が送って来た「左右考」を読んだりして時間を費していたら、夕方電話連絡があった後、秘書室の橋本氏が来宅した。広報面の知事コメントの事や例の次期知事選がらみで連合福岡の石口会長と会談する内容の下打合わせなど二時間近く話して彼は引揚げた。時候柄少し寒い感じ。応接室の外は藤棚のほか梅の繁りもあって昼なお暗しといえる状態である。のんびりできてよかった。(みゆき寝込む)

6 月 22 日 (水) 曇後雨

今日代表質問はじまる。八時半発で答弁資料検討会、十一時四五分に議場へ。十二時一〇分から一番、藤田陽三(自民)中食休憩後二番吉安蓉子(社会)の二人。職員の打合わせがうまくいって審議はスムーズに進み、三時四五分に本会議おわりとなる。あと、監査委員をやめる北原県議に感謝状わたしを行い、「朝の挨拶」(七月分)の素案打ちあわせ討議(広報課)、土地対策課のレクで終了。帰途病院に寄って注射をうけ六時すぎ帰宅。ドイツにいる安田育代さんが研修に行っていた県職員に写真を託し届けてくれた。二〇年以上前ロンドンでの知人である。

6 月 23 日 (木) 曇

九時から答弁原案検討会。十一時すぎから第二日目の代表質問、二人。三時すぎ終って休憩に入る。あと七月むけ「知事朝の挨拶」収録、NHKのインタビュー(参院議席減の問題——四増四減)。農振課レクは「食と農危機突破大会」の件、職業対策課レクは二七日来福の失対制度調査団の件である。これらが終って帰宅は六時すぎ。参院地方区は福岡が三から二になる。一寸した変化と思う。失対事業は筑豊のかかえる基本的問題。終息となるとまだ八五〇〇人就労している現状からして大問題だが、以前私が「恥部」と発言して青年会議所役員から吊しあげられたのを思い出す。県職員の対応も悪い。

6 月 24 日 (金) 晴

代表質問終了、今日から一般質問。共産党の塩塚氏は、代表質問のように持時間が長かった。十一時すぎから三時半までで今日の日程は終了。社会党の若狭氏が、障害者問題に質問を集中したが、終了後障害者代表を知事室まで連れてきて紹介、写真を撮ったりした。中食の時、現在熱気が生じているサッカーJリーグ誘致について藤枝ブルックスを福岡にという話がおおよそ決着し、県が金銭面でどう関与するだけが未解決といわれるまでになって来たとのこと。帰途病院で点滴、五時半帰宅。ツツジの枝切りを一寸したのち案の定手がふるえて字が書けぬに至っている。

6 月 25 日 (土) 曇

妙な夢で六時には離床。玄関脇のツツジ刈りをしシャワーを浴びて又横になった。十時出発

十二時半帰宅で中央会で行われた「農協決起大会」に出席した。会場で羽田内閣総辞職の聲が飛んだ。コメ、農産物をめぐる、政治への不信は高い。ウルグアイラウンド合意批准はさせないぞという空気。農業の将来がみえなくなっていて食糧農政への批判は絶頂。中央からは参院三重野、合馬、吉村の三人の「先生」がきているだけ。衆院は禁足令の中という。午後曇空のもと、南と西の藤棚に昇って蔓切りの仕事をしたが、危険作業は暫く耐えたものかなり疲れた。

6月26日（日）晴

朝から筆を執る。色紙一五枚と条幅など五枚。心準備ができていたので三時過ぎには揮毫仕事は全部終わった。手の震えに心配がなくなったので、残りのサツキ株を全部若芽刈りをした。昨日の藤棚といい、ツツジ刈りといい、この時季の大きな課題、今後は誰かにしてもらうしかないだろう。ついでに鋏磨ぎもした。思い付くままにあれこれ片付くと気持ちいいものだ。明日の一般質問の答弁資料も点検した。夏も本番という感じ。由布院玉の湯からカボスを送ってきた。礼状をかく。遊びに行きたいくらい。

6月27日（月）晴

八時半出発、九時から答弁勉強会。十一時から一般質問、中食をはさんで五人、三時に終わった。江蘇省からの教育視察団の表敬。明日は田川の県立大を視察するとのこと。四時半、失業対策制度調査研究委員への挨拶（特会）。七年度一ぱいで失対事業は終息させるという中央方針である。斎藤副知事があと対応した。決裁数件。検診（点滴）ののち六時半から、都ホテルで開かれた連合福岡議員懇談会に出て挨拶。七時すぎに退出して帰宅できた。今日は三四・四度、最高の暑さ記録。ここ数日、むし暑さ、クーラーが動かぬ病院は大変だったらしい。（急な暑さで用具なくて）

6月28日（火）曇

一般質問の最後の日。三人で、午後一時半には終了した。沖縄の戦没者慰霊碑について事務側に報告を求めた。沖縄県の分について、さらに各県ごとのうち福岡県分について、戦後五〇年の節目だから碑について見直すよう私から求めていた問題である。それぞれに経費をかけて化粧がえをすることが報告された。訪問する人々に見劣りする印象を残してはいけない。県内のこの種記念碑をどうするかは課題は未解決だ。いずれ取組まねばならない。六時前に帰宅。身の雑用に取りくんだ。和代からトーキビなど送ってきた。

6月29日（水）晴

ねむれぬ日がつづく。しかし今朝は快晴、筆を執って習字、気分よし。十時発、十時半新宮議長がドンタク鋒飾揮毫の礼とあって町代表らをつれて知事室に来訪。議会は各委員会と

も知事保留もなく審議終了とのこと。知事室での待機は長時間だったが雑誌ばかり。中央の政局は午後八時以降動きだし、十時ごろ村山総理誕生ということで、まずは終り。十時半頃 NHK の記者が門を叩く。インターホーンのみで応答をすませた。社会党が首相を出すのは四七年ぶり、それも自民を軸に組閣するのだから大騒ぎだ。

6 月 30 日 (木) 曇

朝早くから裏庭、西庭の樹木の剪定に力を入れたが、ちょっと疲れた。午後から歯学部に歯の治療をする日程だけだったが、村山新内閣発足ということで急に知事室に行くことになり、二時すぎ歯の治療のあとは登庁、三時から臨時に記者会見となった。みんながさわぐ割には、私は平心で会見に臨んだ。何せ、自社さきがけ、という一見妙な組み合わせだから一般の騒ぎは大きい。私はみんな閣僚は心得ているから、隠大な線で政治は転ぶと思う。帰路、大丸 8 階で呉昌碩の篆刻書画展を見学、師村妙石氏が説明案内してくれた。

7 月予記

降雨をひたすら待ったのについに雨らしい雨なく過ぎ去った。梅雨が明けた日すらはっきりせぬまま高温多湿すぎる七月だった。近郊市で断水時間をもつしかない市が発生、福岡市も八月四日から時間給水に入ることになっている。七月は次年度予算に向けて政府陳情、同じ分野だが北海道での全国知事会もあった。村山新総理の発言で社会党の従来の方針の修正が問題になった。例えば非武装中立、自衛隊違憲、国歌日の丸への対応など。他党、マスコミは好んで「矛盾」として取りあげた。自社連立内閣も異常といっている。

7 月 1 日 (金) 晴

八時二〇分から岩田屋横で「同和啓発」の物くばり、二〇分後検診に行く。十時から市民会館で県警発足四〇周年表彰式に出席。十一時半同和身元調査規制条例づくり要請陳情団と面接(特会)。午後はレクや決裁の時間だけで比較的ゆとりがあったが村山内閣出現につきマスコミその他消極論の噴出につき、コピー化したものを材料に秘書室の者と種々雑談した。批判・不信が一般的、とくに社会党首班、自民党との提携に疑念が寄せられている。夕方六時からアメリカ領事館で独立記念祝賀の集いがあった。七時半帰宅。

7 月 2 日 (土) 晴

休務で揮毫に全部時間をとられた。外はカンカン照りで暑い。色紙三〇余枚、条幅二枚、押印してしまって片づいたのが午後九時である。この七月に、歴代随行秘書の会があるので、その時のおみやげに、私の句の色紙が欲しいというので OK したものの、それを作り上げるのに時間がかかった。条幅も気が落付くものになるには時間がかかる。外庭の枝切りは樫二本が残ったが、それは次の機に譲ることとし、今夏は一応打切ることにした。生い茂った

庭木がすっきり、せいぜいした。

7月3日（日）晴

大牟田高砂町の三池労働会館の竣工祝賀式に出席した。十一時半から48年の組合関係者が集った。阿具根、浦川、炭労の原茂氏など顔を揃えた。花園氏は永く地労委に席をもった人だった。かつては二万九千人いた組合員も、現在は僅か六〇人、二、三年のうちにゼロになるとの話題も出た。二階建ての会館屋上に三池での炭鉱災害犠牲者の碑ができ、除幕式も行われた。千人余の人が祭られているという。一九四六年二月結成の組合だが、一九六〇年に分裂した「三池闘争」の思い出が深い。事務所には私が揮毫したばかりの扁額がかけられていた。今後は炭坑資料館にもなる。

7月4日（月）晴

曇っていて雨へと願っていたのに晴れてしまった。呉長郷氏ら書家たちが表敬にこられた。師村さんが随行。十一時から県議会、閉会への本会議。例のとおり各界お礼挨拶まわり。中食を終えて二時半から歯の治療に。甲斐、寺田両先生により、前上を義歯にかえてもらった。一回で終り。明日の記者会見レクののち、秘書室の議会打上げ会（特会）に出て（五時～五時半）、予約のとおり、浄水茶寮で連合福岡の石口、山本両キャップと夕食懇談会。秘書室の橋本、松田両氏が同席、六時から九時すぎまで雑談の会となった。

7月5日（火）晴

九時から庁議、記者会見、あと人事異動辞令交付、死亡者叙勲とつづき、午後は産経新聞の記者の三池争議を思い出して語るインタビュー。これは若干資料準備により対応し、思い出の正確性をはかり対応した。三時四〇分から観光学科新設要望のレクがあった。つづいて中国呉長郷一行来訪と呉治安総領事退任挨拶を話題としてレクがあった。決裁のあと、五時半サンヒルズに行き、県警本部長と夕食を共にし、あとはマージャンを楽しんで帰宅は十二時近くになった。行政側は秘書室長が随行であった。暑くて睡眠不足の一日。

7月6日（水）晴

十時から特別会議室で精神薄弱者育成会（県）を対象に知事対話。精薄という表現を知的障害者と呼びかえる傾向。午後一時二〇分に在福岡中国総領事呉治安氏の離任挨拶来庁。二時福岡経済同友会大屋会長の観光学設置に関する要望をうける。まず県下私立大学から働きかけてくれとのこと。終って水資源対策課に「渇水対策本部」設置の看板かけ。降雨少く水源枯渇が心配される段階になった。当分降らないとの天気予報でもある。決裁のあと、四時すぎから検診、点滴。五時半帰宅。東側がけに茂る竹笹を刈る。夕食後七時半から九時まで月下美人咲く景を見るため秘書室女性三人が来宅。話しこんで、花もち帰る。

7月7日(木) 晴

むし暑さつづく。十時四五分公安委員への感謝状、十一時から日本生命財団から青少年育成団体(18)への助成金贈呈式、ひる前、吉岡道夫久留米リサーチパーク社長への感謝状わたし、午後自衛隊(陸、海、施設)三団体の新役員就任挨拶がつづいた。二時から合同庁舎で観光推進協議会設立総会に出て挨拶。三時すぎから職安、通観、広報各課のレクがつづいた。新規学卒者採用推進、北九州 FAZ 計画、グラフふくおか取材黒川紀章氏との知事対談の件。午後六時から稚加栄で、歴代随行秘書が集っての懇親会。初代松尾氏が欠席、八人。思い出ばなしに花が咲く。

7月8日(金) 晴

NHK 局長新任挨拶来訪。十一時半からグランドホテルで学卒者就職難つづきについて財界への要請を伝える懇談会(中食も)。一時半から歯科大嶋村学長退任感謝状交付。二時からサンヒルズで地域交通体系整備促進会年度総会。あと、レク、そして検診。今日は小川院長から血液検査の結果を数値をもとに説明していただいた。糖よりも肝機能障害の方に心配が大きいらしい。GOT、GPTの数値が高すぎるとの指摘。六時帰宅。夜は明日の黒川紀章氏との対談に関する資料に目をとおし早目に就床。

7月9日(土) 晴

「グラフふくおか」用の建築家黒川紀章氏との対談のあと、中食を共にして終ったところで同じく広報課の者がコメント原稿の承諾を求めに中食席に来た。北鮮の金日成の死について三行ほど。ナポリで行われているサミット出席の村山首相が緊急入院をしたとの報も重っての騒ぎ。尤も前者の方がはるかに大きい。米朝首脳会談が核拡散を議題に行われようとする矢先である。世界が注目するし、北鮮が、あと、どう反応するのか、振出しに戻るかも知れぬとの声もある。北鮮の変革が気になる。ずっと炎天がつづき梅雨明け宣言もあり。大蒸暑さ。

7月10日(日) 晴

昨日は三時少し前帰宅ののち、月報の原稿書きに取組んだが、予定字数に達し、就寝は十一時半になっていた。今日は朝から揮毫の宿題消化、条幅 5 枚と色紙二〇余枚。汗がにじみ出て仕事に支障が生ずる程。クーラーや扇風機は使わず、一応終了したのが夕方六時すぎ。真夏の照る中、一日部屋にこもって揮毫仕事に取組んでいたわけ。要領が悪い点いろいろ反省させられるが、ともかく成り行きにまかそう。報道は北鮮に注目している。村山首相の人氣も更に落ちたという。そうだろうか。

7月11日（月）晴

抜けるような青空、日照強く、水が心配つのである。今日は今後の日程に関するレクがつづく。国博対策室、企画（九州連合会議の件）、水資源・開発課（ダム予定）と現在の水事情、記者会見のこと、環境保全施設（廃棄物問題）等々。途中、一時半からメルパークで国立博物館誘致のための「県民のつどい」講演会の前段挨拶で庁外に出た。焼けつくような暑さだが、街は依然人出が多く、山笠も終り方の空気が何となく伝わる。朝刊は休みで、北鮮事情は夕刊。北鮮は金日成のあと息子の金正日の時代になりそうだと伝える。夜は永末英一京都福岡県人会々長死去についての弔文を筆書する。

7月12日（火）晴

庁議、記者会見。ひる前新日鉄の阿南副社長ら新任挨拶。午後は歯科治療（抜糸など）、二時から外国青年招聘者の表敬（タンザニア、タイから24人）、レクがあれこれつづいた。都市高速につきややくわしく説明をうけた。建設資金と採算の両立が関心、それと用地買収の壁、ねばる地権者が必ず計画どおり事を運ばせないのだ。決裁のあと六時半からニューオータニで地元十団体共催で中国総領事呉治安夫妻の歓送会が開かれた。二〇〇余人の出席で名残りを惜しんだ。札幌総領事に転出という。

7月13日（水）晴

降雨なく、新聞での天気予報でもあと一週間は晴マークばかりがつづく。県下各地で給水制限が始まっている。今日の日程は一日中犀川町伊良原ゆき。十時出発、夕刻七時帰宅。三〇年以上宿題だった伊良原ダムがいよいよ建設へと動きはじめ、私は現地視察（ダム建設出張所経由）と、現地関係団体（於ふるさと会館、五団体約五〇人）との要望、答弁の交換。井上県議や犀川町長も出席。県から水資源対策局長、課長も出席して答弁。約八〇戸が水没する大規模ダム建設で、ここに至るまで、今後も、障害は多い。忍の一字で対応するのがよいと思う。

7月14日（金）晴

七時五〇分うちを出て大牟田ガーデンホテルでの九州連合議会（九時半から）で挨拶。帰庁し、十一時半、全米日系人博物館訪日団の表敬に対応、辞令交付。午後は二時から国際交流団体全国協議会（都ホテル）で挨拶。すぐに山ノ上ホテルにとんで高速道路公社の運営会議、これは二時半から、私が議長役、一時間程度。また帰庁して決裁。次は六時から九州地方開発推進協議会の地元知事招宴、挨拶と夕食会。今日は五回も挨拶に立つ、車でとびまわる、きりきり舞い。自身何の中味も知らない会議へのタッチが多い。この時期、予算要望とりまとめの仕事が実に多いわけ。全国規模の渇水のような。

7 月 15 日 (金) 晴

何と忙しいんだろう。対政府予算要望の九州レベルの会がつづく。十時から九州横断自動車道建設期成会理事会、次いで東九州自動車道建設促進協議会総会。中食会は九州地方開発推進協議会、午後はその総括総会と対政府特別決議の採択。すべて九州のインフラ整備の遅れを念頭においての対政府要望を含む組織体の事業経過、活動方針予算決算等の審議、各県両政令市の首長、議長の会議であった。三時半 TNC 収録 (私の名をめぐって)。三役会、決裁、注射を経て帰宅は六時すぎ。

7 月 16 日 (土) 晴

休務。連日屋内で三〇度をこすあつさ。雨なくどこともクーラー満開だろう。何もしないでとは思ったが、やはり気になって宿題の揮毫に就く。五時半にやっと終わった。汗だくだく。蟬がなく、小鳥もあれこれ。だが鳥だけはなぜか気分がよくない。わが部屋ではクーラーはなるべく使わないようにと思い、必要なときは扇風機で用足している。タオルで汗を拭く。ヤセガマンの結果、汗が出るわけ。夜、高宮義諦氏逝去一周年記念として作られた伝記「努力の人」に一寸目を通す。終りの方に故郷小国にふれた部分があって感激した。

7 月 17 日 (日) 晴

何もしないですむ休日。暑さにかまけて何もしない、外にも出ない日とした。明日から長期出張となるから、身边を少し整理しようと思ったが何しろ湯につかったようにあつい。廊下の温度計は 32 度をさしている。ひる前から吉村氏が松の芽摘みに来てくれたのだが、四時頃までかかった。松の木は手がいる。北鮮のアメリカとの交渉はどうなるか気にしているのだが、核問題を強引に取り上げているアメリカ側に無理があるとの論議に若干目をとおした。国の外交姿勢に主体性がないこと、マスコミにへつらいがあること等々、金正日の今後の出方などあわせ注意を要する。

7 月 18 日 (月) 晴

九時五〇分から検診、注射。登庁して建築都市部長、課長の辞令交付。あと医薬品小売商業組合の寄付金贈呈式及びペルー小学校建設寄付金への謝状授与式 (安武秀久氏)、つづいて県立太宰府病院改築についてのレク。午後は散髪のと水資源計画課のレク (渴水事情とダム視察について)。決裁のあと四時半の ANA で上京、七年度政府予算陳情の目的。東京に着いたら雨、うらやましい感じ。関東では豪雨地帯もあったときく。ふくおか会館に着き所長らと東條会館南館で夕食会。関東でも山つき地域の雨でないと水不足は解消しないという。東北を除き水不足は全国的なのである。

7月19日（火）晴

八時朝食。応接室で小休息ののち、九時四〇分から午後五時まで七年度政府予算関係の陳情。はじめは細谷運輸政務次官、あと自治省、文部省、文化庁、ふくおか会館での中食、午後は運輸省、建設省、国土庁であった。運輸省の時間帯に中を取って総理官邸に村山首相を訪ね就任お祝い博多人形（ケース共）を贈呈、記念写真をとる（三時十五分から五分間）。職員が人形運搬などよく手伝ってくれた。「羽衣」能人形。五時半からキャピトル東急で与党（自社）系地元国会議員対象に予算要望説明をかねた夕食会。両政令市及び県南、西瀬戸内グループも説明に参加、県会正副両議長、各部長らも参加。

7月20日（水）晴

八時半から昨日のつづき。地元国会議員との懇談会（キャピトル東急）野党の部、一時間で朝食含み終了。あと赤坂の水資源開発公園に前副知事富永栄一氏（理事）を訪問、総裁にも紹介してもらった。十時すぎ辞去、羽田へ。十一時二〇分発のJALで福岡へ。三四度という暑い世界だ。一時ごろ県庁着、県下の渇水事情について報告をうける。筑豊と北九州を除いて全県の危機、三〇%取水制限。検診点滴をすませ、馬出の大光寺へ、松本英一氏死去通夜に行ったのは午後五時すぎ。このあと橋本、小串の二人と仿膳で中食会、いろいろ雑談。みゆきは庄島さんと共に札幌に行き、私一人の夜となる。

7月21日（木）晴

六時前に目が覚め、出発前に撒水シャワー浴び、コーンフレークで食事。八時十五分出発札幌へ。ケイオープラザホテルまで道職員の案内で、中食十二時頃。一時半から四時半まで会議。小憩ののち六時半から八時まで知事会レセプション立食式。入室してしばらく、北海道旧同志たちが4Fの別室をとってしてくれ、十余人を相手に当面の政治情勢を話題に意見を交わした。「非武装中立」につき村山首相が「役割を終えた」といった事が地域でかなり混乱を生んでいるが、これが話の中心。私は地方自治を強調した。鳴海氏は来なかったが多数きてくれて有難かった。

7月22日（金）曇

ルームサービス（一八〇四号室）で七時二〇分食事。八時二〇分発の観光バスで出発、道職員も随行してくれていた。大通公園、大倉山シャンツェ、札幌芸術の森、支笏湖湖畔丸駒温泉旅館で休憩中食。あとリゾートアルテン苫小牧、次はウトナイ湖サンクチュアリー（ラムサール条約湿地自然保護地区）を見学、千歳空港へ（一六時すぎ）。羽田空港乗り継ぎ、福岡までの旅だったが、三〇分予定よりおくれ（七時半発）、福岡着は九時になった。JAL—ANA、後者が遅延した。札幌は二三度、福岡は二九度。旅装を解いて休んだのは夜の十二時になった。（私、みゆき、小串、庄島）

7月23日(土) 晴

十一時四〇分に出発して、日銀前で室長相乗り。降水祈願の行動として江川、寺内の両ダムと筑後川大堰の三カ所で一升瓶に入った酒をまく。現地職員、水資源本庁職員も共に祈禱する。とくに渇水を感じたのは寺内ダム。総合的には貯水量は三割に減じ、都市用水もあと一週間しかない。福岡近郊の市町では既に給水制限に入っている地域があり、きわめて厳しい。福岡市でも取水五〇%、近郊一五%、断水の市もある。逆に日照は強く、気温は室内でも三二度。くたくたになった一日の行程、七時に帰宅。何もする気にならず、裸体でころがっていた。県民に節水を呼びかけるほかない。

7月24日(日) 晴

曇後雨という予報は現実とならず、期待の雨の気配全くなくカンカン照り。室内でも三四度となり、関係の部屋は全部閉ち、扇風機をつけて揮毫にあたった。刀出行きのためにと思っ
て筆を執ったが、九一から電話があつて、さらに具体的な受入れ体制を知った。十枚ほどの色紙要請だが、二十五枚書いた。余分が必要でもあるという。五時には仕事は終わったが、暑すぎて何をやる気にもならない。水の心配は募るばかり。心に積っていた手紙を六通筆で書いた。各所に送った素麺は着いたようで、お礼の便りがつついて来ている。

7月25日(月) 曇

雨をもってきてくれると待ちのぞんでいた台風は四国、中国に行き、福岡にはこなかった。今日は七件ものレクが入り多忙だった。行事としては十一時半に上杉昌也氏からのスター・カップゴルフのチャリティ寄付贈呈式、午後青年会議所北九州大会用の挨拶録音、二時からブラジル研習を終えた青年相手の「知事対話」(7人)。それからレク、決裁、そして検診点滴。七時近く帰宅夕食後、刀出ゆきに必要な梱包づくり等々の旅行準備にあっふあっふ。明日の庁議、会葬、芥屋への研修に備えての身支度に精一ばいだった。和代からの電話で向うは幸いな雨という。

7月26日(火) 小雨

昨夜から午後まで一ヵ月余り降らなかった雨が小粒ながら降った。恵みの雨だが、四国などではどっと降ったりで、もっと欲しかった。庁議、一〇時から「朝の挨拶」録音、十一時から吉塚での中小企業振興センターの起工式、二時から福岡・県南の水道企業団から水利用調整要望(特九)、決裁ののち故松本英一氏の告別式(積善社福岡斎場)。帰宅して服装をかえ芥屋の国民宿舎へ。各企画官を集めての研修会が二泊三日で行われる。今日は五時半からの夕食懇親会にて日程は修了。

7月27日（水）曇

国民宿舎芥屋、めざめは七時すぎ。八時の朝食。九時半から研修会、洋広間。十二時半まで「地域としての福岡県」。中食後、一時半から「学研研究の核」づくりをテーマとして四時すぎまで。前半は尾木氏、後半は大平氏が基本報告を行った。地方自治、住民自治、一極集中論、そして又国立九州博物館、九州大学の移転、大きくは学術研究ゾーンの形成と県のかかわりが主要課題となった。九大移転には県の関与の必要性が高いのに、具体的に取組む段階に入るまでに至らぬ歯痒さをみんな感じているようだった。東北にくらべ遅れていることも十分念頭にあるようだ。

7月28日（木）晴

今日は午前中、十時から女性の研修員12人を相手に男女機会均等の理念を基礎として各自の意見、現状、期待などを述べてもらった。中食を共にし、一時前に公用車で福岡へ。橋本も私も、着替えのため夫々自宅に寄る時間をとり、あと病院で点滴。四時半のANAで上京、東京事務所でチェック・インし、近くの同仁堂まで徒歩で夕食に行った。中華料理やや高級と思う。ふくおか会館に帰って来たら、もう十時だった。密なスケジュールの一日だった。刀出の九一君に電話、橋本氏も刀出に泊る由依頼した。

7月29日（金）晴

むし風呂同然の暑い一日。七時に起きて八時から朝食会をかね「九州は一つ」開発推進大会（キャピトル東急）。国会議員も多数出席、向い会いの席。各県知事が要望一件説明、私は九州国博について。九時半には終了。あとブロック組んで中央政府陳情、うちは斉藤副知事が代ってくれた。私は新幹線で姫路に下る。二時前姫路で、上って来た深見室長と落合い、書写ロープウェイへ。オープン間もない文化館を見学のあと書写山一巡。車で藤井さんという僧が奥の院まで案内してくれ、遊歩道を経て刀出晴久宅にたどりつく。一風呂あびて六時から集会所で四〇人ばかり集ってもらい、室長前座、私が幼時代を語る会となった。九時まで。夜ふけまで晴久宅に語りここに泊る。

7月30日（土）晴

晴久宅で八時ごろ朝食。あと櫛谷橋、及びその下流川原、そして刀出橋及び川原などの大工事による変りぶりを実地見学。仁さん、勉さんが九一、晴久ともに車で案内してくれた。井堰、県道もすっかり変わってしまっている。むしろ公的広場も型にはまったものになっている。終って九一宅の工場で小休憩。十二時すぎからロープウェイ下の上山中食会をして別れた。修さんの息子も同席、橋本君をいれて六人。あと晴久が駅まで送ってくれ、二時半頃の新幹線で博多へ。六時には帰宅できたが、どこも猛暑で水なく、疲れる旅行だったので、シャワーを浴び来簡物に目を通して休眠とした。

7月31日(日)曇

ゆっくり休みえた午前中だった。身辺整理で精一ぱい。すごくむし暑い。二時すぎ迎えに来たのが小串と森山青対課長。小戸ヨットハーバー近くのマリノアでアジア太平洋こども会議文化交流会が行われるので市長らと共に挨拶に立つため、公用車で。四時ごろまで会場内視察をふくめてつき合った。青年会議所主催で今年は六年になる(福岡市制一〇〇周年記念として初回があり、積み重ねられている)。帰宅してからも、暑さに負け特に何かをすることもなく過ぎ、横になって休みえたのが収穫。九一から電話があったが二十六日当日の式辞の字誤りについてふれたら保存を前提に正誤したものを送ってくれといていた。

8月予記

カンカラカンで渇渇の毎日、气象台はじまって以来の新記録がつづいている。家にも廊下の温度計はいつも三〇度で止まっているかの如くである。こうした中で夏休みとった形で四国旅行に四日とれたのはせめてものくつろぎ。大歩危ははじめて、高知での尾長鶏や龍河洞ははじめてだった。四万十川の川舟もよかった。でも高知城、桂浜、足摺など行ったことがあるというだけで初経験と全くかわらないので印象的な経験であることにまちがいない。旅行とはすべてこういうものだろう。再訪問もいかに大切かがわかった。

8月1日(月)晴

今日から「水の週間」、八時半から岩田屋横で、節水啓発キャンペーンに立つ。十一時から春日市での女性総合センターなどの建設工事安全祈願式。その間登庁してレク三件。又帰庁して中食して出発、一時半からアクロス福岡設立発起人会が東急ホテルで行われた。来年三月オープンに向けての組織予算等の準備、財団発足が主題であった。工事は八二%進捗とか。私が理事長に指名された。大物がずらり理事となっている。帰庁して三時からハワイ少年フラダンスチームの表敬をうけ、次はKKRはかたで地方行政連絡会議二〇分講話ののち懇親会。六時帰宅。

8月2日(火)晴

六時前に起き上り、気になっていた色紙など揮毫に時間を使い、午前を有効に使った。一時半合同庁舎で解放同盟の対県交渉があり、冒頭答弁に立った。細谷治通運輸政務次官、斎藤武幸氏二件の表敬をうけ、三時半から甲子園出場の九州工業高校の選手団の表敬をうけ、朝書いた色紙を額入りで贈呈激励した。決裁ののち検診点滴を挟んで帰宅したのは六時半。近頃は部屋の中でも三〇度を越し气象台はじまって以来の新記録が毎日更新されていると報道されている。川魚が何千尾も並んで死んだという。水不足が一段と危機をつのらせている。

8月3日（水）晴

今日も全国各地で記録更新の高温があったと報道された。十一時に来年のゲートボール大会への補助金要請、次いで赤村田川市つづいて首長来訪。一時から「光をかざす女性たち」受賞報告と要請、二時半から連合福岡の反原爆キャラバン隊を伴う平和運動関連要請があった。長崎発広島まで行進するという。五時半から大牟田ガーデンホテルで長谷川副議長の就任祝賀会があり、関係者五〇〇人は参会したろう。終って七時一〇分から同ホテルで石炭危機を目前にしての大牟田市長を中心とする対県要請の会。帰宅は九時半になった。

8月4日（木）晴

報道によると各地で熱射が新記録を出している。十一時から死亡者の叙位叙勲式（16人）。中食しつつの三役会では小倉のFAZ出資条件、水、次に私の退位発言時期方法論。二時から太宰府病院改築委の中間答申受領、つづいて福岡工業大学付属高校の玉龍旗剣道大会優勝報告会。間をぬって長谷川副議長、牧坂五郎氏が来て一寸話し込んだ。決裁案件をすませたあと検診、点滴、それと刀出の田摩勉氏へ姫路城随想半ぺら四枚を送った。六時帰宅。

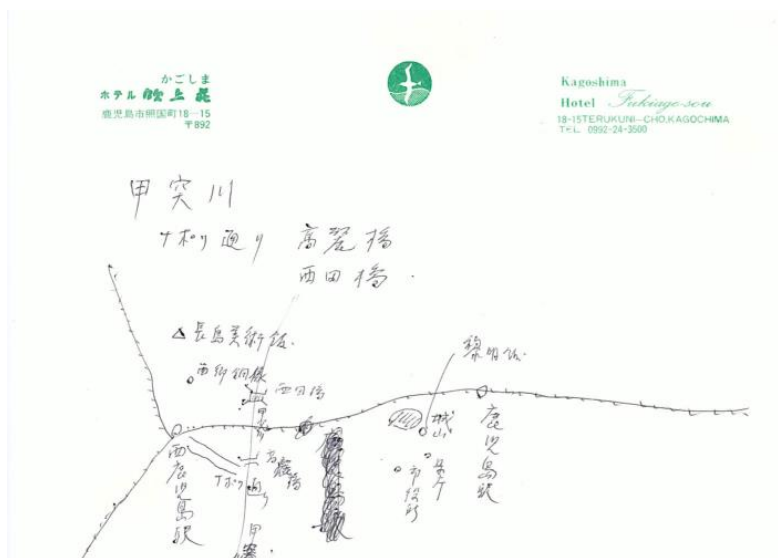
8月5日（金）晴

金土日と三連休となった。揮毫の宿題が多かったので今日は終日かかりっきりで取組んだが、終らなかった。明日、半分以上の時間がかかるだろう。色紙が五〇枚と条幅三枚、全く違う文言を見つけようとするから思案するのに時間がかかる。灼熱の晴天がつづいていて昨夜から市は夜間断水にはいった。裸でいても仕事中は玉の汗が流れる。外の仕事をしている人もいるが大変だろう。蟬が鳴くので一そう暑い。和代がスイカを送ってきてくれた。

8月6日（土）晴

広島原爆49年。村山首相が広島に行ったが被爆者特別法については言及しなかった。不満があるようだ。炎天のもと外に出ず課題の色紙書きの残りや押印に時間をかけ、時には横になった。でも眠れなかった。終始クーラーのもとで過ごしたわけ。焼けるような外、むしぶろのような内、廊下で32度もある。草花は撒水なしには次々と枯れていく。小鳥も水が得られずさわいでいる。人間も自分の生命を守るのに懸命だ。天神周辺、福岡ドームなら冷房を味わいながら楽しめそうだが、当方にはその欲求がない。問研月報の原稿かき。

【挿入文書】



8月7日(日)晴

強烈な照りつけがつづいている。休務の三日目、外に一步も出ずクーラーに頼って一日をくらす。廊下はずっと 30 度をこす暑さ。暑中見舞に対する返書を一日がかりで書いた。毛筆、封書やペンでのハガキ、気になっていた部分は夜九時までかかって凡そ仕上げた。南正覚文枝さんが夫と赤ん坊を伴って一時来宅。つづいて是松氏が来宅。赤ん坊をみるのは楽しく思う。是松氏は、書の為書きなどの要望で、これはすぐかなえてあげることができた。彼は表装の実技を習っていて暮しに飽きがこないのも助かっているという。生涯自分で生きる道を何かもつべきこと確かである。私がすすめた一例が彼。

8月8日(月)晴

炎天つづく、鳥鳴き草花枯れ、藤の蔓延び放置、これ荒廃への途。午後登庁、レクが四件と決裁。ひる前の散髪と夕刻検診注射と秘書室内々の夕食会、場所は仿膳。農業生活ののんびりが雑談の中心になった。誰しもカネを追っかけまわさず自然ともっと平常的な交流をしたいのである。キュウリの曲ったのを食べてもいいということなど。九時半頃に帰宅した。廊下の温度計は三〇度をこえている。三時に公明党から水問題につき基本から施策を強く再考すべく要請があつて対応した。

8月9日(火)晴

九時半出発、十時四五分若宮町役場着、ふるさと対話事業である。清水観音、犬鳴ダムさらに対話参加の人達の関係するドリームホープ若宮、夢工場、廃油から石鹼をつくる工場を視察、脇田温泉桶水閣で中食休憩。そして一時半から三時まで一五人ばかり対象の自由対話、写真とりと進み、帰宅は四時半頃だった。井田町長、町議長が添ってくれ、くつろいだ心境

で行事が進んだ。町長の骨折りでドリームホープ若宮が活気をもって町づくりに立上っているといつてよい。県下の範例とするに値する諸活動が展開されている。一般に紹介できるといい。常に新しい工夫が必要なことも事実である。

8月10日（水）晴

台風13号に期待したが福岡市内でも県庁近く一寸降っただけ。次は14号だがまた判らない。ともかく降らぬ日がつづく。九時半から一番食品社長挨拶。十時からグラフふくおか用対談（小泉和裕さん）、話題は九響、アクロス福岡、県文化行政。十一時半から一時間三役会議、ヤオハンの進出と北九州市問題が中心。一時半県総合計画審議会（21世紀へのプランの見直し諮問など）挨拶、高令者憲章懇委嘱状交付式。二時二五分から労働大臣浜本万三、征矢職安局長らの来訪に対応、主として学卒者雇用の要請をめぐって。大臣は経済会もまわられたようだ。労働省出先機関の役員たちを含め、夜は「やま祢」で懇談夕食会、中国電産の経験だったので話しやすい大臣だった。

8月11日（木）晴

初盆まいり公用車で北九、筑豊、粕屋をまわったが、又記録更新の^ゝような暑さ。空港近くで五時ごろ温度表示標をみると37°、わが家に帰って廊下の温度計は32°。夕食後も夕刊読むのが精一ぱいでシャワーを浴びて横になった。クーラーがフル回転である。行先①福岡町（小山徳市氏）②渡辺裕介氏③滝井田鶴子氏、④江口竹亭氏⑤小西平太郎氏、いずれも故人名。①と②の間に遠賀病院老人性痴呆患者病棟新築安全祈願祭（神事）と直会が一時間半はさまった。中食は直会のあと。新聞報道では福岡市の一週間の断水効果三%と出ていた。もう待てないといえる。

8月12日（金）晴

昨日につづき初盆まいり、久留米宮崎強氏、福岡永倉三郎氏。昨日は37.5度で新記録という。今日もつづきである。干天猛暑がいつまでつづくのだろう。十二時すぎ病院に行って点滴をうけ、登庁した。平素より幾分静か、休みをとる人が多いようだ。渴水対応の気持を示すためにも、時短、休暇に配慮するよう室長に示しておいた。時間給水の必要が予見されている。県内主要ダムの貯水率31%、死水をポンプアップで取水する直前にきている。平年度にくらべ降雨一%、平均気温は二～三度高いという。

8月13日（土）晴後曇

休務。台風14号雨をもたらすならと期待していたのに、南九州で活動しただけで北西の方にそれてしまいそうだ。夕刊の天気予報をみると、引きつづき猛暑干天らしい。ダムの貯水率は三〇%以下になった。今後八月下旬に雨を期待するしかなく渴水対策が大問題となるよ

うだ。朝から揮毫、色紙少し、条幅二枚だが、思うようにいなくて時間がかかった。残り時間は何もする気が湧かず、ごろごろしたり雑用をしたにすぎず効用ある休務でなかった。本を読む気にもなれず。

8 月 14 日 (日) 晴

休務。一日中かんかん照って墨筆の字なぐさみで果てたみたい。十一時すぎから暑い中を藤の蔓切りを快意した。花落ちたあと切っているの二度目だが、気になって我慢できぬ程伸びたからである。二時間余の作業で汗びっしょり、さらに疲れを感じた。中食後仮寝をと思ったが、扇風機の風はかえって熱風を送っているようで午睡はやめた。室内でも 30 度を越えている、どうにもしようがない。クーラーの部屋は甲子園高校野球放映で特別の興味もない。祈る雨は当分の間実現しないようだ。

8 月 15 日 (月) 雷雨

十時に出発し、病院で点滴を受けたあと大濠武道館に行く。例年同様、戦没者追悼式があった、一時頃まで国会議員も多数参加あった。国レベルは武道館で(靖国神社でも同じく)。全国どこの県もやっている。帰宅の時山根民生部長と一緒に小串氏をふくめわが家でマージャンを楽しんだ。雷雨があり、五〇余日ぶりの雨に恵まれた。10 分ほどだが、地面も木の葉もぬれてよみがえった感じ、恵みの雨といえる。六時すぎ二人の客は帰路につく。一寸涼しさが加わったのでうれしい。横田健の子供の写真入り手紙くる。

8 月 16 日 (火) 晴

昨夜はあまり眠れなかったのに今日一日四国旅行へ早朝から、体がもつだろうか。十時二〇分発新幹線で岡山、のりかえ、「南風」で瀬戸大橋経由、阿波池田へ。タクシー出迎へで三時間半ほど祖谷峡の観光。小歩危・大歩危・かずら橋、喜多家(平家落人ゆかり)武家住宅を見物。予定どおり五時半泊所新祖谷温泉ホテルかずら橋にはいる。はじめての祖谷峡、吉野川上流。水豊かで、奇岩・奇石を渡船で近々とながめることもできた。宿では露天風呂もたのしんだ。香川県は池田から導水をしている。それで助かっているが、相かわらず「湯」らしい。開発が見直さるべきと思う。山深い祖谷、道も長い。

【欄外記入】旅行はわれわれ夫妻と秘書室橋本洸

8 月 17 日 (水) 晴

ホテル発八時半、途中観光しつつ池田発九時五三分(しまんと三号)十一時四分高知着。適当にタクシーを拾い、高知城園内中食のあと龍河洞へ。途中長尾どりセンター、坂本龍馬の歴史館、(ろう人形)そして桂浜。三翠園ホテルに投宿。夕食は「得月楼」で和風特別料亭となる。六時半から九時まで。尾長どりははじめて見る。尾が七〜一〇メートルと長く、ケ

ースに入れて飼育している。記念写真もとらせてもらった。場所は南国市（高知と後免駅のあいだ）。高知の主なポイントをみたわけ。坂本龍馬が自慢のようだ。人口31万の高知市は静かなたたずまい。城も雄渾。

8月18日（木）晴

九時四六分高知発あしずり三号で中村へ。出迎えの車で、案内の四万十川舟遊び。「日本最大の清流」といわれるだけあって堂々たる川幅、水量だ。三人での貸切り舟となり、中洲に上陸させてくれ、素足を水に、石ころの上を歩くことができた。何十年もなかった小石川水の体験、きれいな石を数箇拾って帰ることにした。佐田沈下橋のすぐ下流である。一条神社、城の形に作られた漁具資料館（幡多郷土資料館）、トンボ自然館に行った。案内のタクシーをそのまま使って足摺岬へ、四時到着。西側から入りまず白瀨を先に、帰りは東側。宿は足摺国際ホテル、われわれは新築の部屋。ここでも海の幸一ぱいの夕食だった。

8月19日（金）晴

九時に昨日のタクシーの迎えが来て出発（竜串見残タクシー）。グラスボートにのる予定が潮の汚れで海中魚槽に変更、珊瑚博物館を加えた。ホテル南国で中食。三時頃までこれら竜串海岸見物にあて、中村駅三時一五分のあしずり二号で高知へ。五時少し前に着き、タクシーを拾って空港へ。尾長どりセンターに近い空港。一時間ほど待って六時四〇分発のJASで福岡へ。四五分で着く。松田氏が出迎えてくれたが秘書室は特別伝えることなしとのこと。福岡は雨なく給水制限が強化された。全国的な渇水がなおつづいている。昨、一昨日の二日間はハードな旅だった。

8月20日（土）曇・風

筑後川水系渇水調整連絡会議は昨日取水制限の強化を決定。これをうけて福岡市は即日、全市域を対象に水圧をさらに下げ、六時間の完全断水に入るようになった。宗像地域も断水を決定した。県内主要ダムの貯水率は二五%（8月12日報道では31%）に減り、死水をも使わねばならぬ窮地に立っている。これは全国共通の状況。また猛暑は観測史上最高を記録した气象台が61（全气象台の40%）、15ヵ所で39度をこえたと報道されている。下旬まで更につづくので辛抱以外にすべはないといわれている。今日は朝から1/2半切の条幅書きと、四日間の四国旅行の日記帳への集約、後者には時間がかかった。疲れが残っているのか、すごく眠い。さらに睡眠が必要だ。

8月21日（日）晴

起きたのは五時半、この頃はずっとこの調子。アンマ器で背をのばし、揮毫の課題にかかった。管崎宮からのボンボリ依頼二枚はできた。九時すぎ迎えの車が来て宗像ユリックスで開

かれた「これからの家族と子育てを考える集い」に出席。十時開会、挨拶と絵など作品への賞状渡しをして帰宅したら十二時頃だった。かんかん照りがまだ一週間はつづくらしい。在宅しても居場所がないし、何もする気がしない。あと、一週間社会党県本部、連合福岡の知事選への態度決定に向けた機関の動きが表面化してくる時期になってきた。マスコミが私に会いたがっている。

8 月 22 日 (月) 晴

二日間を予定して済生会病院に入院、定期的人間ドックである。昨夜からの断食で、九時半から検診。主課題は腹部エコー、心電図、そして胃カメラ。検診器機も大変進歩しているらしい。血圧や脈搏はまずは正常。脳神経外科の先生から映像所見説明をうけたが特に異状はない模様。胃カメラは依然いやな検診である。胃壁が一部あれているが、とくに心配はないとのこと。余った時間は句誌を読むことにあてた。句に関する感想を綴ってみたいとの感を抱いた。明日の絶食、さらに節水のこともあり、九時には就眠した。

8 月 23 日 (火) 晴

昨日、今日、二日間の検査入院、結果は概ね良、特別の問題はなかった。今日も朝食抜きで九時すぎから腹部 CT、血糖検査の二つが主課題。そして井口主治医、小川院長から検査所見を映像にしたがって説明してもらった。血糖値が思いのほか低くて心配が減った。終わったのは四時半。五時前に登庁し、六時ごろまで明日の記者会見の主題たる渇水対応についてのレクがあった。貯水が八月末までしかないのに、降雨の見込みがないという気象情報である。節水強化、自主断水を強調するしかない羽目に追込まれている。その先はどうかといわれても、努力するしかないわけだ。記録的な無雨がつづく。

8 月 24 日 (水) 晴

九時から渇水対策本部員会議があり、十時半、水問題についての県の基本方針をのべる記者会見。十一時半、城井川寒田ダム建設についての築城、椎田両町からの陳情をうけた。一時半に JICA ケニア派遣県職員帰国報告をうけ、二時半第二合同庁舎へ行き、九州地方建設局への水資源に関する陳情を行う。マスコミがこれを大きくとり上げていた。はじめての陳情でもあるからであろう。国、市町村の水資源配分権はダム建設の目的や資金拠出の歴史事情によってさまざまに異なるのだが、降雨事情が共通な場合に利害、権限が様々に異なる。昔の水争いは公的段階に上げられているわけ。

8 月 25 日 (木) 曇

無降雨がまだまだつづくという。三〇度をこえる室内温度。八時頃から朝食。玄関で記念写真をとってグリーンピアを出発。途中八女伝統工芸館に寄って和紙を買い、福岡へ。十二時

からニューオータニで林団長らと知事選について語る中食会、林副知事、深見室長、橋平補佐も参加。二時半には登庁、レクやら決裁やらを消化し、五時には「朝の放送」（九月分）の録音をすませることができた。六時帰宅。何とはなく疲れたが、仕事が順調に進んで気分はよい。最近の新聞には次期知事選について、社会党、連合福岡その他各派の態度方針が盛んに書かれている。今日の林団長との話合いで彼もそれなりの見方を示していた。いよいよ各派の動きが具体化していく。

8月26日（金）晴

九時半から特別会議室で九月県議会に提案する総務部長査定原案の知事説明会。二時半から連合福岡の対県「政策、制度」要請の会。そして四時半から山ノ上ホテルで与党懇、社会党代表県議五人を相手に午前中にきいた説明と同じ資料で補正予算及び条例原案について説明の場があった。病院食の患者負担については全国的レベルで問題になっていること、同じく水不足について議会での指摘にどう答えるか、この二点が主として課題になることであった。六時から同ホテル別室で夕食懇談会。

8月27日（土）曇・にわか雨

昨日今日降りそうで降らず猛烈にむし暑い。秘書室奥田一期目の者が集る会由布院、三笠氏が私らを迎えに来てくれる。互に自家用車利用。〔十時半すぎ驟雨久しぶり〕甘木の向うにある山田（サービスイリア）で他の三台の車と落合い、一行17人で由布院に向う。目的の寿別荘村松涛庵に落付いたのは夕方6時頃だった。湯に入ったり、予定部屋の確認をしたりのあと夕食が始まったのは七時すぎだった。近藤栄次郎氏が寿産業の岩崎達也社長にこの別荘の使用をお願いしていたとは着いてはじめて知った。由布岳がきれいに見え、標高五〇〇、下界と違う涼しさ。

8月28日（日）晴

ことぶき別荘村での朝食は八時、ゴルフに行く四人は既に出発したという。三笠氏が松永氏を加え昨日の帰路を担ってくれ、午後一時私は山ノ上ホテルで下車し、松田氏が随行役を代ってくれた。一時からこのホテル大広間で第53回社会党県本の大会が行われ、私も挨拶に立った。渡辺四郎委員長が冒頭ややくわしく開会挨拶をしたが、細川・羽田・村山と首相が変わっていく経過、村山氏の政策色などややくわしくふれた。二時には帰宅、送ってきた松田氏と拙宅で一寸懇談。三時以降、身辺整理に時間を費した。太陽は相かわらず照り、又高温だ。

8月29日（月）晴

ゆうべ、かなりにわか雨が降ったらしい。慈雨といえる。十時に出発。十一時から北九市長

が FAZ 展示場について県の協力を要請。一時半から共産党県本部から代表数人が入院食の患者負担についてと反対との申入文をもってきてしばし対応。国レベルで決められたことだが、県費でやれという趣旨である。あとレクが広報、企画関係から。これは今後の日程がらみ。決裁をすませ、五時から済生会病院点滴にゆく。六時半帰宅、あと自由時間になったが、なすべき事が山積しているの、一件一件とりかかる。

8 月 30 日 (火) 晴

九時から、中食をはさんで九月補正予算知事査定に時間を費した。復活要求は全部原案に盛りこむことに決った。入院患者の食料費負担については議会内に問題は残るものの政治の筋論から政府・立法の線を守って貫くほかなしという事で原案を押しことにした。橋本氏が知事選問題で主な支持団体キャップと対談する日程につき奔走してくれている。又水問題で九月はじめに建設省への陳情ゆきも急遽決った。決裁のあと、グランドホテルで六時から水野潤一氏の「観光学原論」出版記念パーティ。あと、新しい「くいだおれ」で姫高同窓会、メンバーは並川、牧坂、土井、奥田、岡田の 5 人。

8 月 31 日 (水) 晴

十二時すぎ出発ということで二時から読売新聞の英語特殊版の取材に応じた。三時に河野正夫妻が日中友好関係の黄世明一行を伴って来室^マ応待した。医療で来日された旧き友人と紹介された。点滴のあと五時すぎから千代田生命地下の喫茶コーナーで知事の最近の心境という要望にこたえ雑談した。六時帰宅。午前中と夜は条幅の宿題で揮毫にあたったが、出来は不満足なものばかり。且つむし暑い。この数日はとくに高温多湿で、雨はなお降らず、全く嫌な天候がつづいている。鶏、牛の被害もきかれ、卵、牛乳の供給にもひびいているという。福岡は明日から 12 時間断水だ。

9 月予記

今月の大目玉は二十一日の「九月議会」での提案理由説明での、引退表明であった。一月以来、半ば公然となっていたのだが、六月議会では早すぎるとのことで差控え、次の議会で、ということになっていたの、そのようにした次第である。異論をいう人は誰もいない。当然というか順当というか、そのような反応であった。三期十二年というのは「引際」としては丁度よいとの声もある。まだできるのにとの声もあるが、私個人としては、この辺でとの気持が一ぱい。今日の流動する政局を反映してか、支持基盤も全く不確実なのだ。

9 月 1 日 (木) 晴

十一時から三件の辞令交付がつづく。「アクロス福岡」の事務がいよいよスタート。一時半から高宮別館で、県青年の船の今年度班長 15 人を相手に「対話」。経験豊かな人ばかりで活

潑な発言がつづき、すがすがしかった。一たん帰庁してレクと決裁の消化のあと、五時半からホテル日航で高教組委員長大塚氏と対での懇談。来年の知事選不出馬につき理解を求めるのが主課題であったが、彼はやむなしとの心情だった。今度他の主要人物に数人理解を求めていくことになる。九月議会で私の意思表示するための前ぶれである。七時半発の JAL で上京、水資源のことで特別陳情をするため。異常気象に対応せねばならないから。

9月2日（金）晴

ふくおか会館八時朝食。レクをうけたあと十時から建設省、国土庁、厚生省、水資源開発公団の順で渇水対策につき陳情。建設大臣、国土庁長官に会うことができた。渇水問題への理解は高かった。昨日からの福岡市 12 時間断水は東京の新聞にも大きく報道されていた。タイムリーな陳情だ。中食は「会館」で。二時五五分発の JAL で帰福。五時少し前県庁に着き、知事用新車披露の公用車ドライバーの祝賀会に顔を出し（地階）十五分ほど後、ホテル日航へ。アジアマンスの催し、福岡アジア文化賞祝賀会（第五回）に出席し祝辞をのべ、早目に退席帰宅した。受賞者は四人。暑い日がまだ続いている。異常である。

9月3日（土）晴

社会党臨時大会は自衛隊合憲論など村山自社連立内閣の方針をめぐる鋭く内部対立をしている。どう結末を得るか注目に値する。十一時から三時まで中食をはさんで県自治労橋口氏、職労村上の兩人に一時間ばかり次期知事選不出馬について了解を求める対談をした（中食は一しょに、於山ノ上ホテル）。両者とも、私の申入れに特別異論ははさまなかった。先日の大塚氏を加え、労働組合分野は終わった。連合福岡には対応する気はない。午後揮毫を少々。依然たる猛暑だ。秋の虫は鳴きはじめてはいるが。

9月4日（日）晴

朝から揮毫の宿題を仕上げる仕事に就いた。条幅三枚と大阪事務所の看板、それと是松氏からたのまれていた「窪田」氏の表札。表札かきは紙と違って書き直しができないので嫌なことだ。部屋の中でも汗が出る毎日だが、午前は先ずは過しやすくなった。十二時少し前は是松氏が朝市に行ってきたので鮮魚を持って来てくれた。マージャンしようという事で探していたら最後に得たのが城戸。一時ごろ来宅し、十二時間も遊ぶことになった。すべてを忘れた時間になった。近頃は睡眠が十分とれないので悩む。

9月5日（月）晴

七時半に起床。昨夜山村謙一氏の奥さんが逝去されたとの電話が牧坂氏からあった。友人としてではあるが、各人個別の対応をしようということで今朝の連絡は決着。十二時半病院で注射をすませて空港へ。釜山で日韓海峡沿岸県市サミット交流会議がある。これは第3回。

三時すぎ空港に着き一休みして夜は歓迎晩餐会(釜山ハイアットリージェンシーホテルが会場)、開会の乾杯発声の役を負う。美しい砂浜に立つホテル。この海は韓国八景の一つという。浜の波と砂を楽しむ人は今時も少なくない。十一階のスイートルームだ。

9月6日(火)曇

八時から朝食。十時からの知事交流会議の際の発言につき随行の県職員と打合わせ。交流会議は順調に進み、七知事の発言内容はすべてプリントして配布されていた。自由討議では、私はコメ自由化について問題点を共同討議するよう提起し、アジア文明博物館建設が具体化したら協力をという要請を出した。中食会のあとコンテナヤード現地視察。四時から共同宣言発表と記者会見。あとの市内の文化会議へ移動。国楽(宮中音楽)を鑑賞ののち同所で歓送夕餐会。終了時の乾杯発声の役を負う。九時半ホテルに帰り、私の部屋で県の一行職員と懇親会。十一時に散会、就寝。

9月7日(水)曇

大阪地域で大雨、空港に被害という。八時に朝食。小休ののち、鄭釜山市長から記念アルバムが早くもできて贈呈された。佐賀福島副知事は早目に出発、私らは十時二〇分ホテル発、金海空港へ。出国手続などすべて職員にまかせ、十二時二〇分発のKEで帰福。室長ら出迎えがあり、公用車で直接大濠公園の「花の木」に行き中食会。橋本、小串と四人。橋本氏から当面のスケジュールについて説明をうける。林団長も知事選に向けてキリキリ舞いらしい。点滴をすませて五時過ぎ帰宅できた。まだまだ暑さがつづき渴きもひどい。今月多忙な日程早くも明らか。

9月8日(木)晴

十一時から特別会議室で交通安全全国キャンペーン隊から総務庁長官メッセージの伝達式が、つづいて共同募金に関する厚生大臣感謝状の伝達式(知事室)があった。午後は二時すぎからサンパレスで第四〇回中小企業団体九州大会があり、名誉会長の立場で祝辞をのべた。通産次官も出席され大会前に中食会がもたれた。各県中堅企業の代表が満席参加。四時頃から林県議が来室、次の知事選への態度決定の仕方につき懇談した。不出馬の意思表示の仕方につき彼なりの気持が伝えられた。決裁を終え帰宅は七時になった。明日から二泊三日の旅だ。

9月9日(金)晴

十時発のANK機で鹿児島へ。城山観光ホテルで十二時半から中食会、東九州軸四県一市サミット関係の主要メンバーが囲むテーブル。今回は秘書室の平副室長が随行。食後打合せ会ののち、二時から五時すぎまでサミット本会議。中心の論点は東九州自動車道の建設促進だ

が、大テーマは東九州軸の活性化で、各県商工会議所、それに九経連もメンバーだった。通産局長、運輸局長、建設局長も意見発表挨拶をした。知事らはパネラーとなった。五時半から夕食懇親会。メンバーは各首長、局長、会頭らだった。夕食後、平氏ら私の部屋に来て十一時まで雑談して時間を過ごした。九州の東側が西側に比べ開発がおこなわれているということが今日の会の前提意識だった。

9月10日（土）晴

平氏と二人で一日を鹿児島市内要所の見学にあてた。かるかん饅頭中心の菓子メーカー明石屋、甲突川に架かる明治以前からの石橋高麗橋、西田橋、「大島紬の里」、そこのレストラン「花の華」での中食、長島美術館、黎明館。但し最後は五時閉館ということで、明治維新以降近代日本史で活躍した人達についての展示は割愛せざるをえなかったのが残念であった。城山ふもとの旧七高の面影をしのぶことができたのはせめてもの救い。鶴丸城石垣は立派だったし、この付近、市の誇る施設が林立していることもわかった。近くの吹上荘に投宿。一日の行動全部ハイヤーで。

9月11日（日）晴

予約どおり十時から沈寿官窯の見学に行った。東市来町美山まで昨日のハイヤーで約45分、ホテル吹上荘から運んでもらった。陶苑してもらい座敷にうつって茶をいただき薩摩焼上り窯も見せていただいた。価値ある見学だった。中食は「花水木」で流しソーメンをごちそうになり、二時半頃伊集院発の特急つばめで帰福した。六時すぎ博多着。新幹線側の都ホテルで連合福岡の石口会長と夕食をかねて次期知事選不出馬につけて了解を求めることを中心の懇談の場をもった。帰宅は九時すぎ。休みなしの日程がつづくことになる。福岡市の水源はいよいよかれてゆく。

9月12日（月）晴

九時半に出発。十一時から県と建設局との連絡協議第十一回（於特会）荒牧局長が、建設事業関係で県の要望に答える形。中食を共にし、午後は決裁。件数は多かった。三時半から共産党県議相手の県政懇。五時からガーデンパレスで福岡県社会党及び関係団体、二一世紀への県民の会代表など約五〇人集ってもらって次期知事選不出馬についての弁明の会が開かれた。県議もほとんど出席。二十一日の九月議会本会議で発表する旨を了解してもらった公式の場であった。社会党系はまだ次の候補を念頭にあげておらず、いよいよこれからとなる。

9月13日（火）晴

一時に出発し病院で注射ののち登庁、レクがつづく。敬老の日、林業センター開所式、交通事故、議案、記者会見など、日程に関する説明である。決裁もあった。涼しくなったので今

日はクーラーなし。五時から「かわさき」で農政連県民クラブ相手の県政懇。当面大問題となっている「水」対応に話題の焦点が向けられ、あと夕食会。全く雨が降らない西日本地域、貯水率は十六・九%に減少。北九州も今日から一部断水にはいった。給水制限は9市11町にひろがり、全体の五八%、二八五万人。昭五三年の「福岡大渇水」を上まわった。

9月14日(水) 晴

九時から庁職とつづく記者会見。次は九月議会招集の代表表会議。ここで四月の知事選につき、本会議初日に意思表示をする旨披露した。記者会見でもこの点につき特に質問はなかった。一時からサンパレスで第10回交通安全県民大会があり功労者表彰と挨拶。二時四〇分から公明党、四時半から自民党を対象として県政懇を開き、ここでも次期知事選に付所信表明を二十一日本会議初日に行う旨説明了解を求めた。自民はサンヒルズで夕食会がつづいた。入院患者食費負担がやはり問題となった。

9月15日(木) 晴

敬老の日の行事。八女市本町の吉原善吾氏宅に祝辞(総理知事)とお祝品を届けに参上、九時半。十時頃引き返し、十一時二〇分博多発のぞみで京都へ。例の姫高同窓会(於都ホテル)十五人が出席。安田君の世話。死去者十二人とか。六時一二分京都発「のぞみ」で博多へ。随行秘書は小串、往復とも列車内で話ばかり。片道二時間五〇分、京都にいたのは四時間。食事のあとコーヒーで雑談。高馬が糖尿病につき注意せよと進言してくれた。芦田、多久など新顔。出席者はみな元気。二人ばかり病気理由の欠席。向うも水不足。

9月16日(金) 雨

早朝から夜まで、強く又は弱く降りつづいた。三ヵ月近く、こんなに降ったことはなかった。水源地域はどうだったろう。十時半から県森林林業技術センターの開所式に出席した。黒木から林業試験場を久留米に移転、拡張、近代化したもので百年の計が成ったといえる。施設を一巡見学した後、祝宴をはぶいて帰福した。途中で中食、登庁、散髪、三つの日程レク、決裁ののち検診、そして帰宅は六時であった。夜は気になっていた「月報」の原稿に着手した。少しおくれるが日曜日には完成する見込みだ。雷を伴うこの雨が「渇」にかなりの効果があってくれることを祈る。

9月17日(土) 晴時々曇

九時四〇分に出発し、渇水状況視察。筑豊(久保白ダム)、瀬戸内(油木ダム城井川)そして遠賀川河口堰。昨日の雨により、どこともやや回復しているものの、農業その他被害の深さが改めて脳裏に残った。立ち枯れの水田もあった。農業者が血の出るような汗を流し、地下水を求めて川底を掘った跡がありあり。これは遠賀川下流で建設省が努力している跡に

も見られた。いずれにせよ、一息ついたこの雨、あと少しでもつづいて欲しい。五時半帰福。六時から中国漁業代表団の歓迎宴、広州酒家で。漁場侵入問題についても友好関係が先決。水産庁長官も同席。八時半帰宅。中食は推田町蔓松亭。

9月18日（日）晴時々曇

十二時四〇分出発で大手門会館へ。連合福岡と労福協、退職協系の主催でおこなわれたシルバーステージ九回に出席挨拶。労働組合分野にも高齢者問題への対応がおしよせている。今回で三年目という。講演や劇がおこなわれ、組合のOBが観客という形。二時には帰宅できたが、前後すべて夜の八時すぎまで揮毫の宿題に取り組む。忙しく休めないがこうした宿題があれば、暇をもて余すことはなく有難いことだ。佐方のおばあちゃんの入院の話題、章君が面倒をみてくれないので困ると和子さんがいっている。

9月19日（月）晴

行事がたてこんでいた。十時から都市計画審の答申（手嶋教授）、十一時労働者福祉協議会からの要望うけ、このあと勤労青少年福祉推進功労者知事表彰式、中食後、林団長が次期知事選につき要談来室、一時半宝くじについての知事インタビュー録画どり、二時四五分労働組合総連合新幹部の要請うけという順序。記者会見レクや決裁のあと駅筑紫口の都ホテルで社会党竹村書記長と夕食を共にしながら知事選につき要談、池ノ内が候補にあがった。概要合意し、帰宅は八時少し前。

9月20日（火）晴後曇

朝から庁議、記者会見をはじめ、夜九時すぎ帰宅まで、びっしり日程が詰った一日だった。参議院の建設委員会の視察団が来福、陳情、中食、夕食におつき合い、会場はホテル日航。午後二時から大手門会館で故松本英一氏を偲ぶ会があり、私は追悼文をよんだ。思えば私と同年輩の英一氏である。かえって自分のことを思った。三時半に女性政策懇談会8期の委嘱状交付式があった。女性登用の促進が課題。三〇%目標に程遠く、今県は一六%。六時ホテル日航でAPEC投資セミナーのレセプションが重なった。

9月21日（水）曇

九月議会のはじまる今日、提案理由説明の中で今限りで知事をやめるという文を挿入するので若干緊張あり。原文を四回読んで練習をした。本番ではうまくいった。十一時開会、半には散会。あと林団長と次の候補について密談。中食は三役で二時から引退表明につき記者会見、約三〇分。三時半から私学協会要請団と対応。あとレクと決裁を消化し、五時半から和田伴で夕食。秘書室の者若干人が引退表明の区切りの気持一段階の気分交換という思いで一夜無題で語りあったことになる。みゆきも参加、冗談ばかりの時間だった。八時帰宅。

むし暑い一日だった。

9 月 22 日 (木) 曇

十時から多々良川浄化センター通水式 (安全祈願神事と竣工祝賀式典) があった。下水道普及に役立ってくれる。二〇万足らずの市周辺六町地域のためになるが三〇〇億円の事業費という。帰庁、中食、二時半から「グラフふくおか」用の対談 (博多人形師の会理事長三宅隆氏と)、そして決裁、検診。帰宅は六時ごろ。昨日の引退表明につき各界の意見が新聞にのっていたが、中小企業団体中央会々長真鍋庸人氏がひどいことをいっているとして商工部ではさわぎとなり、佐々木部長が私に、釈明に来る事態も生じた。頭にくる意見内容なのだ。

9 月 23 日 (金) 曇

かなり涼しくなったがまだまだ暑い。書の宿題がたくさんあって朝から夕方まで、それにかかりっきり。それも下書きで、大部分は明日にもち越した。碑文が二つ、それが大変なのである。大型だから。夕方六時一〇分に公用車で「やま称」へ。アジア開発銀行佐藤総裁の歓迎の意をもつ夕食会。九七年にアジア総会を福岡で開催すべく誘致運動中で、今日福岡で開かれた都市サミットに講師で招かれた総裁を銀行筋と県市で招待する形をとった。六時半から九時過ぎまでの懇談会となった。

9 月 24 日 (土) 曇・晴

早朝から揮毫。十二時十分出発の予定だったがその直前に諸岡さんの奥さんら二人が訪ねてこられ、私の揮毫のお礼といって備前焼花瓶をいただいた。一時から国際ホールで部落解放研究集会全国集会開会の祝辞を述べ帰宅は二時半。今日は気になっていた藤蔓刈りを行った。二時間程度の作業になる。落ちないように用心することが一番大切。何とか無事作業を終え、余の時間は又揮毫のつづき、一応終ったのは七時半。疲れもあるので早めに就床、九時半。

9 月 25 日 (日) 晴時々曇

休務。朝から揮毫関係仕上げの押印もすませる。きまった予定もないので、短冊大の紙に勝手な筆なぐさみ、又幾歳月に幼き頃の食べ物の思い出を書いてみたりした。忘れがひどいことを改めて知った。村山内閣への支持率が上昇している。ようやく理解されだしたのである。札幌や東京は降っているのに、福岡だけが降らない。干害が県下 30 億円余といわれる。一部の稲、多くは果実、わが家では庭木の一部が立枯れになっている。涼しさが出てきただけ助かったという感じだ。今日も早目に寝よう。

9月26日（月）晴

十時発のANAで上京。昼食をふくおか会館ですませたあと、一時半村山首相、二時半土井衆院議長を訪問。二時五〇分運輸省に鹿児島ルート新幹線博多八代間について陳情、鉄道局長、両次官、運輸大臣の順（大臣は不在）。このあと議員会館（衆1、2、参の順）を歴訪、それぞれ五人ずつ。今日の訪問は全部来期知事選に不出馬の旨、県議会で表明したのでご理解をとる趣旨、土井議長も惜しいといってくれた。衆院では奇妙な縁のあった後藤田氏の場合、三期で結構とはげましてくれた。あと社会党本部へ行き、事務局長（木幡氏）と面接、お世話になった旨伝えた。六時羽田発のANAで帰福、八時すぎ帰宅。

9月27日（火）曇

台風が近づいているが、雨を待つ気持も強い。十二時から新宮県会議長就任祝賀会（オータニ）。帰庁して中食、あとレクがつづく。四時から十月はじめの「朝の放送」録音、三回目に成功。五時から六時まで病院で点滴。血圧が高め、又近頃は眠りが浅く今朝も五時頃には覚め、八時前まで床中でうたたね、そして昼間は眠い。健康状況がよくないのだろう。食欲はいつも十分なのだが、糖尿が問題なのであろう。佐々木商工部長に真鍋発言は許し難いので今後六ヵ月関係予算については決裁しないからそのつもりでいてくれと伝えておいた。新聞が勝手に書いている。

9月28日（水）曇

八時半から答弁案の検討会。代表質問初日、十一時から本会議始まる。入院食六〇〇円自己負担についての県条例の早期議決をしてもらった後質問に入る。午前中は横山久義、午後は勝見保の二人。後者は一時間ほどで終り比較的早目に終わったので、いくつか決裁をすませたあと、福岡市博物館に行き、「古代エジプト文明と女王」展（カイロ博物館のもの）を参観した。五千年前のものから強い感動をうけた一時間であった。エジプトでは女王、女性の地位が安定的に扱われていたことが強調される。多神教、すべての自然が神、人の死は神の世界にいくこと、ミイラのことなど、印象に残った。

9月29日（木）曇・小雨

大型台風26号は紀伊半島に上陸とか。雨なしでとり残された福岡でも、ひるごろには小雨になって夕方までつづいた。やっとの雨である。本会議は代表質問の二日目、古賀次夫氏と北原守氏。三時すぎに終り、決裁ののち直方へ。市民会館で行われている自治労県本部の大会で挨拶したが二〇分も話していた。公用車で帰路、篠栗を通ったので上岡さん宅に一寸挨拶に立寄り、うどん屋で夕食した。随行の松田氏と運転の広末氏と三人。八時半に帰宅した。小雨はやんでいたが、ほんとに久しぶりの雨にめぐまれた一日だった。万物蘇生といえる。頭がかすんで体調はよくないが、外見に出ないように努力した。

9 月 30 日 (金) 晴

本会議は十一時から一般質問の初日。午前中は松尾剛健、榊京子、午後は三船祐規、広田誠一。みんなよい質問だった。本会議前の勉強会の時間が足りなかった程。決裁などあとはゆっくり時間があって雑用に対応できた。五時半検診ののち、中国総領事館へ。六時から共和国成立四五周年祝賀レセプション、そして七時からホテル日航で細谷治通運輸政務次官を励ます会があり出席挨拶。あわただしい日程で、帰宅八時すぎからうちで夕食。やっと一日が終った感じ。三重野栄子さん(参議)が社会党福岡県本部委員長になっていることをはじめて知った。頭が重い。

10 月予記

毎月のことだが、アッという間に十月が過ぎた。雨が欲しいのにほとんど降らぬままに乾期に入ってしまう。九月議会が終ったのは十月十二日。十四日に九大経済学部発足 70 周年記念シンポジウム(グランドホテル)、二十日に三県サミット、二十一日はアジア九州サミット(大分県中心、別府杉乃井ホテルで)その他月末まで東奔西走きわめて多忙な会の多い秋の日々を迎えた。多忙さは十一月にももちこまれ、三十一日に秘書室が私の 74 歳誕生祝いの席を設けてくれた(特会で手料理)。引退表明を九月二十一日した事で少しずつ多忙さが増している。

10 月 1 日 (土) 晴

九時十分に出発し、十時半から田川郡金田町総合会館で開かれた平成筑豊鉄道開業五周年記念式典と祝賀パーティに出席。次は一時から飯塚コスモスコモン大ホールでの「グローバル・トーク福岡」(女性問題啓発会)に出席した。両会場とも大変立派で新しく、又両地域の道路住宅などもよく整備されていることに改めて気付いた。でもまだ裏に「筑豊」問題が残っていることも確かで、産業振興が強く望まれている。三時に帰宅、夕方まで何もしないで身体を休めた。書の宿題にとりかかる。秋晴れがつづきそうで雨の望みは満たされそうにない。裏山の小鳥の声がすがすがしい。

10 月 2 日 (日) 晴

休務。午前中は揮毫課題に取り組んだ。色紙 16 枚と条幅。一段落したので近頃気になっている塵払い少しずつ手をつけることとし、便所、玄関に雑巾がけをした。小さな棚状のところには塵が積っている。次の予定は四畳半の居間だが、今日はこれで終りとし、書を楽しむことにした。夕日が爛々と輝く。しばらくは雨はなさそうだ。秋気は高まって来て快い。週末に一彦が福山に出張のついでに帰福するという。東側の柿の枝を摘む。一仕事だった。

10月3日（月）曇

一般質問の二日目、午前・午後二人ずつ計四人。共産党が例により代表質問のようなスタイル。質問者は瀬川康之氏、来期の知事選は独自候補を出すという。今の県政は中央の悪政に輪をかけ弱者いじめになっていると非難した。例の入院患者の食事代負担転嫁に否定の意見を吐いているわけ。福祉の切り捨てともいっている。一日六〇〇円を入院患者から新たに十月一日から取ることになったからである。共産党は又、重ねて同和行政をついてきた。私はその言い分は理解できる。一般行政に移行せよということだ。

10月4日（火）曇

一般質問三日目、三人。二時半頃に終り一段落した。質問者は執拗ではなかった。議会のあとレクが五件、それと決裁待っていましたといわんばかりに続々。すべて後日の日程についてであるが間を縫って限りなく用件がつづくものだ。午後六時から県警本部の幹部と嵯峨野で懇親会。あわせて一〇人ほど、当方三役。県議会中休みという感じ。北九州で暴力団の発砲事件が話題になっている今日、ねぎらいの言葉を出しておいた。八時半帰宅。

10月5日（水）晴

九時から県立美術館で第37回安井賞展の開会式があり、テープカットの後一巡して鑑賞。このあと特別展である「七つの対話」（現代美術の展望）も鑑賞させてもらった。絵画というものがますますわからなくなってきた。十一時からアビリンピック参加選手二人への激励会。一時半から全国消防操作法大会出場の大島村消防団の出発挨拶をうけ、電気ホールに出かけ県社会福祉大会に出席した。挨拶と表彰状授与。むんむん暑かった。帰庁後頼んでいた湯水問題資料をめぐり各部分の説明をきいた。六時半頃帰宅。みゆきは隣の徳永さん死去の通夜に行く。

10月6日（木）晴

九時半に荻田町長ら役員が港湾整備につき陳情に来た。本港周辺のこと。十時半ニュージーランドの新任駐日大使来訪つづいて毎日新聞社福岡総局長就任挨拶。十一時身障者で著作をした糸永恒夫さんが付添者と共に車椅子で来訪。右手のコブシだけでワープロを打つ能力をフル活用、耳も足もほかに使えない。一ノ宮泰通氏園長の慈久園所属とか。レクと決裁のあと中食し、帰宅。午後は早くから民生部長、小串が共にあがり込んでマージャンを楽しんだ。十一時すぎまで。十時半に一彦が福山出張から帰宅した。

10月7日（金）曇

九時半から済生会病院で腹部エコーと点滴。胆嚢結石の疑いがあったが、今のところ晴れとのこと。帰宅後、一彦と家庭料理スキヤキをたべ、東側の甘柿を摘果した。柿は五キロほど

あった。月報用の原稿に手をそめた。水の問題での随想にするつもりである。六時から和田伴で在日朝鮮人団体の幹部と夕食会、西井龍生氏が仲介同席した。席の目的は県費の朝鮮人学校への助成金を大幅に引揚げてくれということであった。他県にくらべ低額すぎるのが実態。九時すぎ帰宅。

10月8日(土) 晴

早目に出発したが十時から久留米百年公園での交通安全フェアに辛うじてまにあった。連休のためか意外と渋滞する高速道へのアクセスだった。儀式を終えて帰宅したのは、ほぼ十二時だった。一彦もいて共に中食及び夕食。その間のあき時間に月報の原稿下書き及び依頼された色紙十五枚程度を一応仕上げた。気温は十分に秋らしくなってきた。雨がいないのが依然心配。月報の原稿は水問題を下敷にして読者に水の大事さを訴える内容となった。ピラカンサスが美しい赤実をつけているので枝切りし机上を飾った。

10月9日(日) 曇

休務在宅。降るかも知れないといわれていたが降らなかった。一彦は二時ごろ去った。夕食は自宅でといていた。たくさん揮毫の宿題があつて、それにかかりっきり。午後九時に一応は終った。条幅が15枚ほどあつて苦労した。気に入らないのができるから手間がかかる。でも書きためたのを土台にしたので消化するのに役立った。涼しさと暑さが半々、雨がなくても圃場への給水がなくなるので自然流量で何とかなっているようだ。12時間給水体制はつづいている。九州北部だけが渇水なのである。

10月10日(月) 曇・小雨

休務。重い雲がたれこんで降っても当然なのに、霧のような小雨が少し降っておしまい、渴きは続く。明日からの多忙な日程の前になすべき課題、それは揮毫の処理、押印や詮釈、仕分けなど朝から三時頃までかかった。玄羊会書展出品ものも。ひるま殆んど枯葉しか残らない状況のホトトギスの手当をした。くきの上部はまだ生きていて、これから花が咲くところ、赤実がぶら下っているピラカンサスと共に一本室内に持ち込んで生け花とした。月報の原稿も仕上げた。揮毫の注文が今後たくさんある予感がする。消化できるだろうか、体力がもてるかどうか。

10月11日(火) 曇

十時半に出発。十二時から特別会議室で県職労幹部(支部長らを含む)との意見交換会、そして中食懇談会。一時四〇分ライス・ガールの表数を受け、福岡産米宣伝活動をねぎらう。レクと決裁のあと検診(注射)に行き、三時半大手門会館での連合福岡執行委員会で冒頭挨拶。つづいて四時から長浜の「漁村」で行われた「21 県民の会」との夕食懇談会、七時か

ら筑紫口の八仙閣前の「華膳」で行われた社会党県本、県議団、地公労の定期懇親会にも出席、私の引退表明挨拶の場となった。八時帰宅。

10月12日（水）曇

雨待てども降らず只台風北に消ゆというところか。時間が少しずれこみ十一時半から閉会に至る本会議、すべてOK。閉会後の挨拶まわり。一時半からダイエーホークスに元巨人の王さんを次期監督に迎えるという件で中内会長ら知事室に挨拶に来訪。今日一日カメラマンに取り囲まれた王貞治氏であった。宝くじ「幸運の女神」の来訪あり。散髪をする時間がとれた。五時から秘書室職員の「うちあげ会」が特別会議室で行われた。経済学部七〇周年行事のことでパネラーに私が指名されOKしたので事前打合わせに同学部矢田教授来訪。

10月13日（木）晴

雲一つない秋空。だが北九州ゆきの公用車の中は暑すぎた。十一時半から北九州都市高速道路紫川ランプ改良完工式が行われ祝辞を述べ、早々に帰庁し、午後はレクが四件つづいた。日程もゆるやかだったので話をこまかくきいた。決裁もかなりあった。元東京事務所長今中央信組にいる床嶋さんが中国旅行してきたのでということで端溪硯の大きなのをおみやげにもってきてくれた。五時から病院で点滴治療。六時半帰宅。議会の文化議連の作品展には是非私にも出品をとということなので頭を痛めている。1/2半切で揮毫しよう。

10月14日（金）晴

二つの行事。十時から婦人補導員一五人を対象に知事対話。彼女達は地域でいわゆる非行少年の補導に汗を流している非常勤の婦人警察職員である。いろいろの体験談が発表されたが、最後に常勤化が強い要望として出された。十三歳から十六歳までの子供が問題をもつ中心だが、多くは家庭又は親の生活の乱れが背後にもっているし、直接対応では既におそすぎる感じである。決裁のあとグランドホテルに行き、九大経済学部創立七〇周年記念シンポジウムのパネラーの一人として出席。同窓会的雰囲気もあってくつろいだ発言が多かった。辛口批判も少くなかった。六時帰宅。

10月15日（土）晴

八時四〇分に出発。十時から小倉の厚生年金会館で開かれる県同和教育研究大会に出て挨拶。すぐ帰福し博多パークホテルでの社会党首長及び議員団定期大会に出て祝辞、少々長い発言になった。帰宅して一時少し前、中食。このあと午後十時すぎまで揮毫の宿題に取り組む。色紙その他いろいろの関係仕事があって内容豊富。筆墨関係は終わったので明日押印となろう。晴の日がつづき土はカラカラ、水問題の先は暗い。コメ、柿、枝豆、栗など秋の味を届けてもらい、居ながらにして中秋を楽しんだ。松田氏、和代さんから。

10月16日(日)晴

ひるまでは押印など揮毫あとの仕事で過ぎた。十二時半出発、飯塚のコスモスコモンで開かれた県民文化祭(第二回)の開会式典に出席、主催者側来賓として挨拶をした。この行事はまだ住民の間に根づくのに時間を要するようだ。文化祭とは何かということ、住民が日常的に文化活動をしたくなる空気が十分でないと感じる。辛抱強く行政対応をしていくほかはないだろう。式典前のオープニングで筑前琵琶、神楽、炭坑節舞踊などがあっていた。午後は狂言やオーケストラ演奏もあれこれ用意されている。一時ごろ帰宅、あと筆墨のてなぐさみ。

10月17日(月)晴

十時から市民会館で県戦没者遺族大会があり、功労者表彰も行われた。ひる前、植樹ボランティア募金贈呈式があり、緑化推進機構が受領。午後薬事功労者知事表彰を行った。四時にセンターザで第一回鉄道の日記念式典があった。将来に向けて鉄道の果たす役割が見直されるべきだとの趣旨を込めている。元国鉄はもちろん、地下鉄、モノレール、新幹線、民営鉄道も含む交通機関としての鉄道を勇気づけるためである。レクが何件かつづき、五時半検診(注射)のあとホテル日航で中国江蘇省からの人民大会訪問団(団長凌啓鴻氏ほか五人)歓迎宴があった。県議長主催である。九時半帰宅。涼しさ増す。

10月18日(火)晴

定例の庁議・記者会見。近頃は報道界がにくらしく、記者会見もよそよそしく思う。カネもうけ主義を報道の自由で包んでいるから、人間味が消えてしまっている世界と思う。十一時から死亡者叙勲伝達式。午後は二時からグラフふくおか12月号用に天文家坂上努氏と、星をめぐって一時間の対談。私のような泥くさい行政と逆に宇宙にひろがる感動、大人相手よりも子供相手がいいなど、心を洗われるような話をきかせてもらった。週末のいろいろ多忙な行事についてのレクをあれこれきかされ、六時ごろ帰宅。日常用大工さんに来てもらって、障子の開閉など修繕をしてもらっていた。平素の心の詰りが開けた心地である。

10月19日(水)晴

九時一五分出発、十時二〇分津屋崎町役場着。大坪町長あいさつ後、町内視察(シルバーパーク、街並み、上妻邸、漁港、玄海彫刻の岬、石生亭で中食、あんずの里運動公園、新原・奴山古墳群、勝浦地区県営圃場整備事業現場)。あと一時半からカメラホール和室で「知事対話」。これを三時に終り、すぐ水産高校視察に向う。新校舎施設をみた。すばらしい天気だし、青い風の海、海水浴場にきた昔を思い出しながら過ごしたのどかな津屋崎の一日だった。五時半済生会病院で注射検診をすませ、料亭嵯峨野での「アジア開発銀行官房長知事招宴」に出席。六時から九時まで。県側をふくめ五人ずつ計一〇人なごやかな時間だった。

九七年の総会を福岡でとの要望の意があった。

10月20日（木）曇

九時出発。佐賀県玄海町の原子力発電所の見学。次に名護屋城博物館見学に先んじて近くの海月で三県知事会。まずは中食会、茶会、写真撮影、次いで懇話会、そして博物館で記者会見。六時前に唐津に着き懇親会にはいる。三県サミットは今回でもう八回目という。相互の親しみが毎年深まっていくのが実感できる。この仲間で朝鮮海峡をはさんで韓国の釜山市ほか南岸三道と交流をはじめ今年で三年目になることを思うと、この三県サミットもはるばる来たものだと思う。今年の新提案は四全総の点検の進行とからんで「西九州地域軸」の構想ということだ。西九州自動車道の構想はインフラの中心。佐賀空港着工にからんでの問題、姦博への取り組みも問題になった。宿泊は懇親会場と同じ唐津ロイヤルホテル。唐津城が美しくみえる部屋だった。

10月21日（金）曇

朝食後ホテルを出発。多久ICで九州横断道を走り、日田を経て二一〇号国道を豊後中村經由、別府杉乃井ホテルへ。十三時に到着。アジア九州地域交流サミットの行事に参加。まず中食会。小休ののちサミット会議。平松大分県知事が主導するサミットディスカッション。第一、第二セッションと記者会見、写真撮影。夕食かねての歓迎レセプション。九州の知事としては長崎、佐賀、熊本からも参加、沖縄も。福岡、北九両市、九経連川合会長。アジア諸国からはベトナム、インドネシア、フィリピン、マレーシア、大連、武漢両市、全羅南道からも参加発言があった。地域交流肯定の雰囲気は新たに盛り上がったが、第二回をどう開会にもっていくかが重い課題として残った感じだった。

10月22日（土）曇

八時に朝食。出発の準備ののち杉乃井ホテルの人の案内でアクア施設を見学。九時ごろ公用車で帰福の途につく。熊本インターに向け山並みハイウェイを走る。途中、まず別府湾を一望できる別府、次は高原のどまん中の牧ノ戸それぞれサービス・エリアに車を寄せた。高原は既に紅葉のまっさかりで秋を堪能できた。熊本ICを経て広川サービスエリアで中食、二時半すぎに帰宅できた。余暇を感じたので裏庭のクチナンなど伸びすぎた枝切りを行った。ピラカンサが赤い実を一ぱいつけている。柿の実も色づいて来た。鳥がつついている。牧ノ戸では寒さを感じずるほど。土、日を利用してか車で山に遊びに来る人が多かった。ハゼ、カエデの赤紅が印象に残った。二つの会議終ってやれやれだ。

10月23日（日）晴

休み。ぼけっとして一日を終えた。いつものように筆をもっててなぐさみ、時には庭に出て

枝切り。今回の渴でツツジ類が枯れた。夕刻になって意を決し東側の崖っぷちの柿の実を取る。全部は多すぎるので半分は残した。だからあと一回危険を犯すことになる。昨日牧の戸の紅葉が美しいと思ったら今日の新聞の一面にそのような写真がのっていて意外な一致に驚いた。昨日からチョッキを出して重ね着、ふとんもカバーを厚くした。秋が深まっている。真赤なピラカンサが夕日に美しい。

10 月 24 日 (月) 晴

秋冷加わる。十時に出発し、検診(注射)ののち登庁。十一時から納税表彰式。中食が終って林県議が来室、十二月議会に副知事三人制を提案する意見が伝えられた。一時半故大内田画伯娘婿渡辺好庸氏の表敬をうけた。決裁その他をすませ、三時半の JAL で上京。五時半頃羽田に着いて七時から竹芝栈橋からヴァンテアン・クルーズで東京湾内二時間巡行フランス料理を夕食とする家族会に参加、みゆき同行。一彦一家四人、啓二一家三人と直美、それに小串随行の計十一人での楽しい夕べを過ごした。東京事務所井上氏が公用車その他よく面倒をみてくれた。九時半ふくおか会館着。泊り。

10 月 25 日 (火) 曇

八時朝食。十時から建設、大蔵両省に東九州自動車道早期建設について陳情。野坂建設大臣は柔軟に対応してくれた。時間のゆとりがあったので、東條会館で中食したあと靖国神社に行った。目新しいことばかりだった。戦時資料、武器(砲など)もはじめて見た。二時半からホテルグランドパレスで福岡県企業立地セミナー^{ママ}(知事挨拶と飯倉氏の経済情勢講演をきき、五時半からレセプションにも出席。七時半羽田発 JAL で帰福。帰宅は十時近かった。父の五〇回忌法要について九一と連絡をとった。十一月二三日の予定。

10 月 26 日 (水) 晴

福岡市は九月一日から続けていた十二時間断水を八時間断水(夜十一時から朝七時まで)に緩和した。貯水率は二九・一%という。十時半出発、レクが三件。十一月一ぱい大変多忙な日程になっている。一時から「朝の挨拶」録音、二時に今泉今右衛門氏の来訪があった。財政課が今後の財政見透しの困難性につき、分析結果を説明しに来た。来年度は行詰まりそう。行政に惰性が多すぎると思う。今日の決裁内容をみても補助金、助成金が多すぎる。惰性の結果であるものも少ない。革命的变化を要する時を迎えつつある。五時半すぎに帰宅。健康維持こそ至上命令である。夜は筆遊び。

10 月 27 日 (木) 晴

九時半発、レクが二件。十時二〇分から「ゆうあいピック」群馬大会選手団の帰県報告。十一時から北九州市へ進出予定のヤオハンの関連社長らの表敬をうけ、決裁をへて急ぎ北九

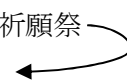
州市へ。一時から国際会議場で開かれる自動車産業フェスタ九四の開会冒頭の挨拶。このあと私の要望で建築都市部長の案内での建材工場の見学。段谷のショールーム、若松工場、そしてTOTOのサンアクアと第三工場（小倉南区）。要するに建材生産の近年の大変革を実地に若干なりとも目に納めた次第。夜六時二〇分から千草ホテルで細谷運輸政務次官ら新北空港着工前夜祝宴関係者とのつき合い、九時近く小倉リーガロイヤルホテルに投宿。実に多忙な一日であった。

10月28日（金）曇

今日は一そう多忙。七時からホテル朝食。八時発、九時半から新北九州空港建設につき、予定地の土砂処分場に渡り、着工安全祈願神事。引きかえしてリーガロイヤルホテルで起工式。一時半から同ホテルで祝賀会に出席。これは途中で引きあげ、福岡へ。中食。四時から日本文化デザイン会議開会式（於サンパレス）。その前に急患として歯学部補綴寺田先生に上前義歯故障を直してもらい、済生会病院で注射。夕食をホテル日航で特注（公用車三人分）、のちホテル海の中道へ。デザイン会議参加者を招いたウェルカムパーティへの出席である。参加者は船で博多湾を夜景をたのしみながらやってきた。福岡への強い印象を受けたに違いない。この会は黒川紀章氏が代表、福岡の青年会議所の諸が準備に骨折ってくれた。九時半帰宅。

【欄外記入】 8:00 ホテル→新門司港 voages 号にて空港予定地 安全祈願祭

13:00 ホテル← 9:30~11:30



10月29日（土）曇時に雨

十時半に出発。ホテル日航で開かれる「新党さきがけ九州対話の集い」に出席の党首、現大蔵大臣武村氏に知事としての挨拶をするチャンスを得て十一時二〇分前数分会見、県二区選出の三原代議士もついてくれた。ホテルで中食後一時 DADA ビルでの九大女子卒業生の会（松の実会）総会に出て挨拶、しばらくいて退出。糸島の千如寺大悲王院に行く。前原駅で案内の諸岡氏を公用車で拾う。みゆき同行。十一面千手観音その他清々した風光、宝物をみることができ、秋のよさを同時に満喫できた。帰途「此の里」で夕食会、小串、広末両氏入れて五人。七時ごろ帰宅できた。

10月30日（日）晴

休務。少々風あり秋の快晴、雨が欲しいのに。宿題なしの筆墨の一日。でもチャンス到来と思ってコタツの居間の清掃を思い立った。置物が塵をかぶっているので気がかりだった。二時間以上かかったろう。便所もと思って手を延ばした。平素小窓を開けばなしにしているので空気中の塵が飛来しやすい場所なのである。まだ清掃すべき部屋が残っているが次の機会にしよう。半紙を半分に折って四文字になる中国古典からの文言を何十枚か書いた。禮

尚往来というのが以前から強烈に印象として残っている。

10 月 31 日 (月) 晴

十時十分に出発して中央区役所で六日に行われる市長選不在者投票を行った。十一時から合同庁舎で筑後川右岸流域下水道促進協議会の設立総会に出て挨拶。このあと農業委員に対する農相表彰の伝達式、午後からは日程に関するレクがつづいた。最後が記者会見レク。五時半から特別会議室を使つての秘書室レベルの私の誕生 (明日) 祝賀会をしてもらった。手料理で愉快的な二時間だった。みゆきも参加。みんなの祝意が誠に有難く思えた。満 74 歳になるので喜びとはとてもいえないが、職員たちの気持が嬉しかった。花束をもらい、ケーキも切らせてもらった。八時に帰宅。

11 月予記

知事候補が今月中に決まらねばならないといわれるが、10 会派で作っている協議会が事実上選挙抜きで先に決めてしまう段取りになりそうだ。こういう前相談は県民を愚弄するものだと声が出る一方、投票率が当然落ちる。10 会派とも自己主張を放棄している。これが今日の政治状況である。流動して先が読めないということもあろう。ソ連崩壊以降敵を失ったアメリカが、「アメリカの時代」における自己を見失い、地球のあちこちでうろろしている状況が日本の今の政治に縮図となってあらわれているようにも見える。私は満 74 歳、われながら老いたなと思う。

11 月 1 日 (火) 晴

九時から定例庁議と国博設置促進会議、記者会見、検診 (注射) を経て、ももちパレスでの県職労 69 回定期大会に出席挨拶。帰庁して中食弁当。午後は二時から一時間商工会婦人部連合会役員との懇談会。三時半県農業会議から建議の会。ウルグアイラウンド合意後の農業政策六兆円予算にもふれ、県の対応を約した。あと北九州にとんで、リーガロイヤルホテルで明日の「母と子の防火全国大会」関係主賓歓迎レセプションに出席。日本防火協会理事長徳田正明氏、消防庁長官紀内隆宏氏、県消防協会々長井上雅美氏ら出席者 15 人。七時には同ホテルわが部屋に入り、泊り。

11 月 2 日 (水) 晴

小倉リーガロイヤルホテル九時すぎに出発、市立総合体育館へ。「母と子の防火全国大会」に出席、会場満席の盛況。表彰式と防火まつりを終え、帰庁して中食。二時すぎ職員課から「現業スト」計画・交渉について報告をうけ、三時に空港へ。JAL 一五・三五分発で上京。六時半からの農林水産省県人会総会がふくおか会館であり、これに知事挨拶。一〇〇人余りが出席していた。旧知の農政部長にもあうことができた。福びきなど予定の進行を見届け、

終り方、退席して近くの雀荘に行き、夜ふけまで遊んだ。会館泊。

11月3日（木）晴

昨夜はおそくなったが、会館での朝食は八時、予定どおり九・四五ANAで帰福した。東京霧雨福岡晴、夜は寒さ加わる。十二時すぎ帰宅後、手紙書きに没入、13通書いた。あれこれたまっていたわけである。これを一掃できた。私の誕生祝の品があちこちから来ていたので、これにも礼状を書いた。花やケーキが主体、祝電も。夜九一からの電話で、18人分の引出物を八女茶にしたいので頼むということだった。一彦も刀出に呼ぶことになった。今後八女茶の準備をせねばならぬ。今年は金木犀が三度も咲き、今玄関前はその花ざかりである。雨が欲しい。中沢貞治先生からの手紙にもそれが……。

11月4日（金）晴

朝さらに二通の手紙を書き、九時半発。十時から小笹平和の警察学校で合同慰霊祭があり、弔辞、献花。日当りが有難い冷い晴天だった。十一時四〇分共同募金につき内閣総理大臣から朝銀へおくれた褒状伝達式。午後はレクつづき、決裁、そして検診（注射）。そして四時半から山ノ上ホテルで開かれた町村長との協議・懇親会に出席。両副知事、各部長、次長ら県幹部も出席。平素あまり面談しない首長たちがそれぞれ思いを述べ合い楽しんだ。ダムのこと、産廃処理場のことなど話題は無限だった。朝の慰霊祭の対象である殉職警官数は一三五人とか、遺族も列席だった。

【欄外記入】 表彰 文字まどいあり

11月5日（土）晴

十一時半から東京第一ホテル福岡内の車屋で「問研」の存廃問題を話し合うために一〇人ほど集り、かねて中食会とした。「月報」はとりあえず来年三月号まで発行と決めた。改めてそこで話合うこととする。三時すぎグランド・ホテルで第二八回九州寮歌祭はじまる。私が祝辞を述べた。五時半頃警固の「くいだおれ」で姫高同窓会となる。これら一切並河氏の世話。八時すぎ帰宅となる。土井、山村、牧坂ら、寮歌祭に参加の那須さんは不参。みんな老人になってしまい、あと数回もてるか否か。若い水野、並河も六〇歳をこえたという。もう時代がうつり変わったのも確か、動けないので不参加との返事をくれた人もかなりあった。感慨一入だ。

11月6日（日）晴

十時に博多埠頭へ。24回県青年の船の出船式、はじめての埠頭ビルだ。三一〇人の団員は香港へ、そして二班に分れて深圳・広州及びタイ国バンコクへ。十日の旅である。式を終えてNHKの食堂に戻り中食、青少年課の葉玉氏も一緒。食後大濠公園美術館横の広場で一時

半から「青少年のつどい大会」表彰状授与式に出席。すみ切った青空、輝く太陽むしろ暖かすぎて暑い程。二時半帰宅。秘書室職員 6 人が来宅。予定どおり東側の柿の実取りのわいわい楽しみ、ゆっくり食べて、夫々みやげに取った実を持って四時半退散。私はそのあと揮毫の宿題に取り組む。

11 月 7 日 (月) 晴・曇

十一時半から三役会。積っている問題あれこれ小討議。十二月議会が近まっているので、その対応もあった。中食を共にしながら俎上された。一時半からリーセント・ホテルで都市高速福岡部会があった(部会は初回)。三時から郡市婦人会連絡協議会(秋田幸子会長)からペルー小学校建設援助募金の贈呈があり、感謝状を授与した。このあと明日の九州地方知事会についての県の対応につきレク(企画調整課)、九州国際空港建設構想に関することがメインだった。行橋に車をとばし、「コスメイト行橋」で「よこみぞ千賀子にんじんフォーラム」開会の場で挨拶。終わってすぐ帰宅したが夜八時になった。

11 月 8 日 (火) 晴

十一時の JAS で鹿児島へ。迎いの車で霧島ロイヤルホテル十二時半着、中食。二時から九経連と知事会との意見交換会、次いで鶴岡農水省事務次官による農水行政方向についての講義があり五時半終了。六時半から鹿児島知事による招宴となる。約二時間。泊りはホテルの東館一七〇八号ツインの和室もついた上等部屋。宮崎県境に近く高千穂が見え、すばらしい環境。夜は風が強かった。紅葉のまっさかりで申分ない晩秋の雰囲気味わえた。空気がおいしい事も実感できた。こんな大きなホテルで経営は大丈夫かなと思う。高級な生活を部分的にでも楽しもうという人が多い時代だ。

【欄外記入】誤って 18 日の欄に今日のこと少しふれている

【11 月 18 日の欄に記入された内容】十一時五分発の JAS で鹿児島着四五分、目的地霧島ロイヤルホテルに着いたのは十二時半(鹿児島県の車が出迎え)。ホテルで中食。二時から九経連、九州知事会の意見交換会、つづいて農水省鶴岡次官の講演。

11 月 9 日 (水) 晴

八時から朝食。九時から知事会の事前協議、九時四五分から第一〇四回九州地方知事会議。いつもの通りで順調に進んだ。福岡県からは九州国立博物館関連誘致対策が重点。中食をすませ、一時四五分鹿児島空港発の ANK で帰福。折角の美しい霧島も一寸眺めただけに終わった。帰庁すれば決裁やレクが待っていた。三時に散髪時間が組み込んであった。五時半からニューオータニで九電新役員の披露パーティ、三〇分もないで退出。六時から検診。六時半から九時近くまで嵯峨野で連合福岡の役員との夕食懇談会。石口、橋口、ミブなど執行部、当方は両副知事、秘書室長、労働部長、課長ら。なごやかだった。

11月10日（木）晴

十時半から大手門会館で母子寡婦福祉連合会45周年記念大会が開かれ冒頭挨拶ののち登庁した。十一時十五分から秋の叙勲伝達式が特別応接室で行われた。前浮羽町長鎌水さん、衛生部門の上岡さん二人が旧知の人として受勲者の中におられた。午後は一時半から十二月補正予算の知事説明（部長査定）があり、これが五時から山ノ上ホテルでの与党懇につながった。夕食も共にしたので帰宅は八時になった。社会党の県議はすべて次の統一地方選挙、更には予想される小選挙区制初の総選挙の厳しさについて語っていた。

11月11日（金）晴

十時半から共同通信インタビュー（九州国際空港候補地一本化ならずについて）、次いで秋の褒章伝達式（藍綬）。二時一五分から山の上ホテルで高教組教研集会での少し長い挨拶、検診（注射）を経て帰庁。四時にヤオハンの和田一夫会長来訪あり、北九州市に建設予定の国際流通センターに関する挨拶があった。香港、上海など中国、東南アジアで広汎な流通産業を展開しているヤオハンが小倉駅北にも進出するので、これを機に北九州市もスマート化するに違いない。ところで高教組教研集会全体会には衣笠氏福留氏も来ていて、私は久しぶりに30分間大風呂敷をひろげ、五五体制後の転換論をぶったことになったのだった。

11月12日（土）晴

朝から北九州市にとんだ。市の総合体育館で第七回スポーツ・レクリエーション祭の開会行事に参加するためだ。寛仁親王妃信子殿下を迎えての行事。まず小倉リーガロイヤルでの中食会。終りは国所での全国レベルでの参会者たちの歓迎会。体育館での開会式につづく出し物は市民参加型というだけあって立派・華麗。周到的準備努力の仕上げが感じられた。関係者の準備演出努力に敬意を表したい。新幹線を使って帰福。広州酒家での岸本雷峰先生米寿祝賀玄羊会に一時間おくれで参加。九時半に帰宅したら和代が知人を連れて来宅しており、夜十二時まで雑談した。

11月13日（日）晴

和代らは午後大相撲九州場所に行く予定だが私は一足先に出発して高官別館でのダイエー新監督王貞治氏を相手に「知事と語る」広報室行事を消化することになった。いろいろ味のある抱負を語ってもらった。子供野球やアジア野球戦のことは含蓄ある内容といってよい。単にプロ野球の記録樹立とは思えないことだった。十二時半頃から二時間ほど新柳町の若鶴で過ごした。中食を兼ねて「協会」の幹部十人ばかりと懇談することになった。北海道の鳴海、大阪の松本も。当地では大坪、衣笠、石田そして随行の松田。「協会」の行方には誰しも迷いがあり確言きこえず。

11 月 14 日 (月) 小雨・曇

九時から「十二月補正」の知事査定。十一時半ユニセフ、キャラバン隊代表の訪問があった。知事査定のおつぎは午後の日程にも入ったが、先ずは全部終了。私学助成費の算定が一つの山であった。三時すぎ明日の記者会見レク、九州国際空港構想が焦点の一つのようだ。職員長が来訪、職組との給与問題交渉が決着したという。「実損恢復」が依然問題、とくに教育系の組合のこと。決裁ののち検診(点滴)して帰宅、六時半。あと夕食して「月報」の原稿を仕上げねばならぬので、夜の大仕事となった。

11 月 15 日 (火) 曇

庁議・記者会見のあと上京陳情についてのレクなどがあり、中食後姫高の並河氏来て寮歌祭同窓会の写真をもって来てくれ、又色紙も依頼された。決裁ののち直方へ。いこいの村で催されていた青年指導農業士研修交流会で「知事講話」の時間を消化し、急ぎ北九州へ。厚生年金会館で六時から日赤紺綬会の 35 回総会が明日開かれるので、その晚餐会。寛仁親王妃信子殿下に又お会いすることになった。今日は若干時間のゆとりができたので夜小串、竹内局長、柳川の元市長と同席。夜中までマージャンを楽しんだ。予想外に高温の日だ。

11 月 16 日 (水) 曇一時小雨

朝食、中食とも信子妃殿下と同席。十時半から十二時ごろまで日赤紺綬会総会。福岡県の紺綬会は県単位で全国はじめてで今年は創立 35 周年であり、表彰状、感謝状など受賞者が多かった。終って帰福。二時半済生会病院に行き検診のち登庁。レクや決裁、日程打合わせがあり、久留米にとぼして五時半萃香園ホテルへ。福岡・佐賀の両県々際交流のレセプションに出て挨拶、午後は鳥栖市でパネル討論会とした流れである。すぐ引返し、七時三五分板付発 ANA で上京。十時少し前にふくおか会館着、泊り。

11 月 17 日 (木) 曇

七時半ふくおか会館出発。八時から朝食をかねて来年度政府予算案への県要望につき、県選出国會議員への説明会、九時十分まで。全会派一括で行ったのは初めて、政治情勢がそれを可能にした。但し議員の中からは説明簡略、時間節約の声が相かわらずだった。あと九時二〇分から政府要望まわり。私の陳情対象は自治、文部(文化)が午前中、東条会館で中食後、一時二〇分から五時まで運輸、建設、国土の順での各省庁関係部長ほか職員がたくさんで応援してくれ、七〇人ばかりの各省庁官僚に面接することができた。(国会中で要望書をお願いするだけの者も半分以上はあったろう) 終ってすぐ羽田へ。六時発の ANA で帰宅は八時半すぎ。今日は朝から歩いた歩いた、くたくたに疲れた。一時に自治省の次官、官房長に面談した。次の知事選にからむこと、まだ表には出せないこと。

11月18日（金）曇一時雨

八時二〇分出發、十時からの大和高田漁協での有明のり第一回札落会視察。帰庁して中食。直ちに出て市民会館での県民暴追大会に出席、表彰式など。帰庁してレクと決裁ののち、山村氏招待の時間。まずKBCビルで夕食会となり、七時からシネマ北天神でフランス映画の試写会をみる。二時間余、一九世紀末期北フランスの石炭労働者のストライキをえがくジェルミナル。高度力作で世界的人気作である。

11月19日（土）曇

休務。朝から晩まで書斎にこもって色紙書きに没頭す。合計三八枚。団体に対するもの、加えて秋のシーズンは結婚祝賀が多い。それでもなお条幅の課題がかなり果し得ずに残った。来週は刀出にも行かねばならず、明日は午前中遠出して千秋楽。ロシアから来る清田氏を迎えるので、揮毫課題の消化は不可能だろう。すごく多忙な十月、十一月になった。先日の小雨で水の心配は若干軽減した。自分自身の疲れを少しでも取り戻すのが自己課題であるが、当面は無理なのである。

11月20日（日）曇

九時に出發して柳川へ。古文書館を見学して、料亭で中食をとる。十三時から市民会館ホールでの青少年環境フォーラムに出席して祝辞を述べる。その前にフォーラム出席のパネラーに出る中学三年の子供たちに私から一人一人署名して贈呈した。県青少年対策課が終始面倒をみてくれた。早目に帰福し、書店をあさり、中公新書「ロシア国籍日本人の記録」（川添史郎）を手に入れ、国際センター大相撲千秋楽の席に出る。予定どおり、ロシアからの清田、大阪からの高田の両氏が来ていた。県優勝杯を「貴乃花」に授贈したあと「弥生」で夕食して別れた。県からは橋本、松田、小串。終って九時だった。

11月21日（月）曇

十二時からホテル日航で中小企業団体それぞれの代表と知事との懇談会が二時まで行われた。会に先立ち、先日末ツノつき合わせになっていた中央会の真鍋庸人氏と対面。事を水に流すことを誓った。西日本新聞が勝手な記事をデッチあげたといっていた。山ノ上ホテルで勤労者知事表彰が二時半から。帰庁して四時から県政懇トップは共産党だった。五時半から検診久しぶりの点滴、かなり疲れているらしいと看護婦長の指摘があったが、納得できる。七時帰宅、独り夕食。明日から龍野・刀出ゆきの準備に忙殺された。寒さつもの。

11月22日（火）晴

九時半に県立美術館でヨーロッパ工芸新世紀展開会式があり、テープカットのあと場内一巡。十一時からアクロス福岡定礎式あと工事事務所で弁当をたべ、一時発の新幹線岡山のり

かえで姫路へ。姫新線で本龍野下車（広田・小山同行）予定の赤とんぼ荘に着いたら他の者も予定者が来ていて小さなクラス会となった。六時から八時すぎまで。足立、関口、平木、それに随行の小串氏を加え計七人、いいたい放題おしゃべりして時間がたった。何十年ぶりに会ったというのもある。昭和十五年龍中卒だ。成績優秀な者ばかり。七十二歳が中心。とんぼ荘の風呂は大浴場。大いに楽しませてもらった。大風景の中。

11 月 23 日（水）晴

八時朝食のあと、近くの童謡の丘を散歩した。紅葉が美しい。そうだ、日の出もよかった。網干の元治が東京の毅を乗せて迎えに来てくれ、九時にとんぼ荘を出発。一たん小串氏を姫路駅に送ったのち、刀出へ。父繁之助の五〇年忌法事が十時からの読経で始まり、終って十二時には墓参り。十二時半から夢前川ロープウェイの上ノ山ホテルで中食会。私の方から事前に八女茶 18 人分の引出物の準備をし配布した。みゆき一彦は姫路駅で合流参加、のち、佐方の母（92 才）の入院見舞に行った。私は二時四〇分小串氏と駅で落合い新幹線で博多へ。五時半に帰宅（みゆき八時半）。事しげき二日の旅であった。

11 月 24 日（木）晴

ぬけるような秋晴がつづくのはいいが、水源の枯渇がだんだん心配。十時半から岩田屋コンコースで県産米「夢つくし」の街頭キャンペーン。十時半からと四時半からの二つの県政懇（社会党は中食会、公明党は魚新での夕食会）、あとはレクが七回あり、決裁と検診である。多忙きわまりない。夜、七時からニューオータニで全国きものの女王コンテスト前夜祭に出て挨拶。私はきものの魅力は洋風のスーツの合理性に対し、和風の情緒と無駄が加わっていることだと杯をもつ時間に周りの人に説いた。柄、模様、袖など、博多織はそれに合う。

11 月 25 日（金）小雨後曇

変則の庁議、記者会見。庁議のあと行政改革推進本部会議（第一回）があり、一年ほどかけて行革大綱を決めることになった。十一時半から代表者会議、一時から 12 月「朝の挨拶」録音、あと、決裁あれこれ。二時半から農政連との県政懇。四時から同じく自民党との県政懇、これは夕食会を伴い西鉄ソラリアで行われた。来年の選挙のこともあってか、県議それぞれにそわそわの状況。今日の新聞で次期知事選候補に麻生氏が 10 派連合に推挙されると報じられたことと関連して重富氏を推す動きのあった農政連の県議団の間に大きな波紋が生じている模様。小選挙区制の導入と絡んで、みんなそわそわだ。

11 月 26 日（土）晴

休務。朝から夜の九時半まで休むことなく揮毫の仕事をつづけた。色紙 43 枚、条幅 11 枚。ひまがかかった。書くだけで明日押印することとする。予め二日かかる分量とは思っていた

ので気分には違いはなかった。運動もせねばならぬのに、没頭していてもおろそかになる。浮羽町長から引退した遣水さんから送ってきてくれた柿が干して、もう食べられるようになった。柿やらミカンやら秋の味覚を十分に楽しませてもらえる。米余りのニュース、雨が足りないので心配。

11月27日（日）晴

陽は弱くうら寒い。辛うじて生き抜こうとしている自然が感じられる。小鳥がピラカンサの実をついばみに降りて来る。甘夏柑も少いながら黄の色を増して来た。二日目の休みは昨日の揮毫の押印にあてた。かんたんと思ったが結構時間がかかった。条幅ものの簡単な解説がき、筆洗など手間がかかる。部屋の塵払いをしないと備品類が白くごみをかぶっているがよくわかる。平素全く掃除をしないから当たり前だろう。年末には何とかせねばと思っている。部屋にしている物が多すぎて手が届かないのも事実。捨てる気にならないので困る。

11月28日（月）曇

八時半発。レクがつづき九時半南京師範大学学長の表敬（田川県立大学との友好締結校）。十時から二班に分けての永年勤続（25年30年、特別など含む）表彰式。午後もレクのあと二時から合同庁舎で知事対話（十月の女性の翼参加者対象）、あと帰庁し明日の記者会見レク。五時半から病院で点滴。六時半帰宅。夕食後、一枚の書きそこねの条幅の仕上げに取り組む。まちはもう師走の感じ、忘年会がはじまってにぎわうという。天気は降りそうで降らずじまい。曾左小学校の100年記念誌が届く。

11月29日（火）晴

九時すぎ出発。十時から定例記者会見、十一時半から決算特別委員会における知事保留質問に対応、太宰府病院改築に関する問題。四時半から新幹線長崎ルート建設につき長崎県議会議員の表敬挨拶があった。武雄・新大村間の開発についての了解を求める点もふくまれていた。決裁のあと五時三五分発で上京。明日は一日かけて新幹線鹿児島ルート建設促進についての陳情など盛りだくさんの日程が組まれている。県立太宰府病院は五〇床減で現地改築の方向で検討している。県立遠賀病院が五〇床増になる（老人系）。急ぐなどの質問保留だ。

11月30日（水）晴

八時から赤坂プリンスホテルで鹿児島・熊本・福岡の三県合同で知事、県会議長、市長、九経連などメンバー、来賓として三県選出国會議員らで新幹線鹿児島ルートにつき建設促進総決起大会を行い、このあと、運輸省、自治省、大蔵省、自民党、国会特別委など陳情にまわった。県としては九経連川合会長と共に国博につき自民森幹事長に陳情。又湯水に関連してダムの建設促進を長崎、佐賀両県と共に建設、大蔵両省に陳情した。陳情で霞ヶ関をかけ

まわった一日といえる。羽田発六時で帰福、帰宅は八時半。こうして十一月は暮れた。残りは十二月議会と年末年始への対応だ。

12 月予記

期待していたのに、又もや降らぬまま年末になった。給水制限解除の年末年始としたものの、次の制限が思いやられる。県議会は順当に終えたし、政府予算陳情の成果もまずまずの結果だった。九日に佐方の母が「急性腎不全」で逝去。通夜も葬儀も偶然に日程に都合よく公務日程の変更を求めなくてすんだ。92 年半の人生。大きな波もなく幸せだったと思う。われわれ三人の孫も東京から葬儀に来てくれてよかった。私の引退も、いよいよ公認のものとなり、ごくろうさんといってくれる人がふえてきた。次の候補もおよそ固まってきたようだ。

12 月 1 日 (木) 晴

依然晴れつづきで水危機感強まる。十時半出発。十一時から三役会中食会。午後二時から監査委員会代表との懇談会。このあと新福岡空港建設につき三役と事務局との連絡会。第七次整備計画に盛り込んでもらうのは困難との情勢判断に立った上で今後県の決定にどう対応するかの話し合い。新北空港、佐賀空港、関西空港の成り行きが大きく影響してくるので検討はつづけるが、しばらく見守るしかないだろう。あと一年以内に一応の見とおしを立てねばならない。三時半に豊前市合鴨農法研究会の人達がカモ肉と合鴨米をもって来訪され激励しておいた。三池争議取材 (毎日)、決裁。六時前に帰宅した。

12 月 2 日 (金) 曇

十一時から県議会。提案理由説明のあと、全国議長会からの表彰伝達式があり、知事からも祝賀品を贈った。永年議員の受取者代表は松岡功県議だった。二時から NHK の取材。これは戦後五〇年につき NHK スペシャルに組込まれる。取材内容は「三池大争議」。午後四時から宗像市長来訪、シンクロトン研究所誘致計画について。伊豆県議も同行。決裁のあと検診 (点滴) をすませて六時半帰宅。数日前から不眠症で疲れきっていたのだが、今日は幾分可で、議会行事など乗り切ることができた。寒さが加わってきた。順当だろう。新聞報道では年初から十一月末まで福岡で五六% 平年比の降水量でしかなかったという。

12 月 3 日 (土) 曇・晴

午前中は身辺整理、手紙かきで果てた。中でも姫路市長選候補を目ざしている元県警本部長だった堀川氏に若干の名簿を作って手紙としたが、その作成に時間がかかった。午後は二時からグランドホテルで第 28 回 (朝日) 国際マラソン選手権大会開会式、夜は六時から「老松」で新聞社側の主賓招宴があり八時半までつき合った。十五人余りの会席。途中時間があ

って松田（秘書）の世話で黒田荘で連合福岡の山本と県庁の森山を加え、当面の知事候補選考について連合及び社会党側の苦悶の決定＝通産省出の麻生氏＝に関し話し合った。

12月4日（日）曇

休務。朝から揮毫。色紙12枚、条幅の下書き4枚を書いたところ、是松氏が来てマージャン遊びとなった。城戸さんと呼んで夜おそくまで。条幅はとうとう仕上げに至らぬまま。その上、是松氏から若干揮毫の依頼もうけた。知り合いの人が市会議員に出馬するので「祈必勝」と書くことになる。先日は姫路市長に出馬する警察本部長だった堀川和洋氏のためにより細かい紹介状を出したのだが、今はもう次の統一地方選に向けて新しい動きが始まっている。連合福岡が麻生氏を決める日だ。

12月5日（月）曇

九時半発。レクが終ってサンヒルズホテルへ。厚生関係功労表彰。午後はレクのあと吉富町の人が今年度の献穀報告に来訪。米と粟、桐箱に入れて。今年の干天で大変だったろう。二時から有明海関連市町長らの要望うけ三時から一時間、「エコノミスト」紙の取材をうける。決裁のあと、五時半からサンヒルズホテルで県警本部長らと会食。あとマージャンで少し遊んで帰った。冷え込んできた。献穀報告には大いにねぎらいの言葉を発したが、例によって箱書きも頼まれた。宿命だろう、素直に受けておく。これは一寸緊張した作業だ。

12月6日（火）晴後曇

衣笠氏の退官記念出版への原稿にとりかかったが、材料不足で中止。十一時半ホテル日航での読売新聞一二〇年祝賀パーティに出席。ジャイアンツ創立六〇周年の祝賀もかねていた。中退して帰庁し中食をとる。二時鉦害被害者組合長表彰、つづいて税務職員報奨金授与式、さらに東福岡ラグビー、サッカー両部の全国大会出場報告激励の会があり、四時から三役会、決裁。退庁して検診（注射）、岩田屋画廊での前崎南嶂書作展に四〇分ほど。七時から三光園で報道責任者と県幹部との例年どおりの懇談夕食会。九時半帰宅。

12月7日（水）曇

降りそうで降らぬ一日。管内視察にあてた一日。十時十五分出発、篠栗の鳴淵ダム建設工事現場。あと赤池町にとび、翠山荘（元明治赤池鉦クラブ）で中食をとり、上野焼窯元を四つ見せてもらった。熊谷、渡、高鶴、湖山の各窯元。製品陳列、そして窯現場も一カ所。後日知事対談の予定がある上野焼である。これまで何とはなくみてきたが近頃その特徴は何処なのか意識しはじめている私である。でもやはりひとにわかり易く説明する力はそなわっていない。湖山さんの所で私の書いた条幅がランマに扁額にしてあるのを改めてみせてもらった。夫々「わが道をゆく」気持で頑張っていた。六時帰宅。

12 月 8 日 (木) 曇後雨

真珠湾攻撃の日。八時半から議会答弁レク。十一時から代表質問初日、横田 (自)、横溝 (社) の二人。三時には終了。退職手当条例で代表者会議と新提追加もあった。終ってレクが続々、休む時間もない。最後に決裁がずらり。五時半から検診 (点滴)、七時に帰宅した。ともかく時間がない。中西忍氏から陶芸大学のことで電話あり、井元知事が消極的らしい。年末の啓二直美との回遊の件、年始の皇居ゆきの件で啓二から電話。又佐方の母が入院病状悪化の由、みゆきは明朝佐方に行くことになる。多忙限りない年末だ。

12 月 9 日 (金) 曇

昨夜かなり雨が降った。一息つける。八時に出発し、答弁勉強会。十一時すぎから代表質問、井手 (農) と藤崎 (公) の二人。三時十五分前に終了、一山越したことになる。あと県営住宅管理審議会の答申 (家賃不払訴訟) について OK が出た。斎藤武幸氏来訪。五時半から食堂キングで国際化推進議員連盟主催の国際交流のつどい懇親会に出席。執行部側、在福岡外国公館の代表、NGO 関係の人達も多数列席があった。六時半から新三浦で秘書室の若手ら計八人で夕食雑談会。九時半に帰宅。揮毫宿題が多いのに明日は相生ゆき。10 時、九時二五分に母死亡の電話あり。

12 月 10 日 (土) 曇

途中うどん屋で中食をすませ、久山町に高鶴元氏を訪ねる。上野焼の窯元であり、かつ芸能性の高いオブジェ風の焼物に精を出している人だが、グラフふくおか用の取材が対話の目的で、広報の職員、室長も出席する楽しい焼物見学ができた。母の葬儀、通夜のため、三時半、新幹線で相生、佐方へ向う。通夜には打越、西脇、刀出などたくさん来てくれ、十時半には予約の相生荘に泊りに行った。すごく冷え込む夜となった。小串氏が随行。

【奥田ハルヲの訃報 (『朝日新聞』1994 年 12 月 10 日夕刊) の切り抜き貼付】

12 月 11 日 (日) 小雨

八時半相生荘発、再び佐方へ。通夜・本葬は慈眼寺本堂その他の部屋も使用させてもらって助かった。十一時からの読経・焼香の時には県庁関係者もたくさん来てくれた。副知事、議長その他たくさん花輪を立ててくれ、弔電も香料も県関係者からどっと寄せていただいた。三〇〇通余りの弔電、会葬者も本堂の外にあふれた。法名は釈尼春信とつけられていた。一彦、啓二、直美も東京からかけつけてくれた。明日のこともあるので少し早目だが、葬儀関係のつき合いもおよそ終り、四時半の列車で博多へ。七時着。灰葬にも参加できてよかった。夜自宅に着いて後、揮毫の宿題を消化し、十二時に就寝。

12月12日（月）小雨後曇

朝食をかんとんにすませ、八時出発。八時半から答弁勉強会、十一時から一般質問第一日、橋詰、吉安、重野、酒匂、高の五人。共産党の高氏は党の代表ということで重々しい質問だった。だが、みんなあっさりしていて三時十五分前には議了となる。議会の始まる前とあとに相生の母の葬儀への対応の各党にお礼のあいさつ。議長も副議長も議会のあと。桑原市長の来訪をうけ、年末年始の生活用水確保の要請をうけ、その趣旨を伝えるため、五時半少し前に九地建に行き、明日の対策調整連絡会で筑後川の水をよろしくと要請に参上した。幸い小雨が降り、流量はふえている模様。夜は会葬御礼の手紙原稿かき。

12月13日（火）曇後晴

八時出発。議会答弁勉強会のあと、十一時から一般質問の二日目、井本、野下、後藤、藤田（一枝）、三船の五人。三時前には終了した。決裁のあと、家島建設関係者の面会申入れに応じた。刀出のタナベの娘婿の関係での紹介であった。四時半から点滴検診、小川院長、永田常務に母の葬儀への花束についての礼を伝えた。帰宅したら佐方からみゆきが帰宅していた。葬儀のあとのいろいろ雑務がたまっており、夜は礼状原文を書き直した。県関係者の香典など、たくさんあって、これをまとめ、礼を返すのに、今後一苦労させられる。新聞報道で広く県関係者が葬儀を知ったのだ。

12月14日（水）曇、小雨

八時半から岩田屋コンコースで福岡市長も加わっての節水キャンペーンを一五分。九時から答弁原案検討会、十一時すぎから議会一般質問、今日も五人で二時すぎには終了。佐方の葬儀に関する御礼まわりは議会及び市内の七件であった。信用保証協会、JR九州、シティ銀行、九電、京都通信機、第一生命ビル管理会社など、まだたくさん残っているが取り敢えず、というところを三時半から五時まで廻った。五時すぎ帰宅。昨夜はなぜか眠れなかったが、近頃そういうことが多い。疲れているせいだろうと思う。衣笠氏の退官記念文集への原稿がなかなかはかどらないので気がもめる。今日はその時間がとれた。

12月15日（木）曇

十時すぎ、田中久也、山北茂喜の二県議が地域の有力代表数人を伴って、西区に独立の警察署をとの要望を提出した。十時半から二〇人の死亡者叙勲式。十二時からグランドホテルで木曜会、県の七年度対政府予算要求を私から説明。二時公明県議の対県要望。このあとペルー小学校建設募金者への感謝状授与式（二団体）。三時半 NHK インタビュー取材（九州国際空港誘致運動の展望について）。四時から自治労県本部ビルで姫路から来た徳本正彦氏と県政12年を顧ての感想対談。これは北海道、神奈川について自治研レベルの取材と同一の仕事。あと「とり市」で氏と懇親会。

12 月 16 日 (金) 曇

全くの冬型気象。薄化粧の山もあったという。知事室窓外にも一寸だけ、小雪。十時半に大牟田、国際大付属高男女三チームが京都での駅伝出場で挨拶に来室。二時一〇分には昨年同様築上中部高校書道部の生徒たちが自作の書で作ったカレンダーをもってきてくれた。三時から合同庁舎でアクロス福岡の第一回理事会、私が理事長で議事を進めた。四時半から新聞(朝日)の黒い羽根運動についての取材があった。決裁、検診(注射)ののち一丁目の「やまおか」で県教育委員会と知事との夕食懇親会。両者の意思疎通にはいいチャンスを作ったことになる。

12 月 17 日 (土) 曇・晴

十時四〇分出発して高宮別館へ。十一時から新聞各社の新春記事用のインタビュー取材に応ずる。朝日、西日本、毎日、読売、日経の五社。あらかじめ質問を取り広報室としての答えを準備プリントしてあるので、それに添って話を進めればよい。中食弁当をはさみゆっくり対話形式の取材で終わったのは四時すぎ。小休の後、帰宅は五時になった。話題は次の知事選を念頭においているので、県政重点課題と次の知事への期待及び過去三期の知事職懐古といった範囲で、従来のは一寸変わったものとなった。夜は久しぶりの自由時間、揮毫を考える。

12 月 18 日 (日) 晴

休務。七時すぎに起き出で宿題の揮毫に取組んだ。色紙二八枚。条幅 1/2 が 6 枚と半切が三枚、献穀の箱書き 4 枚その他。夕食のあと午後 8 時に書きものだけは終わった。押印は明日としよう。どこにも行かず外にも出ずぎっちり書き仕事だった。中島敏子さんが午後來訪したが、相手するひまがなかった。机辺を片付けて一応終りは午後九時。外はぐっと冷え込んでいるようだ。中食の時に上の前歯が折れたので、早速治療をうけられるようにしなければならぬ。寺田先生には明日連絡してみよう。

12 月 19 日 (月) 曇

休務だが昨日折れた義歯治療のための連絡をとっていたので、午後二時に見てもらったことになった。昨夜は強いて揮毫ものの押印を夜半までかけて終えていたので、今日午前中はその整理に費し、県庁にもってゆけるところまでこぎつけていてよかったと思う。歯の治療のあとは散髪。秘書室が手伝ってくれて「喪中につき年賀状欠礼」というハガキは既に投函。とどかないのは返却されていることが、今日の郵便でわかった。散髪のと知事室にのぼったら決裁のほかいくつか公務があった。五時すぎ、橋本、松田の二人と共に問研に行き、東定を連れ、リューホテルで夕食しつつ、研究所の将来について論議。

【欄外記入】喪中

12月20日（火）晴後曇

長い一日だった。十時に大牟田ネーブルランドにつき市長、社長に労働大臣認証伝達式。十一時から県議会。まず追加議案の代表者会議、十二時から採決の本会議。お礼挨拶まわり、一時に議会関係終了。二時、知事の年頭挨拶録音。三時半上野焼高田湖山さん来訪、先日私を書いた抹茶々碗の焼き上りをもって来て下さった。四時ダイエー野村専務来訪年末挨拶。決裁ののち病院に行って注射。五時八仙閣で次期知事選予定候補麻生氏と林団長ともに面談。五時半から別室での社会党県議団忘年会に出席挨拶。七時五分発 JAL で上京。

12月21日（水）曇

七時二〇分から「ふくおか会館」別室で県予算対策本部会議を開く。昨夜の大蔵原案内示状況について報告を受け、九時から全共済ビル内マツヤサロンで県出身国会議員と朝食及び予算内示に関する報告質疑の時間をとり、私らはこのあと陳情。私の分は午前中文部省、午後は運輸と建設両省。今年の予算は経済、政治とも混迷のなか、まずは満足できる内示だったといえる。新北空港及新幹線鹿児島ルート（第二筑紫トンネル実調）など芽が出たし、九州国博も止まらず動きだしている。三時陳情終了休憩時間あり。

12月22日（木）晴

政府予算待ちの姿勢で一日。八時すぎ朝食。十時半ごろ出発して葛飾区紫又の帝釈天（題経寺）（日蓮宗）とその本堂裏の彫刻ギャラリー一邃溪園を参観、そして参道の茶店で中食。あと上野の国立科学博物館を見学した。さすが東京で、こうした静寂な寺院、遊園、壮大な博物館を体験できることに感動させられた。他所ではありえないことだ。明日から連休でそのあとは年末になってしまうというのでチマタは今夕が年間一番にぎわうといわれる。夜は赤坂へ。

12月23日（金）晴

八時半に朝食。しばらく休憩し、十一時から予算対策本部会議をして当今の概要説明話合い。政府の動きはとくになく、二十一日から以後とくに変わった動きなく、対策本部はこれで閉鎖し、事務的にあとを追うに止めることとする。羽田に行ってから中食をすることとして一時半頃に空港に着く。祝日でもあり、学校は今日から年末休日に入ったというので、空港はずっと多くの出があり、混雑していた。三時頃の JAL で帰福、五時半には帰宅できた。夜は早速ながら明日の揮毫の下書きに取組む。1/2 半裁 16 枚と半裁 1 枚。暖かな日 12 度。

12月24日（土）晴

休務。終日とじこもって昨日下がきした条幅の揮毫と押印で仕上げ、ぐったり疲れた。夕方手紙を 3 通書いて夜は読書。外はどことも年末のあわただしさが聞えて来そうだ。クリス

マスイヴは家族と共にという雰囲気なので昔とは違って来たとは思う。ひるまは暖いが夜は冷えてくる。やはりストーブは必要。松山の田窪さんが昨年同様大きな鯛の浜焼を送り届けて下さったので早速賞味させてもらった。鯛は魚の王様といわれるだけあって威厳を感じながら、その美味にうたれた。

12月25日(日)晴

朝から昨日の揮毫の仕上げ作業と若干の読書はできたが、二時半出発して黒田荘へ。松田氏の随行。田川県立大学の城島氏が大学の将来拡張計画をとり入れた地域開発プランの素案を提出説明、豊田教授同行。概要をきくだけで原鶴大峰館へ。福岡高教組の大塚委員長が県下はもちろん山形、岩手、兵庫を含む全国規模の同志一〇〇人程度集めて学習会をするという企画をしたのである。私にも要請があつて六時半すぎから一時間余り講演をした。会食を共にし九時すぎ帰宅。

12月26日(月)曇・小雨

十二時五〇分に出発、午前中は先日からの揮毫につき説明書き。一時すぎから年末あいさつ、自民党の井上県議会議長、県議会議長(新官)、副議長(長谷川)の三件。三時半松本英一郎(没後一六〇日余ときく)。その前二時から歯科治療、義歯の型がしっかり決まった。三時半すぎ登庁して、明日の記者会見レク、決裁。五時から病院で点滴、帰宅は六時半。多忙から解放された感じの一日であった。先日からお歳暮の品があれこれ届いているが対応には困ってしまう。できるだけ、お礼状を書くよう努力したい。僅かに雨。

12月27日(火)曇

九時から庁議、つづいて記者会見、年間をとおしての県政所感ものべる。十一時から約一時間、4件の寄付金贈呈式を知事室で行った。生命保険協会、御下賜金、朝銀信用組合それに石橋幹一郎氏。対象福祉施設に目録を渡した。一時に出発し、北九州方面へ5件の年末挨拶まわりをし、六時前に帰宅。対象は松尾、助信、住吉、浜中、三木(飯塚)。今日は平年にくらべ、かなり暖い。眠りが浅かったので我ながら元気のない一日だった。三時間ほどで用便で目がさめ、起き出すのを嫌ってやや早目に起きてしまうと、その日一日は調子が悪い、そのような日だった。年かな?

12月28日(水)曇

九時五〇分に出発して年末あいさつまわり五件(川合、多川、上杉、上岡、林)。あいだに中食と病院注射があつた。多川さん、上岡さんにはあがりこんで少々雑談の時間をとった。三時に空手世界大会優勝(福大)の報告来訪があり、四時に水資源対策局の職員へのねぎらいの言葉をかけに九階にゆく。四時半庁議室で部長たちに年末の挨拶、あと決裁。そして五

時半から庁議で秘書室メンバーの仕事納めの会。あと南警察署自殺につき密葬に出る、飛島会館。帰宅したのは夜七時。いよいよ暮れ、直美帰る。

12月29日（木）晴

休みに入った。一日中筆をもつ。新聞のトップニュースは東北、北海道の太平洋側一帯の強い地震。十時すぎ帰宅した直美が地震といい、テレビなどはその関係の報道が連続。強いのはM.7.5。太平洋に震源があり、青森県八戸はM.6、死者2、烈震という。強震M.5は青森、盛岡。M.4の中震は帯広、苫小牧、函館。M.3の弱震には旭川、東京、若松、甲府、水戸などがはいる。列車のストップ、停電は広範。夕方になって揮毫をやめ荒江四角から南に入った喜文亭魚文でフグ料理の夕食。家族だけの三人。満腹してしまった。直美が特に要望したようだ。寒さ加わる。

12月30日（金）晴

揮毫のつづき、さらに押印まで一応終えた。看板かき（碑文字）がなかなか思うようにならずひまがかかる。いつもの通りであった。伊三男氏が年末の挨拶に来てしばらく話して行った。いい仕事を見つけえないでいる。私は手伝わなかったが少し餅を作った。直美の注文が強くオロシ、キナコ、アンコの三種類の即席。三時頃の中食がわりとなる。気になりながら部屋の掃除ができてない。年末になっているのに汚れたままの越年になりそうだ。前崎さんから個展のうちから掛軸をいただくなど負債感が強い。

12月31日（土）晴

正直いって何をしたのかこの一日。揮毫の残り課題がありあれこれ身辺雑用もありで暮れた。午後三時から済生会病院で点滴一時間、直美が随行してくれた。夜は型どおりの年越ソバで夕食、おいしくいただいた。寒さは少々きびしくなったが、暖冬といわれる程度だから、大したものではない。書かねばならぬと思う手紙を数通来年に見送る。迷うようなものばかり。気になるのは部屋の置物などの間に積ったままの塵。可能な時を見つけてしようとの自己課題になった。年頭挨拶に抜け目ないように、と新聞にこまかく目を通す。

補遺

三月三十日。昨年末の西日本新聞小野記者の質問取材にこたえて私が今期限りと答えたことについて当新聞が元旦のトップ記事として四選不出馬を大きく報じた。一月四日の定例記者会見では同じ答弁をした。感想やら小理屈も混えての発の発言がおもしろおかしく報道された。支持団体、県幹部、議会人、政界、経済界、関連雑誌など、かなり広く関心を呼んで私に対応を改めるところもあった。西日本をはじめとする地元言論界、財界などは、後

にひかさんぞといわんばかりに「止めるんだな」「止めるんだよ」と念を押した反応をくりかえした。要するに待っていましたといわんばかりであった。だけれども、ではこの人が次なる候補どうかとかこういう人物がいいとかいう次なる対応はほとんど聞かない。ただ自民党県連会長早麻氏は自民を含めた連合会派による推挙がいいとか、連合福岡は党派抜きで決まれば推すといっているが、具体的に誰かを推す動きではない。あるいは玉がないといっているのではないか。自民党も連合福岡もアドバルーンはあげるが、自分達は県民から信頼される力があるとの自信はないようだ。ただ、二月議会も終わったのでこの問題をめぐる雰囲気推察すると、二、三の質問を除いて多くの議員は突っ込んでくるよりも、既定の事実だと皮肉もまじえ、前提とした上で発言の中に盛りこみつつ演説していくケースが多かった。県幹部の中にも「もうやめるんだから」との前提でものをいう人があちこち見受けられる。年末の西日本の取材の時誰にも相談なく、個人の発想で言ってしまったから従来推していたグループには不満が爆発したり鬱積したり、やり場のない人もかなりあるようだ。昨年八月に発足した細川内閣が力関係でうろうろして時間を費しているのと似た状況下で、社会党側も、では次の候補はこれというところに行きえないでいる。つまり誰を推せばいいか計りかねている。総すくみというか、それぞれ顔を見合わせこの間、三ヶ月を過ぎようとしている。党書記長の竹村氏は奥田も候補の一人として残しておきたいといっている。県会団長の林武彦氏も、知事は四選目立つのはいやとはいうが、立たないと明言している訳ではないと説明し含みを残している。事実上候補難のようだ。だから私には「次はない」と竹村、林レベルでは言っていない。来年は統一選挙で、みんな深くかかわらねばならぬし、小選挙区制の導入でいつ選挙になるか、どういう事態になるか想像ができず、こんとんたる状況で、誰も先が読めず明言できないというのが実際のようなようだ。三ヶ月間、知事選挙について具体的な動きがないのは以上のような事情による。ただ、自民党・社会党は底辺、みえないところで動いている。四月になれば表面化するに違いない。先日の石川知事選は非自民が勝利、こちらでは非共の線で組みたいと言っている。候補の名が浮かぶまでまだかなり時間がかかろう。水面下の動きがかなりあるが……

四月二日。セントラーザで労働党の大隈氏と二人の対面をした。知事選についてであるが、労働党は早々と奥田四選支持を打出していた。その後、他党の動きがみえないので、どうしてだろうと思っていたら彼の話では表面に出せない動きがあつてのことという。自民党や連合福岡は、政治色のない候補とか、各党が共同で推せる候補とかいっているが、固有名が出ていない。出したら危いと思つてのことであろう。大隈氏の話では社会党の竹村書記長も様子見をしていて、むしろ今日私と労働党が接触してみることを望んでいるらしい。大隈氏はこのあと竹村氏と会うようだ。火花の散る話ではなくみんな様子さぐりの話なのである。労働党が先鞭を切ったといえる。四月末にはかなり具体的に動きが出るという。

四月二十三日（土）。昨日連立与党の政策合意により、羽田外相が細川総理辞任をうけての後継者になることが決った。社会・自民両党は内部分裂というか、まとまった力として作用しなくなっていて羽田内閣も安定政権とはいえないだろう。一週間前、四月十五に県内社会党勢力代表者五人と私と六人で次期知事選の候補につき話し合ったし、これを受けて十八日に五人の代表が話し合ったようだが、これら勢力の中での知事候補選考は未だ手つかずの状況らしい。では自民党筋で候補指名準備が進んでいるかという中央政局も反映してここでも選考は進んでいないときく。こうした中で連合（労組）の動きが注目されるが、ここでも自民党の合意を得られる候補という表現はしているものの、有力者指名の域には達してない模様。中央の政権が決まった来週以降は動きがでてくると思われるが、自民党県連のまとまりがうまくいきそうでないので、九月頃まで事態は流動をつづけるのではないかと見られている。全く妙な県下政情というしかない。

六月二十七日。気象観測史上、最高の暑さ三四・四度。昨日日曜休みで外仕事したが下着がずぶぬれになった。今日もそのつづきである。羽田内閣総辞職のあと組閣がどう進むかまだ混迷中。地方統一選をにらんでか、中央政局の反映なのか、「六月議会」の代表質問、一般質問は予想外に順調に進み、一般質問は明日一日を残すだけとなったが、この調子がつづくならベストということになる。大阪事務所長の高木氏が来室、先日の関西空港上空からの視察に際してのお礼もいっておいた。梅雨期の変った環境を書いてみた。

七月十七日（日）異常気象がつづく。どこまでつづくかわからない。二十五日間降雨がない。かんかん照りが多く、さらに高温である。カンカン照りの猛暑の日々である。梅雨明け宣言は二週間もはっきりできぬ迷いの中で七月一日といわれた。西日本一帯が異常といわれる。日本の梅雨が中国で、水害をもたらす状況に変わっているようだ。水田に割れ目が生じ果物も落ち、川魚が死に池の鯉、豚、鶏などに死をもたらしている。今年の冷夏長雨に対し、今年のカンバツといえる状況。まだまだどうなるかわからない。室内で三〇度をこえ、陽当り所では最高四〇度に近い。蒸されているみたいだ。

11月28日。社会党は次期知事候補につき、従来の方針であった「地元」にくわしい人という方向から中央の人でもいいという方向に変え、数日前から自民、連合福岡が推していた戸畑出身の通産省高級官僚 OB 麻生氏を協同で推すことに決定したようだ。自分たちで候補を決めえない弱点が明白になった。麻生氏は通産省に顔がきくので疲弊した北九州市の産業振興に都合がよいというのが北九州財界の言い分のようなのだが、どう考えてもこじつけでしかない。通産官僚出身が知事になったら、その県の産業が発達するなんて、どう考えてもこじつけである。それを連合福岡が認め、社会党にまで波及したとは、主体性のないこと著しい。県民の声もきかぬ結果を呼ぶ。

12 月 14 日。県議会の一般質問が終り、やっと一息つくことになった。九日に佐方の母が亡くなり、葬儀に要する相生への旅が土、日の二日、議事日程とだぶらなくて、うまく消化できたのが何よりラッキーだった。その代り休む暇もなく動きまわることになり、かなり疲れた。思えば私が佐方に養子に行く話が出たときは今から 60 年前だ。母はるえが九月に死亡し、義母春雄のもとに行って 60 年になるわけだ。今回義母の葬儀には県関係その他福岡の人達がていねいに、たくさん弔意を寄せてくれ有難く思う。福岡、北九州、甘木、久留米、大牟田など市長も弔意を表してくれた。新聞報道で知れてしまったのだ。

12 月 30 日。元旦に皇居に行く予定だったのに養母の逝去で予定を変更したので、東京にいる直美が帰福することになった。母の四十九日も一月二十二日の予定が二十六日に決定した。日曜の利用はいけない、正確に四十九日にしないといけないと寺の住職が主張するので仕方がないと章がいう。十二月下旬に、このような予定変更があった。秘書室の松田氏がうちで作ったシメナワを三十日に持ってくる予約していたが弔意を表する必要上、これも断った。正月もおめでたいとはいえないのが今回である。特別なことをせずに越年。

「住所録」欄への記入

平成 6 年

7 月 29 日 深見室長 新幹線トンボがへり姫路

博多 10:04—姫路 13:13

姫路 19:28—岡山—博多 22:19

駅に九一が迎えに来て私の東京から新幹線来姫と落合い。

ロープウェイ (文化館) 一円教寺—奥の院

歩道で刀出へ下り晴久宅で一休み

6 時から集会所で昔を語る会の前座を 6 時 35 分までつとめ晴久に送らせて

姫路にとって帰る。

私たちは集会所 9 時まで、以後晴久宅で雑談 12 時半まで

秘書の橋本氏が終始随伴していた。

刀出橋、檜谷橋、河川敷 (上も下も) すっかり大工事を介して変ってしまった刀出だった。谷川を囲む竹藪も

要するに一変した刀出村をかいまみた。

30 日は午前中ややくわしく点検して昔を比較しながら様変わりぶりを見る